応用編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

C310dn/C510dn/C530dn

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- C530dn → C530
- C510dn → C510
- C310dn → C310
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7 ※
- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7 (64bit版)
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 (64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008R2 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 (64bit版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP (x64版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003 (x64版) ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称→ Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

※ 特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。

このマニュアルは、特に表記がない限り、C530 での操作手順を説明しています。お使いの機種によっては、画面や操作手順が異なる場合があります。

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2　適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

VOC（揮発性有機化合物）の放散

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷及びカラー印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

プリンタに搭載のソフトウェアについて

本製品は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。

C530dn は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
ProtecPaper、Val-Code、ProtecPrint、ProtecCheck は、沖電気工業株式会社の商標または登録商標です。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScript は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社) の商標です。
Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。
CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
SD メモリーカードは、SD Association の登録商標または商標です。
SD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読みください。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
    All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
    本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

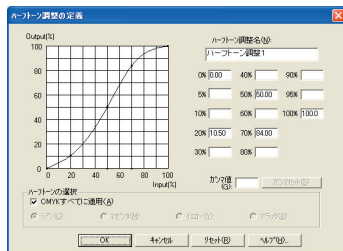
なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

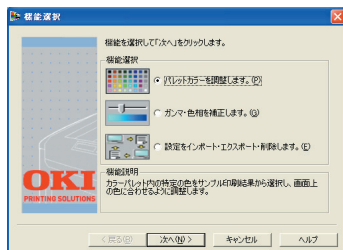
※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザ使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

目　次

1 Windows ソフトウェア

カラーユーティリティ

PS ハーフトーン調整ユーティリティ（PS ドライバのみ）

プリンタの CMYK 各色のハーフトーン濃度を調整し、写真の印刷濃度を調整できます。

カラー調整ユーティリティ

プリンタのカラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。

色見本印刷ユーティリティ

プリンタで RGB 色の見本を印刷します。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのような RGB 色の指定をするか確認することができます。

Profile Assistant

プリンタの SD メモリーカード内に ICC プロファイルを登録・管理します。ICC プロファイルはドライバの[グラフィックプロ]モードのカラーマッチングに使用します。

- 「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- インストール方法については、沖データホームページのダウンロードページをご覧ください。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版

セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

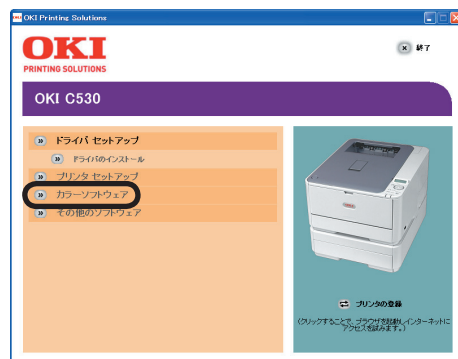
インストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。
セットアッププログラムが起動します。

- Windows Vista以降で、[自動再生]が表示されたら[Setup.exeの実行]をクリックします。
- Windows Vista 以降で、[ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

C510/C310 をお使いのかたは、「モデルの選択」でプリンターの機種名を選択し、[次へ] をクリックします。

❷「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❸ [カラーソフトウェア] をクリックします。

❹ インストールするユーティリティをクリックします。

❺ 画面の指示に従ってセットアップします。

❻「OKI Printing Solutions」画面の右上の ☒ をクリックし、画面を閉じます。

起動します

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］- 起動したいユーティリティを選択します。

詳しくは

- 「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（233 ページ）
- 「色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい」（231 ページ）
- 「パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Windows）」（187 ページ）
- 「ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Windows）」（199 ページ）

をご覧ください。

削除します

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

❷ 削除するユーティリティを選択し、［アンインストール］をクリックします。

❸ ［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❹ 画面に従って削除します。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。

❷ 削除するユーティリティを選択し、［削除］をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

Windows 2000 の場合

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

❷ 削除するユーティリティを選択し、［変更と削除］をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

ネットワークユーティリティ

ネットワーク接続時に使用するユーティリティです。
必要に応じてインストールしてください。

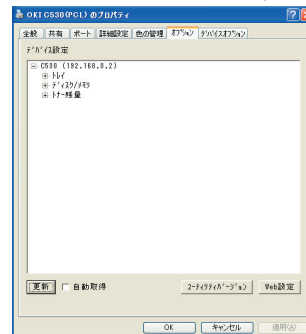
Configuration Tool（15 ページ）

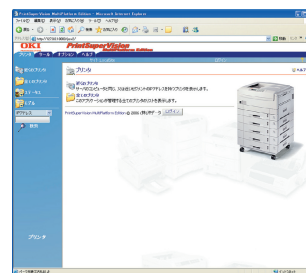
プリンタの設定を変更したり、管理することができます。

NIC 設定ツール（23 ページ）

OKI LPR ユーティリティ（29 ページ）

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータスを確認することができます。

Network Extension（40 ページ）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定ができます。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition（45 ページ）

ネットワークに接続されるプリンタを管理する Web ベースのアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認できます。

「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

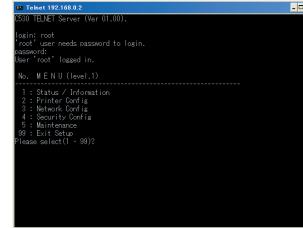
Web Driver Installer（46 ページ）

ネットワークに接続されるプリンタを表示し、プリンタドライバインストールプログラムをダウンロードし、クライアントのコンピュータにインストールする Web アプリケーションです。

「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

Web ブラウザ（48 ページ）

Web 画面で、プリンタのメニューやネットワークの設定を遠隔操作できます。

TELNET（58 ページ）

TELNET を利用してプリンタのネットワークの設定をすることができます。

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項　目 / ユーティリティ	IP アドレスの設定変更	パネル表示	ジョブの管理	オプション品の管理	消耗品情報	ネットワーク管理
Configuration Tool	○	○				
NIC 設定ツール	○					
OKI LPR ユーティリティ		○	○			
Network Extension				○		
PrintSuperVision MultiPlatform Edition	○	○			○	○
Web Driver Installer						○
Web ブラウザ	○	○			○	
TELNET	○					

Configuration Tool

Configuration Tool はプリンタの設定を変更したり管理するユーティリティです。Configuration Tool は複数のプリンタを簡単に設定 / 管理するために以下の機能があります。

- プリンタの装置情報を表示する
- プリンタのネットワーク設定を行う

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- ユーザ設定によっては、一部の機能が使えない場合があります。その場合は管理者の権限でコンピュータにログインしてください。
- Windows 2000 日本語版では、Service Pack4 及び KB891861 (http://support.microsoft.com/?kbid=891861) がインストールされている必要があります。
- Internet Explorer 5.5 以上がインストールされている必要があります。

本項の説明は、全て Windows XP Home Edition を例にしています。

セットアップする

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［その他のソフトウェア］-［Configuration Tool］をクリックします。

❸ インストールしたいプラグインを選択します。

- Configuration Tool
  Configuration Tool の本体です。必ずインストールされます。
- Network Setting プラグイン
  IP アドレスの設定やプリンタを再起動したり、Web ページを表示します。
  インストールすると Plug-in メニューに追加されます。
  詳しくは、17 ページをご覧ください。

メモ プラグインは、後で追加インストールすることもできます。

❹ インストール先のフォルダを指定します。

工場出荷時の設定では、C:¥Program Files¥Okidata¥Configuration Tool が指定されています。

❺［インストール］をクリックします。

❻「インストールが完了しました」が表示されたら、［閉じる］をクリックします。

メモ 再起動画面が表示されたら、画面の指示に従いコンピュータを再起動してください。

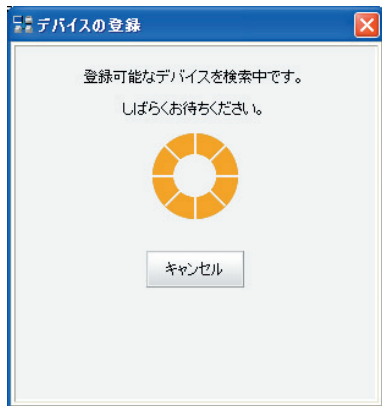
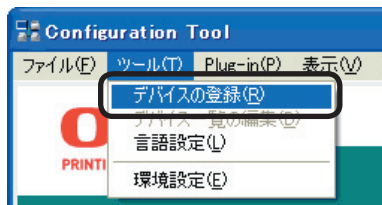
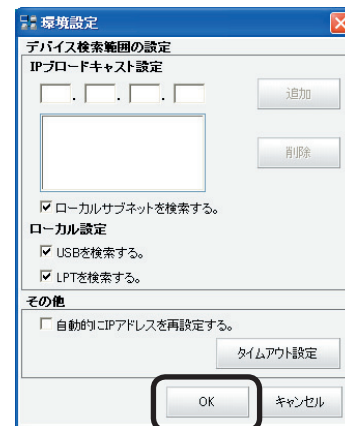
Configuration Tool を使用する

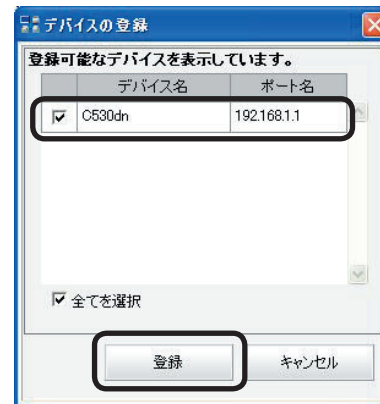
Configuration Tool にプリンタを登録する

ここでは C530dn を例にしています。

初めて Configuration Tool を使うときや新しく C530dn を導入したときは、Configuration Tool に登録する必要があります。

❶ [スタート] - [すべてのプログラム]（Windows 2000 では [プログラム]）- [沖データ] - [Configuration Tool] - [Configuration Tool] を選択します。

❷「ツール」メニューの「デバイスの登録」を選択し、登録可能なデバイスを検索します。

メモ　C530dn を検索する範囲を変更するには、「ツール」メニューの「環境設定」を選択します。

検索したい範囲を入力し、[OK] をクリックします。

❸ 設定や管理をしたい C530dn にチェックをつけ、[登録] をクリックします。

❹ ウインドウ右上の ☒ をクリックまたは [キャンセル] をクリックして、「デバイスの登録」画面を閉じます。

Device Info タブ

C530dn のステータスや詳細情報を見ることができます。
この機能は、Configuration Tool に標準で用意されています。

❶「登録デバイス一覧」から情報を見たい C530dn をクリックします。

C530dn の状態が表示されます。

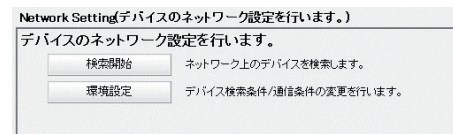
メモ 情報を更新するには、[デバイスステータスの更新] をクリックします。

注 デバイスステータスは、デバイスがネットワークに接続されている場合に表示されます。

Network Setting メニュー

Network Setting プラグインをインストールした場合に表示されます。C530dn に IP アドレス設定、デバイス設定 (Web) 有効 / 無効設定、Web ページを表示することができます。

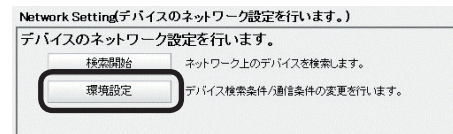
❶「メニュー」->「Plug-in」から「Network Setting」をクリックします。

Network Setting のメイン画面が表示されます。

Network Setting の機能を使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。管理者の権限がないユーザアカウントで、Windows にログインしている場合は、Network Setting メニューは表示されません。

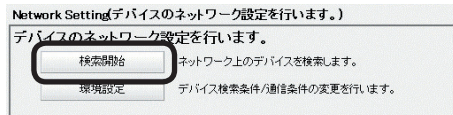
ネットワーク上のデバイスを検索する

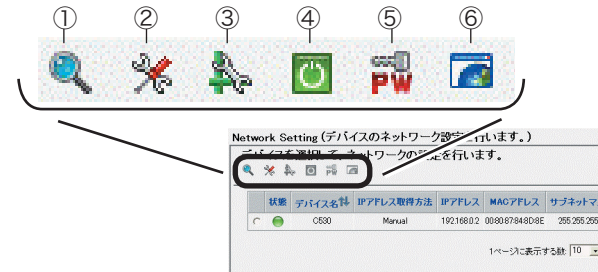
❶ [環境設定] をクリックします。

1

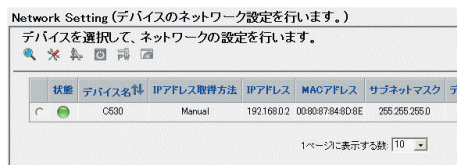
Configuration Tool

❷ 検索条件を入力し、[OK] をクリックします。

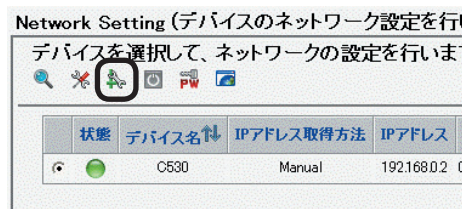
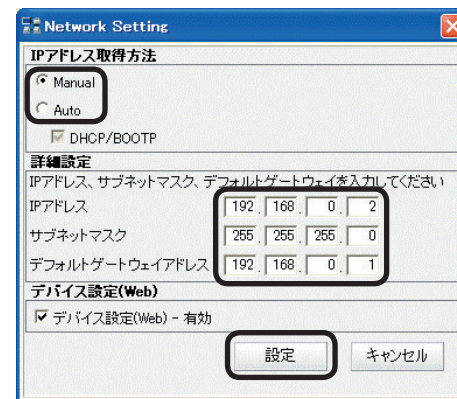
- IP アドレスは最大 16 個入力できます。
- 「ローカルサブネットを検索する」をチェックすると、同一セグメント上に存在する装置を検索することができます。
- 個別でプリンタを検索する場合、検索するプリンタの IP アドレスを追加することができます。

❸ [検索開始] ボタンでネットワーク上の装置を検索します。

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003 で検索時に「Windows セキュリティの重要な警告」が表示される場合に、「ブロックを解除する」をクリックしてください。

❹ ネットワークに接続されているプリンタを検出するので、一覧より設定を行うプリンタを選択します。

No.	アイコン	アイコンの名称	意味またはクリックしたときの動作
①		検索	デバイス検索を行います。
②		環境設定	デバイス検索条件 / 通信条件の変更を行います。
③		デバイス設定	選択デバイスの IP アドレス設定 / デバイス（Web）の設定を行う為のウインドウを表示します。
④		デバイス再起動	選択デバイスの再起動を行います。 この機能は使用しません。
⑤		パスワード変更	選択デバイスの設定認証用パスワード変更を行います。
⑥		Web ページ表示	選択デバイスの Web ページ表示を行います。

デバイスのネットワーク設定を行います

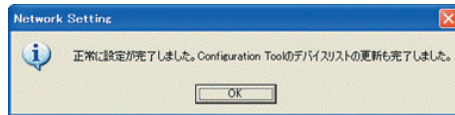
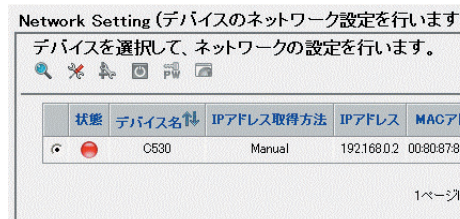
❶ 一覧より IP アドレスまたは MAC アドレスを参照して、設定を行うデバイスを選択します。

注
- MAC アドレスは、Network Information に表示されています。
- 初期設定では IP アドレス取得方法が「DHCP/BOOTP」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

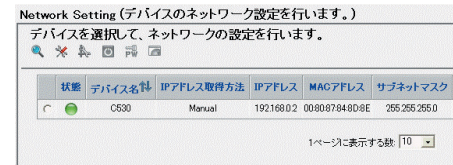
❷ ［デバイス設定］アイコンをクリックします。

❸ 必要な項目を入力し［設定］をクリックします。

❹ ［パスワード入力］にパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

- 初期設定ではパスワードは手順❶で参照した「MAC アドレス」の下 6 桁を入力してください。この例の場合は、「848D8E」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

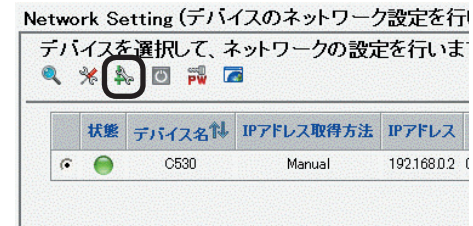
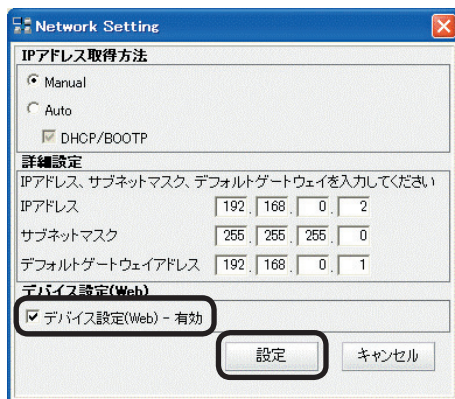
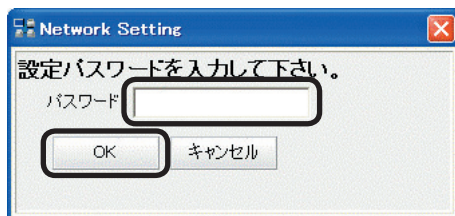
❺ ❸で入力した内容をデバイスへ設定し、Configuration Tool へ登録を行います。

- Configuration Tool へ登録が完了すると、以下のメッセージを表示します。

- 設定したデバイスが既に Configuration Tool へ登録されている場合は、以下のメッセージを表示し、Configuration Tool の情報の更新のみ行います。

❻ [OK] ボタンをクリックすると、デバイスの再起動が始まり、設定したデバイスの状態が●（赤色）に変わります（通常は●（緑色）です）。

❼ デバイスの再起動が完了すると、設定したデバイスの状態が●（緑色）に戻ります。

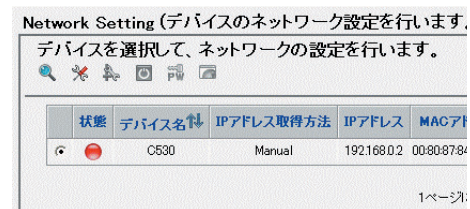
Web の設定を行います

❶ 一覧より IP アドレスまたは MAC アドレスを参照して、設定を行うデバイスを選択します。

- MAC アドレスは、Network Information に表示されています。
- 初期設定では IP アドレス取得方法が「DHCP/BOOTP」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷ [デバイス設定] アイコンをクリックします。

❸［デバイス設定（Web)］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❹［パスワード］にパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

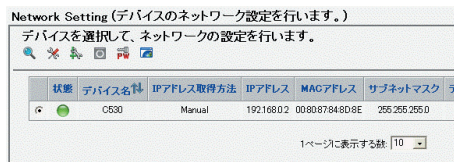
- 初期設定ではパスワードは手順❶で参照した「MAC アドレス」の下 6 桁を入力してください。この例の場合は、「848D8E」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❺ 正常に設定されると、以下の画面を表示します。

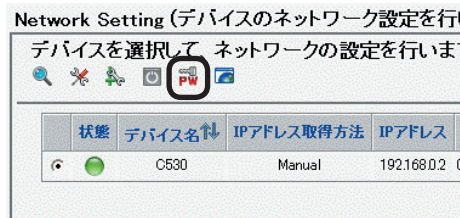
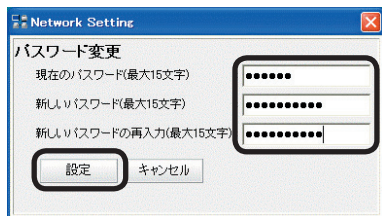
❻［OK］ボタンをクリックすると、デバイスの再起動が始まり、設定したデバイスの状態が●(赤色)に変わります（通常は●(緑色)です)。

❼ プリンタの再起動が完了すると、設定したデバイスの状態が●(緑色)に戻ります。

Web ページの表示を行います

❶［デバイス設定 (Web) - 有効］のチェックボックスをチェックし、［Web ページ表示］アイコンをクリックすると、選択したプリンタの Web ページを表示することができます。

パスワードを変更します

❶ 一覧より IP アドレスまたは MAC アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

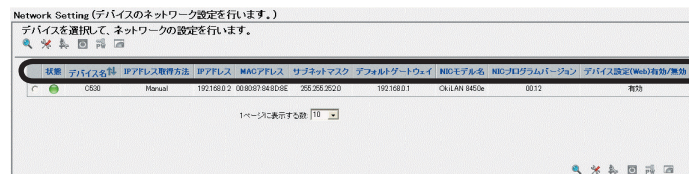
・MAC アドレスは、Network Information に表示されています。
・初期設定では IP アドレス取得方法が「DHCP/BOOTP」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷ ［パスワード変更］アイコンをクリックします。

❸ 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

・初期設定ではパスワードは手順❶で参照した「MAC アドレス」の下 6 桁を入力してください。この例の場合は、「848D8E」となります。
・パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
・パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❺ 正常に設定された場合、以下の画面が表示されます。

デバイス情報の表示順を変更する

状態、デバイス名、IP アドレス取得方法、IP アドレス、MAC アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、NIC モデル名、NIC プログラムバージョン、デバイス設定 (Web) 有効 / 無効それぞれの欄をクリックすると、クリックした欄の値を基に情報を並び替えます。

NIC 設定ツール（Windows）

プリンタのネットワークの設定や、Web ブラウザの表示ができます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版
TCP/IP で動作しているコンピュータ

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアッププログラムが起動します。

❸「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❹ [プリンタ　セットアップ] をクリックし、[NIC 設定ツールの起動] をクリックします。

NIC 設定ツールが起動します。

Windows 7/Windows Server 2008/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2003 で NIC 設定ツール起動時に「Windows セキュリティの重要な警告」が表示される場合は、[ブロックを解除する] をクリックしてください。

プリンタのネットワーク設定を行います

❶ 一覧より IP アドレスまたは MAC アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

- MAC アドレスは、Network Information に表示されています。(306 ページをご覧ください。)
- 初期設定では IP アドレス取得方法が「DHCP/BOOTP」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

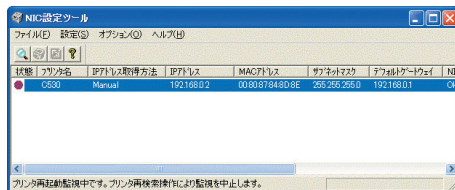
❷［設定］メニューの［プリンタ設定］を選択します。

❸ 必要な項目を入力し［設定］をクリックします。

❹［パスワード入力］にパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

- 初期設定ではパスワードは手順❶で参照した「MAC アドレス」の下 6 桁を入力してください。この例の場合は、「848D8E」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❺ 正常に設定された場合、[設定完了] が表示されます。

❻ [設定完了] の [OK] をクリックすると、プリンタの再起動が始まり、設定したプリンタの状態が●(赤色)に変わります(通常は●(緑色)です)。

❼ プリンタの再起動が終了すると、設定したプリンタの状態が●(緑色)に戻ります。

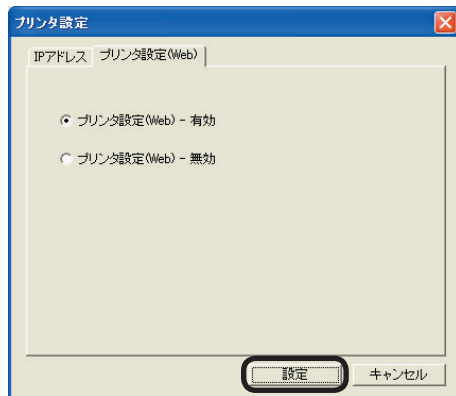
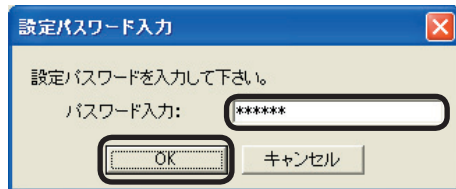
❽ NIC 設定ツールを終了します。

Web の設定を行います

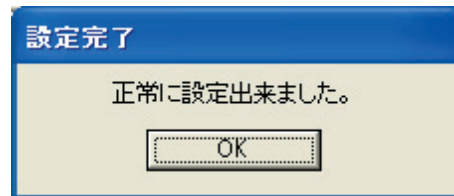
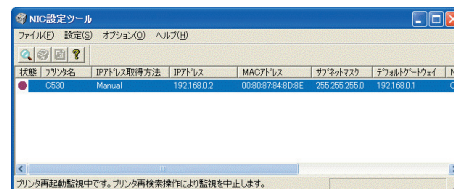
❶ 一覧より IP アドレスまたは MAC アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

- MAC アドレスは、Network Information に表示されています。(306 ページをご覧ください。)
- 初期設定では IP アドレス取得方法が「DHCP/BOOTP」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷ [設定] メニューの [プリンタ設定] を選択します。

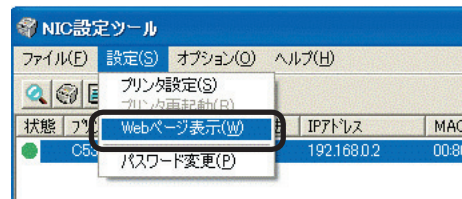
❸［プリンタ設定］の［プリンタ設定（Web）］で、プリンタ設定（Web）の有効 / 無効を選択し［設定］をクリックします。

❹［パスワード入力］にパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

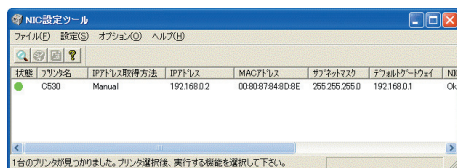
- 初期設定ではパスワードは手順❶で参照した「MAC アドレス」の下 6 桁を入力してください。この例の場合は、「848D8E」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❺ 正常に設定された場合、［設定完了］が表示されます。

❻［設定完了］の［OK］をクリックすると、プリンタの再起動が始まり、設定したプリンタの状態が●（赤色）に変わります（通常は●（緑色）です）。

❼ プリンタの再起動が終了すると、設定したプリンタの状態が●（緑色）に戻ります。

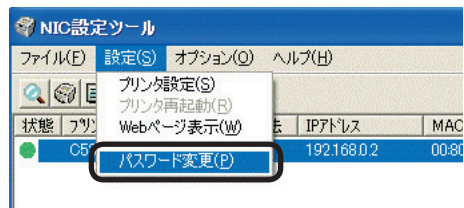
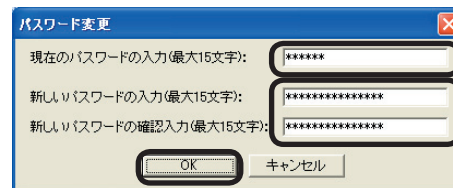
❽ NIC 設定ツールを終了します。

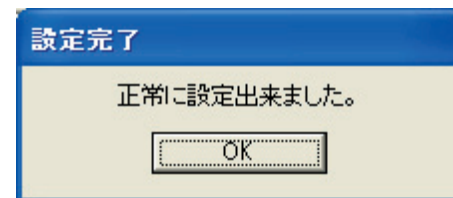
Web ページの表示を行います

「プリンタ設定（Web）」の設定（25 ページ）を［有効］にして［設定］メニューの［Web ページ表示］を選択すると、選択したプリンタの Web ページを表示することが出来ます。

プリンタ設定（Web）が［無効］の場合、アラートダイアログを表示します。

パスワードを変更します

❶ 一覧より IP アドレスまたは MAC アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

- MAC アドレスは、Network Information に表示されています。(306 ページをご覧ください。)
- 初期設定では IP アドレス取得方法が「DHCP/BOOTP」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❷［設定］メニューの［パスワード変更］を選択します。

❸ 現在のパスワード、新しいパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

- 初期設定ではパスワードは手順❶で参照した「MAC アドレス」の下 6 桁を入力してください。この例の場合は、「848D8E」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

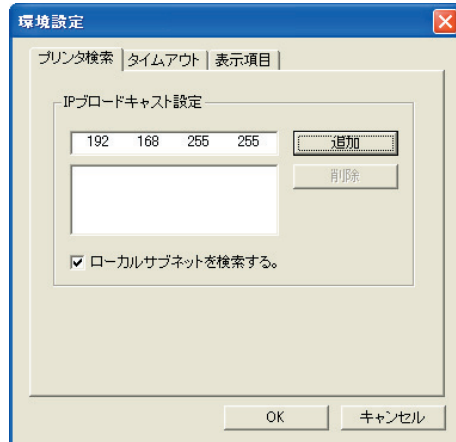
❹ 正常に設定された場合、以下の画面が表示されます。

環境を設定します

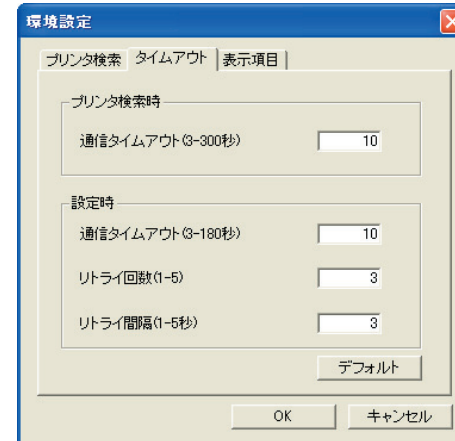
NIC 設定ツールの環境を設定することができます。
［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

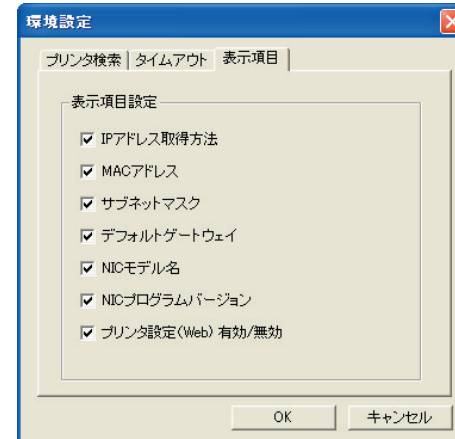
［プリンタ検索］タブ

検索するプリンタ条件を設定することができます。

「ローカルサブネットを検索する」を有効にすることにより、同一セグメント上に存在するプリンタを検索することができます。

また、個別でプリンタを検索する場合、検索するプリンタの IP アドレスを追加することができます。

［タイムアウト］タブ

タイムアウト時間を設定することができます。

［表示項目］タブ

一覧に表示する項目を設定することができます。

OKI LPR ユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 印刷方式機能は利用できません。

以下の説明は、Windows 7 Ultimate を例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

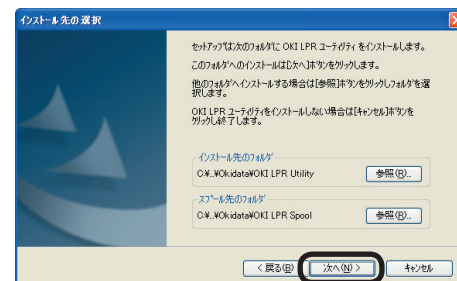
❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

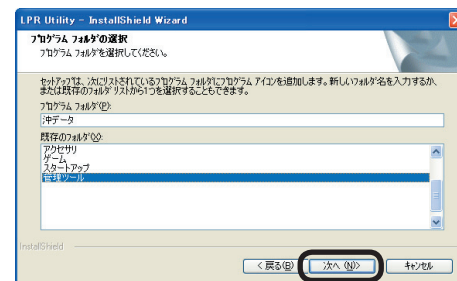
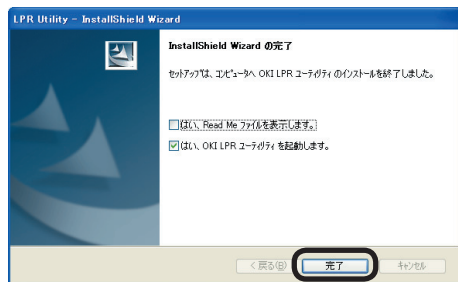
セットアッププログラムが起動します。

❸ [その他のソフトウェア] - [LPR ユーティリティ] をクリックします。

❹ すでに OKI LPR ユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので［はい］をクリックします。

❺ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❻ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

❼ ［スタートアップに登録する］にチェックが入っていることを確認し、［次へ］をクリックします。

❽ プログラムフォルダ名を確認し、［次へ］をクリックします。

❾［完了］をクリックします。

起動します

❶［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティ］を選択します。

下のような画面が表示されます。

リモートプリントの設定

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

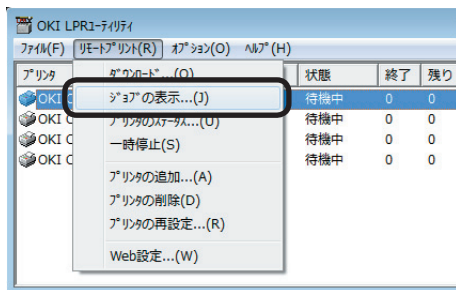
ファイルのダウンロードが開始されます。

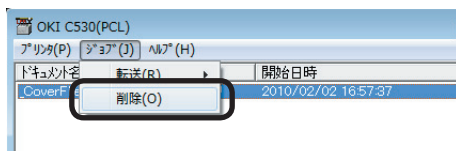
ジョブの表示、削除と手動転送

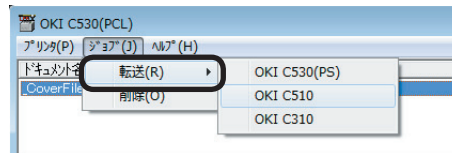
印刷ジョブを表示したり、削除することができます。
また、プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

- C510dn, C310dn では、転送機能は使用できません。
- 他社プリンタへは転送できません。
- 同じプリンタ機種名へ転送してください。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［ジョブの表示］を選択します。

ジョブが表示されます。

❸ 削除したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［削除］を選択します。

ジョブが削除されます。

❹ 転送したい印刷ジョブを選択し、［ジョブ］メニューの［転送］で転送先のプリンタを選択します。

転送先のプリンタにジョブが送られます。

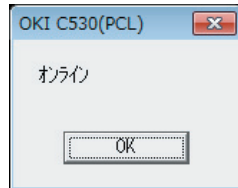
転送できるプリンタは、あらかじめ OKI LPR ユーティリティにセットアップされている必要があります。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

❶ プリンタを選択します。

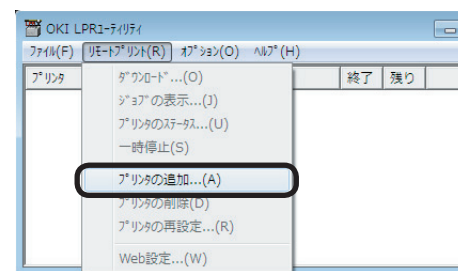
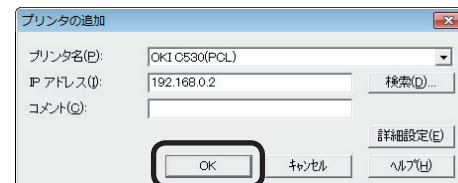
❷［リモートプリント］メニューの［プリンタのステータス］を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ　ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

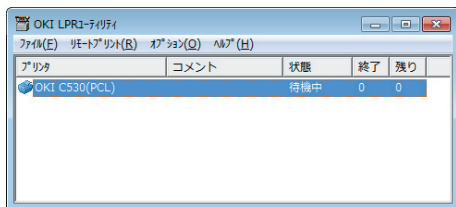
プリンタの追加

印刷先のポートを OKI LPR ポートに変更することができます。

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- ユーザの簡易切り替え機能を使用して他のユーザもログインしている場合、プリンタの追加、削除はできません。
- すでに OKI LPR ユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶［リモートプリント］メニューの［プリンタの追加］を選択します。

❷［プリンタ］を選択し、［IP アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

［プリンタ］には、「プリンタと FAX」（Windows 2000 の場合は「プリンタ」）フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。ネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

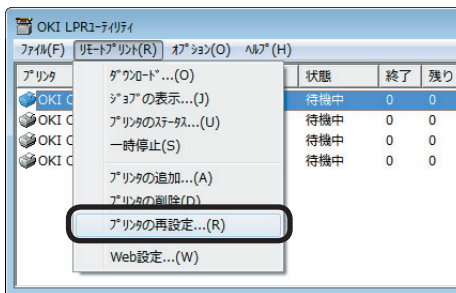
メモ　［検索］をクリックしてネットワーク上の沖データ製プリンタを検索することもできます。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

ジョブの自動転送

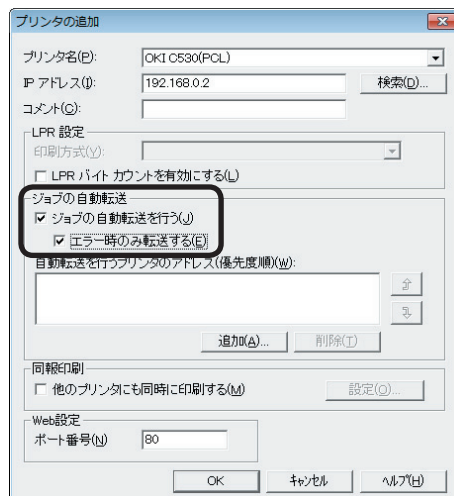
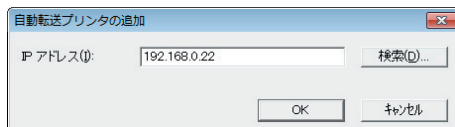
プリンタが使用中やオフライン、用紙切れ等で印刷ができない場合、自動的に印刷ジョブを他のプリンタへ転送することができます。

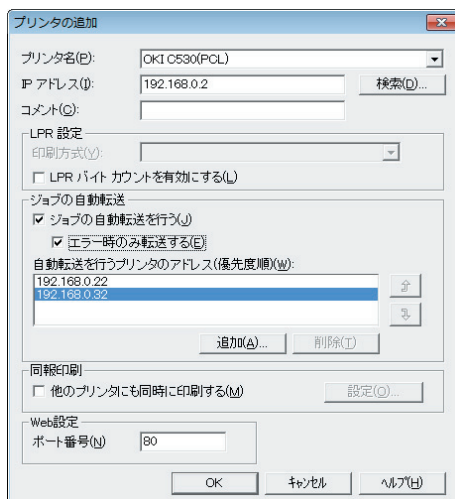
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- 他社プリンタへは転送できません。
- 必ず、同じプリンタ機種名へ転送してください。
- C510dn, C310dn では、ジョブの自動転送機能を使用できません。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［ジョブの自動転送を行う］にチェックをつけます。

プリンタが「オフライン」や「用紙切れ」などのエラーのときのみ転送したい場合は、［エラー時のみ転送する］にもチェックをつけます。

❺［追加］をクリックし、転送先の IP アドレスを設定します。

メモ ［検索］をクリックして、ネットワーク上の沖データ製プリンタを検索することもできます。

❻ 転送先の候補の数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ 転送先の優先順を変更するには、［自動転送を行うプリンタのアドレス］から優先順を変更するプリンタを選択し、横の［↑］ボタン、または［↓］ボタンをクリックします。（［↑］ボタンをクリックすると優先度が上がり、［↓］ボタンをクリックすると優先度が下がります。

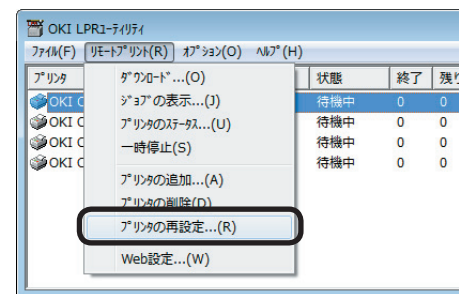
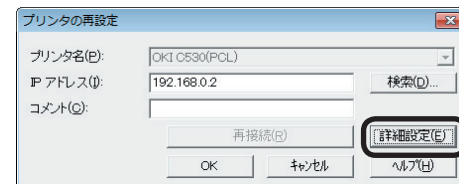
❼［OK］をクリックします。

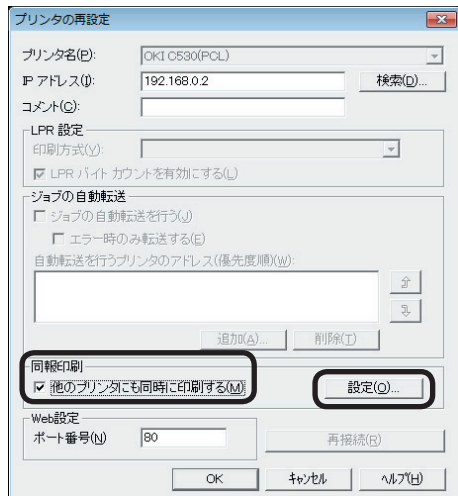
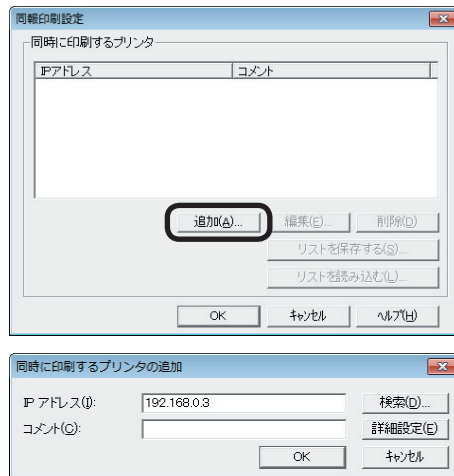
複数のプリンタで同時に印刷する

一度の印刷指示で複数のプリンタに印刷することができます。

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- 同時に印刷するプリンタは、必ず同じプリンタ機種を指定してください。
- C510dn, C310dn では、複数のプリンタで同時に印刷する機能は使用できません。

❶ プリンタを選択します。

❷［リモートプリント］メニューの［プリンタの再設定］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［他のプリンタにも同時に印刷する］にチェックをつけ、［設定］をクリックします。

❺［追加］をクリックし、同時に印刷するプリンタの IP アドレスを設定します。

メモ 同時に印刷するプリンタに対しても、コメントを追加することができます。（38 ページ）

❻ 追加したいプリンタの数だけ、❺の操作を繰り返します。

メモ
- ［リストを保存する］をクリックすると、追加したプリンタの情報を保存することができます。
- 保存したプリンタの情報は、［リストを読み込む］をクリックすると、読み込みや削除をすることができます。

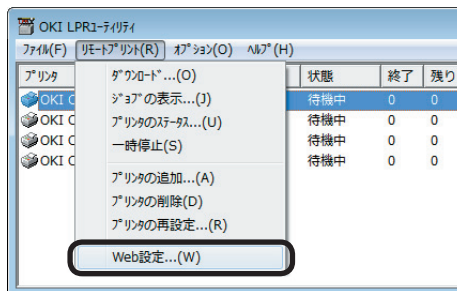
❼［OK］をクリックします。

Web ブラウザを起動する

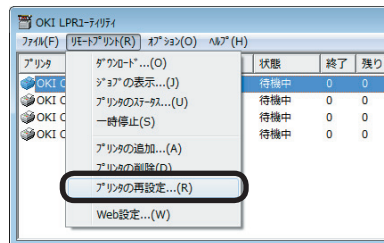
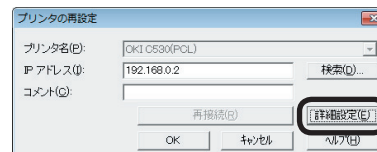
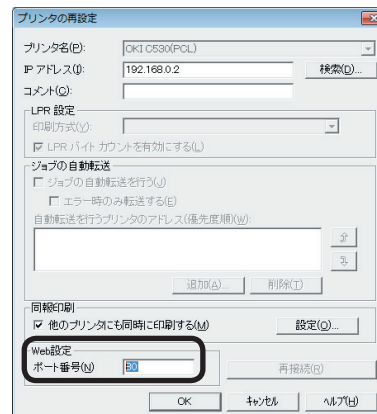
OKI LPR ユーティリティより、プリンタのネットワーク設定や、メニュー設定を行うための Web ブラウザを起動します。

メモ 各設定の設定方法については「Web ブラウザ」(48 ページ) をご覧ください。

❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント] メニューの [Web 設定] を選択します。

メモ Web ポート番号が変更されている場合は、OKI LPR ユーティリティのポート番号の設定を以下の手順で変更してください。

❶ プリンタを選択します。

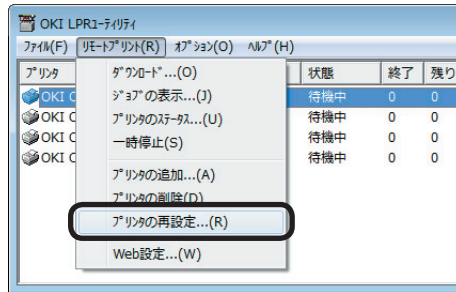
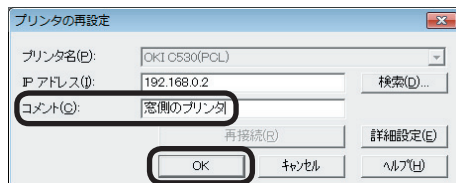
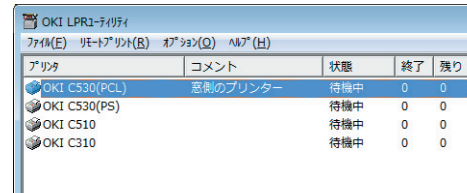
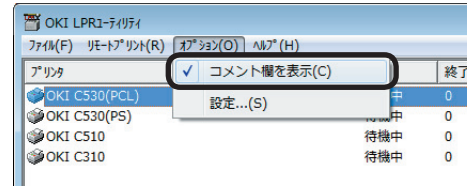
❷ [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

❸ [詳細設定] をクリックします。

❹ [ポート番号] に、Web ポート番号を入力します。

❺ [OK] をクリックします。

コメントを追加する

OKI LPR ユーティリティに追加したプリンタに、コメントを追加することができます。
プリンタの設置場所、プリンタのオプション装置などを入力すると便利です。

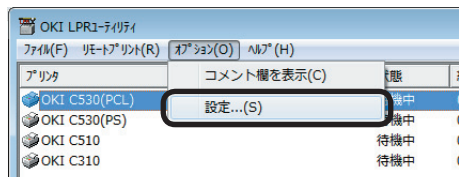
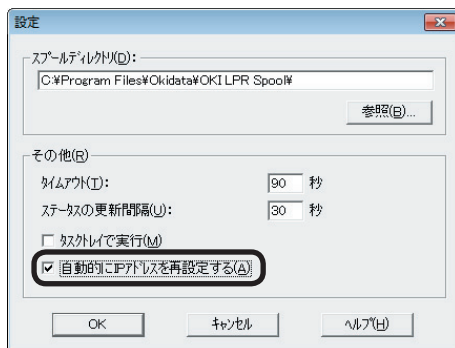
コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント] メニューの [プリンタの再設定] を選択します。

❸ [コメント] にコメントを入力し、[OK] をクリックします。

❹ [オプション] メニューの [コメント欄を表示] を選択します。

自動的に IP アドレス再設定

DHCP サーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタの IP アドレスが変更になる場合、自動的に変更された IP アドレスを検索し再設定することができます。

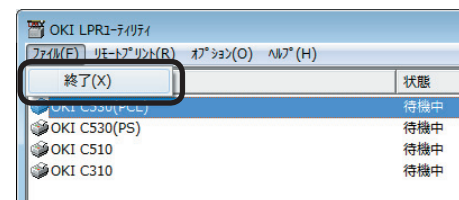
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- 検索対象は、OKI LPR ユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶［オプション］メニューの［設定］を選択します。

❷［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックをつけます。

❸［OK］をクリックします。

削除します

OKI LPR ユーティリティを削除（アンインストール）するときは、以下の操作を行います。

コンピュータの管理者の権限が必要です。

❶［ファイル］メニューの［終了］を選択します。

❷［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI LPR ユーティリティ］-［OKI LPR ユーティリティの削除］を選択します。

❸［はい］をクリックします。

削除が開始されます。

Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版
TCP/IP で動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IP のネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的に Network Extension がインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  OKI LPR Port
  Standard TCP/IP Port
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアップププログラムが起動します。

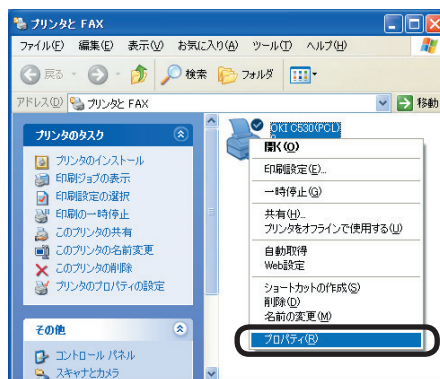
❸［その他のソフトウェア］-［Network Extension］をクリックします。

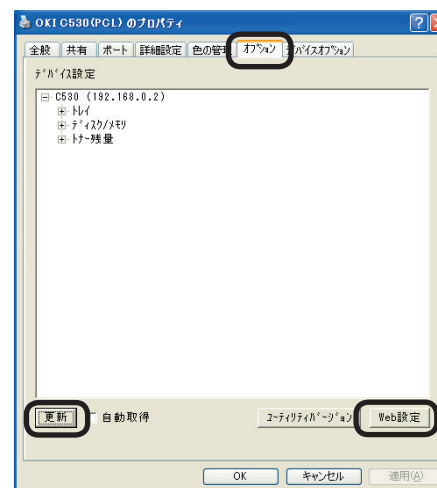
❹［次へ］をクリックします。

❺［完了］をクリックします。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

注 Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は［オプション］タブは表示されません。

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ お使いのプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンタのプロパティ］（Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 の場合は［プロパティ］）を選択します。

（Windows XP PCL ドライバ の画面）

❸［オプション］タブをクリックします。

❹［更新］ボタンをクリックします。「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

❺［OK］をクリックします。

［Web 設定］ボタンをクリックすると、自動的に Web ブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Web ブラウザ」（48 ページ）をご覧ください。

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

Network Extension をインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

Windows PS プリンタドライバの場合

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

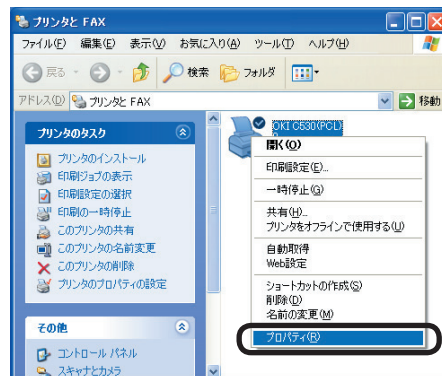
❷ お使いのプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンタのプロパティ］(Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 の場合は［プロパティ］) を選択します。

(Windows XP PS ドライバ の画面)

❸［デバイスの設定］タブをクリックします。

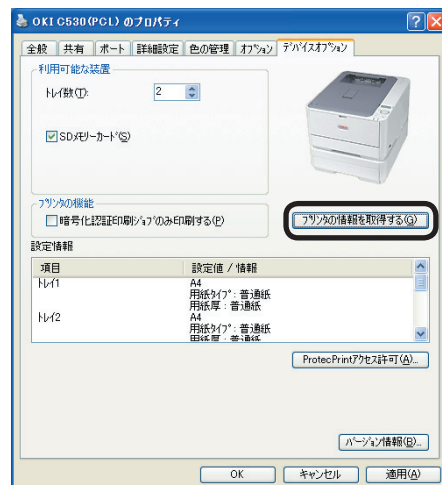
❹［プリンタの情報を取得する］をクリックし、［セットアップ］をクリックします。

❺［OK］をクリックします。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ お使いのプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンタのプロパティ］（Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 の場合は［プロパティ］）を選択します。

❸［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

❺［OK］をクリックします。

（Windows XP PCL ドライバ の画面）

Windows Hiper-C/XPS プリンタドライバの場合

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ お使いのプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プリンタのプロパティ］（Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 の場合は［プロパティ］）を選択します。

❸［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹［プリンタの情報を取得する］をクリックします。

❺［OK］をクリックします。

（Windows XP Hiper-C ドライバ の画面）

削除します

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

❶ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムのアンインストール] をクリックします。

❷ [OKI Network Extension] を選択し、[アンインストール] をクリックします。

❸ [ユーザアカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

❹ 画面に従って削除します。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合

❶ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

❷ [OKI Network Extension] を選択し、[削除] をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

Windows 2000 の場合

❶ [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択し、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。

❷ [OKI Network Extension] を選択し、[変更と削除] をクリックします。

❸ 画面に従って削除します。

PrintSuperVision MultiPlatform Edition

ネットワークにつながっているプリンタを管理するための Web ベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1 台のコンピュータに PrintSuperVision をインストールし、他のコンピュータから Web ブラウザを使用して、リモートで PrintSuperVision MultiPlatform Edition にアクセスします。

- PrintSuperVision MultiPlatform Edition は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- インストール方法，操作方法については、「PSV ME ユーザーズマニュアル」をご覧ください。
- 「PSV ME ユーザーズマニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

動作環境

PrintSuperVision をインストールするコンピュータ

- Red Hat Enterprise Linux 2.1
- Red Hat Enterprise Linux 3
- Novell SUSE LINUX Professional 9.1
- Novell SUSE LINUX Professional 9.2
- Novell SUSE LINUX Desktop 9
- Novell SUSE LINUX Enterprise Server 9
- Turbolinux 10 Desktop
- Turbolinux 10 Server
- Sun Microsystems Solaris 9 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 10 (x86)
- Sun Microsystems Solaris 9 (UltraSPARC)
- Sun Microsystems Solaris 10 (UltraSPARC)
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Server 2003
- Sun Java System Application Server Platform Edition8 がインストールされているコンピュータまたは、インストール可能なコンピュータ
- TCP/IP で動作するコンピュータ

PrintSuperVision にリモートでアクセスするコンピュータ

- 以下のブラウザのうちのいずれかがインストールされているコンピュータ
  Microsoft Internet Explorer Ver 5.5 以上
  Microsoft Internet Explorer for PocketPC2002 以上
  Firefox Ver 1.0 以上
  Mozilla Ver 1.2 以上
  Safari Ver 1.1 以上
- TCP/IP で動作しているコンピュータ

- PSV ME アプリケーションは、上記のブラウザがサポートするどの Windows、Macintosh、Unix、Linux デスクトップからでもアクセスする事ができます。
- お使いのブラウザのキャッシュ機能を無効にすると安全です。
- PSV ME は通信の為にポート 25（SMTP）、110（POP3）、995（POP3S）、161（SNMP）、162（SNMP-Trap）、8080（HTTP）、1043（HTTPS）、及び 50702（PrintSuperVision［デーモン］）を使用します。 お使いの環境のファイアウォールはこれらのポートに対するアクセスを許可する設定がなされている必要があります。
- PSV ME のインストールプログラムは、256色 800x600 の解像度以上の能力を持つビデオアダプタが必要です。
- アプリケーションについての補足情報に関しては、オンラインヘルプを参照してください。
- PSV ME は PrintSuperVision 1.2.x と互換性はありません。
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 では動作しません。

Web Driver Installer

- Web Driver Installer は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されておりません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- Web Driver Installer のインストール方法，操作方法については、Web Driver Installer のマニュアルをご覧ください。
- Web Driver Installer のマニュアルは、沖データホームページから入手できます。

Web Driver Installer とは

Web Driver Installer は、Web ベースのアプリケーションです。以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- TCP/IP ネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索したプリンタを Web ページに表示します。
- ユーザに検索したプリンタのプリンタドライバインストールプログラムがダウンロードできる URL を E メールで通知します。

また、部門やフロアごとにグループを作成してプリンタとユーザを管理できます。

特徴

グループ管理

Windows エクスプローラのように、プリンタやユーザを階層的に管理することができます。

自動検索機能

Web Driver Installer は、ネットワーク上に新しく接続されたプリンタがあるかを一定時間間隔で検索します。この間隔は、管理者が 5 分から 2 週間の間で設定します。この機能は、無効にすることもできます。無効にした場合、管理者は手動で検索する必要があります。
Web Driver Installer に登録されているプリンタドライバがサポートしているプリンタを検出した場合に、ユーザに E メールを送信します。

プリンタドライバ登録機能

Web Driver Installer にはあらかじめ、登録できるプリンタとプリンタドライバの種類が記憶されています。管理者は、Web Driver Installer の運用を開始する前に TCP/IP ネットワーク上に接続されているプリンタのためのプリンタドライバを登録できます。また、運用中に自動検索機能により、新しく検索されたプリンタのプリンタドライバが登録されていないことを通知する E メールを受け、E メールに記載されているプリンタドライバを登録できます。
この作業は、Web Driver Installer をインストールしたサーバコンピュータ上で行う必要があります。

E メール送信機能

Web Driver Installer は、登録されているユーザに自動的に E メールを送信します。

プリンタドライバインストール機能

ユーザは Web ブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
また、E メールによる［プリンタの追加］通知に記載されている URL へアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ（以下、サーバコンピュータと略す）

Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 4 以上がインストールされているコンピュータ

サーバコンピュータから Web Driver Installer に Web ブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5 以上または、Netscape Navigator 6.0 以上が必要です。
Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installer のインストール前に Microsoft のホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installer をインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、TCP ポート番号と、サイトを変更すると Web Driver Installer は動作しません。
- Windows XP、Windows Server 2003 をお使いの場合は Web Driver Installer ユーザーズマニュアルの「Windows XP Service Pack2、Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項」をご覧ください。
- Windows XP/Windows Server 2003 64bit 版にはインストールできません。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ（以下、クライアントコンピュータと略す）

Windows 日本語版
TCP/IP ネットワークに接続されているコンピュータ
Internet Explorer 5.5 以上または Netscape Navigator 6.0 以上がインストールされているコンピュータ
E メールが受信できるように設定されているコンピュータ
OKI LPR ユーティリティのバージョン 3.08 以上がインストールされているコンピュータ
また、Web ブラウザからマニュアルを参照するために Acrobat Reader がインストールされている必要があります。

- Web Driver Installer の「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- Windows 7/Windows Server 2008/Windows Vista では動作しません。

Web ブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver6.0 以上または FireFox Ver3.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。
［ツール］メニューの［インターネットオプション］-［プライバシー］-［設定］を「中」に設定します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C530dn
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
MAC アドレス	: 00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

MAC アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（306 ページ）

起動します

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

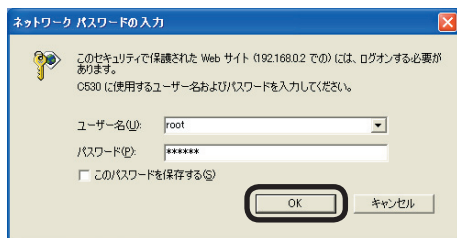
プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.2/
　　　誤った入力値：http://192.168.000.002/

設定します

注 Web ブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸ネットワーク上で確認できるプリンタ情報を設定し、［OK］または［スキップ］をクリックします。

注
- ［スキップ］をクリックすると、設定を省略できます。
- ［次回からこのページを表示しない］にチェックをつけて、［OK］または［スキップ］をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

❹ 下の画面が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

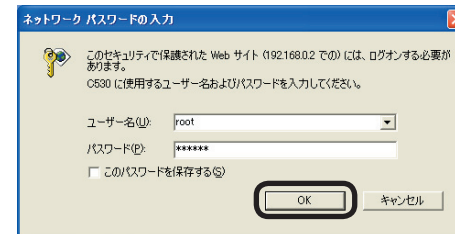
メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸ [セキュリティ] タブをクリックします。

❹ [管理者パスワード変更] をクリックします。

❺ [新しい管理者パスワード] に新しいパスワードを入力し、[新しい管理者パスワードの再入力] に再度新しいパスワードを入力します。

- パスワードを入力すると、画面上では「●●●●●●」と表示されます。
- パスワードは 6 ～ 12 桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❻ [送信] をクリックします。

❼ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

このパスワードは TELNET、Configuration Tool、NIC 設定ツールのパスワードとは異なります。ここでパスワードを変更すると、操作パネルの管理者用メニューのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

［プリンタステータス］

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されている IP アドレスも確認することができます。

［プリンタ詳細情報］

プリンタのシステム情報を確認することができます。

［ネットワーク詳細情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［一般プリンタ設定］

ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

［印刷設定］

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［用紙設定］

各トレイの用紙サイズ、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［カラー設定］

色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

［プリンタ構成設定］
　パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［PCL 設定］（C530dn のみ）
　サポートしているエミュレーションを設定できます。

［インターフェース設定］
　ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

［メモリ設定］
　受信バッファサイズの設定等を設定できます。

［システム設定］
　ニアライフワーニング発生時の LED/LCD の制御方法等を設定できます。

［保存 / 復元］
　現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。

プリンタタブのメニュー設定が対象となります。

［ヘキサダンプ］（C530dn のみ）
　受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

［プリンタ情報印刷］
　ネットワーク設定情報（Network Information）、デモページ等を印刷します。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［一般ネットワーク設定］
　ネットワークプロトコルに関する情報を確認できます。

［TCP/IP］
　TCP/IP に関する情報を設定できます。

［NetWare］（C530dn のみ）
　NetWare に関する情報を設定できます。

［EtherTalk］（C530dn のみ）
　EtherTalk に関する情報を設定できます。

［NBT/NetBEUI］（C530dn のみ）
　NetBEUI に関する情報を設定できます。

［Email］
　プリンタに発生した事象を E メールで通知する機能を設定できます。

[SNMP]
SNMP に関する情報を設定できます。

[IPP]
IPP 印刷をする機能を設定できます。

[SNTP]
プリンタに時刻を設定することができます。

[IEEE802.1X]（C530dn のみ）
IEEE802.1X/EAP に関する情報を設定できます。

ジョブリスト タブ

[表示項目設定]
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

印刷 タブ（C530dn のみ）

[Web 印刷]
任意の PDF ファイルを指定して、印刷することができます。

[Email 印刷]
プリンタが受信した E メールに PDF ファイルが添付されていた場合に、印刷することができます。

セキュリティ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［プロトコル ON/OFF］
ネットワークプロトコルに関する情報の確認やネットワークサービスを停止することができます。

［操作パネルのロック］
操作パネルの操作を禁止状態に設定します。

［IP フィルタリング］
TCP/IP によるアクセスを制限することができます。「IP アドレスでのアクセス制限（IP フィルタ）を使います」、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は IP アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［MAC アドレスフィルタリング ］
MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。
「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［暗号化（SSL/TLS）］（C530dn のみ）
Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）−プリンタ間の通信を暗号化できます。

［IPSec］（C530dn のみ）
コンピュータ（クライアント）- プリンタ間通信の暗号化と改ざん防止のための設定をすることができます。

［管理者パスワード変更］
管理者パスワードを変更することができます。パスワードの初期値は操作パネルの管理者用メニューのパスワードと同じ「aaaaaa」です。

［ネットワークパスワード変更］
TELNET、Configuration Tool、NIC 設定ツールの管理者パスワードを変更します。パスワードの初期値は MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

[再起動 / 初期化]

プリンタの再起動
プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

ネットワークの再起動
ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

プリンタの初期化
プリンタを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、手動で設定した情報は失われてしまいます。

ネットワークの初期化
ネットワークを初期化します。初期化すると、IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、Web ページが表示できなくなることがあります。

[ネットワークの規模の設定]
ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つハブを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを 1 対 1 で接続する場合などに効果を発揮します。

[時刻設定]
プリンタに時刻を設定することができます。

リンク　タブ

[リンク]
製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

[リンク編集メニュー]
管理者が好きな URL を設定できます。
サポートリンクを 5 件、その他リンクを 5 件登録できます。
URL は、http:// も含めて入力してください。

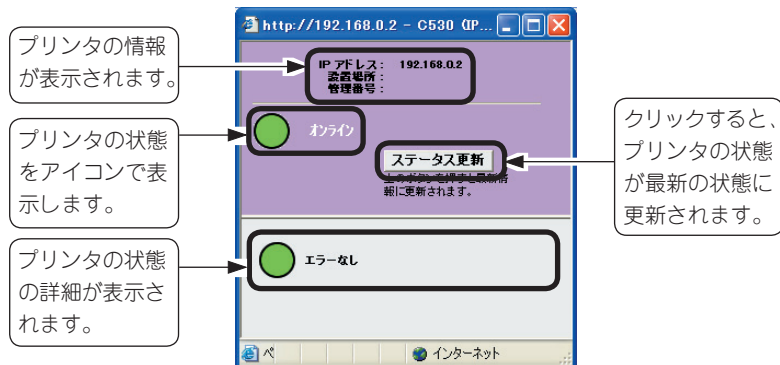
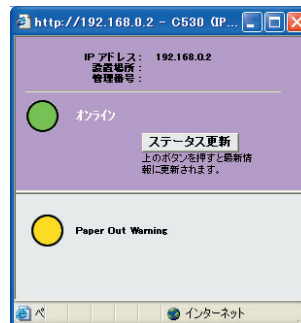
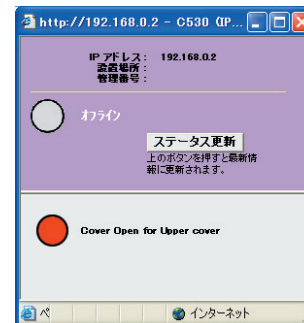
ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を Web ブラウザで確認できます。

「Web ブラウザ」（48 ページ）の「動作環境」を確認してください。

機能説明

プリンタ状態アイコン	詳　細
緑	エラーなし / オンライン
黄	軽障害（印刷は可能）
赤	重障害（印刷は不可能）
薄紫	オフライン

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

〈カバーが開いている場合〉

TELNET

プリンタの各ネットワークプロトコルの設定ができます。

設定します

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows : Windows XP Professional
プリンタ : C530dn
IP アドレス : 192.168.0.2
MAC Address : 00:80:87:84:9C:9B

MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（306 ページ）

❶ Windows のコマンドプロンプトを起動します。

❷ ping コマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

❸ telnet でプリンタに接続します。

ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「MAC Address の英数字下 6 桁」です。

```
telnet 192.168.0.2

C530 TELNET Server (Ver 01.00).

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  M E N U (level.1)
------------------------------------------------------------------
  1 : Status / Information
  2 : Printer Config
  3 : Network Config
  4 : Security Config
  5 : Maintenance
 99 : Exit Setup
Please select(1 - 99)?
```

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

ストレージデバイスマネージャ

プリンタの SD メモリーカード（オプション）の設定､フォームデータの登録や削除、保存ジョブの管理をするユーティリティです。

- ストレージデバイスマネージャは「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。
- 管理者メニューの［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定してある場合、PS パーティション (%disk0%) へのアクセス、フォームの登録、フォームのテスト印刷、保存ジョブの印刷機能は使用できません。管理者メニューの［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版
InternetExplorer4.0 以上がインストールされていること

インストールします

❶ 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、インストーラが起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

❶［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

詳しくは
- 「フォームを登録したい（フォームオーバーレイ）」（135 ページ）
- 「SD メモリーカード（オプション）を初期化したい」（253 ページ）
- 「SD メモリーカード（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）」（258 ページ）

をご覧ください。

PDF Print Direct（C530dn のみ）

プリンタに PDF ファイルを直接送り印刷することで、Adobe Reader などのようなアプリケーションを起動してファイルを開く手間が省きます。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版

- セットアップにはコンピュータの管理者権限が必要です。
- PDF ファイルによっては、正しく印刷されない場合があります。正しく印刷されない場合は、Adobe Reader などのアプリケーションから印刷してください。
- 本機能ではマルチページ印刷は未対応です。
- 閲覧者に印刷許可を与えていない PDF ファイルは印刷できません。
- 管理者メニューの［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定してある場合、本ユーティリティを使用しての印刷はできません。管理者メニューの［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

メモ　オプションの SD メモリーカードを取り付けると、より大きなジョブを印刷できるようになります。

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

セットアップブログラムが起動します。

❸［その他のソフトウェア］-［PDF Print Direct］をクリックします。

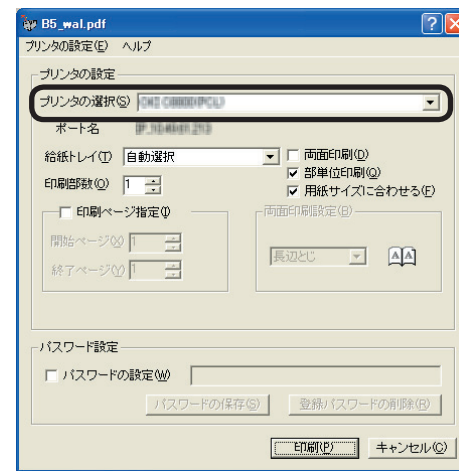
❹ セットアッププログラムが開始されるので、［次へ］をクリックします。

❺［完了］をクリックします。

PDF Print Directユーティリティを使ってPDFファイルを印刷します

❶ プリンタフォルダに［OKI C530(**)］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンがあることを確認します。

❷ 印刷したい PDF ファイルを選択し、マウスの右ボタンをクリックします。次のようなメニューが表示され、［PDF Print Direct］を選択します。

❸ 印刷可能な PDF ファイルの場合、下の画面が表示されます。使用するプリンタドライバを［プリンタの選択］で選択します。

❹ 暗号化ファイルを印刷する場合は、［パスワードの設定］にチェックをつけて、パスワードを入力します。今後も同じパスワードを使用する場合は、［パスワードの保存］をクリックします。パスワードが不要になった場合は、［登録パスワードの削除］をクリックします。登録できるパスワードは 1 つです。

❺ 必要な項目を設定し、［印刷］をクリックします。

プリントジョブアカウンティング Lite

プリントジョブアカウンティング Lite は、印刷ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うソフトウェアです。

プリントジョブアカウンティング Lite は「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

動作環境

Windows 7(32bit 版)/Windows Vista(32bit版)/Windows Server 2008(32bit版)/Windows XP(32bit版)/Windows Server 2003(32bit版)/Windows 2000 日本語版

各 OS の 64bit版では使用できません。

インストールします

❶ 沖データホームページからダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

自動的にファイルが解凍され、インストーラが起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

❶ [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティング Lite] - [プリントジョブアカウンティング Lite] を選択します。

詳しくは「操作マニュアル」をご覧ください。「操作マニュアル」は、沖データホームページから入手できます。

- 工場出荷時の状態で保存可能ログ数については、「プリントジョブアカウンティングの使用について」(396 ページ) をご覧ください。
- プリントジョブアカウンティング Lite では、ユーザ ID を登録することはできません。

2 Macintosh ソフトウェア

Macintosh スクリーンフォント

動作環境

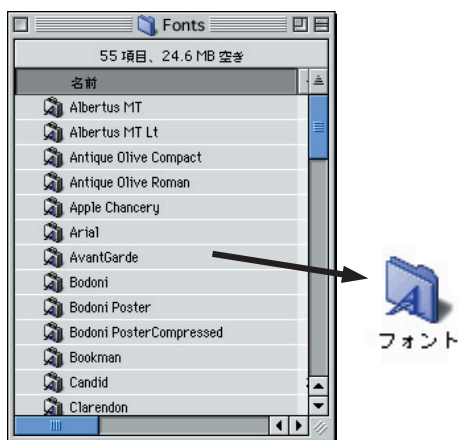
MacOS 9.0 ～ 9.2.2 日本語版

Mac OS X では利用できません。

欧文スクリーンフォントをインストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- Mac OS X では常に TrueType スクリーンフォントで印刷されます。
- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されておりません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintosh のシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントは MacOS 添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

MicrolinePS Utility

以下の設定を Macintosh で行うユーティリティです。

- プリンタ名 / ゾーン名の変更
- ファイルのダウンロード
- フォントリスト表示
- SD メモリーカードの初期化
- フォントの置き換え
- ハーフトーン調整
- パネル言語ファイルのダウンロード

動作環境

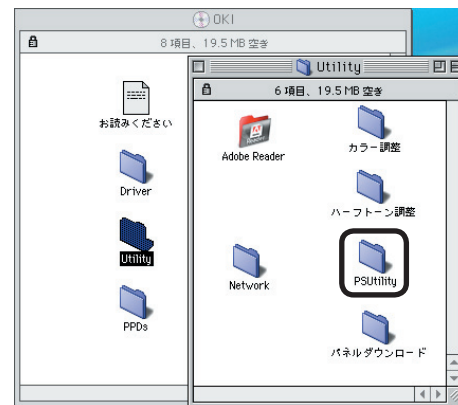
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk インタフェースを搭載している機種
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- Mac OS X では利用できません。
- 管理者メニューの［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定されている場合、本ユーティリティを使用しての印刷はできません。管理者メニューの［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

インストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸［PSUtility］フォルダを開きます。

❹ PSUtil for MacOS をダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

❶ ネットワーク接続の場合、セレクタで［LaserWriter8］をクリックし、プリンタ名を選択し、セレクタを閉じます。

USB 接続の場合、デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューの［省略時プリンタに指定］を選択します。

❷ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］フォルダ内の［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

詳しくは

- 「EtherTalk プリンタ名を変更したい」（358 ページ）
- 「EtherTalk ゾーンを変更したい」（359 ページ）
- 「プリンタ内蔵フォントを確認したい」（252 ページ）
- 「ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい」（161 ページ）
- 「プリンタフォントに置き換えて印刷したい」（147 ページ）
- 「コンピュータのフォントで印刷したい」（149 ページ）
- 「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（233 ページ）
- 「SD メモリーカード（オプション）を初期化したい」（253 ページ）
- 「操作パネルの表示言語を変更したい（Macintosh）」（267 ページ）

をご覧ください。

PS ハーフトーン調整ユーティリティ

以下の設定を Mac OS X で行うユーティリティです。

- ハーフトーン調整

動作環境

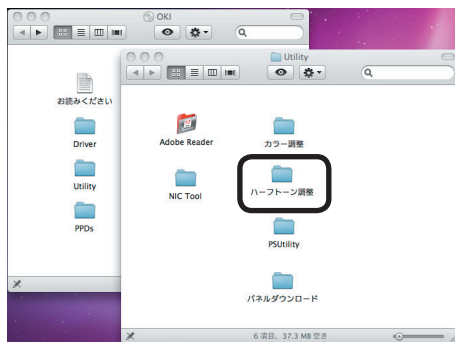
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 日本語版が動作する Macintosh

MacOS 9.0 から 9.2.2 では利用できません。

インストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸［ハーフトーン調整］フォルダを開きます。

❹ Halftone for MacOSX をダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

[アプリケーション]-[OKIDATA]-[Halftone]フォルダ内の[PS ハーフトーン調整ユーティリティ]をダブルクリックします。

詳しくは「写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）」（233 ページ）をご覧ください。

Web ブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Safari Ver2.0 以上または FireFox Ver3.0 以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IP で動作しているコンピュータ

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C530dn
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
MAC アドレス	: 00:80:87:84:9C:9B
Web ブラウザ	: Safari ver.3.0

起動します

❶ Web ブラウザを起動します。

❷ [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：http://192.168.0.2/
　　　誤った入力値：http://192.168.000.002/

設定します

Web ブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶ [管理者のログイン] をクリックします。

❷ [名前] に「root」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸ プリンタ情報を設定し、[OK] をクリックします。または [スキップ] をクリックします。

注

- [スキップ] をクリックすると、設定を省略できます。
- [次回からこのページを表示しない] にチェックをつけて [OK] または [スキップ] をクリックすると、次回以降のログイン時に表示されなくなります。

❹ 下の画面が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［名前］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸［セキュリティ］タブをクリックします。

❹［管理者パスワード変更］をクリックします。

❺［新しい管理者パスワード］に新しいパスワードを入力し、［新しい管理者パスワードの再入力］に再度新しいパスワードを入力します。

・パスワードを入力すると、画面上では「●●●●●●」と表示されます。
・パスワードは 6 ～ 12 桁までの英数字を入力してください。
・パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❻［送信］をクリックします。

❼プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源の OFF/ON は必要ありません。

注

このパスワードは TELNET、NIC 設定ツールのパスワードとは異なります。ここでパスワードを変更すると、操作パネルの管理者用メニューのパスワードも変更されます。

ステータス　タブ

［プリンタステータス］

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されている IP アドレスも確認することができます。

［プリンタ詳細情報］

プリンタのシステム情報を確認することができます。

［ネットワーク詳細情報］

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［一般プリンタ設定］

ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

［印刷設定］

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［用紙設定］

各トレイの用紙サイズ、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

［カラー設定］

色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

［プリンタ構成設定］
パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

［PCL 設定］（C530dn のみ）
サポートしているエミュレーションを設定できます。

［インターフェース設定］
ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

［メモリ設定］
受信バッファサイズの設定等を設定できます。

［システム設定］
ニアライフワーニング発生時の LED/LCD の制御方法等を設定できます。

［保存 / 復元］
現在のメニュー設定を保存、または保存しているメニュー設定に変更することができます。

プリンタタブのメニュー設定が対象となります。

［ヘキサダンプ］（C530dn のみ）
受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

［プリンタ情報印刷］
ネットワーク設定情報（Network Information）、デモページ等を印刷します。

ネットワーク　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［一般ネットワーク設定］
ネットワークプロトコルに関する情報を確認できます。

［TCP/IP］
TCP/IP に関する情報を設定できます。

［NetWare］（C530dn のみ）
NetWare に関する情報を設定できます。

［EtherTalk］（C530dn のみ）
EtherTalk に関する情報を設定できます。

［NBT/NetBEUI］（C530dn のみ）
NetBEUI に関する情報を設定できます。

［Email］
プリンタに発生した事象を E メールで通知する機能を設定できます。

［SNMP］
プリンタに発生した事象を SNMP で通知する機能を設定できます。

［IPP］
IPP 印刷をする機能を設定できます。

［SNTP］
プリンタに時刻を設定することができます。

［IEEE802.1X］（C530dn のみ）
IEEE802.1X/EAP に関する情報を設定できます。

ジョブリスト　タブ

［表示項目設定］
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

印刷　タブ（C530dn のみ）

［Web 印刷］
任意の PDF ファイルを指定して、印刷することができます。

［Email 印刷］
プリンタが受信した E メールに PDF ファイルが添付されていた場合に、印刷することができます。

セキュリティ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［プロトコル ON/OFF］
ネットワークプロトコルに関する情報の確認やネットワークサービスを停止することができます。

［操作パネルのロック］
操作パネルの操作を禁止状態に設定します。

［IP フィルタリング］
TCP/IP によるアクセスを制限することができます。「IP アドレスでのアクセス制限（IP フィルタ）を使います」、「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は IP アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［MAC アドレスフィルタリング］
MAC アドレスによるアクセス制限をすることができます。「この人には印刷だけ許可しよう」、「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能は MAC アドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

［暗号化（SSL/TLS）］（C530dn のみ）
Web ページからの設定および IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）－プリンタ間の通信を暗号化できます。

［IPSec］（C530dn のみ）
コンピュータ（クライアント）- 装置間通信の暗号化と改ざん防止のための設定をすることができます。

［管理者パスワード変更］
管理者パスワードを変更することができます。パスワードの初期値は操作パネルの管理者用メニューのパスワードと同じ「aaaaaa」です。

［ネットワークパスワード変更］
TELNET、NIC 設定ツールの管理者パスワードを変更します。パスワードの初期値は MAC アドレスの英数字下 6 桁です。

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示されます。

［再起動 / 初期化］

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまで Web ブラウザからアクセスしても、Web ページは表示されません。

プリンタの初期化

プリンタを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、手動で設定した情報は失われてしまいます。

ネットワークの初期化

ネットワークを初期化します。初期化すると、IP アドレスが初期状態に戻ってしまうため、Web ページが表示できなくなることがあります。

［ネットワークの規模の設定］

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つハブを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを 1 対 1 で接続する場合などに効果を発揮します。

［時刻設定］

プリンタに時刻を設定することができます。

リンク　タブ

［リンク］

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

［リンク編集メニュー］

管理者が好きな URL を設定できます。
サポートリンクを 5 件、その他リンクを 5 件登録できます。
URL は、http:// も含めて入力してください。

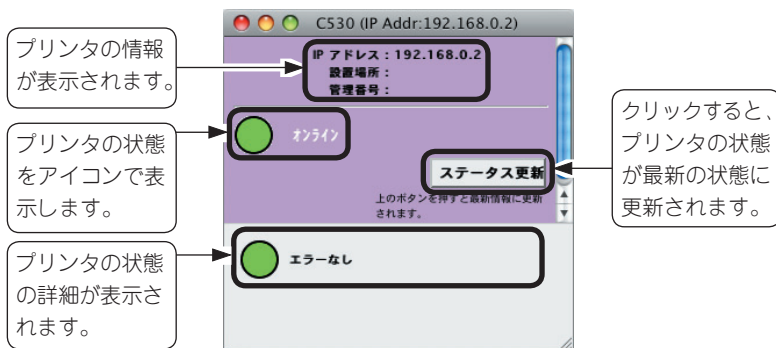
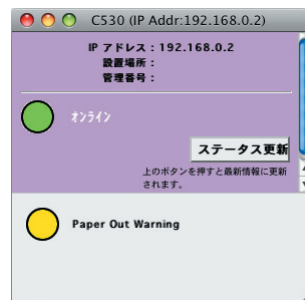
ステータスウインドウを使います

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態をWebブラウザで確認できます。

「Web ブラウザ」（68 ページ）の「動作環境」を確認してください。

機能説明

プリンタ状態アイコン	詳　細
（緑）	エラーなし / オンライン
（黄）	軽障害（印刷は可能）
（赤）	重障害（印刷は不可能）
（薄紫）	オフライン

表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

〈カバーが開いている場合〉

NIC 設定ツール（Macintosh）

プリンタのネットワークの設定や Web ブラウザの表示を行うことができます。

動作環境

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6（日本語版）
Mac OS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2（日本語版）

- 10.6 使用時は Rosetta が必要です。
- MacOSX では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、Mac OS X を例にしています。

インストールします

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷「Utility」フォルダを開きます。

❸「NIC Tool」-「OSX」フォルダを開きます。

❹［NICTool-J for MacOSX］をダブルクリックします。

NICTool-J for MacOSX

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❽ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

［アプリケーション］-［OKIDATA］-［NIC 設定ツール］フォルダ内の［NIC 設定ツール］をダブルクリックします。

NIC設定ツール

NIC 設定ツールの機能について説明します。

プリンタを検索します

［ファイル］メニューの［プリンタ検索］を選択すると、本ツールに対応したプリンタの情報がリストに表示されます。

「検索するプリンタの条件を設定したい」(82 ページ) をご覧ください。

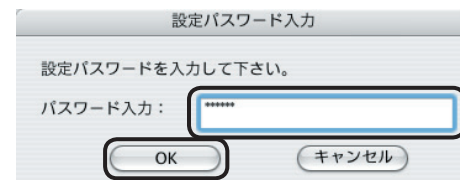
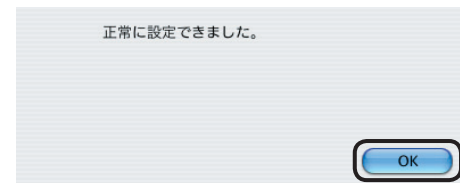
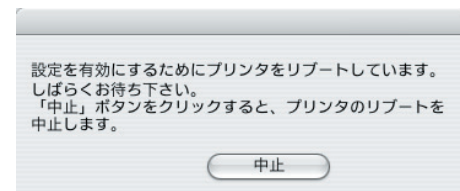
IP アドレスを設定します

初期設定では IP アドレス取得方法が「DHCP/BOOTP」になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

❶ NIC 設定ツールのメインダイアログのリストから、設定を変更したいプリンタを選択し、［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

❷ 必要な項目を入力し［設定］をクリックします。

❸［パスワード入力］にパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

注 初期設定では、パスワードは MAC アドレスの下 6 桁になっています。

❹ 正常に設定された場合、設定完了を知らせるアラートダイアログが表示されます。［OK］をクリックします。

❺ プリンタの再起動が始まります。再起動中はアラートダイアログを表示します。

❻ プリンタの再起動が終了すると、メインダイアログに戻ります。

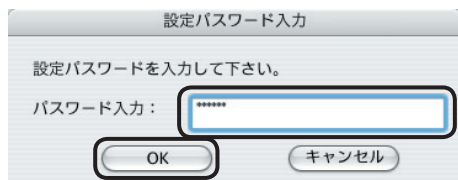
❼ NIC 設定ツールを終了します。

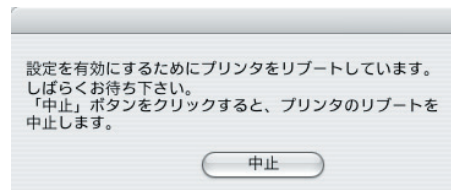
Web の設定を行いたい

❶［設定］メニューの［Web 設定］を選択します。

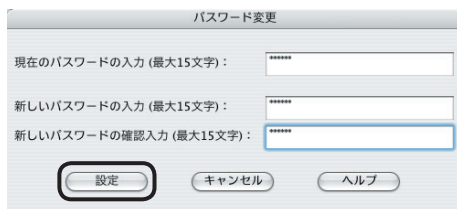
❷ Web 設定の有効 / 無効を選択し、［設定］をクリックします。

❸［パスワード入力］にパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

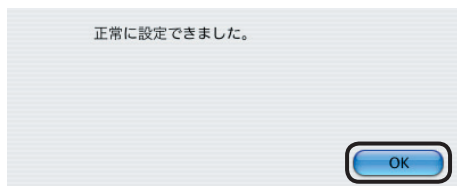
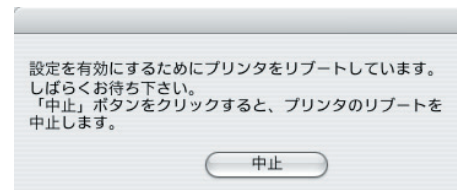
注 初期設定では、パスワードは MAC アドレスの下 6 桁になっています。

❹ 正常に設定された場合、設定完了を知らせるアラートダイアログが表示されます。［OK］をクリックします。

❺ プリンタの再起動が始まります。再起動中はアラートダイアログを表示します。

❻ プリンタの再起動が終了すると、メインダイアログに戻ります。

❼ NIC 設定ツールを終了します。

Web ページを表示したい

❶ NIC 設定ツールのメインダイアログのリストから、設定を変更したいプリンタを選択し、［設定］メニューの［WEB ページ表示］を選択します。

❷ 選択したプリンタの Web ページが表示されます。

パスワードを変更したい

プリンタの設定用パスワードを変更することができます。

❶ NIC 設定ツールのメインダイアログのリストから、設定を変更したいプリンタを選択し、［設定］メニューの［パスワード変更］を選択します。

❷ 現在のパスワードを入力します。

❸ 新しいパスワードを入力します。

❹ 確認のため、新しいパスワードを再度入力します。

❺［設定］ボタンをクリックします。

❻ 正常に設定された場合、設定完了を知らせるアラートダイアログが表示されます。［OK］をクリックします。

❼ プリンタの再起動が始まります。再起動中はアラートダイアログを表示します。

❽ プリンタの再起動が終了すると、メインダイアログに戻ります。

❾ NIC 設定ツールを終了します。

以下、NIC 設定ツールの環境設定について説明します。
設定は、次回、NIC 設定ツールを起動するときまで保存されます。

検索するプリンタの条件を設定したい

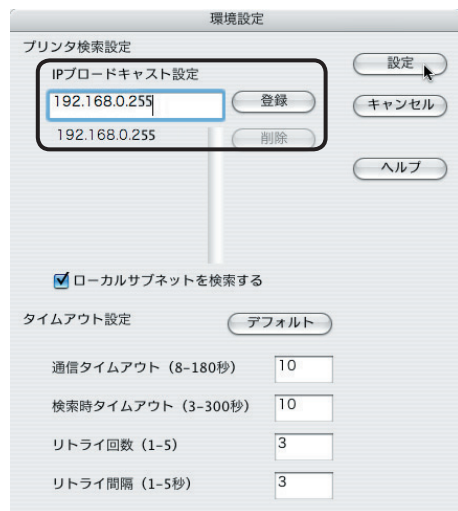
「ローカルサブネットを検索する」チェックボックスをチェックすることにより、同一セグメント上に存在するプリンタを検索することが出来ます。

この設定は初期設定で有効になっています。
個別でプリンタを検索する場合、検索するプリンタの IP アドレスの追加および削除を行うことができます。

❶［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

❷ 登録したい IP アドレスを入力します。

❸［登録］ボタンをクリックします。登録したアドレスはリストに表示されます。

登録した IP アドレスを削除したい場合、削除したいアドレスをリスト上で選択して［削除］ボタンをクリックします。

❹［設定］ボタンをクリックします。

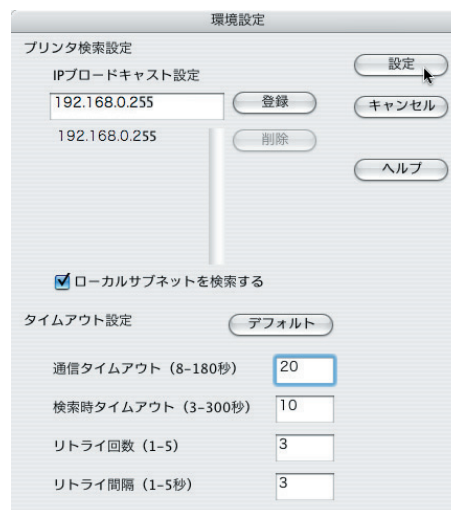
チェックボックスのチェックおよび IP アドレスの登録 / 削除内容は、［設定］ボタンをクリックしないと有効になりません。

タイムアウト条件を設定したい

検索時のタイムアウト、設定時のタイムアウト、リトライ回数およびリトライ間隔を設定することができます。

❶［オプション］メニューの［環境設定］を選択します。

❷ 必要な項目を入力します。

［デフォルト］ボタンをクリックすると各設定の初期値が入力されます。

❸［設定］ボタンをクリックします。

Profile Assistant

プリンタの SD メモリーカード内に ICC プロファイルを登録・管理します。ICC プロファイルはドライバの［グラフィックプロ］モードのカラーマッチングに使用します。

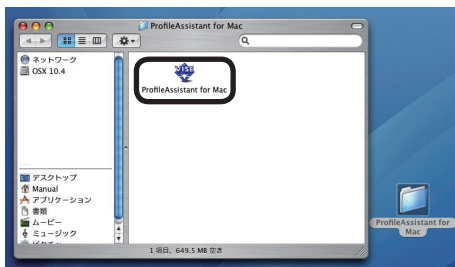
動作環境

MacOS 9.2 ～ 9.2.2 日本語版が動作し、Carbon Lib 1.6 以降がインストールされている Macintosh
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6（日本語版）

- Mac OS 9 をお使いの方で Carbon Lib 1.6 未満の場合にはアップルのホームページから Carbon Lib 1.6 以降を入手し、インストールしてください。
- 10.6 をお使いの方は、Rosetta が必要です。

インストールします

画面は Mac OS X 10.4 を例にしています。

❶ 沖データホームページより入手したファイルを解凍し、解凍されたフォルダ内の「ProfileAssistant for Mac」をダブルクリックします。

❷「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❸「お読みください」の内容を確認し、［続ける］をクリックします。

❹ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

❺ 画面の指示に従ってセットアップします。

起動します

OS9：（起動ディスク）: MicrolinePS: プロファイルアシスタント : ProfileAssistant.app
OS X：（起動ディスク）: アプリケーション : OKIDATA: プロファイルアシスタント : プロファイルアシスタント
をダブルクリックします。

詳しくは

- 「ICC プロファイルをプリンタにダウンロードする」（178 ページ）
- 「ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（184 ページ）

をご覧ください。

カラー調整ユーティリティ

Macintosh 上でプリンタのカラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。

動作環境

MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作し、Carbon Lib1.6 以降がインストールされている Macintosh
Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6（日本語版）

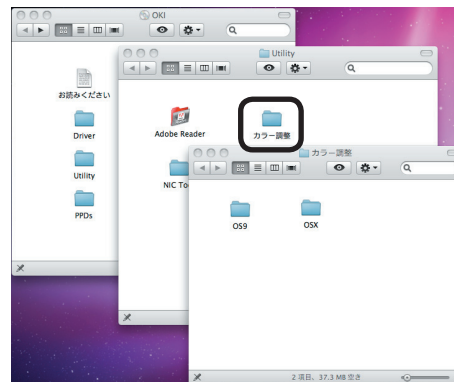
OS9 をご使用の場合で Carbon Lib1.6 未満の場合にはアップルのホームページから Carbon Lib1.6 以降を入手し、インストールしてください。

インストールします

画面は Mac OS X 10.6 を例にしています。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］フォルダを開きます。

❸［カラー調整］フォルダを開きます。

❹［OSX］フォルダ内の ColorCor-J for MacOSX をダブルクリックします。
MacOS 9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 環境でお使いの方は、［OS9］フォルダ内の ColorCor-J for MacOS をダブルクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ インストール内容を確認し、［インストール］をクリックします。

起動します

OS 9： 起動ディスク：アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合、Applications（MacOS 9））：OKIDATA：カラー調整ユーティリティ：（お使いのプリンタ名）：カラー調整ユーティリティ
OS X： 起動ディスク：アプリケーション：OKIDATA：カラー調整ユーティリティ：（お使いのプリンタ名）：カラー調整ユーティリティ

をダブルクリックします。

3 いろいろな用紙に印刷するための設定

- この章では、Windows では[ワードパッド]、Macintosh では[SimpleText]、Mac OS X では[テキストエディット]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。
- Mac OS X 10.6 で、64 ビットアプリケーションから印刷する場合、アプリケーションの[情報を見る]（または、[詳しい情報]）-[一般情報]内の[32 ビットモードで開く]にチェックしてアプリケーションを起動してください。

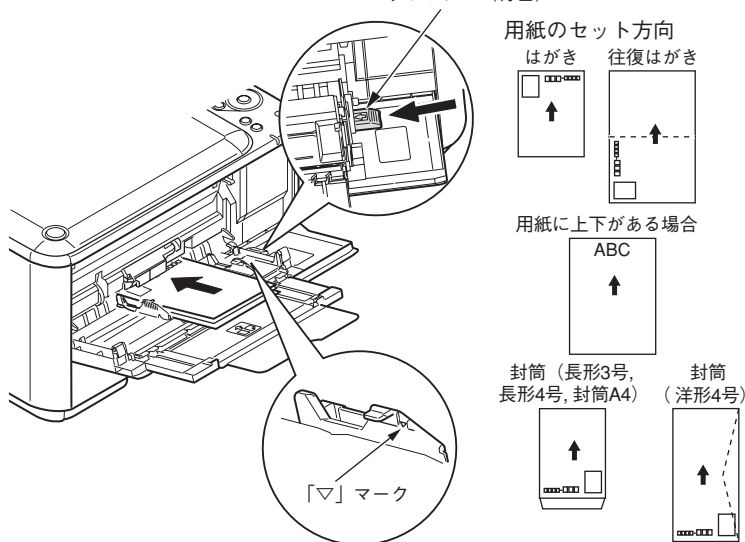
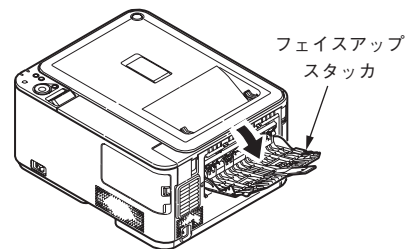
はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

メモ　使用できるはがき・封筒の種類については、「使用できる用紙」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

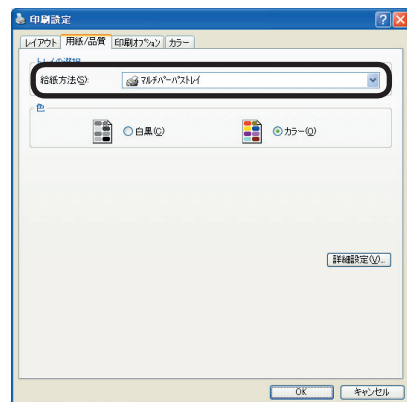
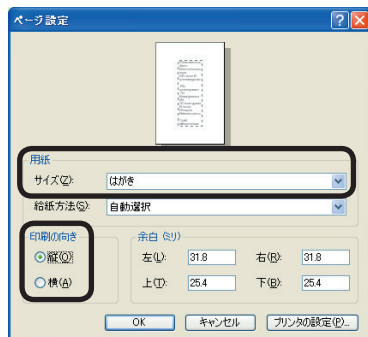
はがき、往復はがき、封筒はマルチパーパストレイから印刷します。
詳しくはセットアップと使いかた編「3 章　印刷する」をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくはセットアップと使いかた編「3 章　印刷する」をご覧ください。

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- はがき、往復はがき、封筒は用紙カセットからの印刷や、両面印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。

メモ　詳しくはセットアップと使いかた編「2 章　基本操作」の「用紙のセット」をご覧ください。

4 印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

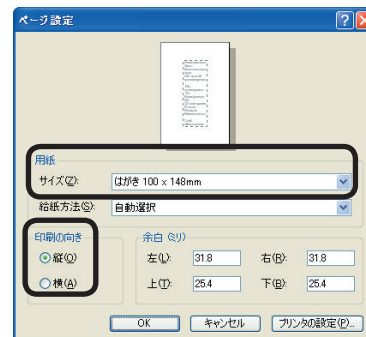
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。

❺［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

- 封筒 1~4 で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［横］を選択します。
- 封筒 1～4 で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［印刷の向き］で［縦］を選択します。「印刷」画面の［用紙 / 品質］タブの［詳細設定］をクリックして［180°］で［回転あり］を選択します。

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒 1］～［封筒 4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

3

はがき、往復はがき、封筒に印刷したい

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

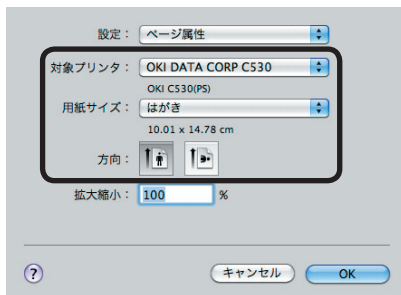
❷［用紙］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒1］～［封筒4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

- 封筒１～４で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で横方向を選択します。
- 封筒１～４で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「用紙設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［ジョブオプション］パネルで［180°］にチェックをつけます。

❺［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［はがき］、［往復はがき］または［封筒1］～［封筒4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

- 封筒１～４で、縦長（長形でフラップ（のりしろ）が上になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で縦方向を選択します。［ファイル］の「プリント」画面の［プリンタの機能］パネルの［印刷オプション］機能セットで［180°］にチェックをつけます。
- 封筒１～４で、横長（長形でフラップ（のりしろ）が右側になる向き）に印刷する場合、「ページ設定」画面の［方向］で横方向（中央のアイコン）を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

メモ Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❷ [対象プリンタ] でプリンタの機種名を選択し、[用紙サイズ] で [はがき]、[往復はがき] または [封筒1] ～ [封筒 4]、[方向] で適切な方向を選択し、[OK] をクリックします。

❸ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❹ [プリンタ] でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺ [給紙] パネルで [マルチパーパストレイ] を選択します。

❻ [プリント] をクリックし、印刷します。

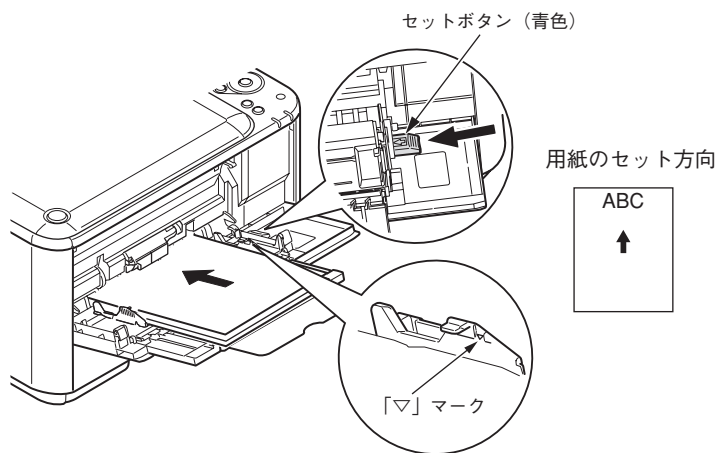
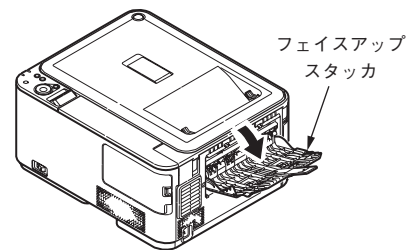
メモ Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

ラベル紙に印刷したい

メモ　使用できるラベル紙の種類については、「使用できる用紙」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

1 用紙をセットし、セットボタンを押します。

ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷することができます。
詳しくはセットアップと使いかた編「3 章　印刷する」をご覧ください。

- マルチパーパストレイから手差しで 1 枚ずつ印刷することもできます。詳しくはセットアップと使いかた編「3 章　印刷する」をご覧ください。
- ラベル紙はトレイ 1、トレイ 2（オプション）からの印刷や、両面印刷はできません。
- 印刷速度は遅くなります。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。

詳しくはセットアップと使いかた編「2 章　基本操作」の「用紙のセット」をご覧ください。

4 操作パネルでメディアタイプを設定します。

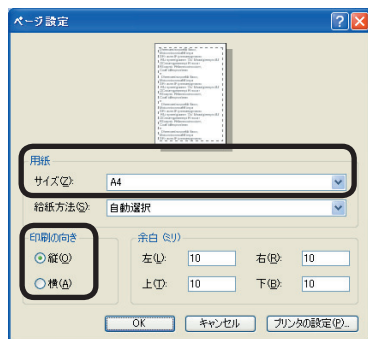
❶ ▲ スイッチを数回押して［メディア　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▼スイッチを数回押して［MP　トレイ　メディアタイプ］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ ▼スイッチを数回押して［ラベルシ］を選択し、OK スイッチを押します。
［ラベルシ］が設定されました。

❹ オンラインスイッチを押し、［オンライン］を表示します。

5 印刷したいファイルを開きます。

6 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

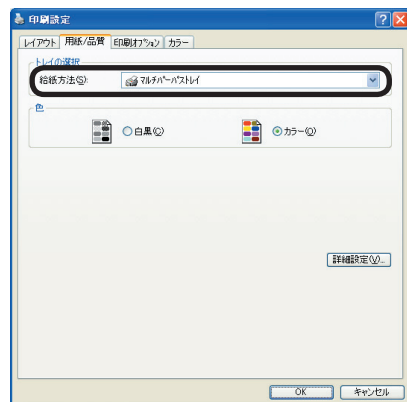
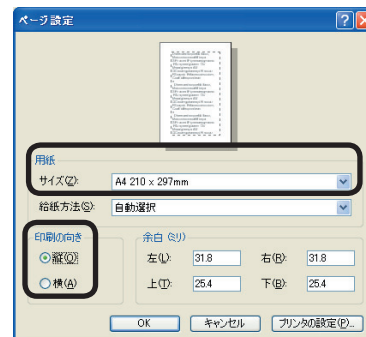
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。

❺［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］または［レター］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

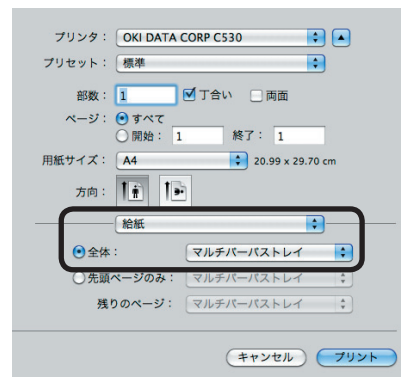
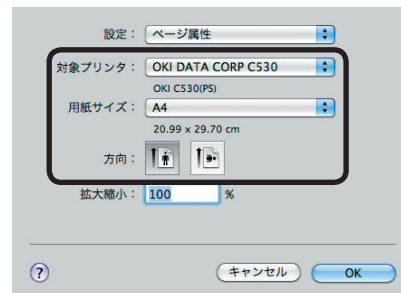
❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］で［A4］または［レター］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❺［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

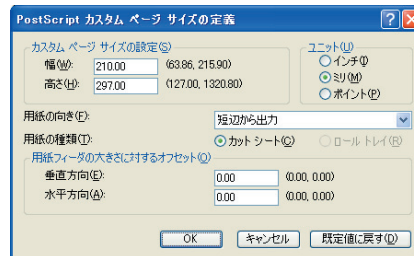
Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）

独自の用紙サイズを設定して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

［設定できるサイズ］
幅　：64 ～ 215.9mm
長さ：127 ～ 1320.8mm
［用紙カセットから給紙できるサイズ］
幅　：148 ～ 215.9mm
長さ：210 ～ 356mm
［両面印刷できるサイズ］
幅　：148 ～ 215.9mm
長さ：210 ～ 356mm

- 長さが 356mm を超える用紙の印刷（長尺印刷）は、フェイスアップで排出してください。
- 用紙サイズは縦長に設定し、プリンタにセットしてください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが 356mm を超える用紙の印刷品位は保証できません。
- マルチパーパストレイから給紙する場合、用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- 用紙カセット（トレイ 1 ～ 2）から給紙する場合は、プリンタ本体の「メニュー」の「用紙サイズ」を「カスタム」に設定する必要があります。
- PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で「ふつう」を設定すると正しく印刷できる場合があります。
- 幅が 100mm 未満の用紙は紙づまりの原因になりますので、保証できません。
- 「給紙オプション」画面の［自動トレイ切り替え］は、初期設定では有効（チェック有り）になっています。印刷中に用紙が無くなると、別トレイから給紙することがあります。カスタムサイズ用紙を特定のトレイのみから印刷するときは、無効（チェックを外す）にしてください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］-［コントロールパネルホーム］から［ハードウェアとサウンド］の［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。

❷［OKI C530(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

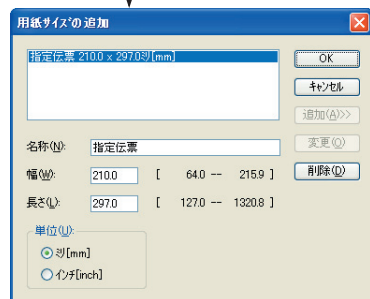
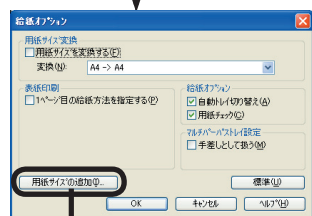
❸［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❹［用紙サイズ］で［PostScript カスタムページサイズ］を選択します。

❺「PostScript カスタムページサイズの定義」画面で［幅］と［高さ］を入力します。

❻［OK］をクリックします。

［用紙フィーダの大きさに対するオフセット］の設定はできません。

Windows PCL/Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] - [コントロールパネルホーム] から [ハードウェアとサウンド] の [プリンタと FAX] を選択します。Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。

❷ ご使用になるプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、「OKI C530(PCL) 印刷設定」を開きます。

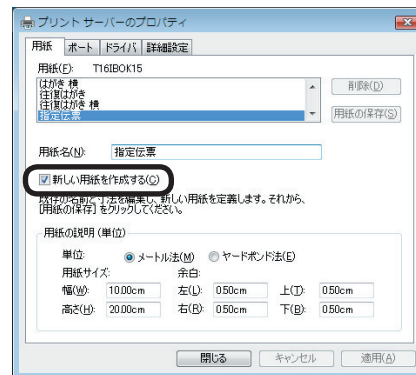
❸ [設定] タブの [オプション] をクリックします。

❹「給紙オプション」画面で [用紙サイズの追加] をクリックします。

❺「用紙サイズの追加」画面で [名称]、[幅]、[長さ] を入力します。

❻ [追加] をクリックします。

作成した用紙サイズ設定は、[設定] タブの [サイズ] リストの下の方に表示されます。合計 32 個まで定義できます。

Windows PCL XPS/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。

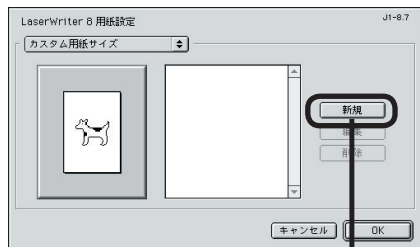
❷ プリンタアイコンを選択しないで、右ボタンでクリックして、[管理者として実行] - [サーバーのプロパティ] を選択します。

❸ [ユーザー アカウント制御] が表示されたら、[続行] をクリックします。

❹ [プリントサーバーのプロパティ] の [用紙] タブを選択します。

❺ [新しい用紙を追加する] にチェックをつけ、[用紙名]、[用紙サイズ]、[余白] を入力します。

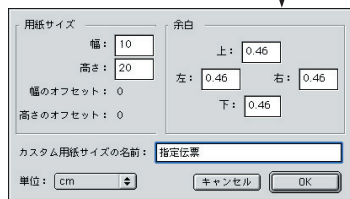
❻ [用紙の保存] をクリックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

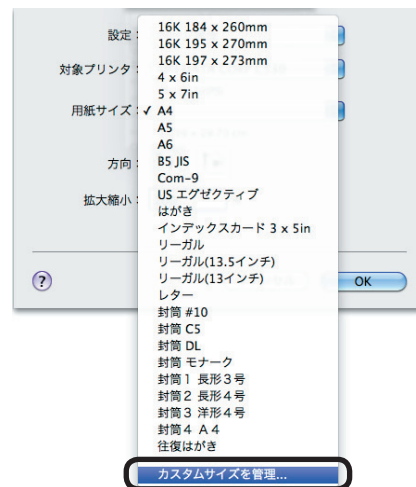
❷ [ファイル]メニューの[用紙設定]を選択します。

❸ [カスタム用紙サイズ] パネルで[新規] をクリックし、[幅] と [高さ]、[カスタム用紙サイズの名前]を入力します。

余白
上下左右の余白を設定します。

❹ [OK] をクリックします。

作成した用紙サイズ設定は、[ページ属性] パネルの [用紙] リストの下の方に表示されます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

Mac OS X では、範囲外の用紙サイズの入力が可能です。その場合、正しく印刷できませんので、範囲内の値を入力してください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❸ [用紙サイズ] で [カスタムサイズを管理] を選択します。(Mac OS X 10.3 未満では[設定]で[カスタム用紙サイズ] をクリックします。)

❹「カスタム・ページ・サイズ」画面で [+]をクリックし (Mac OS X 10.3 未満では [新規] をクリック)、[カスタム用紙サイズの名前]、[幅]、[高さ] を入力します。

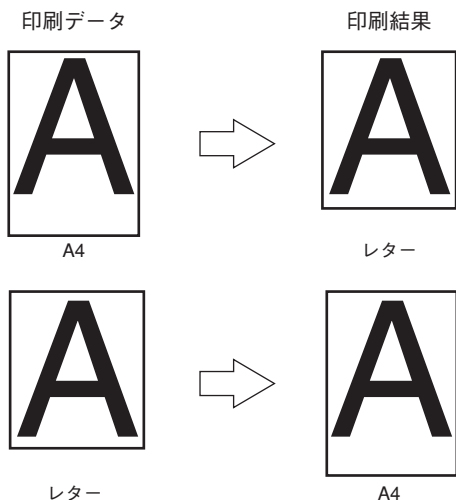
❺ [OK] (Mac OS X 10.3 未満では [保存]) をクリックします。

作成した用紙サイズ設定は、[ページ属性] パネルの [用紙サイズ] リストの下の方に表示されます。

A4 とレターを同じサイズとして扱いたい（代替え用紙印刷）

機能の説明

A4 サイズとレターサイズの用紙を同じ大きさとして扱います。
レターサイズのデータを印刷するときに、プリンタにレターサイズの用紙がセットされていなくても、A4 サイズの用紙がセットされていれば、A4 サイズの用紙に印刷します。
また、A4 サイズのデータを印刷するときに、プリンタに A4 サイズの用紙がセットされていなくても、レターサイズの用紙がセットされていれば、レターサイズの用紙に印刷します。
用紙サイズが不一致のエラーが発生しなくなり、印刷が止まることがなくなります。

- A4 サイズとレターサイズ以外は、この機能はお使いになれません。
- この機能を無効にする場合は、[インサツ　メニュー] - [A4/ レターオキカエ] を [イイエ] に設定します。詳しくは 6 章「プリンタメニュー一覧」の「インサツ　メニュー」（270 ページ）をご覧ください。

- 本来の用紙位置に印刷した場合と印刷結果が異なります。
- 以下の機能を使って代替え用紙印刷を行うと、思い通りの印刷結果が得られないことがあります。その場合は、本来の用紙サイズの用紙に印刷してください。

  両面印刷
  マルチページ印刷
  ポスター印刷
  製本印刷
  表紙印刷

4 便利な印刷機能

- この章では、Windows では[ワードパッド]、Macintosh では[SimpleText]、Mac OS X では[テキストエディット]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。
- Mac OS X 10.6 で、64 ビットアプリケーションから印刷する場合、アプリケーションの[情報を見る]（または、[詳しい情報]）-[一般情報]内の[32 ビットモードで開く]にチェックしてアプリケーションを起動してください。

複数ページを 1 枚に印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

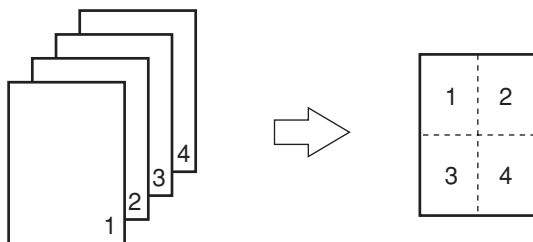
Windows をお使いの方

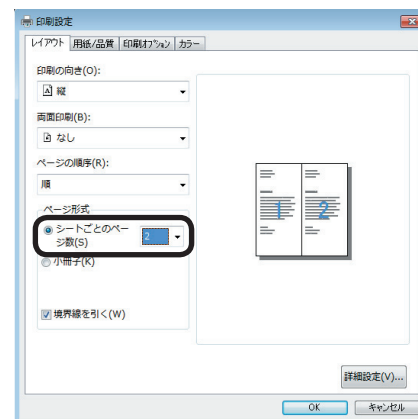
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

複数ページのデータを 1 枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- Windows PCL プリンタドライバではとじ代も設定できます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- この機能を使って代替え用紙印刷を行うと、本来の用紙サイズの用紙に印刷したときと印刷位置が異なり、思い通りの印刷結果にならないことがあります。その場合は、本来の用紙サイズの用紙に印刷してください。代替え用紙印刷については、98 ページをご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［レイアウト］タブの［シートごとのページ数］を選択します。

❺ 必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。また「詳細設定」-「シートごとのページレイアウト」でページ配置を変更することもできます。

［境界線を引く］、［シートごとのページレイアウト］は、Windows XP/Windows 2000/Windows Server2003 では利用できません。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

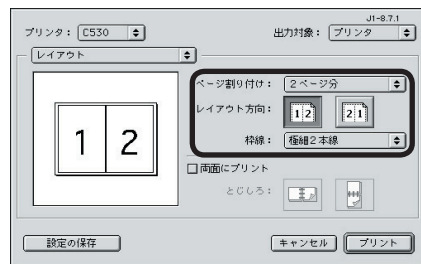
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［n-up］（n は 1 枚に印刷するページ数）を選択します。

❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［枠線］、［ページ配置］、［とじ代］を設定します。とじ代は上下左右に 0 ～ 30mm まで設定できます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

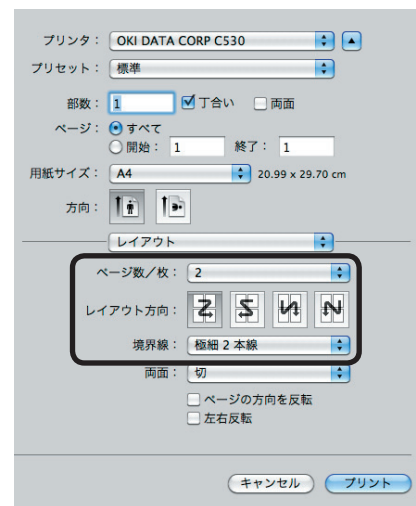
❸［レイアウト］パネルの［ページ割り付け］、［レイアウト方向］、［枠線］を選択します。

ページ割り付け

割り付けるページ数、配置を選択します。
必ず［2 ページ分］、［4 ページ分］…を選択してください。［4（縦方向）］、［6（縦方向）］…は選択しないでください。

枠線

各ページを枠線で囲むことができます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［レイアウト］パネルの［ページ数 / 枚］、［レイアウト方向］、［境界線］を選択します。

Mac OS X 10.5 以降 で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

複数枚に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

この機能が使えるプリンタドライバ

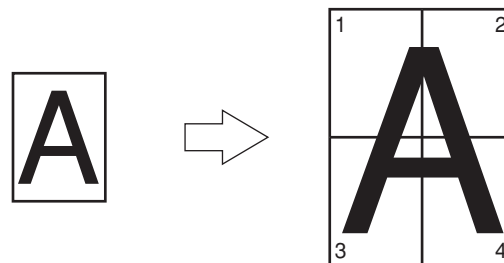
Windows をお使いの方

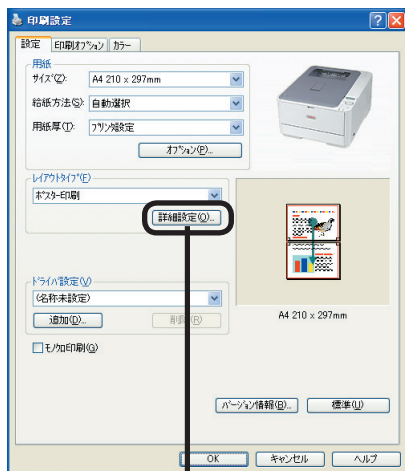
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

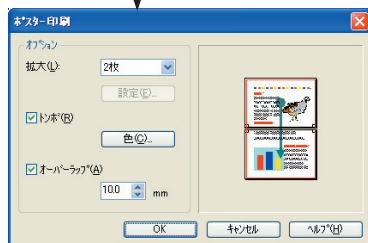
元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

- NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合には、ポスター印刷を利用できません。
- ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合には、ポスター印刷を利用できません。
- PCL プリンタドライバで［ポスター印刷］が動作しない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI C530(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］-［プリントプロセッサ］で［MLLAPP3］を選択してください。
- この機能を使って代替え用紙印刷を行うと、本来の用紙サイズの用紙に印刷したときと印刷位置が異なり、思い通りの印刷結果にならないことがあります。その場合は、本来の用紙サイズの用紙に印刷してください。代替え用紙印刷については、98 ページをご覧ください。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［ポスター印刷］を選択します。

❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［拡大］、［トンボ］、［オーバーラップ］などを設定できます。

両面印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

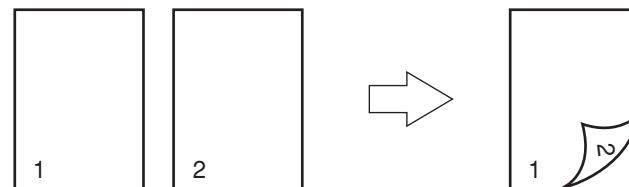
Windows をお使いの方

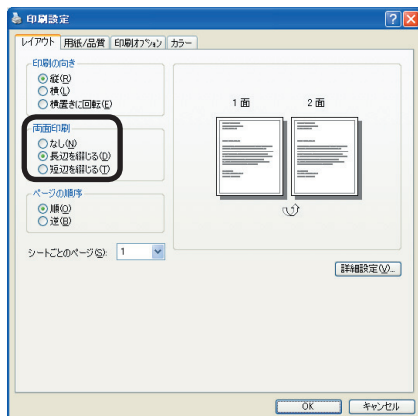
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

用紙の両面に印刷することができます。
両面印刷できる用紙サイズは A4、A5、B5、レター、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、エグゼクティブ、16K およびカスタムサイズです。A6 用紙は使用できません。
両面印刷できるカスタムサイズの幅と長さの範囲については、「任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）」(95 ページ)をご覧ください。
両面印刷できる用紙の厚さは、64 ～ 176g/m^2（連量 55kg ～ 151kg）です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- フェイスアップスタッカが開いたままで両面印刷を行うと、操作パネルに「581：リョウメンインサツガデキマセン」と表示します。この時、フェイスアップスタッカを閉じると、印刷を再開できます。また、印刷中にフェイスアップスタッカを開けると、紙づまりとなります。
- この機能を使って代替え用紙印刷を行うと、本来の用紙サイズの用紙に印刷したときと印刷位置が異なり、思い通りの印刷結果にならないことがあります。その場合は、本来の用紙サイズの用紙に印刷してください。代替え用紙印刷については、98 ページをご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ 印刷したいファイルを開きます。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。

❺［レイアウト］タブの［両面印刷］で［長辺を綴じる］または［短辺を綴じる］を選択します。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

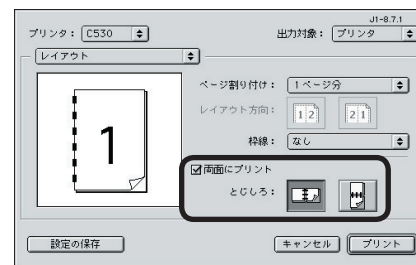
❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ 印刷したいファイルを開きます。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。

❺［設定］タブの［両面印刷］で［長辺とじ］または［短辺とじ］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ 印刷したいファイルを開きます。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

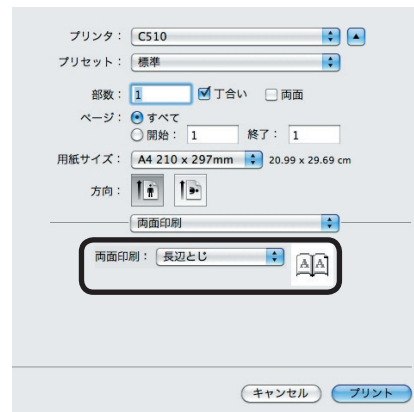
❹［レイアウト］パネルの［両面にプリント］にチェックをつけ、［とじしろ］のアイコンを選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ 印刷したいファイルを開きます。

❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ [レイアウト] パネルの [両面] で [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

❷ 印刷したいファイルを開きます。

❸ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❹ [両面印刷] パネルの [両面印刷] で [長辺とじ] または [短辺とじ] を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

モノクロ（白黒）の印刷速度を変更したい

プリンタの操作パネルでモノクロ印刷速度を設定します。

❶ ▲ スイッチを数回押して［インサツ　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▼ スイッチを数回押して［モノクロ　インサツ　ソクド］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ ▼ スイッチまたは ▲ スイッチを押して、設定したい速度を選択し、OK スイッチを押します。

設定した速度の右側に［＊］が付きます。

❹ オンラインスイッチを押します。

〈「ジドウ」の場合〉
印刷速度をバランス良く制御します。通常は「自動」のままご利用ください。

〈「カラー　インサツ　ソクド」の場合〉
カラーページを大量に印刷する場合に適しています。
全てのページを常にカラー（YMC）イメージドラムを動かして印刷しますので、カラーページとモノクロページが混在する印刷ジョブでも、待ち時間が必要ありません。

〈「フツウ　インサツ　ソクド」の場合〉
モノクロページを大量に印刷する場合に適しています。
モノクロページは常にカラー（YMC）イメージドラムを止めて印刷しますので、高速印刷が可能です。ただし、モノクロページとカラーページの切り替わり目ではカラー（YMC）イメージドラムを再開 / 停止するための待ち時間が必要ですので、モノクロページとカラーページが混在する印刷ジョブでは、印刷時間が長くなる傾向があります。

フェイスアップスタッカを使ってページ順に取り出したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

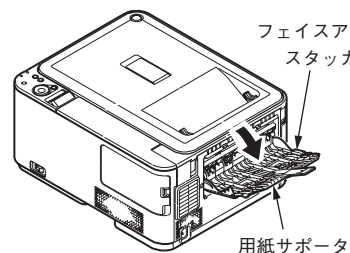
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	×	○	×	×	×	×	×

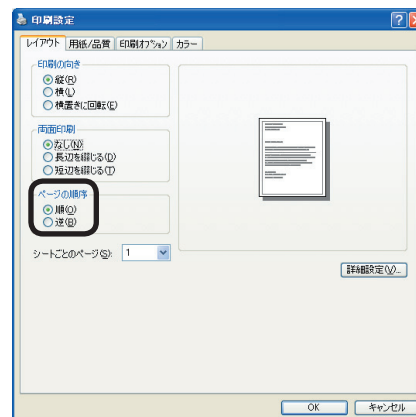
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

フェイスアップスタッカを使って、ページ順に取り出すことができます。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ プリンタ背面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

❸ 印刷したいファイルを開きます。

❹［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺［詳細設定］をクリックします。

❻［レイアウト］タブの［ページの順序］で［逆］を選択します。

［ページの順序］項目が表示されない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI C530(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックをつけてください。

4
フェイスアップスタッカを使ってページ順に取り出したい

トレイを自動的に選択したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ（トレイ 1、トレイ 2（オプション）、マルチパーパストレイ）を自動的に選択して印刷できます。

- 必ず、操作パネルで、トレイ 1、トレイ 2（オプション）、マルチパーパストレイの用紙サイズを設定してください。使用できる用紙サイズは、各トレイで異なります。詳しくは「用紙のセット」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。
- ［マルチパーパストレイ設定］の［トレイの使い方］の初期値は、［使用しない］になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ選択の対象になりません。

1 操作パネルでマルチパーパストレイの使い方を設定します。

❶ ▲ スイッチを数回押して［インサツ　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▼ スイッチを数回押して［MP　トレイ　ノ　ツカイカタ］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ ▼ スイッチを数回押して［ヨウシチガイ　ノ　トキ］を選択し、OK スイッチを押します。

❹ オンラインスイッチを押し、［オンライン］を表示します。

2 プリンタドライバで［給紙方法］を設定します。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［用紙 / 品質］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［設定］タブの［給紙方法］で［自動選択］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙元］で［全体］、［自動選択］を選択します。

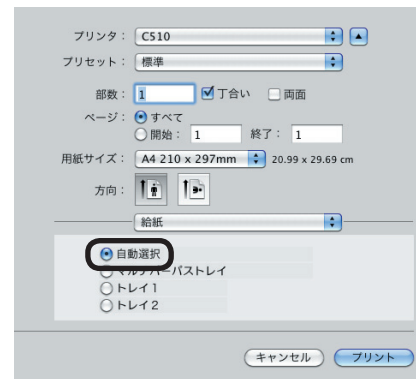
Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［全体］、［自動選択］を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［自動選択］を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

表紙のみ別のトレイから給紙したい（表紙印刷）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

複数ページの印刷ジョブで1ページ目を別のトレイから給紙できます。1ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

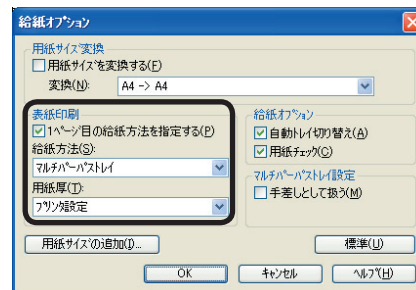
この機能を使って代替え用紙印刷を行うと、本来の用紙サイズの用紙に印刷したときと印刷位置が異なり、思い通りの印刷結果にならないことがあります。その場合は、本来の用紙サイズの用紙に印刷してください。代替え用紙印刷については、98 ページをご覧ください。

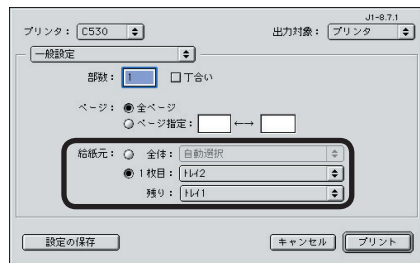
Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

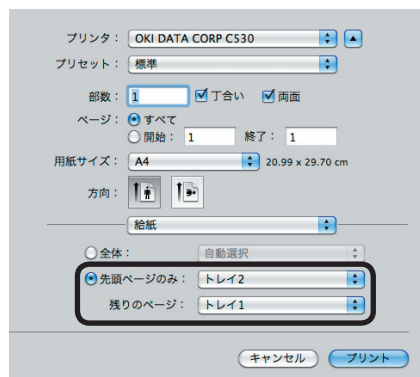
❸［詳細設定］をクリックします。（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❹［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺［表紙印刷］の［1ページ目の給紙方法を指定する］にチェックをつけ、［給紙方法］をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［一般設定］パネルの［給紙元］で［1 枚目］のラジオボタンをクリックし、［1 枚目］と［残り］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［給紙］パネルで［先頭ページのみ］をチェックし、［先頭ページのみ］と［残りのページ］のメニューからそれぞれの給紙方法を選択します。

メモ Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

トレイ 1、トレイ 2（オプション）、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

- 必ず、操作パネルで、トレイ 1、トレイ 2（オプション）、マルチパーパストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。使用できる用紙サイズは、各トレイで異なります。詳しくは「用紙のセット」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。
- ［マルチパーパストレイ設定］の［トレイの使い方］の初期値は、［使用しない］になっています。この場合、マルチパーパストレイは自動トレイ切り替えの対象になりません。

1 操作パネルでマルチパーパストレイの使い方を設定します。

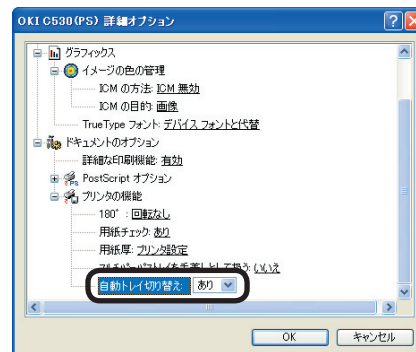
❶ ▲ スイッチを数回押して［インサツ　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▼ スイッチを数回押して［MP　トレイ　ノ　ツカイカタ］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ ▼ スイッチを数回押して［ヨウシチガイ　ノ　トキ］を選択し、OK スイッチを押します。

❹ オンラインスイッチを押します。

2 プリンタドライバで［自動トレイ切り替え］を設定します。

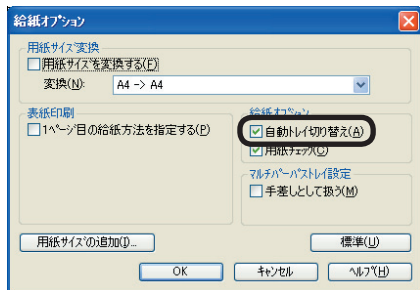
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［自動トレイ切り替え］で［あり］を選択します。

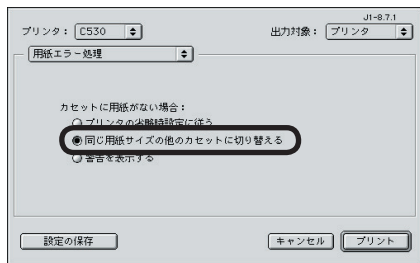
Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

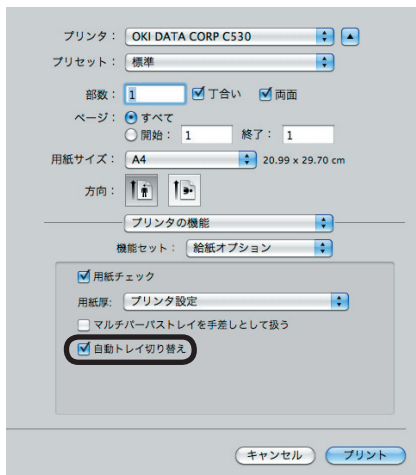
❹［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❺［自動トレイ切り替え］にチェックをつけます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

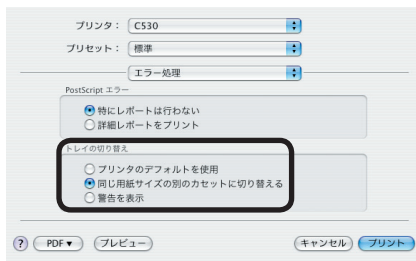
❸［用紙エラー処理］パネルの［カセットに用紙がない場合］で［同じ用紙サイズの他のカセットに切り替える］を選択します。

Mac OS X 10.5 以降の PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

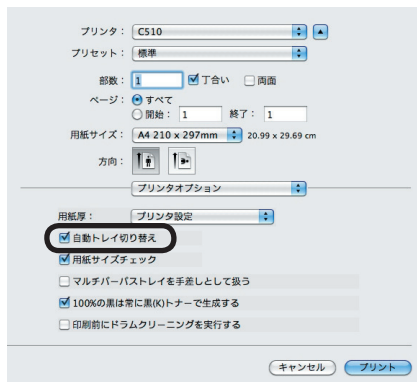
❸［プリンタの機能］パネルの［給紙オプション］機能パネルの［自動トレイ切り替え］にチェックをつけます。

Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

Mac OS X 10.3 ～ 10.4 の PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［エラー処理］パネルの［トレイの切り替え］で［同じ用紙サイズの別のカセットに切り替える］を選択します。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタオプション］パネルの［自動トレイ切り替え］にチェックをつけます。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

用紙サイズを変更したい

この機能が使えるプリンタドライバ

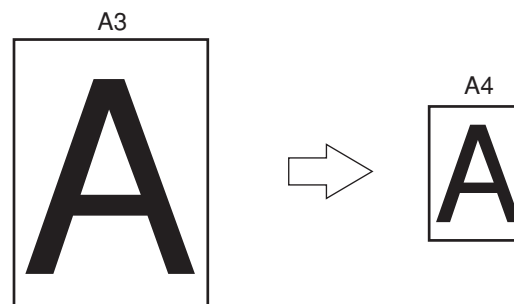
Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

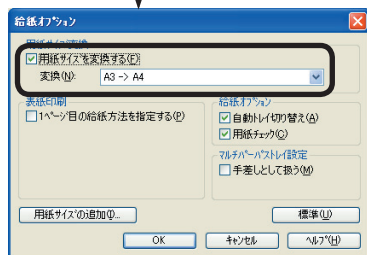
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［設定］タブの［サイズ］で編集する用紙サイズを選択します。

❺ ［オプション］をクリックします。

❻ ［用紙サイズを変換する］にチェックをつけ、［変換］で印刷したい用紙サイズを選択します。

ウォーターマークを印刷したい（スタンプ印刷）

この機能が使えるプリンタドライバ

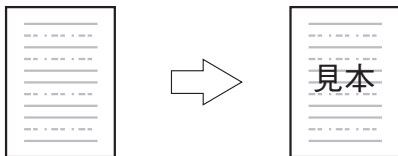
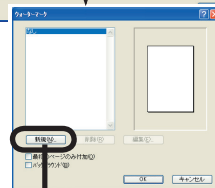
Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

アプリケーションから印刷される内容とは独立して「見本」や「社外秘」などの文字を重ね印刷できます。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［ウォーターマーク］をクリックします。

❺［新規］をクリックします。

❻「ウォーターマークの編集」画面で［文字列］を入力し［サイズ］他を選択します。

❼［OK］をクリックします。

- PS プリンタドライバの場合、初期設定ではウォーターマークは書類中の文字や図形の上に重なって印刷されます。文字や図形の下にウォーターマークを印刷したい場合は、［ウォーターマーク］タブで［バックグラウンド］にチェックします。
- ［バックグラウンド］にチェックをすると、アプリケーションによってはウォーターマークが印刷されないことがあります。この場合は、［バックグラウンド］のチェックを外してください。
- 小冊子印刷では、ウォーターマークは正しく印刷されません。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

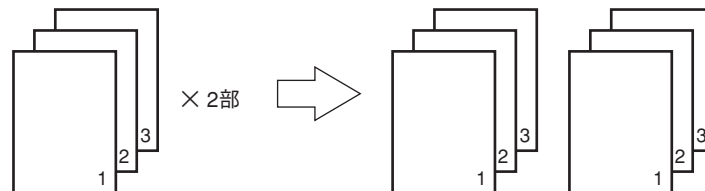
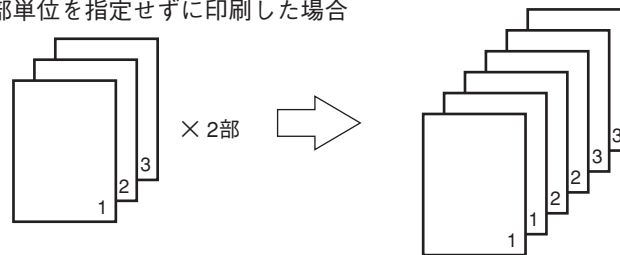
機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

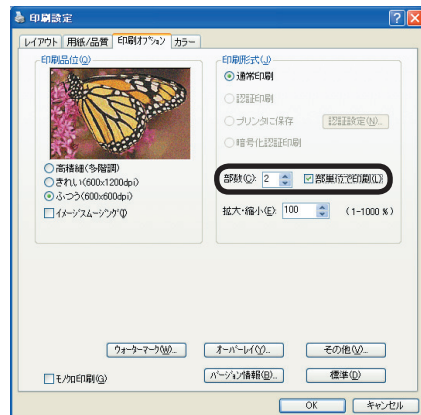
機能の説明

印刷ジョブをプリンタのメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

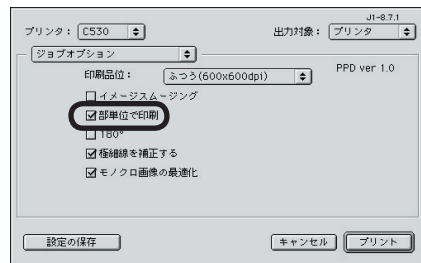
注

- PS プリンタドライバを利用する場合、アプリケーションの部単位印刷機能はオフにしてください。
- 印刷ジョブを蓄えるメモリの容量が不足した場合、「オンライン SW ヲオシテクダサイ／チョウアイ　エラー」を表示します。 オンラインスイッチを押すとワーニング表示は消えます。プリンタにオプションの SD メモリーカードが装着されていると、メモリが不足しても SD メモリーカードに蓄えて印刷します。
- Macintosh プリンタドライバ、Mac OS X プリンタドライバではプリンタのメモリを利用しないで印刷することもできます。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブで［部数］に印刷部数を入力し、［部単位で印刷］にチェックをつけます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［一般設定］パネルの［部数］に印刷部数を入力し、［ジョブオプション］パネルの［部単位で印刷］にチェックをつけます。

メモ ［一般設定］パネルの［丁合い］にチェックをつけるとプリンタのメモリを利用しないで印刷します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ 印刷ダイアログ（Mac OS X 10.4 以下では［印刷部数と印刷ページ］パネル）の［丁合い］のチェックを外し、［部数］に印刷部数を入力し、［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットで［部単位で印刷］にチェックをつけます。

メモ ［印刷部数と印刷ページ］パネルの［丁合い］にチェックをつけると、プリンタのメモリを利用しないで印刷します。

メモ Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 印刷ダイアログ（Mac OS X 10.4 以下では［印刷部数と印刷ページ］パネル）の［丁合い］のチェックをつけ、［部数］に印刷部数を入力します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

印刷ジョブをプリンタの SD メモリーカードに蓄えて、プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える SD メモリーカードの容量が不足した場合、［ファイルシステム　フル］を表示します。
- プリンタドライバで SD メモリーカードを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは、セットアップと使いかた編「1 章　セットアップする」の「オプション品について」をご覧ください。
- Mac OS X PS プリンタドライバでは利用できません。

1 アプリケーションから印刷します。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［認証印刷］を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合、「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [ジョブタイプ] パネルの [印刷形式] で [認証印刷] を選択し、[ジョブ名]、[ジョブパスワード] を入力します。

❹ [設定の保存] をクリックし、確認メッセージが表示されたら [OK] をクリックします。

❺ 印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ ▲ スイッチを数回押して [インサツ　ジョブ　メニュー] を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▼ スイッチを数回押して [ホゾン　ジョブ] を選択し、OK スイッチを押します。

❸ パスワード入力画面になるので、パスワードを入力します。

❹ [ホゾン　ジョブ] で [インサツ　ジッコウ / サクジョ] が表示されるので、印刷する場合は [インサツ　ジッコウ] を選択し、OK スイッチを押します。

❺ [ブスウ　シテイ] が表示されるので、▲ スイッチまたは ▼ スイッチを押して、印刷部数を選択し、OK スイッチを押します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

- パスワードを誤って入力した場合は、スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で▼スイッチで削除を選択します。［ジッコウシマスカ？　ハイ / イイエ］と表示されたら［ハイ］が選択されていることを確認し、OK スイッチを押すと、ジョブを削除できます。

  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［保存ジョブの管理］を選択します。

❺ ［認証印刷ジョブ］にチェックが付いていることを確認し、［ユーザジョブの参照］を選択し、パスワードを入力し［パスワードの適用］をクリックします。
［全てのジョブの参照］を選択し、管理者パスワード（初期値は PASSWORD）を入力し、［管理者パスワードの適用］をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、［削除］をクリックします。

❼ 完了画面で［OK］をクリックします。

機密文書や大切な書類を印刷したい（暗号化認証印刷）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

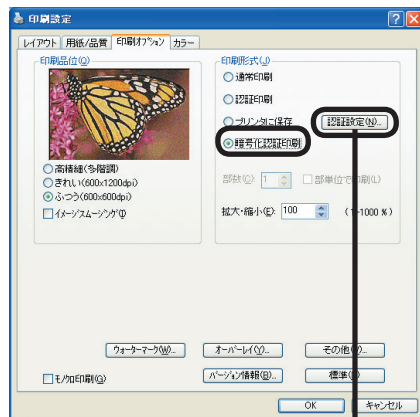
機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

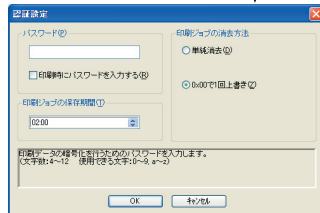
印刷ジョブを暗号化してからプリンタへ転送します。そのため、プリンタの通信過程や SD メモリーカードから印刷データを盗聴された場合でも、印刷内容の漏洩を防止することができます。またセキュリティをより強固にするため､SD メモリーカードに保存された印刷ジョブは、印刷されるか、一定期間が過ぎると自動的に削除されます。

プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷するため、印刷物の盗難を防止することもできます。

- Windows 7（64bit 版）/Windows Vista（64bit 版）/Windows Server 2008（64bit 版）/Windows XP（x64 版）/Windows Server 2003（x64 版）では利用できません。
- Windows PCL プリンタドライバにおいて、ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合は、EMF 形式で保存できないのでポスター印刷及び、製本印刷を行う事はできません。
- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを保存する SD メモリーカードの容量が不足した場合、[ファイルシステム　フル] を表示します。
- プリンタドライバで SD メモリーカードを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップと使いかた編）の「SD メモリーカード」をご覧ください。
- 暗号化認証印刷を利用する際は、[ホストの開放を優先する] を無効にしてください。詳しくは「コンピュータの開放を早くしたい（バッファ印刷）」（128 ページ）をご覧ください。

1 暗号化認証印刷を指定し、印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［詳細設定］をクリックします。

❸［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［暗号化認証印刷］を選択します。

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

❹「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。

パスワード
　4 桁～ 12 桁の英数小文字で設定します。

印刷時にパスワードを入力する
　印刷時にコンピュータ上に、パスワードを入力する画面がでるようになります。

印刷ジョブの保存期間
　プリンタの SD メモリーカードに印刷ジョブの保存する期間を 5 分～ 23 時間 59 分の間で設定します。保存期間を過ぎた印刷ジョブは、自動的に SD メモリーカードより削除されます。

印刷ジョブの消去方法
　SD メモリーカードから印刷ジョブを削除する時の方法を指定します。

単純消去
　印刷ジョブをファイルシステムより削除します。この削除方法は、SD メモリーカードから印刷ジョブを復元される恐れがありますが、もっとも短時間で削除されます。

0x00 で 1 回上書き
　特定データで 1 回上書きした後、印刷ジョブを削除します。単純消去に比べ安全な消去方法ですが、特殊な方法で印刷ジョブを復元される恐れがあります。

❺ 印刷します。

［印刷時にパスワードを入力する］にチェックした場合、「認証設定」画面で「パスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力し、印刷します。

❶▲ スイッチを数回押して［インサツ　ジョブ　メニュー］を選択し、OKスイッチを押します。

❷▼ スイッチを数回押して［アンゴウ　ジョブ］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ パスワード入力画面になるので、パスワードを入力します。

❹［アンゴウ　ジョブ］で［インサツ　ジッコウ / サクジョ］が表示されるので、［インサツ　ジッコウ］を選択し、OK スイッチを押します。

暗号化認証印刷ジョブの印刷が行われます。

- パスワードを誤って入力した場合は、スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で▼ スイッチで削除を選択します。［ジッコウシマスカ？　ハイ / イイエ］と表示されたら［ハイ］が選択されていることを確認し、OK スイッチを押すと、ジョブを削除できます。
- 暗号化認証印刷を実行した後、印刷に使用されたファイルは、指定された消去方法で消去されます。ファイルの消去中は、［暗号化認証印刷ジョブを削除しています］のメッセージが表示されます。
- データの転送に失敗したり、データが改ざんされたことを検出した場合は、［オンライン SW ヲオシテクダサイ / ムコウ　ニンショウデータ］というメッセージを表示し、当該データを消去します。

コンピュータの開放を早くしたい（バッファ印刷）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

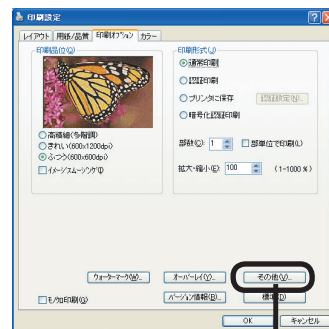
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

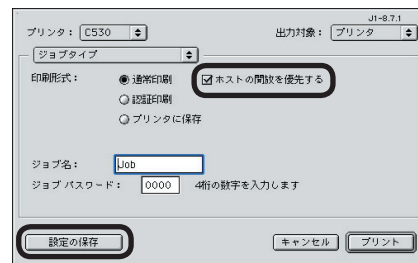
機能の説明

印刷ジョブをプリンタの SD メモリーカードに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える SD メモリーカードの容量が不足した場合、［ファイルシステム　フル］を表示します。
- プリンタドライバで SD メモリーカードを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップと使いかた編）の「SD メモリーカード」をご覧ください。
- SD メモリーカードに「COMMON」パーティションが必要です。
- 保存しない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。
- Mac OS X PS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

（Windows XP PS プリンタドライバの画面）

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
3. ［詳細設定］をクリックします。
4. ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。
5. ［ホストの開放を優先する］にチェックをつけます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

1. 印刷したいファイルを開きます。
2. ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。
3. ［ジョブタイプ］パネルの［ホストの開放を優先する］にチェックをつけます。
4. ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。
5. 印刷します。

ジョブを保存して繰り返し印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

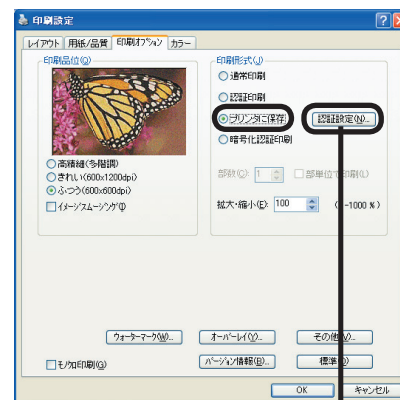
機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

印刷ジョブをプリンタの SD メモリーカードに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。

- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを保存する SD メモリーカードの容量が不足した場合、［ファイルシステム　フル］を表示します。
- プリンタドライバで SD メモリーカードを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「1　プリンタを設置します」（セットアップと使いかた編）の「SD メモリーカード」をご覧ください。
- SD メモリーカードに「COMMON」パーティションが必要です。
- Mac OS X PS プリンタドライバでは利用できません。

1 印刷します。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択します。

❺「認証設定」画面で「ジョブ名」、「ジョブパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

ジョブパスワード
4 桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
［印刷時にジョブ名を入力する］にチェックした場合「ジョブ名入力」画面で「ジョブ名」を入力し、［OK］をクリックします。

ジョブ名
最大 16 文字までの半角英数字で設定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［ジョブタイプ］パネルの［印刷形式］で［プリンタに保存］を選択し、［ジョブ名］、［ジョブパスワード］を入力します。

❹ ［設定の保存］をクリックし、確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。

❺ 印刷します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ ▲ スイッチを数回押して［インサツ　ジョブ　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▼ スイッチを数回押して［ホゾン　ジョブ］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ パスワード入力画面になるので、パスワードを入力します。

❹ ［ホゾン　ジョブ］で［インサツ　ジッコウ / サクジョ］が表示されるので、印刷する場合は［インサツ　ジッコウ］を選択し、OK スイッチを押します。

❺ ［ブスウ　シテイ］が表示されるので、▲ スイッチまたは ▼ スイッチを押して、印刷部数を選択し、OK スイッチを押します。

認証印刷ジョブの印刷が行われます。

- パスワードを誤って入力した場合は、スイッチを押し、設定しなおします。
- 印刷を行わない場合は、手順❹で▼スイッチで削除を選択します。［ジッコウシマスカ？　ハイ / イイエ］と表示されたら［ハイ］が選択されていることを確認し、OK スイッチを押すと、ジョブを削除できます。

  また、OKI ストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）でジョブを削除する方法

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［保存ジョブの管理］を選択します。

❺ ［認証印刷ジョブ］にチェックが付いていることを確認し、［ユーザジョブの参照］を選択し、パスワードを入力し［パスワードの適用］をクリックします。

［全てのジョブの参照］を選択し、管理者パスワード（初期値は PASSWORD）を入力し、［管理者パスワードの適用］をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、［削除］をクリックします。

❼ 完了画面で［OK］をクリックします。

小冊子を作りたい（製本印刷）

この機能が使えるプリンタドライバ

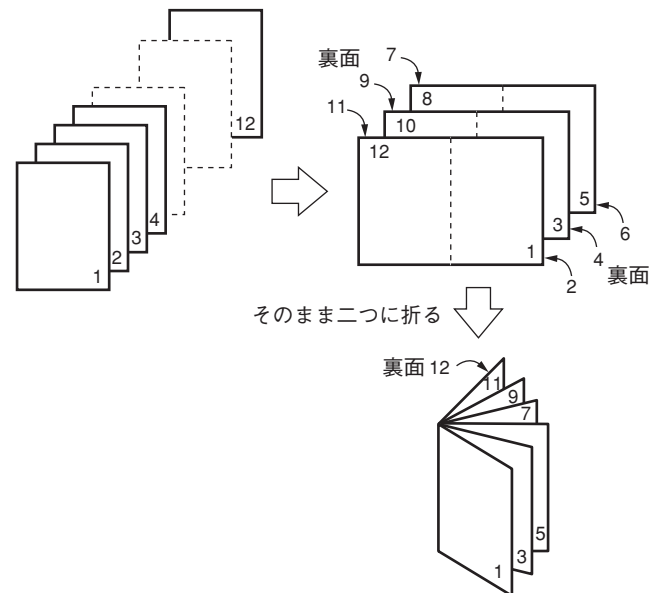
Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

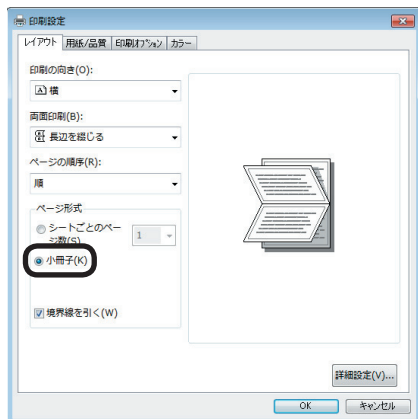
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

パンフレットのような小冊子を作成できます。

アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

この機能を使って代替え用紙印刷を行うと、本来の用紙サイズの用紙に印刷したときと印刷位置が異なり、思い通りの印刷結果にならないことがあります。その場合は、本来の用紙サイズの用紙に印刷してください。代替え用紙印刷については、98 ページをご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。

❺ 必要に応じて、「境界線を引く」を設定します。

［境界線を引く］は、Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 では利用できません。

❻［詳細設定］をクリックし、［用紙サイズ］で実際に使用する用紙サイズを選択します。

- （例）A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合［詳細設定］の［用紙サイズ］で［A4］を選択します。
- 右折の小冊子（1 ページ目を表にした時、右側が綴じ位置になる冊子）を作る場合、「詳細設定」の［小冊子綴じ］で［右の端］を選択します。
- ［小冊子綴じ］は、Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 では利用できません。

- ［小冊子］印刷ができない場合は、［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダの［OKI C530(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［詳細設定］タブで［詳細な印刷機能を有効にする］にチェックをつけてください。
- ［小冊子］印刷では、ウォーターマークは正しく印刷できません。
- アプリケーション自身で PostScript データを生成する場合には、小冊子の指定は正常に動作しないことがあります。回避方法の有無はアプリケーションに依存します。お使いのアプリケーションのマニュアルをご確認ください。例えば Adobe Acrobat または Adobe Reader では印刷ダイアログの詳細設定で、［画像として印刷］にチェックすることで小冊子の印刷が正常に動作するようになります。

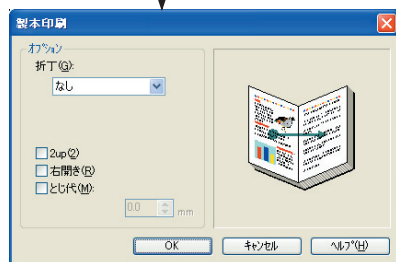
Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

- 以下の場合には、製本印刷を利用できません。
  - NetBEUI または IPP でネットワークに接続している場合
  - ネットワーク共有でプリントサーバを作成し、クライアント側から暗号化認証印刷機能を使用して印刷する場合
- PCL プリンタドライバで[製本印刷]が選択できない場合は、[プリンタと FAX]または[プリンタ]フォルダの［OKI C530(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]-[プリントプロセッサ]で［MLLAPP3］を選択してください。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択します。

❺［詳細設定］をクリックし、必要に応じて［折丁］、[2up]、[右開き]、[とじ代］を設定します。

折丁
　製本するページの単位です。

右開き
　小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻ [設定] タブの [サイズ] で用紙サイズを選択し、[オプション] をクリックして [用紙サイズを変換する] にチェックをつけて、[変換] で該当する値を選択します。

(例) A4 サイズの用紙を使用して A5 サイズの小冊子を作る場合
［オプション］の［変換］で［A4 -> A5］を選択します。

4

小冊子を作りたい（製本印刷）

フォームを登録したい（フォームオーバーレイ）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- プリンタに SD メモリーカード（オプション）が装着されている場合に利用できます。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」（59 ページ）をご覧ください。
- Windows PS プリンタドライバではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 管理者メニューの［SECURITY MENU］-［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定してある場合、フォームを登録することができません。
  ［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

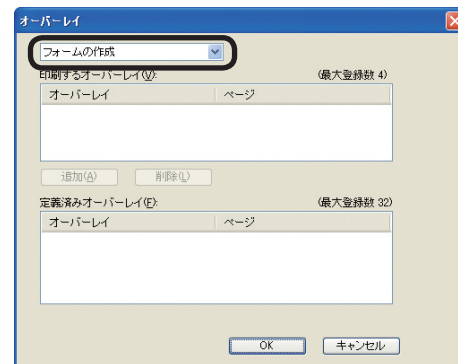
1 フォームを作成します。

❶［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは、「印刷データをファイルに出力したい」（159 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションを起動し、プリンタに登録したいフォームを作成します。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。

❺［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、［フォームの作成］を選択します。

（Windows XP の画面）

❻ 印刷します。
保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❼［印刷先のポート］を元に戻します。

2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

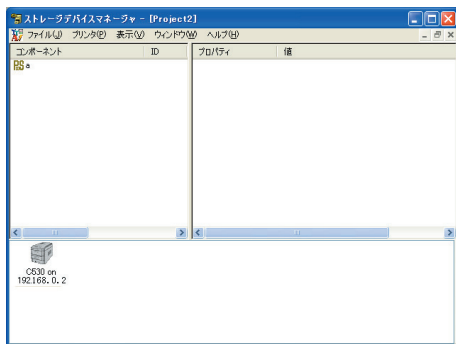
❶［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 *1* で作成したフォームのファイルを選択します。

プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、「名前」を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽完了画面で［OK］をクリックします。

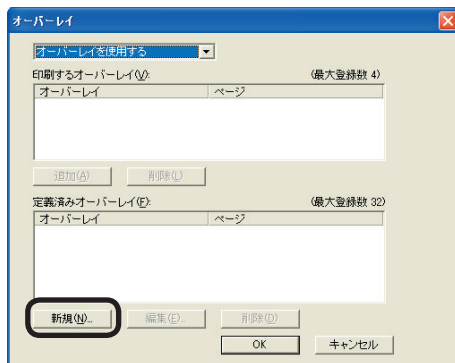
❾OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。

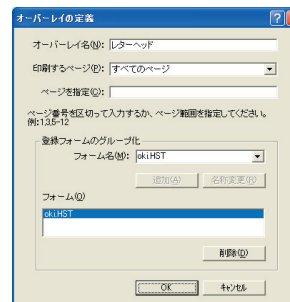
❷［OKI C530(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

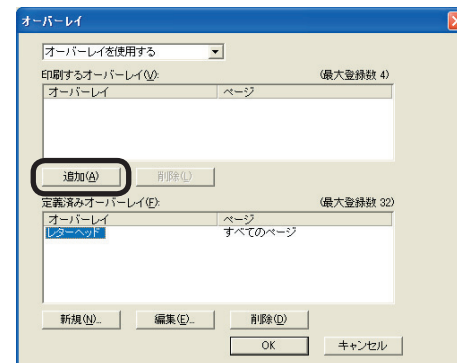
❸ オーバーレイを使用する設定をします。

［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックし、［オーバーレイを使用する］を選択します。

❹［新規］をクリックします。

❺［フォーム名］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォーム名を入力し、［追加］をクリックします。

❻［オーバーレイ名］を入力し、［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「ユーザページ設定」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

メモ　オーバーレイは、フォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つのフォームを登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、［追加］をクリックします。

❾ 印刷します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

1 フォームを作成します。

❶［印刷先のポート］を［FILE:］にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」（159 ページ）をご覧ください。

❷ アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸ 印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹［印刷先のポート］を元に戻します。

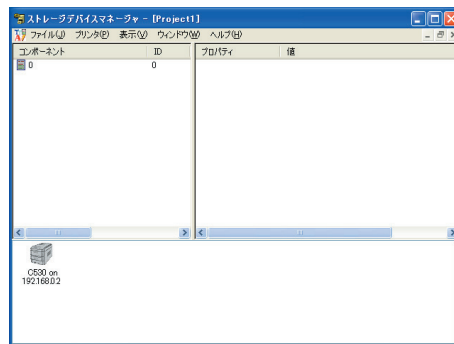
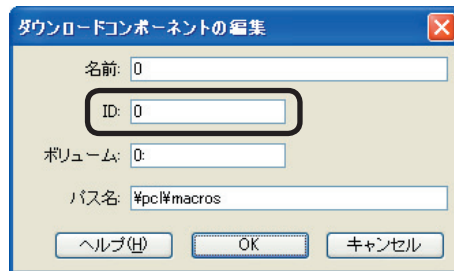
2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹［ファイル］メニューから［プロジェクトの新規作成］を選択します。

❺［ファイル］メニューの［プロジェクトへファイルの追加］を選択し、手順 *1* で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻ プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、［ID］に任意の数字を入力し、［OK］をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼ 下のウインドウでプリンタを選択し、［ファイル］メニューから［プロジェクトの送信］を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽ 完了画面で［OK］をクリックします。

❾ OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

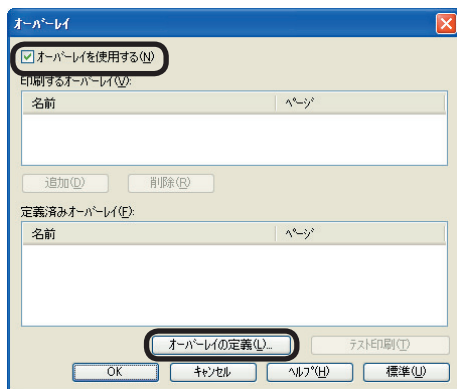
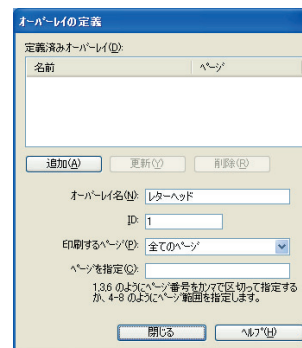
3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

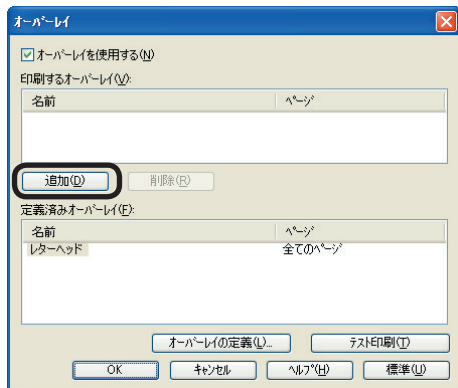
❹［印刷オプション］タブの［オーバーレイ］をクリックします。

❺「オーバーレイ」画面の［オーバーレイを使用する］にチェックをつけ、［オーバーレイの定義］をクリックします。

❻［オーバーレイ名］を入力し、［ID］に OKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームの ID を入力します。

メモ　オーバーレイはフォームのグループです。1 つのオーバーレイに 3 つの ID（フォームファイル）を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼［印刷するページ］でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、［ページを指定］に適用するページを入力します。

❽［追加］をクリックします。

❾［閉じる］をクリックします。

⑩ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加]をクリックします。

⑪ 印刷します。

印刷品位を変更したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

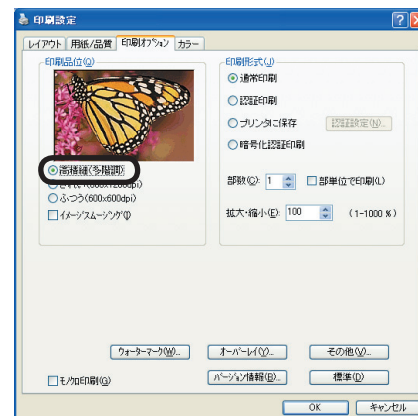
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

初期設定では、「ふつう（600 × 600dpi）」に設定されています。お使いの環境に合わせて［印刷品位］を設定してください。

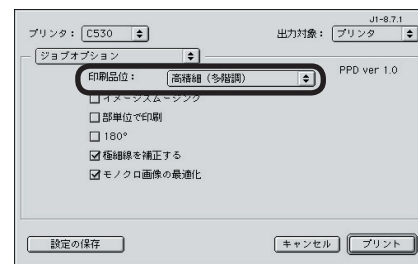
メモ PS プリンタドライバで大きなサイズの用紙で正しく印刷されない場合は、［印刷品位］で［ふつう］を設定すると正しく印刷できる場合があります。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

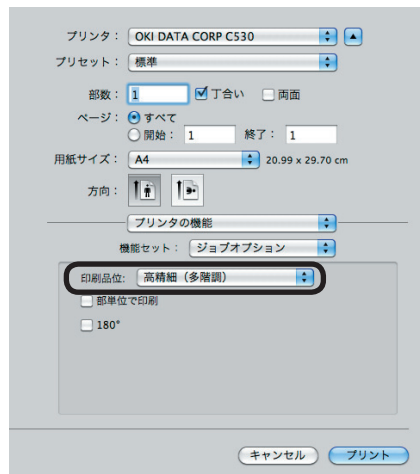
❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］を変更します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

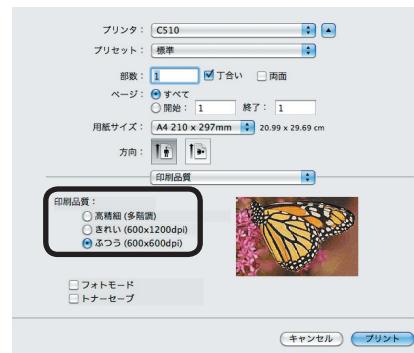
❸ ［ジョブオプション］パネルの［印刷品位］を変更します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [ジョブオプション] 機能セットで [印刷品位] を変更します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [印刷品質] パネルの [印刷品質] を変更します。

Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

写真画像を鮮明に印刷したい（フォトモード）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	○	○

機能の説明

写真などの画像を、より鮮明に印刷することができます。

［オフィスドキュメント］にチェックをつけている場合、［フォトモード］は設定できません。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［フォトモード］を選択します。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [印刷品質] パネルの [フォトモード] のチェックをつけます。

Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

細線がかすれるのを防ぎたい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

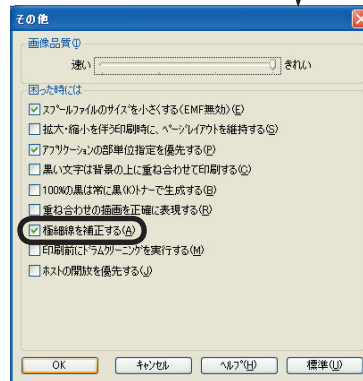
アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

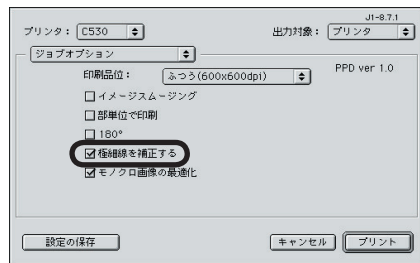
Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺［極細線を補正する］にチェックをつけます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [ジョブオプション] パネルの [極細線を補正する] にチェックをつけます。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [イメージオプション] 機能セットの [極細線を補正する] にチェックをつけます。

Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

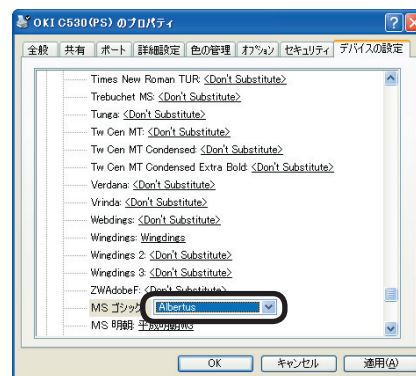
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

TrueType フォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

- フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。
- 独自のプリンタドライバを使用している一部のアプリケーションでは、フォントの置き換え機能が正常に動作しないことがあります。
- Windows PS プリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X PS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。

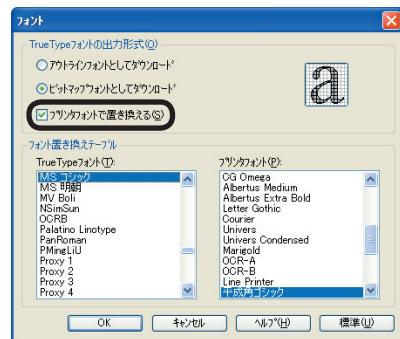
❷ [OKI C530(PS)] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❸ [デバイスの設定] タブの [フォント代替表] で、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換え、[OK] をクリックします。

❹ アプリケーションの [ファイル] メニューから[印刷]を選択します。

❺ [詳細設定] をクリックします。

❻ [レイアウト] タブの [詳細設定] をクリックします。

❼ [TrueType フォント] で [デバイスフォントと代替] を選択します。

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

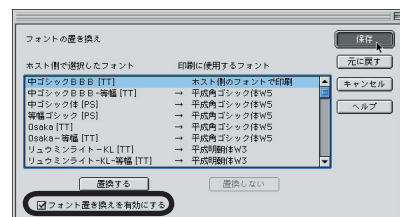
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

❺「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］にチェックをつけます。

❻［フォント置き換えテーブル］で TrueType フォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［フォントの置き換え］を選択します。

❸［ホスト側で選択したフォント］ごとに、［置換する］または［置換しない］をクリックします。

❹［フォント置き換えを有効にする］にチェックをつけます。

❺［保存］をクリックします。

置き換えフォント一覧表

コンピュータ側で選択したフォント		フォント種別	印刷に使用するフォント
通常表示	Adobe Illustrator 等の表示		
中ゴシック BBB	ChuGothicBBB Medium	TT	平成角ゴシック体 W5
中ゴシック BBB- 等幅	ChuGothicBBB Medium Mono	TT	平成角ゴシック体 W5
中ゴシック体	GothicBBB-Medium	PS	平成角ゴシック体 W5
等幅ゴシック	―	PS	平成角ゴシック体 W5
Osaka	Osaka Regular	TT	平成角ゴシック体 W5
Osaka- 等幅	Osaka Regular-Mono	TT	平成角ゴシック体 W5
リュウミンライト -KL	Ryumin Light KL	TT	平成明朝体 W3
リュウミンライト -KL- 等幅	Ryumin Light KL Mono	TT	平成明朝体 W3
細明朝体	Ryumin Light	PS	平成明朝体 W3
等幅明朝	―	PS	平成明朝体 W3
平成角ゴシック	HeiseiKakuGothic W5	TT	平成角ゴシック体 W5
平成明朝	HeiseiMincho W3	TT	平成明朝体 W3
本明朝 -M	HonMincho-Medium	TT	平成明朝体 W3
B 太ゴ B101	FutoGoB101-Bold	PS	平成角ゴシック体 W5
B 太ミン A101	FutoMinA101-Bold	PS	平成明朝体 W3
見出ゴ MB31	MidashiGo-MB31	PS	平成角ゴシック体 W5
見出ミン MA31	MidashiMin-MA31	PS	平成明朝体 W3

TT：TrueType フォント
PS：PostScript フォント

コンピュータのフォントで印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

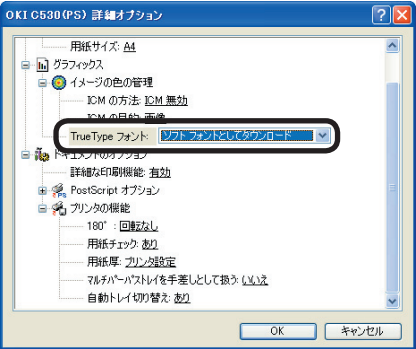
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

TrueType フォントを画面表示のまま出力できます。

- 印刷時間が長くなることがあります。
- Mac OS X PS プリンタドライバでは利用できません。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

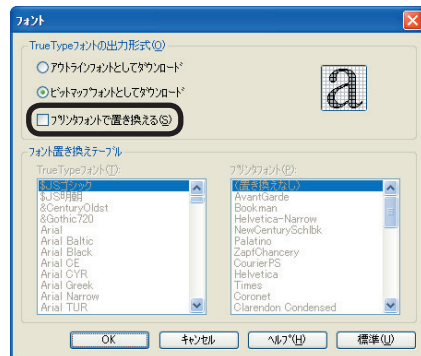
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［TrueType フォント］で［ソフトフォントとしてダウンロード］を選択します。

Windows PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［フォント］をクリックします。

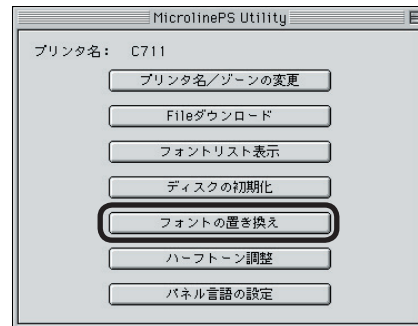
❺「フォント」画面の［プリンタフォントで置き換える］のチェックを外します。

アウトラインフォントとしてダウンロード

プリンタでフォントイメージを作成します。

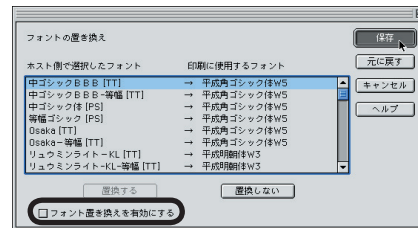
ビットマップフォントとしてダウンロード

プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［フォントの置き換え］を選択します。

❸［フォント置き換えを有効にする］のチェックを外します。

❹［保存］をクリックします。

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

Windows をお使いの方

ドライバ設定の保存
設定名(S)
設定1
用紙の情報を保存する(F)
OK　キャンセル

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。
Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。

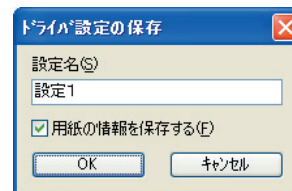
❷ お使いのプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、「** 印刷設定」(** はプリンタドライバ名) を開きます。

❸ レイアウトタイプ、印刷オプション、カラーなど各設定を変更します。

❹ [設定] タブの [ドライバ設定] で [追加] を選択します。

❺ [設定名] に設定の名前を入力し、[OK] をクリックします。

用紙の情報を保存する
チェックをつけると、[設定] タブの [用紙] の設定も保存します。

最大 14 個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［ドライバ設定］で、使用する設定を選択し、［OK］をクリックします。

プリンタドライバの初期設定を変更したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

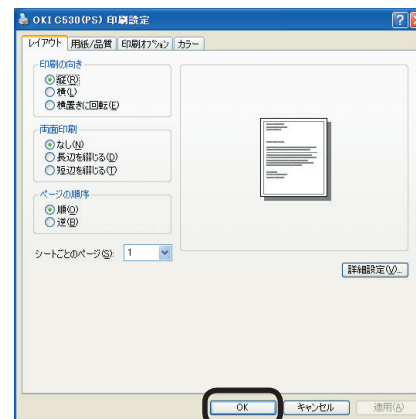
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。

❷ お使いのプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、「** 印刷設定」（** はプリンタドライバ名）を開きます。

❸ 各設定を変更し、［OK］をクリックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[設定の保存]をクリックします。

❹ 確認画面で[OK]をクリックします。

- [用紙設定] ダイアログの初期設定は変更できません。
- アプリケーション独自の設定項目は保存されません。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ 各設定を変更します。

❹ [プリセット] で [別名で保存] を選択し、「プリセットを保存」画面で適当な設定名を入力し、[OK] をクリックします。

❺ [キャンセル] をクリックします。

印刷時に [プリセット] で保存した設定名を選択してください。

トナーをセーブして試し印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくすることでトナーの消費量を節約します。同時に 100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

- 100%黒の色には無効です。
- 印刷モードが［モノクロ］のときは有効になりません。
- PostScript で CMYK 印刷ができるアプリケーションがありますが、CMYK で印刷指定をした場合は無効となります。また、PostScript でグレースケール（モノクロ）印刷した場合も無効となります。
- CIE カラースペースで印刷データを作成する OS やアプリケーションでは無効となります。

メモ ［トナーセーブ］と［オフィスドキュメント］の設定を有効／無効にした時の印刷の濃度の目安

［オフィスドキュメント］はプリンタドライバの［カラー］タブ、または［カラー］パネルで設定します。

例えば､シアン 100%の色を印刷した時の濃度は表のようになります。
数値が小さいほど、印刷結果は明るい感じになります。

✓：有効　　ー：無効

トナーセーブ	オフィスドキュメント	印刷の濃度
ー	ー	100%
ー	✓	約 95%（標準の設定）
✓	ー	約 85%
✓	✓	約 70%

実際のトナーセーブとオフィスドキュメントの設定による印刷の濃度の変化は、印刷する画像によって異なります。
［オフィスドキュメント］については、157 ページをご覧ください。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［トナーセーブ］にチェックをつけます。

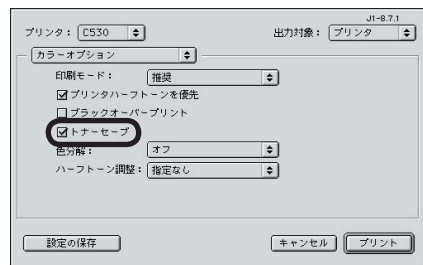
Windows PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

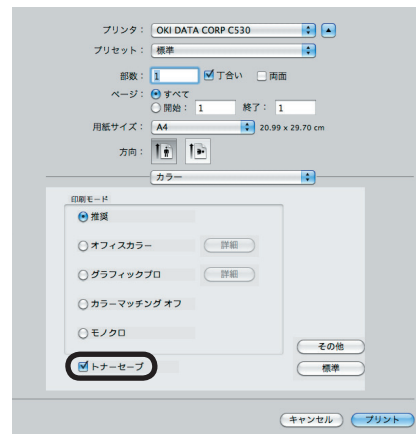
❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［印刷オプション］タブの［トナーセーブ］にチェックをつけます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラーオプション］パネルの［トナーセーブ］にチェックをつけます。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルで［トナーセーブ］にチェックをつけます。

Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［印刷品質］パネルで［トナーセーブ］にチェックをつけます。

Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

オフィス文書の見やすさを保ちながら、トナー消費量をセーブしたい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

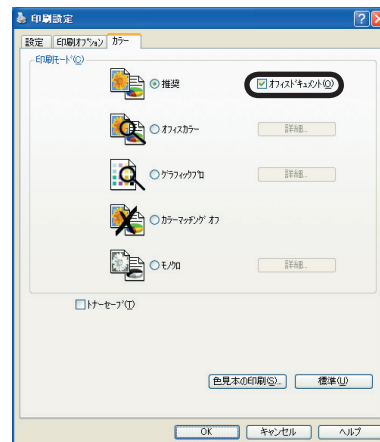
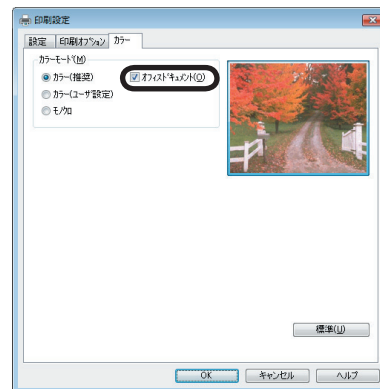
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	○	○

機能の説明

オフィス文書に適した濃度にトナー量を調整し、文書の見やすさを保ちながら、トナー消費量をセーブすることができます。
100% 黒の濃度はそのまま保持しますので、黒文字の読みやすさも損いません。

Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

（Windows PCL プリンタドライバの画面）

（Windows PCL XPS プリンタドライバの画面）

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［オフィスドキュメント］にチェックをつけます。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラー] パネルで [オフィスドキュメント] にチェックをつけます。

メモ Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

印刷データをファイルに出力したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

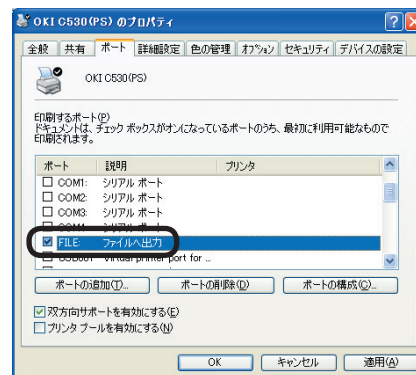
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

コンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、[スタート]-[デバイスとプリンター]を選択します。Windows Vista/Windows Server 2008 では、[スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。Windows XP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。

❷ お使いのプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、「** のプロパティ」(** はプリンタドライバ名) を開きます。

❸ [ポート] タブの [印刷するポート] で [FILE:] を選択し、[OK] をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力] で [出力先ファイル名] を入力し、[OK] をクリックします。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［出力先］で［ファイル］を選択します。

❹［ファイルとして保存］パネルで設定を行います。

フォーマット
ポストスクリプトファイル形式を指定します。

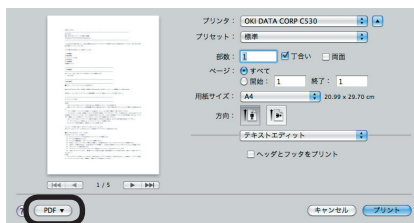
PostScript レベル
出力するプリンタに合わせて指定します。

データフォーマット
アスキー / バイナリ形式のいずれで保存するか指定します。

バイナリの PostScript 言語ファイルを転送する場合、通信サービスがバイナリデータ転送をフルサポートしている必要があります。

フォントの保持
ファイルにダウンロード可能なフォントを含めるか指定します。PostScript フォントしか使っていない場合は［なし］を選択します。

❺ 印刷します。［名前］に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［PDF］をクリックし、保存方法を選択します。（Mac OS X 10.3 では［出力オプション］パネルで［ファイルとして保存］にチェックをつけ、［フォーマット］で［PostScript］を選択し、［保存］をクリックします。）

〈Mac OS X 10.4 以降〉

〈Mac OS X 10.3〉

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

❹［名前］（Mac OS X 10.3 では［別名で保存］）に保存するファイル名を入力し、保存先を選択し、［保存］をクリックします。

ポストスクリプトファイルをダウンロードしたい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

ファイルに出力したポストスクリプトファイルなどをプリンタにダウンロードし、印刷することができます。

OKI LPR ユーティリティ（Windows）を使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷［リモートプリント］メニューの［ダウンロード ...］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると、印刷されます。

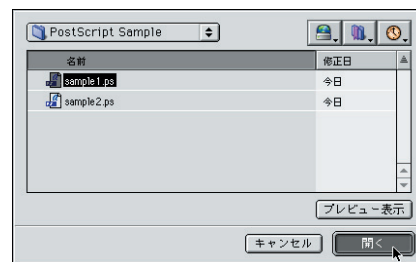
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

Mac OS X では利用できません。

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［File ダウンロード］を選択します。

❸ ダウンロードするファイルを選択し、［開く］をクリックします。

ポストスクリプトファイルのダウンロードが開始されます。ダウンロードが終了すると､印刷されます。

ポストスクリプトファイルを MicrolinePS Utility のアイコンやメインダイアログにドラッグ＆ドロップすることでも、ダウンロードできます。

ポストスクリプトエラーを印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

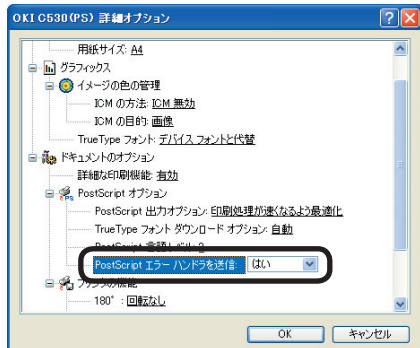
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	×	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

ポストスクリプトエラーが発生したときに、エラー内容を印刷することができます。

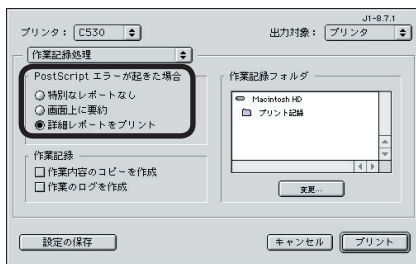
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［レイアウト］タブの［詳細設定］をクリックします。

❺［PostScript オプション］-［PostScript エラーハンドラを送信］で［はい］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［作業記録処理］パネルの［PostScript エラーが起きた場合］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［エラー処理］パネルの［PostScript エラー］で［詳細レポートをプリント］を選択します。

Mac OS X 10.5 以降では、この機能は利用できません。

アプリケーション別の設定

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	×	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

PS プリンタドライバで印刷する場合に注意が必要なアプリケーションについて簡単に説明します。詳しくは各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Adobe PageMaker 7.0J/6.5J/6.0J（Windows 版）

Adobe PageMaker7.0J/6.5J/6.0J で印刷するには、PPD ファイルのインストールが必要です。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ セットアッププログラムが起動しますので、[C530dn] 画面の右上の×ボタンをクリックして、画面を閉じます。

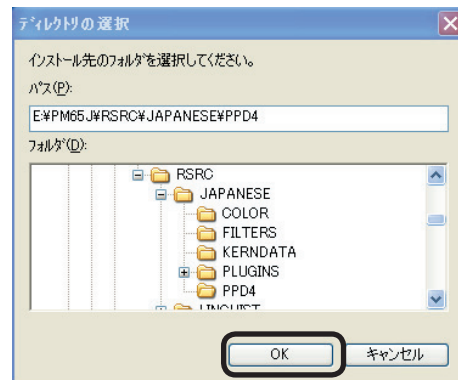
❸ [スタート] - [ファイルを指定して実行 ...] をクリックします。

❹ [名前] に以下のように入力し、[OK] をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。

```
D:¥MISC¥PPD¥SETUP.EXE
```

❺「インストール先の選択」画面が表示されたら、[参照] をクリックして、インストールするフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

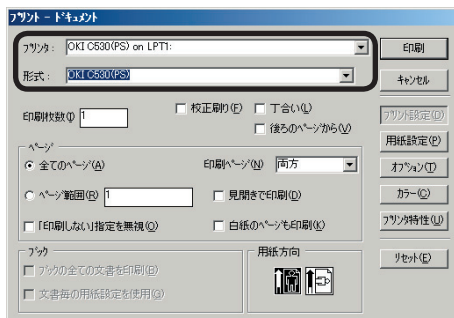
PageMaker7.0J の場合	pagemaker7.0J¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.5J の場合	pm65j¥rsrc¥japanese¥ppd4
PageMaker6.0J の場合	pm6¥rsrc¥ppd4

❻［次へ］をクリックします。
PPD ファイルがインストールされます。

❼［完了］をクリックします。

❽［終了］をクリックします。

❾ PageMaker の[ファイル]メニューから[プリント]を選択します。

❿［プリンタ］と［形式］で［OKI C530(PS)］を選択します。

［プリンタ］はプリンタドライバを、［形式］は PPD ファイルを意味しています。

⓫［印刷］をクリックします。

QuarkXPress4.1/4.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- カラーマッチングを行うには、［補助］メニューの［Xtention マネジャー］で［Quark CMS］が ON になっている必要があります。
- ［ファイル］メニューの［印刷］-［出力］パネルで［ハーフトーン］を必ず［プリンタ］にしてください。［計算値］にすると印刷が粗くなります。
- Macintosh と USB で接続している場合は［ファイル］メニューの［印刷］-［プリンタフォント］タブでプリンタフォントを検索することができません。プリンタフォントを使うときは［プリンタフォント］タブの［ポストスクリプト印刷］の欄をクリックして使用するフォントにチェックをつけてください。

Adobe Photoshop7.0/6.0/5.5/5.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［用紙設定］で［ハーフトーンスクリーン］をクリックし、［プリンタの初期設定値を使う］を必ず ON にしてください（Macintosh では［ファイル］メニューの［用紙設定］-［Adobe PhotoshopXX］パネルの［ハーフトーンスクリーン］）。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。
- ハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含む EPS ファイルは、印刷が粗くなることがあります。プリンタに最適なハーフトーンで印刷するには、EPS ファイルの作成時にハーフトーンスクリーン情報やトランスファー関数を含めないようにしてください。

Adobe Illustrator10.0/9.0/8.0/7.0J（Windows 版、Macintosh 版）

- ［ファイル］メニューの［書類設定］で［プリンタの初期設定値を使う］を必ず ON にしてください。OFF にして印刷すると印刷が粗くなることがあります。

Macromedia FreeHand9.0/8.0J（Macintosh 版）

- ICC プロファイルが表示されない場合は、［システムフォルダ］の［ColorSync 特性］または［ColorSync プロファイル］にある［OKI C530 600dpi］、［OKI C530 1200dpi］、［OKI C530 600dpi (Multi)］ファイルを［システムフォルダ］-［初期設定］-［ColorSync™ 特性］フォルダにコピーしてください。

ProtecPaper について

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	×	×	×	×	×

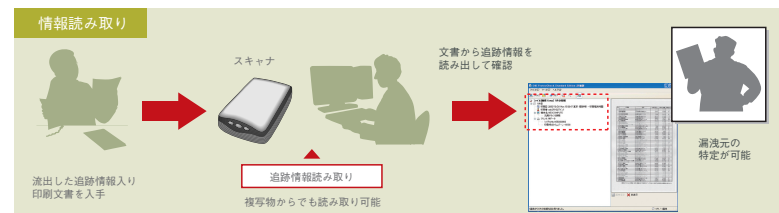
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

ProtecPaper® は、印刷物を経由した情報の漏洩を抑止するためのシステムで、ProtecPrint™ 印刷機能を内蔵したプリンタと、ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティと、読み取りソフト ProtecCheck™ からなります。ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティは、ProtecPrint 印刷機能を内蔵したプリンタの ProtecPrint 印刷機能を設定するソフトウェアです。

ProtecPrint 印刷機能を内蔵したプリンタは、PC にログオンする際のユーザ ID、PC 名、PC の IP アドレス、プリンタ名、印刷時刻などの出所情報を、印刷時に Val-Code(r) と呼ばれる特殊なコードを利用し地紋として書き込みます。出所情報は削除困難な地紋として紙面全面に付加されるため、印刷者に対して文書のずさんな管理や持ち出しの牽制、抑止効果があり、印刷物からの情報漏洩の抑止効果が期待できます。

ProtecCheck は、印刷物をスキャナから読み込んで出所情報を表示します。このため、漏洩した印刷物から情報漏洩元がわかり、迅速に再発防止策を講ずることが可能となります。また、複写物や用紙の一部からでも印刷元の特定が行えます。

ProtecPaper, ProtecPrint, ProtecCheck の詳細については、沖データホームページをご覧ください。

ProtecPrint の全機能を使用し、すべての項目を埋め込み印刷するためには、ProtecPrint Full ライセンスをご購入いただき、ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティを使用してこの ProtecPrint Full ライセンスのライセンスキーをプリンタに登録する必要があります。
ProtecPrint Full ライセンスおよび読み取りソフト ProtecCheck は、プリンタをお求めになった販売店よりご購入いただけますのでお問い合わせください。また ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティの入手方法についても販売店にお問い合わせください。
なお、ProtecCheck の体験版（ProtecCheck Lite）は沖データのホームページからダウンロードいただけます。

C530dn では、プリンタ初期状態で、機能が制限された ProtecPrint Lite が使用可能です。以下の項目が埋め込まれます。

【Protec Print Lite 埋め込み印刷項目】

1. 印刷日付
2. プリンタ機種名
3. プリンタシリアルナンバー

Protec Print Full ライセンスでは以下の項目が埋め込まれます。

1. 印刷日付
2. プリンタ機種名
3. プリンタシリアルナンバー
4. ログインユーザ
5. コンピュータ名
6. 文書名
7. 印刷端末 IP アドレス
8. 印刷端末 MAC アドレス
9. ジョブアカウントユーザ名
10. ジョブアカウントユーザ ID
11. 任意文字（追加プリンタ情報等の固定文字列）

ProtecPrint Lite をお使いいただくには

ProtecPrint Lite は Windows PCL プリンタドライバで使用可能です。

ProtecPrint Lite は、ライセンスキーのご購入なしでお使いいただけます。
ProtecPrint Lite を使用して印刷文書に出所情報を埋め込むには、「ProtecPrint Lite を使って印刷します」（167 ページ）をご覧ください。

ProtecPrint をお使いいただくには

ProtecPrint は Windows PCL プリンタドライバで使用可能です。

ProtecPrint の全機能をお使いいただくには、ProtecPrint Full ライセンスご購入後、次の操作が必要です。

❶ ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティのインストール
❷ プリンタに ProtecPrint Full ライセンスキーを登録し、プリンタの ProtecPrint 機能の詳細を設定

使用方法については、ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティと一緒にインストールされる、「ProtecPrint マニュアル（リファレンス編）」をご覧ください。

ProtecPrint Lite を使って印刷します

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

ProtecPrint Full ライセンスがない場合、ProtecPrint Lite をお使いいただけます。

ドライバの印刷設定を変更します

ProtecPrint Lite を使ってアプリケーションで印刷する手順を例にしています。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［ProtecPrint］をクリックします。

❺「ProtecPrint 設定」ダイアログで、［ProtecPrint Lite を使用する］にチェックをつけます。

ProtecPrint で地紋なしで印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

プリンタに ProtecPrintFull ライセンスキーが登録され、プリンタの ProtecPrint が有効になると、通常の状態で地紋が印刷されます。地紋なしで印刷するには以下の設定を行ってください。

- 地紋なしで印刷する場合は、あらかじめプリンタの ProtecPrint 設定で、地紋なし印刷を有効にしておきます。
- ProtecPrint 設定を変更する操作方法および地紋なし印刷の設定方法については ProtecPrint プリンタ設定ユーティリティと共にインストールされる、「ProtecPrint マニュアル（リファレンス編）」をご覧ください。

ドライバの印刷設定を変更します

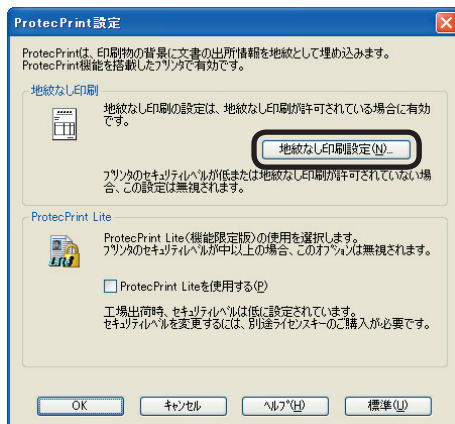
印刷する時に 地紋なし印刷を指定する手順を例に説明します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

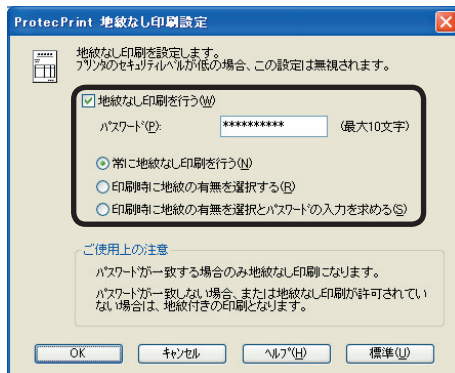
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［ProtecPrint］をクリックします。

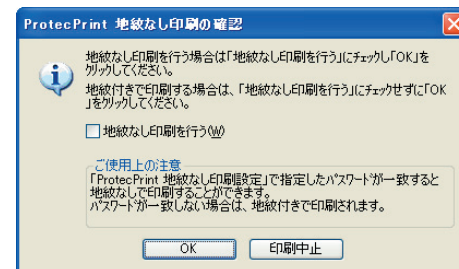
❺「ProtecPrint 設定」ダイアログで、［地紋なし印刷設定］をクリックします。

❻「ProtecPrint 地紋なし印刷設定」ダイアログで［地紋なし印刷を行う］にチェックをつけます。

❼ 地紋なし印刷を許可するパスワードを［パスワード］に入力します。

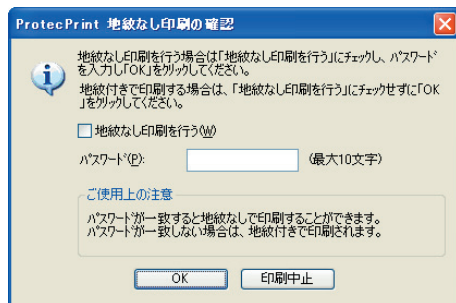
❽ 地紋なし印刷を確認する方法を選択します。

常に地紋なし印刷を行う

次に設定を変更するまでは、指定されたパスワードがプリンタに設定した地紋なし印刷を許可する許可パスワードと一致する場合に地紋なし印刷を行います。

印刷時に地紋の有無を確認する

印刷時に地紋なし印刷を確認するダイアログを表示します。

地紋なしで印刷を行う場合は［地紋なし印刷を行う］をチェックし、［OK］をクリックします。

印刷時に地紋の有無のパスワードの入力を求める

印刷時に地紋なし印刷を確認するダイアログを表示します。

地紋なしで印刷を行う場合は［地紋なし印刷を行う］をチェックし、地紋なし印刷を許可するパスワードを［パスワード］に入力し［OK］をクリックします。

プリンタの ProtecPrint 設定で地紋なし印刷が許可されており、さらに ProtecPrint 地紋なし印刷設定または、ProtecPrint 地紋なし印刷の確認で入力されたパスワードがプリンタに設定した 地紋なし印刷を許可する 許可パスワードと一致する場合に地紋なし印刷を行います。
プリンタの ProtecPrint 設定で地紋なし印刷が許可されていない場合や、パスワードが一致しない場合は、地紋つきの印刷になります。

ドライバの ProtecPrint 設定のアクセス制限をしたい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	×	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

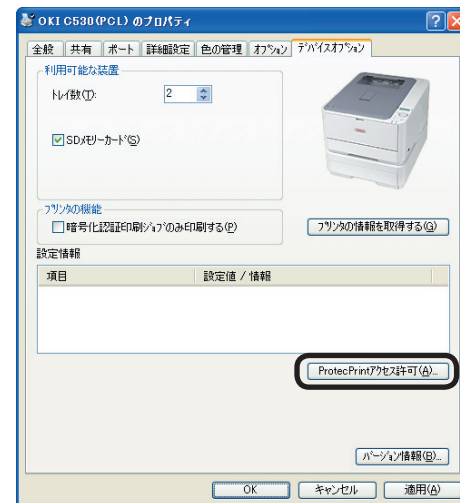
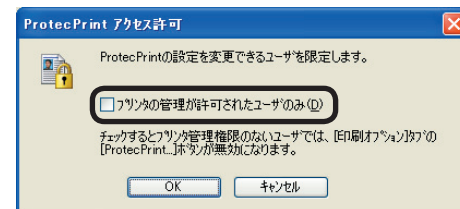
制限つきのユーザにはプリンタドライバの ProtecPrint の設定を変更できないようにアクセス制限できます。

「プリンタの管理」が許可されているユーザがアクセス許可の設定を変更できます。

ProtecPrint のアクセス許可を設定します

❶ Windows 7/Windows Server 2008 R2 では、［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 では、［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
Windows XP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。

❷ 設定を変更するプリンタのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、「** のプロパティ」（** はプリンタドライバ名）を開きます。

❸［デバイスオプション］タブをクリックし［ProtecPrint アクセス許可］をクリックします。

❹「ProtecPrint アクセス許可」ダイアログで、［プリンタの管理が許可されたユーザのみ］にチェックをつけます。

本設定によりプリンタの管理が許可されないユーザは、［印刷オプション］タブの［ProtecPrint］ボタンが無効になります。

白紙ページを除いて印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

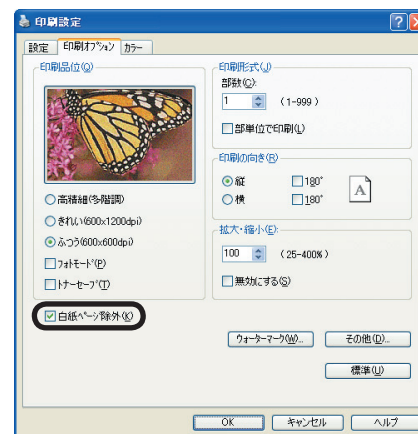
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	×	×	×	○	×	○	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

印刷するデータに白紙ページが含まれる場合に、白紙のページを印刷しません。

Windows Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［白紙ページ除外］にチェックをつけます。

5 カラーについて

カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します（加法混色）。一方プリンタは白（白色光）に対して「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します（減法混色）。
RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム（CMS）といいます。

本プリンタでは、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

利用できるカラーマネージメントシステム

プリンタドライバ ＼ カラーマッチング	Windows PS	Windows PCL	Windows XPS	Windows Hiper-C	MacOS 9.0～9.2.2 PS	Mac OS X PS	Mac OS Hiper-C
プリンタに内蔵のカラーマッチング（［オフィスカラー］モード）	○	○	○	○	○	○	－
プリンタに内蔵のカラーマッチング（［グラフィックプロ］モード）	○	○	－	－	○	○	－
Windows の Image Color Matching（※）（ICM）	○	－	－	－	－	－	－
ColorSync	－	－	－	－	○	○	○
アプリケーションのカラーマッチング	○	○	○	○	○	○	○

※「Image Color Matching」を利用するには、アプリケーションが対応している必要があります。

簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

ワープロソフト・表計算ソフトやプレゼンテーション用ソフトなどビジネス文書をよく使用するユーザ向けに最適な方法のカラーマッチングを提供します。これらのソフトウェアで使用される RGB カラーで表現された色をお使いのプリンタ用にカラーマッチングします。
カラーマッチングにはプリンタに搭載されている専用のアクセラレータ（ASIC）を使用してカラーマッチングを行います。RGB カラースペースの印刷データをプリンタの CMYK カラースペースに変換する際に、カラーマッチング処理が適用されます。

- RGB カラースペースの印刷データに対してのみ有効です。
- CMYK カラースペースの印刷データに対しては［推奨］または［オフィスカラー］を選択してもカラーマッチングは適用されません。この場合は［グラフィックプロ］を選択してください。

- Windows で ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。

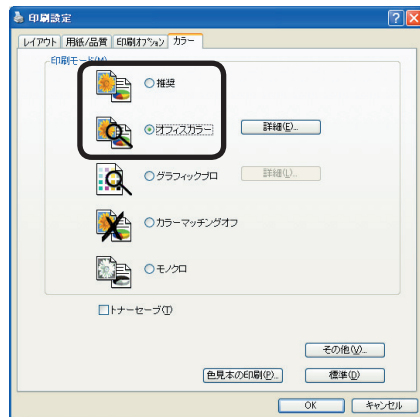
メモ

［カラー調整］
カラーマッチング処理の色の表現方法を指定します。

- モニタ（6500K）／自動
  モニタ（色温度 6500K）との相性を重視した上で、印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で色を表現します。通常はこの設定でお使いください。
- モニタ（6500K）／コントラスト重視
  モニタ（色温度 6500K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- モニタ（6500K）／鮮やかさ重視
  モニタ（色温度 6500K）との相性および図形や文字に適した鮮やかさを重視した方法で色を表現します。
- モニタ（9300K）
  モニタ（色温度 9300K）との相性および写真などの自然画に適した階調性を重視した方法で色を表現します。
- デジタルカメラ
  写真が明るくなるように色を表現します。撮影環境条件やシーンなど、場合によっては他のカラー調整項目を選択した方がよい場合があります。
- sRGB
  プリンタの色再現域内の色はそのままとし、プリンタの色再現域内に入らない色はプリンタの色再現域の外殻の色にマッチングします。特定の色をマッチングするのに適しています。

［CMYK シミュレーション］
お使いのプリンタで Japan Color、SWOP、EuroScale のようなオフセット印刷標準カラーをシミュレーションする場合に選択します。ターゲットの印刷装置のインクを選択します。

［黒の生成］
カラーで印刷する時の黒の仕上がりを設定します。通常は自動のままご使用ください。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。

［オフィスカラー］を選択した場合、［詳細］をクリックして、各種カラーマッチング設定を変更します。

ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。

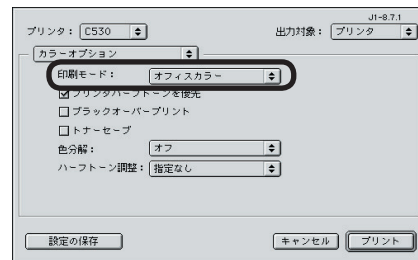
Windows PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

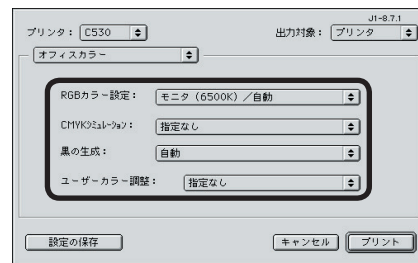
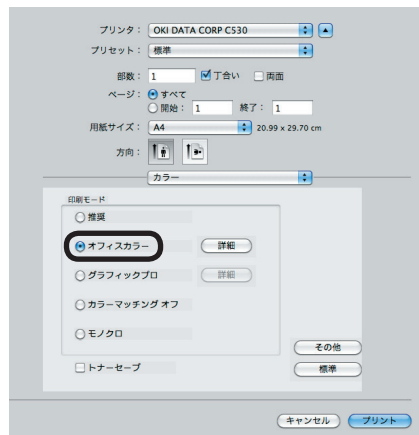
❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（推奨）］または［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［推奨］を選択します。

［オフィスカラー］を選択した場合、必要に応じて［オフィスカラー］パネル内の［RGB カラー設定］や［CMYK シミュレーション］、［黒の生成］を変更します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルの［印刷モード］で［推奨］または［オフィスカラー］を選択します。

［オフィスカラー］を選択した場合、［詳細］ボタンをクリックして［オフィスカラー詳細設定］パネルを開き、必要に応じて［カラー調整］や［CMYK シミュレーション］、［黒の生成］を変更します。

Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで「推奨」または［オフィスカラー］を指定しても、無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［カラー］パネルの［カラーモード］で［カラー（推奨）］または［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

［カラー（ユーザ設定）］を選択した場合、必要に応じて［カラー調整］や［黒の生成］などを変更します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

ICC プロファイルをプリンタにダウンロードする

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

このプリンタでは一般的なカラー管理によく使用される ICC プロファイルを使用したカラーマッチングワークフローを提供しています。この機能を使用するためには、本プリンタとカラーマッチングの対象となる入出力装置（モニタ、スキャナ、デジタルカメラ、他の印刷装置）の ICC プロファイルをあらかじめプリンタに登録しておく必要があります。
ICC プロファイルの登録や参照には［プロファイルアシスタント］を使用します。

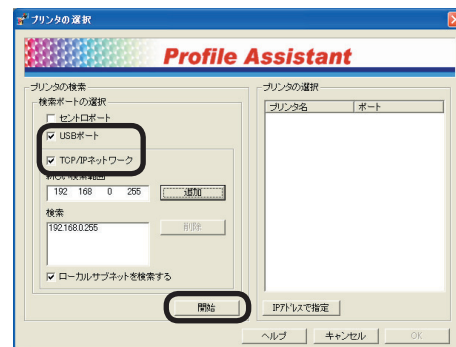
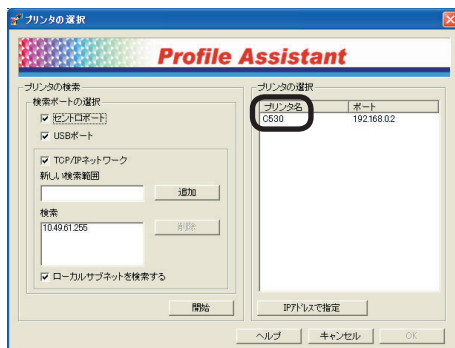
- プロファイルアシスタントのインストール方法については、沖データホームページのダウンロードページをご覧ください。
- お使いの入出力装置用のプロファイルがない場合には、その装置のメーカや販売店にご相談ください。

メモ　以下の 4 つのタイプのプロファイルが登録できます。各 4 つのタイプごとに 12 個まで登録することができます。

- RGB ソース
  モニタ、スキャナ、デジタルカメラなどの RGB 入力装置用のプロファイル
- CMYK シミュレーション
  プリンタやイメージセッタなどの CMYK 出力装置用のプロファイル
- プリンタ
  お使いのプリンタのプロファイル。プリンタプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。
- リンクプロファイル
  CMYK から CMYK に直接変換するプロファイル。リンクプロファイルを作成編集可能な上級ユーザのみご使用ください。

Windows をお使いの方

❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［プロファイルアシスタント］-［プロファイルアシスタント］を選択し、プロファイルアシスタントを起動します。

❷ プリンタを検索します。
ネットワーク接続している場合は［TCP/IP ネットワーク］を、USB 接続している場合は［USB ポート］にチェックをつけ、［開始］をクリックします。

❸ プリンタリストから登録したいプリンタを選択します。ユーティリティのメイン画面が表示されます。

注 次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択したプリンタに自動的に接続します。別のプリンタを選択したい場合には、メイン画面で［プリンタの変更］をクリックして❷、❸の手順で再度プリンタを選択してください。

❹［追加］をクリックします。「プリンタに登録したいICC/ICMプロファイルを選択します」画面が表示されます。

❺ 登録したいICCプロファイルを選択し、［開く］をクリックします。

・必要に応じて［ファイルの場所］を変更して、お使いのコンピュータ上のICCプロファイルが格納されたディレクトリに移動してください。
・ICCプロファイルをクリックすると、リストにICCプロファイルの情報（説明（デバイス情報）、サイズ、作成日、色空間など）が表示されます。登録したいICCプロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。

❻ 表示されているヒント情報に従って登録するプロファイルのタイプを選択します。

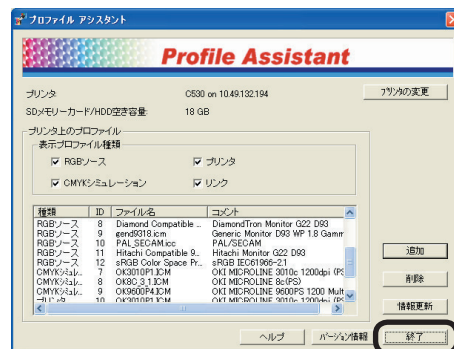
❼ 1 ～ 12 の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。

登録されていない空き番号のボタンが白色で、既に登録されている番号のボタンが水色で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、プリンタ名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

メモ この情報はプリンタに登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（プリンタ操作パネル）に使用されます。登録者以外のプリンタ使用者が登録された ICC プロファイルがどのプリンタ用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾［OK］をクリックします。

❿ メイン画面に登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、［終了］をクリックします。

メモ
- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（184 ページ）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルから ▲, ▼ スイッチ , OK スイッチを使用して、［インフォメーション　メニュー］-［カラー　プロファイル　リスト］-［ジッコウ］を行うと、プリンタに登録した ICC プロファイルの一覧表を印刷することができます。

Mac OS X/Mac OS 9 をお使いの方

❶ プロファイルアシスタントを起動します。

❷ プリンタを検索します。
ネットワーク接続している場合は［ネットワーク］タブを、USB 接続している場合は［USB］タブをクリックします。

❸ プリンタリストから登録したいプリンタを選択し、［選択］をクリックします。

注 USB2.0 に対応していません。
USB 接続で使用する場合は、USB1.1 で接続する必要があるため USB Speed を 12Mbps に設定してください。
USB Speed については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「ユーザメニュー」（270 ページ）をご覧ください。

❹ ユーティリティのメイン画面で［追加］をクリックします。

注 次回以降の起動では、❷、❸の手順は省略され、最後に選択したプリンタに自動的に接続します。別のプリンタを選択したい場合には、メイン画面で［プリンタの変更］をクリックして❷、❸の手順で再度プリンタを選択してください。

❺「プロファイルを選択してください」画面で登録したい ICC プロファイルを選択し、［選択］をクリックします。

- 必要に応じてお使いの Macintosh 上の ICC プロファイルが格納されたフォルダに移動してください。
- ICC プロファイルをクリックすると、リストに ICC プロファイルの情報（Description（デバイス情報）、Size（サイズ）、Date（作成日）、Color Space（色空間）など）が表示されます。登録したい ICC プロファイルを特定するためにこのリストを参照してください。
- ICC プロファイルは通常以下のフォルダに格納されています。希望する装置のプロファイルが見つからない場合はその装置のメーカにお問い合わせください。

  OS 9 : [起動ドライブ] : システムフォルダ : ColorSync プロファイル
  OS X : [起動ドライブ] : ライブラリ : ColorSync : Profiles

❻［プロファイル種類］メニューで登録するプロファイルのタイプを選択します。

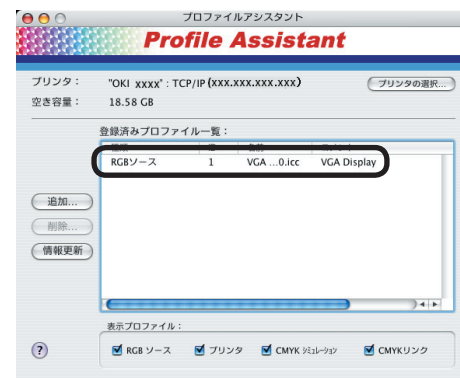
❼ 1 ～ 12 の中からプロファイルを登録したい番号を選択します。

既に登録されている番号がボールド＋下線で表示されます。登録済み番号を指定して登録した場合には上書き登録されます。

❽ 登録するプロファイルについて、プリンタ名などのメモ情報を［コメント］欄に記載します。

メモ　この情報はプリンタに登録されたプロファイルの一覧表示（本ユーティリティのメイン画面）やカラープロファイルリストの印刷（プリンタ操作パネル）に使用されます。登録者以外のプリンタ使用者が登録されたICC プロファイルがどのプリンタ用なのかを認識できるようにしておくと便利です。

❾［追加］をクリックしてプリンタへの登録を開始します。

❿ 登録したプロファイル名が表示されたことを確認し、ユーティリティを終了します。

メモ
- 登録したプロファイルはプリンタドライバの［印刷モード］の［グラフィックプロ］のモードでカラーマッチングに使用できます。使用方法については「ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）」（184 ページ）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルから ▲，▼ スイッチ，OK スイッチを使用して、［インフォメーション　メニュー］-［カラー　プロファイル　リスト］-［ジッコウ］を行うと、プリンタに登録した ICC プロファイルの一覧表を印刷することができます。

ICC プロファイルを使用してカラーマッチングする（グラフィックプロ）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

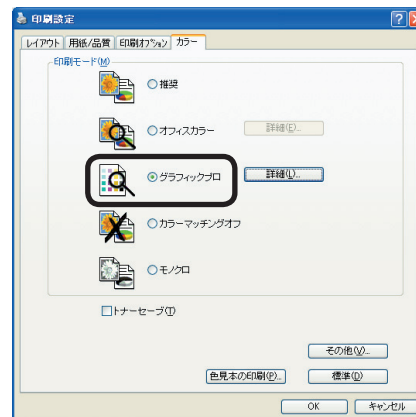
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

DTP 向けのソフトウェアをよく使用するユーザ向けに ICC プロファイルを利用したカラーマッチングワークフローを提供します。
任意の RGB 入力装置（モニタやデジタルカメラ）とプリンタ間のカラーマッチングや、任意の CMYK 出力機器のシミュレーション印刷を指定することができます。
カラーマッチングに、任意の入出力機器用の ICC プロファイルを使用する場合、あらかじめ ICC プロファイルをプリンタに登録する必要があります。ICC プロファイルの登録方法は「ICC プロファイルをプリンタにダウンロードする」（178 ページ）をご覧ください。

- CMYK リンクプロファイルは PCL プリンタドライバでは指定できません。
- Windows 上の PS プリンタドライバで ICC プロファイルをインストールしている場合は、［レイアウト］タブで［詳細設定］をクリックし、［ICM の方法］で［ICM 無効］を選択します。

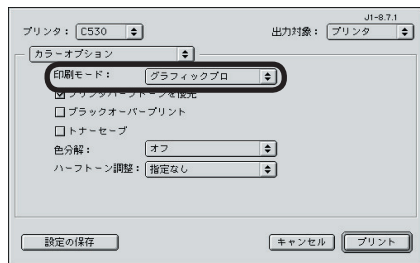
Windows プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

［詳細］をクリックして各種カラーマッチング設定を変更します。（185 ページ参照）

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

必要に応じて、［グラフィックプロ 1］、［グラフィックプロ 2］パネル内の各種カラーマッチング設定を変更します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

［詳細］ボタンをクリックして［グラフィックプロ詳細設定］パネルを開き、必要に応じて各種カラーマッチング設定を変更します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

「詳細」画面では以下の設定が可能です。
カラーマッチングワークフローとして［ICC プロファィルカラーマッチング］、［印刷シミュレーション］、［プロファイルの生成（測色用）］、［アプリケーションでカラーマッチング］の 4 つのケース用に最適化されたタスクを用意しています。

ICC プロファィルカラーマッチング

DTP アプリケーションで扱われるデータは、RGB や CMYK カラー空間で表現されたデータが混在することがあります。
このタスクボタンを選択すると、RGB データと CMYK データのそれぞれに対してカラーマッチングの対象となるソースデバイスのプロファイルを指定することができます。

- ［RGB プロファイル］では RGB データの入力装置（通常モニタやデジタルカメラ）のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは［RGB ソース 1］から［RGB ソース 12］の中から RGB ソース用に登録したプロファイルを選択します。標準では［sRGB］装置用のプロファイルが登録されています。
- ［CMYK 入力プロファイル］では通常 CMYK データの最終的な出力対象となっている印刷装置（オフセット印刷機やインクなど）のプロファイルを選択します。標準プロファイルまたは［CMYK ソース 1］から［CMYK ソース 12］の中から CMYK シミュレーション用に登録したプロファイルを選択します。標準では［JapanColor］、［SWOP］、［Euroscale］用のプロファイルが登録されています。
- ［プリンタプロファイル］ではお使いのプリンタのプロファイルを選択します。通常［自動］を選択します。これによりプリンタに標準で組み込まれたお使いのプリンタ用のプロファイルが選択されます。プロファイル作成用のソフトウェアなどによりプリンタプロファイルを作成、入手可能なユーザは、［プリンタ 1］から［プリンタ 12］に登録したプロファイルを選択することもできます。
- ［CMYK リンクプロファイル］では CMYK データを直接プリンタの CMYK に変換するためのリンクファイルを作成可能な上級ユーザのみ使用してください。通常はリンクファイルは使用しないでください。

印刷シミュレーション

他の出力装置（プリンタ、オフセット印刷機、イメージセッタ）の出力結果をシミュレートする場合に選択します。
RGB データ、CMYK データ共にターゲットになっている印刷装置での印刷結果をシミュレートした結果となります。
ICC プロファイルカラーマッチングとの違いは、特に RGB データに関していったん RGB プロファイルとターゲットの印刷装置間でカラーマッチングされた結果がお使いのプリンタでシミュレーションされる点となります。

プロファイルの生成（測色用）

ICC Profile を作成する場合の測色用データを印刷するために用います。このモードではカラーマッチングを施さず、かつトナー層厚制限を緩いものとしますので、正確なカラーマッチング特性を得ることが可能となります。
このモードは通常の印刷目的で使用しないでください。

アプリケーションでカラーマッチング

アプリケーションでカラーマッチングを行う場合に指定します。プリンタおよびドライバでのカラーマッチングを行いません。

パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Windows）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

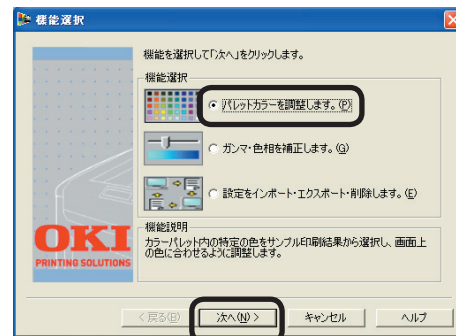
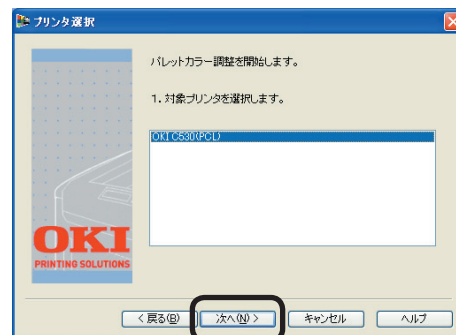
機能の説明

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

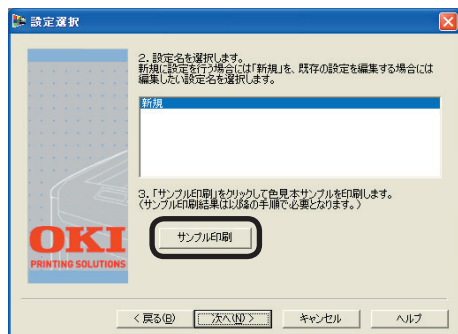
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、10 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- 管理者メニューの［SECURITY MENU］-［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定してある場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。
  ［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷［パレットカラーを調整します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹「設定選択」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

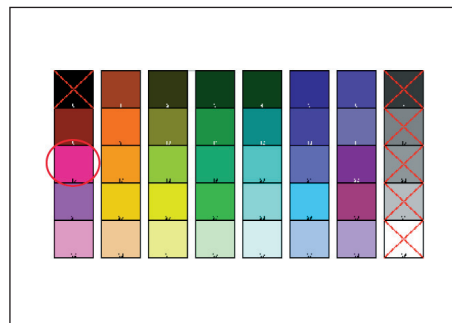
❺［次へ］をクリックします。

「パレットカラー調整」画面が表示されます。

❻［テスト印刷］をクリックします。

「調整対象色サンプル」が印刷されます。

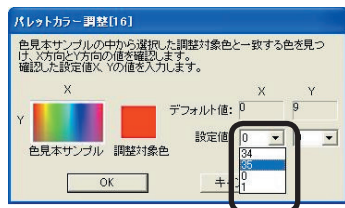
❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

×印がついている色は調整できません。

❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❾ X 値、Y 値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ　全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❿「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⓬「調整値入力」画面で、⓾で確認したＸ値とＹ値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⓭［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、他にも調整したい色がある場合は、❽〜⓭を繰り返します。［次へ］をクリックします。

⓮ 設定の名前を入力し、［保存］をクリックします。

⓯［OK］をクリックします。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了］をクリックしてください。

⓰［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGB カラー設定］で［ユーザー設定］にチェックをつけ、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

- ［印刷モード］が［オフィスカラー］の場合にのみ有効です。
- プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

Windows PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

❺「カラー調整」で［ユーザー設定］を選択し、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい（Macintosh）

この機能が使えるプリンタドライバ

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft Excel や Word などで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

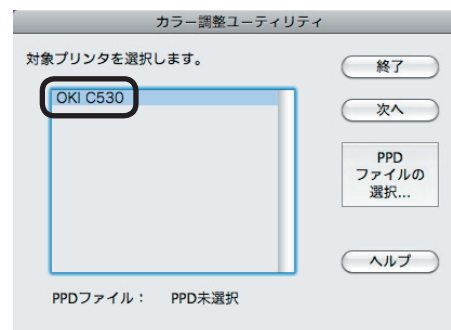
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、84 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- 管理者メニューの［SECURITY MENU］-［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定してある場合、サンプル印刷、テスト印刷機能は使用できません。
［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

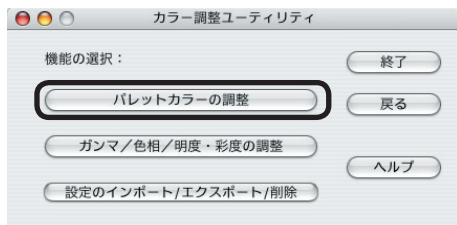
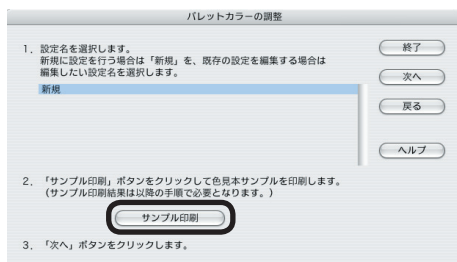
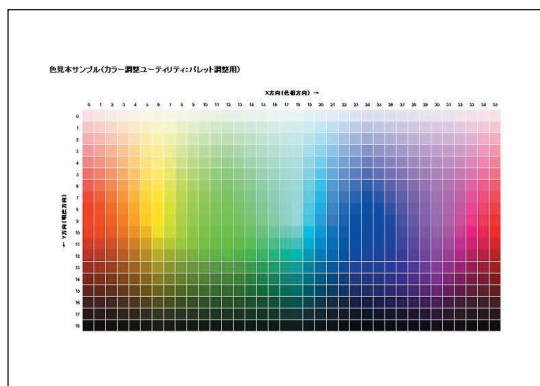
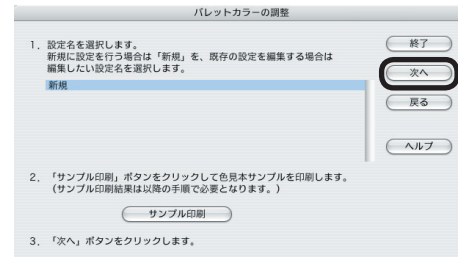
1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9））］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［（お使いのプリンタ名）］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

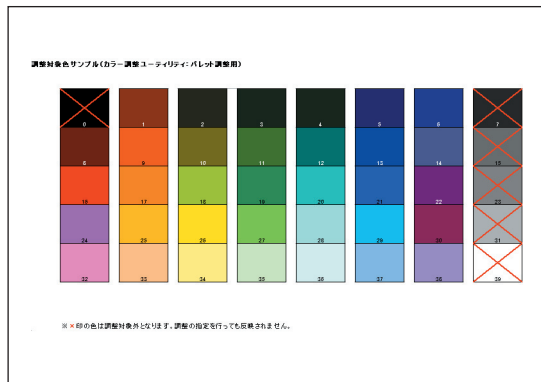
❷ 対象プリンタを選択し、C530dn の場合［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択し、［次へ］をクリックします。

C510dn/C310dn の場合、［次へ］をクリックします。

メモ　カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

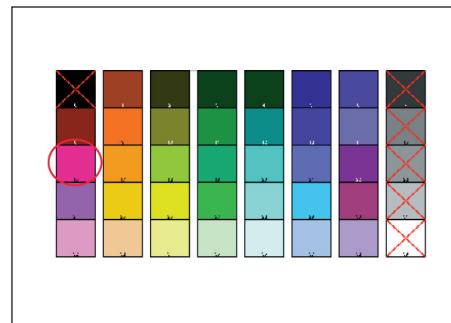
❸［パレットカラーの調整］をクリックします。

❹「パレットカラーの調整」画面が表示されたら、リストボックスから設定を選択して［サンプル印刷］をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

❺［次へ］をクリックします。

❻［テスト印刷］をクリックします。

メモ　画面左下部に❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。

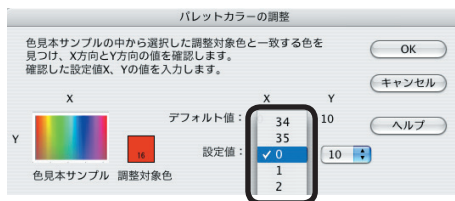
「調整対象色サンプル」が印刷されます。

注　×印がついている色は調整できません。

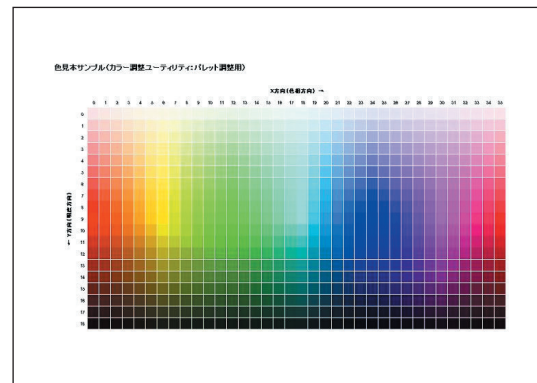
❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。(以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です)

《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

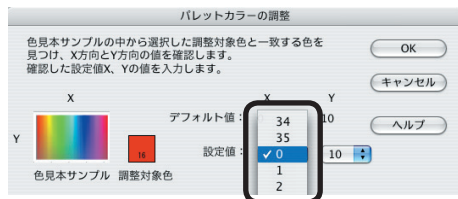
❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❾ X 値、Y 値のポップアップメニューで調整可能な範囲を確認します。

メモ 全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

❿「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X 方向（色相）、Y 方向（明度）の値（X 値、Y 値）を確認します。

⓫「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⓬「調整値入力」画面で、❾で確認した X 値と Y 値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⓭［テスト印刷］をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認します。

他にも調整したい色がある場合は、❽～⓭を繰り返します。

⓮ 設定名を入力し、［保存］をクリックします。

⓯ ❷で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

C530 の場合、次の「確認」画面が表示されます。

Mac OS X をお使いの方で、「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

⓰［終了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

⓱ Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [オフィスカラー] を選択します。

❹ [オフィスカラー] パネルの [ユーザーカラー調整] で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [カラーオプション] 機能セットの [印刷モード] で [オフィスカラー] を選択します。

❹ [プリンタの機能] パネルの [オフィスカラー] 機能セットの [ユーザカラー調整] で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラー] パネルの [カラーモード] で［カラー（ユーザ設定)］を選択します。

❹ ［カラー調整］で［ユーザ設定］を選択し、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Windows）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

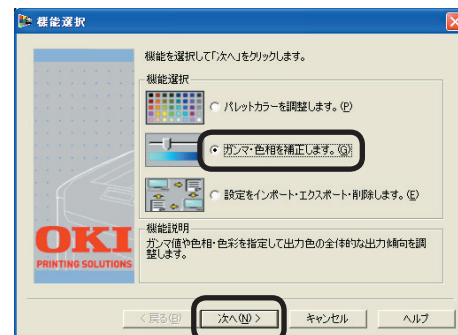
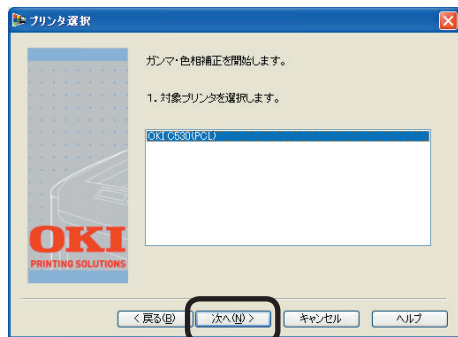
機能の説明

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

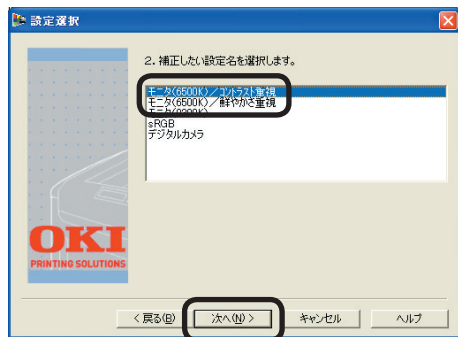
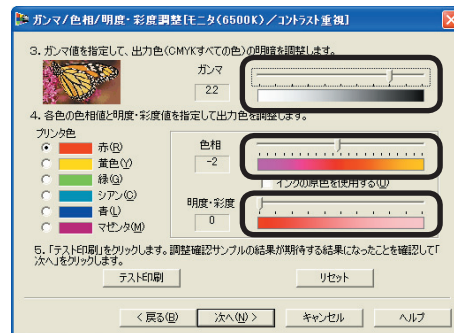
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、10 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。
- 管理者メニューの［SECURITY MENU］-［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定してある場合、テスト印刷機能は使用できません。
  ［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

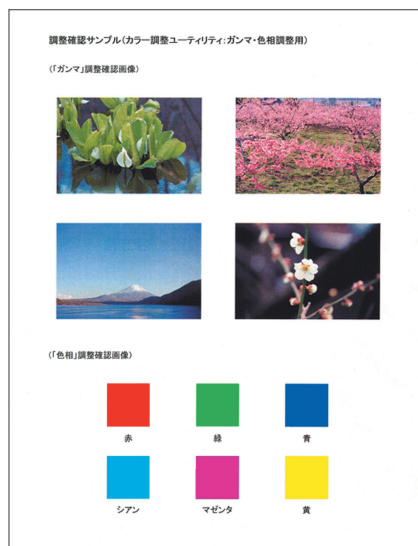
❷［ガンマ・色相を補正します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整するプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ　インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

❹リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

❺ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（＋）または逆方向（－）に各色を調整します。例えば､Y（黄）のスライドバーを（＋）方向に動かすと G（緑）に近づき、（－）方向に動かすと R（赤）に近づきます。

メモ　[インクの原色を使用する]は、トナーの原色100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては[色相]スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンタ色	結　果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% ＋ イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% ＋ イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% ＋ マゼンタトナー 100%

❻ [テスト印刷] をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認し、希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ [次へ] をクリックします。

❾ 設定の名前を入力し、[保存] をクリックします。

❿ [OK] をクリックします。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[完了] をクリックしてください。

⓫ [完了] をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺「オフィスカラー詳細設定」画面の［RGB カラー設定］で［ユーザー設定］にチェックをつけ、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

- ［印刷モード］が［オフィスカラー］の場合にのみ有効です。
- プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

Windows PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［カラーモード］で［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

❺「カラー調整」で［ユーザー設定］を選択し、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。［設定選択］にカラー調整名が表示されるのを確認し、［終了］をクリックしてください。

ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい（Macintosh）

この機能が使えるプリンタドライバ

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、84 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- 管理者メニューの［SECURITY MENU］-［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定してある場合、テスト印刷機能は使用できません。
［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

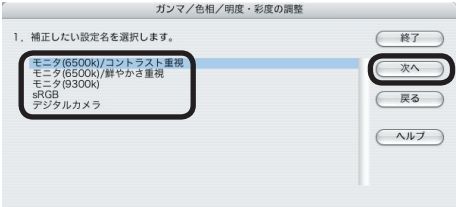
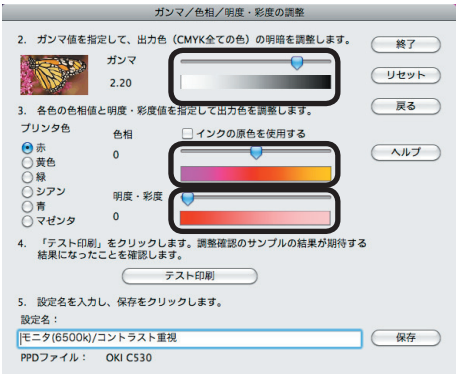
1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9)）］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［(お使いのプリンタ名)］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷ 対象プリンタを選択し、［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

C510dn/C310dn をお使いの場合、PPD ファイルの選択は必要ありません。

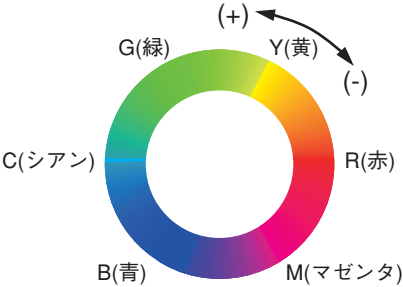
❸［ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整］をクリックします。

❹「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面が表示されたら、リストボックスから基準となるモードを選択し、［次へ］をクリックします。

❺ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

- 画面左下部に❷で選択した PPD ファイル名が表示されます。
- ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相 / 明度用スライドバーで出力色を調整できます。
- ［ガンマ］を左方向に調整するほど明るくなります。
- プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
- ［色相］は色相環の順方向（＋）または逆方向（－）に各色を調整します。例えば、Y（黄）のスライドバーを（＋）方向に動かすと G（緑）に近づき、（－）方向に動かすと R（赤）に近づきます。

- ［インクの原色を使用する］は、トナーの原色 100%の色が使用されるように調整します。ここをチェックした場合、その色に関しては［色相］スライドバーは固定され、次のようなトナー配合で印刷されるように調整します。

プリンタ色	結　果
シアン (C)	シアントナー 100%
マゼンタ (M)	マゼンタトナー 100%
イエロー (Y)	イエロートナー 100%
赤 (R)	マゼンタトナー 100% ＋ イエロートナー 100%
緑 (G)	シアントナー 100% ＋ イエロートナー 100%
青 (B)	シアントナー 100% ＋ マゼンタトナー 100%

❻［テスト印刷］をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認します。

希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ 設定名を入力し、［保存］をクリックします。

❾ ❷で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

❿ カラー調整ユーティリティを終了します。

⓫ Mac OS X の場合、［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているカラー調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [オフィスカラー] を選択します。

❹ [オフィスカラー] パネルの [ユーザーカラー調整] で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [プリンタの機能] パネルの [カラーオプション] 機能セットの [印刷モード] で [オフィスカラー] を選択します。

❹ [プリンタの機能] パネルの [オフィスカラー] 機能セットの [ユーザカラー調整] で、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラー] パネルの [カラーモード] で［カラー（ユーザ設定)］を選択します。

❹［カラー調整］で［ユーザ設定］を選択し、カラー調整ユーティリティで作成したカラー調整名を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

カラー調整の設定をファイルに保存したい（Windows）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

機能の説明

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、10 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

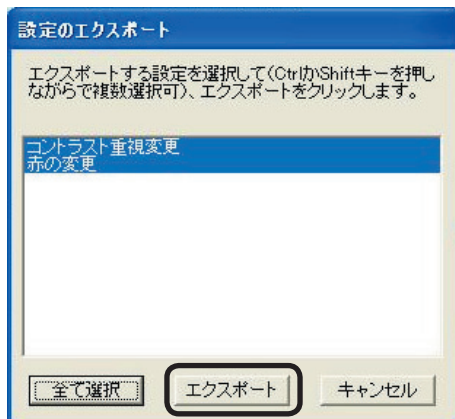
❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［カラー調整ユーティリティ］-［カラー調整ユーティリティ］を選択します。

❷［設定をインポート・エクスポート・削除します］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

2 設定を保存します。

❶［エクスポート］をクリックします。

❷「設定のエクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

❹［OK］をクリックします。

❺［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定をファイルに保存したい（Macintosh）

この機能が使えるプリンタドライバ

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、84 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。

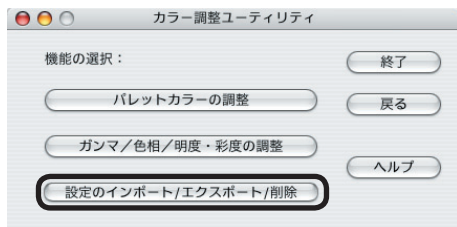
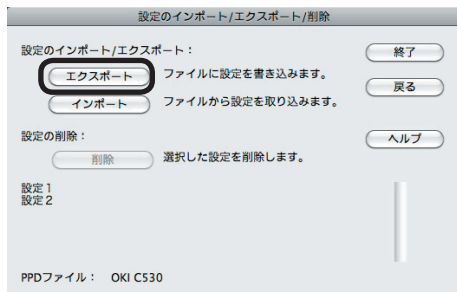
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9)）］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［(お使いのプリンタ名)］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

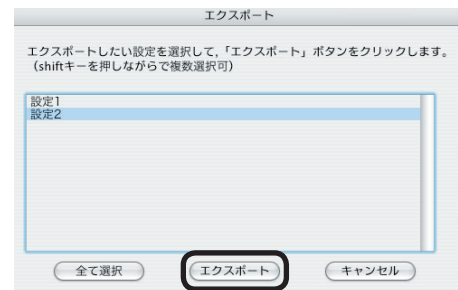
❷ 対象プリンタを選択し、［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

C510dn/C310dn をお使いの場合、PPD ファイルの選択は必要ありません。

メモ　C530 の場合は、カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

❸［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

2 設定を保存します。

❶［エクスポート］をクリックします。

メモ 画面左下部に手順1の❷で選択したPPDファイル名が表示されます。

❷「エクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸ 保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

❹ カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Windows）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

機能の説明

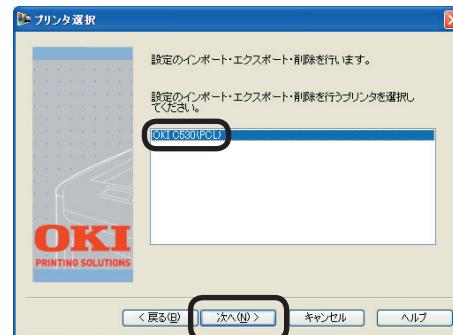
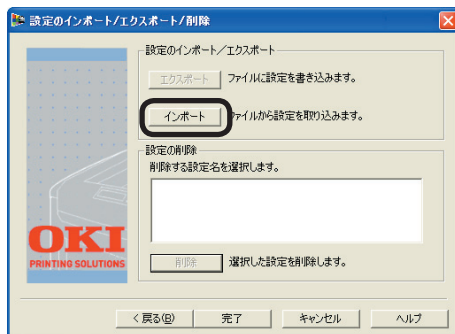
カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

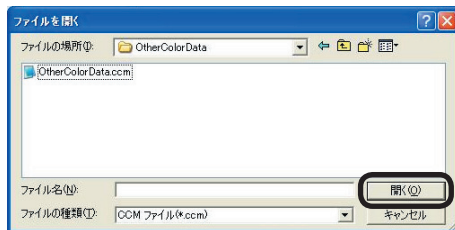
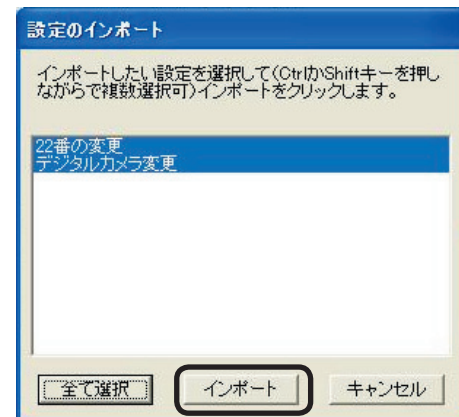
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、10 ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は B5 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、コンピュータの管理者の権限が必要です。

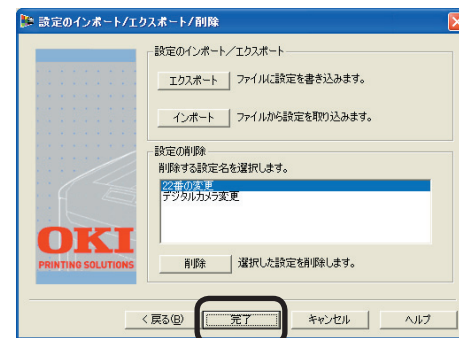
1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム] (Windows 2000 では[プログラム])-[沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸ 設定を読み込みたいプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

2 設定を読み込みます。

❶［インポート］をクリックします。

❷ 読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.CCM”ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸「設定のインポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、［インポート］をクリックします。

メモ　Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹ 設定が読み込めたことを確認し、［完了］をクリックします。

カラー調整の設定をファイルから読み込みたい（Macintosh）

この機能が使えるプリンタドライバ

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、84 ページをご覧ください。
- PPD ファイルごとに設定を行ってください。
- テスト印刷は A4 サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ ［アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9））］-［OKIDATA］-［カラー調整ユーティリティ］-［（お使いのプリンタ名）］-［カラー調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

❷ 対象プリンタを選択します。

❸［PPD ファイルの選択］をクリックして PPD ファイルを選択します。

C510dn/C310dn をお使いの場合、PPD ファイルの選択は必要ありません。

メモ　カラー調整ユーティリティの設定は、ここで選択した PPD に保存されます。

❹［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

2 設定を読み込みます。

❶［インポート］をクリックします。

メモ 画面左下部に手順 1 の❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。

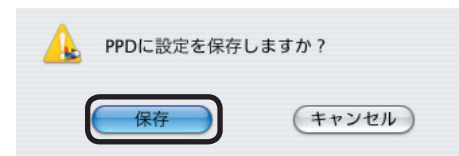
❷ 読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の “.ccm” ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸「インポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、［インポート］をクリックします。

メモ Shift キーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❹ ❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

Mac OS X をお使いの方で、「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

❺「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が読み込めたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

カラー調整の設定を削除したい（Windows）

この機能が使えるプリンタドライバ

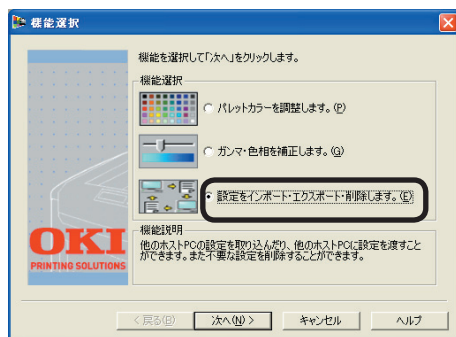
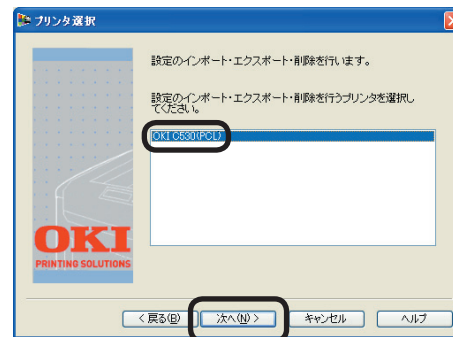
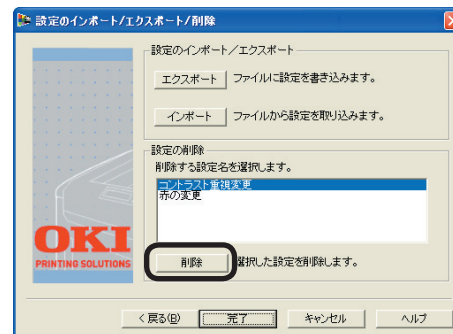
Windows をお使いの方

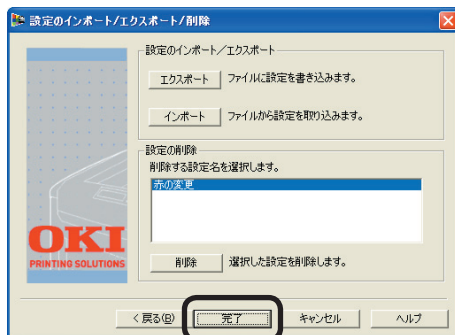
機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

機能の説明

不要になったカラー調整を削除できます。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム]（Windows 2000 では[プログラム]）-[沖データ] - [カラー調整ユーティリティ] - [カラー調整ユーティリティ] を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します] を選択し、[次へ] をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

❹ 削除したい設定をリストから選択し、[削除] をクリックします。

❺ [はい] をクリックし、設定を削除します。

❻ 設定が削除されたことを確認し、[完了] をクリックします。

カラー調整の設定を削除したい（Macintosh）

この機能が使えるプリンタドライバ

Macintosh をお使いの方

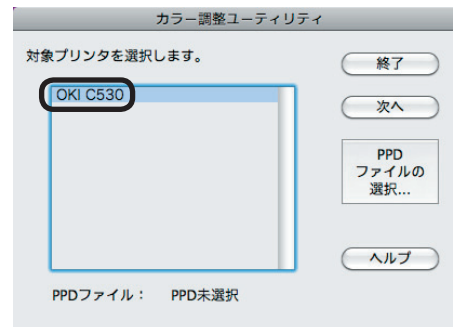
機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

不要になったカラー調整を削除できます。

❶ [アプリケーション（MacOS 9.1 以上の場合は、Applications（MacOS 9））] - [OKIDATA] - [カラー調整ユーティリティ] - [（お使いのプリンタ名）] - [カラー調整ユーティリティ] をダブルクリックします。

カラー調整ユーティリティ

❷ 対象プリンタを選択します。

❸ [PPD ファイルの選択] をクリックして PPD ファイルを選択します。

C510dn/C310dn をお使いの場合、PPD ファイルの選択は必要ありません。

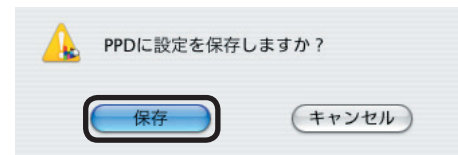
❹［設定のインポート / エクスポート / 削除］をクリックします。

❺削除したい設定をリストから選択し、［削除］をクリックします。

メモ 画面左下部に❸で選択した PPD ファイル名が表示されます。

❻❸で選択した PPD ファイルに設定を保存する場合は、［保存］をクリックします。

「認証」画面が表示された場合は、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力します（OS X のみ）。

［キャンセル］をクリックすると、設定はユーティリティにも PPD ファイルにも保存されません。

❼「パレットカラーの調整」および「ガンマ / 色相 / 明度・彩度の調整」画面で設定が削除されたことを確認し、カラー調整ユーティリティを終了します。

Macintosh の ColorSync を使いたい

この機能が使えるプリンタドライバ

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

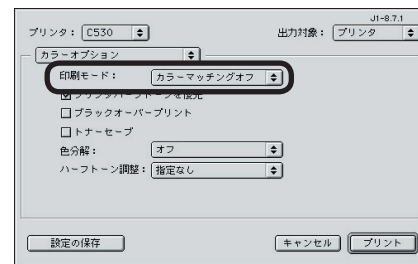
- アプリケーションが ColorSync に対応している必要があります。
- モニタのキャリブレーション、ICC プロファイル設定が完了していることを確認してください。

Macintosh プリンタドライバ

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラー・マッチング] パネルの [カラー指定] で [Color Sync カラー・マッチング] を選択します。

[プリンタ用プロファイル] で [OKI C530 600 Multi (PS)]、[OKI C530 1200dpi (PS)] または [OKI C530 600dpi (PS)] を選択します。

❹ [カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [カラーマッチングオフ] を選択します。

Mac OS X プリンタドライバ

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラー・マッチング] パネルの [プロファイル] でご利用になりたいプロファイルを選択します。

黒の部分の仕上りを変更したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。印刷モードが［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］の場合に利用できます。

メモ 黒の生成

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。印刷モードが[オフィスカラー]の場合のみ選択できます。
- CMYK トナーで生成
  シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。写真に適しています。
- 黒(K)トナーのみで生成
  黒トナーのみで黒を印刷します。図形、文字に適しています。写真を印刷すると暗い部分が黒っぽくなることがあります。

メモ テキストとグラフィックスに純ブラックを使用

テキストやグラフィックスに RGB 色空間で定義されたブラック(R=0、G=0、B=0)または CMYK 色空間で定義されたブラック(C=0、M=0、Y=0、K=100%)が指定されている場合に、黒（K)トナーのみで印刷するかどうかを指定します。

- オン
  黒指定のテキストやグラフィックスを黒（K） トナーのみで印刷します。
- オフ
  黒指定のテキストやグラフィックスはカラーマッチングに指定しているプロファイルに依存して黒（K） トナーのみまたは CMYK で合成された黒になります。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

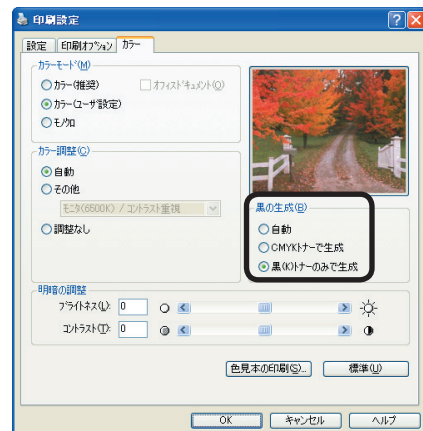
❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［カラー］タブの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

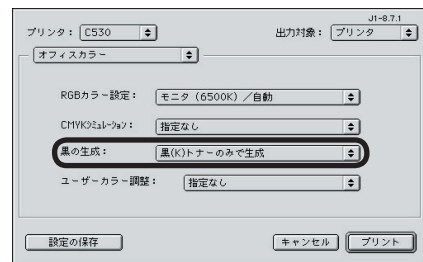
❺ ［黒の生成］から適当な項目を選択します。［グラフィックプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Windows PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ アプリケーションを起動します。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［カラー（ユーザ設定）］を選択し、［黒の生成］から適当な項目を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［オフィスカラー］または［グラフィックプロ］を選択します。

❹［黒の生成］から適当な項目を選択します。
［グラフィックプロ］モードではさらに［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］に対しても適当な項目を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択します。

❹［詳細］ボタンをクリックして［グラフィックプロ詳細設定］パネルを開き、［黒の生成］および［テキストとグラフィックスに純ブラックを使用］で適当な項目を選択します。

Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［カラーモード］で［カラー（ユーザ設定）］を選択します。

❹［黒の生成］で適当な項目を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

モノクロ（白黒）で印刷したい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

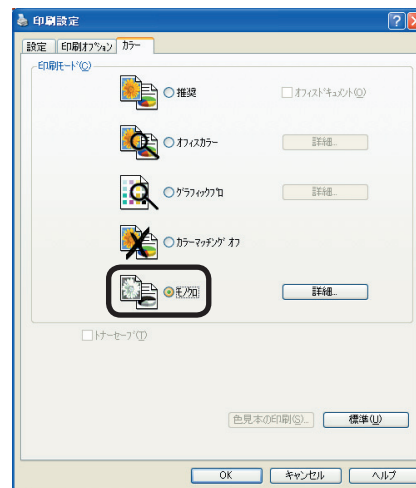
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール（階調のある白黒）で印刷します。

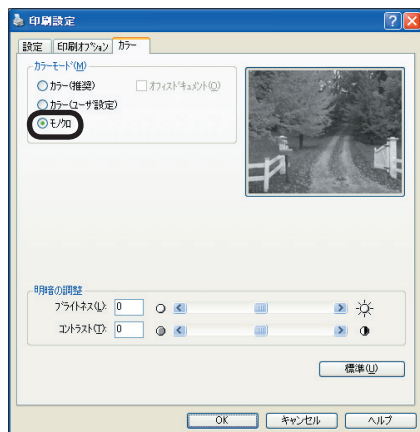
「モノクロ印刷」を指定して印刷した後にカラー印刷を行なうとき、定着器の温度調整により待ち時間が発生することがあります。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

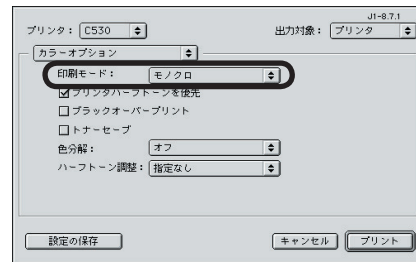
❹［カラー］タブの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。
または、PCL プリンタドライバでは、［設定］タブの［モノクロ印刷］にチェックをつけます。

Windows PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［カラーモード］で［モノクロ］を選択します。
または、［設定］タブの［モノクロ印刷］にチェックをつけます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

Mac OS X PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［印刷モード］で［モノクロ］を選択します。

メモ　Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

Mac OS X Hiper-C プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

❸ [カラー] パネルの [カラーモード] で [モノクロ] を選択します。

Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

文字と背景の間の白すじをなくしたい（ブラックオーバープリント）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	○	○	○	○	○

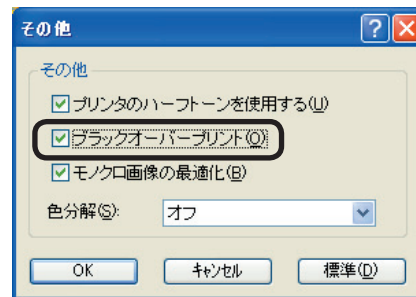
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

黒 100% の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷（オーバープリント）することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒 100% でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、Windows で Microsoft Office アプリケーションを使用する場合、True Type フォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合（トナー層厚として 240% を超える場合）にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン 50%、マゼンタ 50%、イエロー 50% の背景色の上に黒 100% の文字を描画すると、トナー層厚は 50+50+50+100=250% となり、240% を超えることになります。

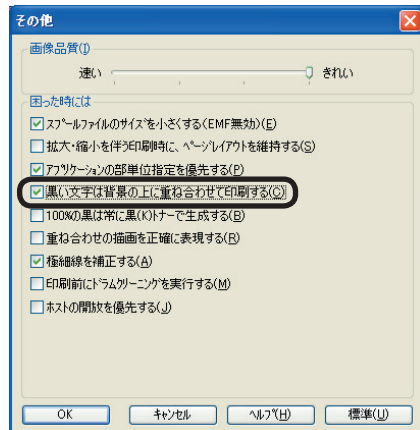
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［カラー］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［ブラックオーバープリント］にチェックをつけます。

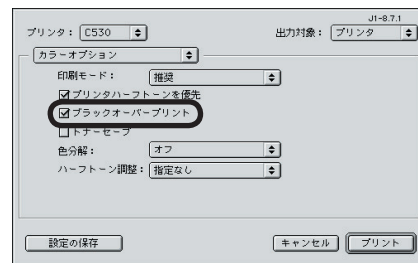
Windows PCL/PCL XPS/Hiper-C/XPS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺［黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する］にチェックをつけます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［ブラックオーバープリント］にチェックをつけます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラー］パネルの［その他］ボタンをクリックして［その他］パネルを開き、［ブラックオーバープリント］にチェックをつけます。

Mac OS X 10.5 以降で、［プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、［プリンタ］ポップアップメニュー横にある［▼］ボタンをクリックしてください。

印刷用インクでの印刷結果をシミュレートしたい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	×	×	×	×

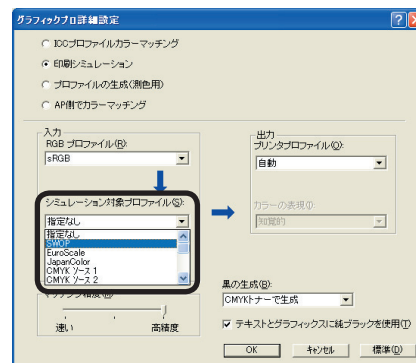
Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

CMYK カラーデータを調整してオフセット印刷等で使用されるインクの特性をプリンタでシミュレートします。

- Mac OS X プリンタドライバでは、アプリケーションによっては利用できないことがあります。
- ［印刷モード］が［オフィスカラー］、または［グラフィックプロ］のとき有効になります。

Windows PS/PCL プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

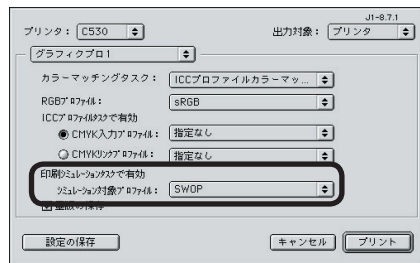
❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［印刷モード］で［グラフィックプロ］を選択し、［詳細］をクリックします。

❺［印刷シミュレーション］を選択し、［シミュレーション対象プロファイル］でシミュレートしたいインク特性を選択します。

ビジネス文書などの場合、❹、❺の手順で［カラー］タブの［オフィスカラー］を選択して［詳細］をクリックし、［CMYK シミュレーション］でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラーオプション] パネルの [印刷モード] で [グラフィックプロ] を選択します。

❹ [グラフィクスプロ 1] パネルの [カラーマッチングタスク] で [印刷シミュレーション] を選択し、[シミュレーション対象プロファイル] でシミュレートしたいインク特性を選択します。

メモ ビジネス文書などの場合、❹の手順で[カラーオプション]パネルの[印刷モード]で[オフィスカラー]を選択し、[オフィスカラー]パネルの、[CMYK シミュレーション]でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

注 アプリケーションによっては利用できないことがあります。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

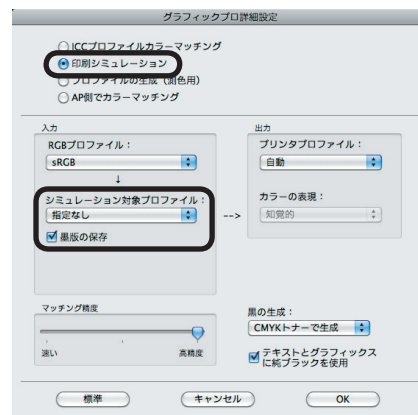
❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラー] パネルの [印刷モード] で [グラフィックプロ] を選択します。

❹ [詳細] ボタンをクリックして [グラフィックプロ詳細設定] パネルを開き、[印刷シミュレーション] を選択します。

❺ [シミュレーション対象プロファイル] でシミュレートしたいインク特性を選択します。

メモ
- ビジネス文書などの場合、❸、❹、❺の手順で [カラー] パネルの [印刷モード] で [オフィスカラー] を選択し、[詳細] ボタンをクリックして [オフィスカラー詳細設定] パネルを開き、[CMYK シミュレーション]でシミュレートしたいインク特性を選択することもできます。
- Mac OS X 10.5 以降で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニュー横にある [▼] ボタンをクリックしてください。

注 Mac OS X に添付されるプリンタドライバの制限で、汎用的なアプリケーションで [オフィスカラー] を指定しても無効となります。Mac OS X 上では、この機能は RGB カラースペースでの出力を明示的に指定できるアプリケーションから印刷する場合にのみ有効となります。

色見本印刷して希望色の RGB 値を決めたい（Windows）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	○	○	×	○	×	○	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	×	×	×

機能の説明

色見本印刷ユーティリティはプリンタで RGB 色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのような RGB 値の指定を行えばよいかを確認することができます。

- Macintosh では利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、10 ページをご覧ください。

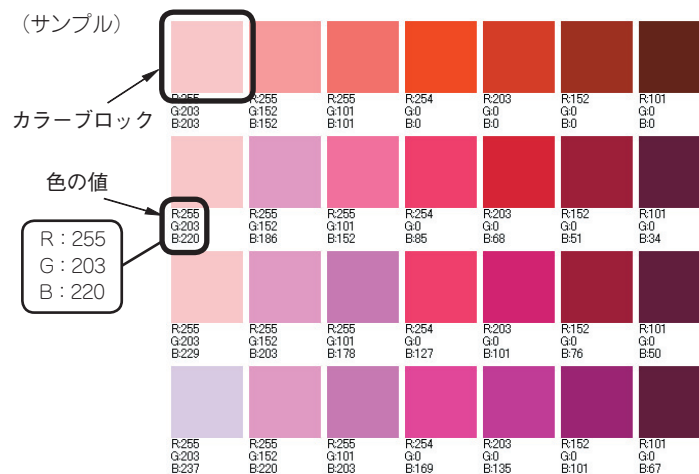
1 色見本を印刷します。

❶ [スタート]-[すべてのプログラム]-[沖データ]-[色見本印刷ユーティリティ]-［色見本印刷ユーティリティ］を選択します。

❷ [印刷］ボタンをクリックします。

❸ プリンタを選択します。

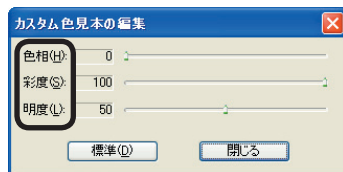
❹ [OK］または［印刷］をクリックします。

色見本が 3 ページ印刷されます。

メモ　カラーブロックの下に表示される RGB 値は、カラーブロックの R(赤)、G(緑)、B(青)の色の成分量(0 ～ 255)を表しています。

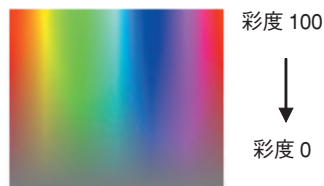
❺ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されている RGB 値をメモします。

メモ 色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

❶［切り替え］ボタンをクリックし、カスタム色見本に切り替えます。

❷［詳細］ボタンをクリックし、［カスタム色見本の編集］ダイアログを表示します。

❸ 希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3 つのバーを調整し、［閉じる］をクリックします。

色相： 色相を変更します。0 は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

彩度： 鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色（グレー）となります。

明度： 濃さを変更します。明度が最大（100%）の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。

❹［印刷］ボタンをクリックします。

❺ プリンタを選択します。

❻［OK］または［印刷］をクリックします。

プリンタから 1 ページ印刷されます。

❼ 色見本に希望する色が見つからない場合は、手順❶から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本の RGB 値を変更します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸ 印刷します。

注 アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用してください。

写真の印刷濃度を調整したい（ハーフトーン調整）

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	×	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

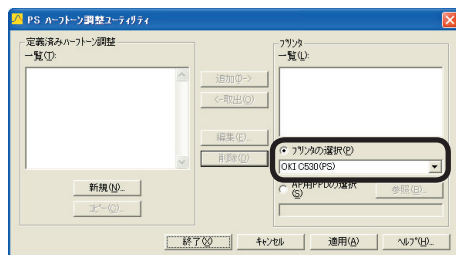
プリンタの CMYK 各色のハーフトーン濃度を調整することができます。
写真などの画像が濃すぎる場合に調整してください。

- PS ハーフトーン調整ユーティリティのセットアップについては、Windows の場合は 10 ページ、Mac OS X の場合は 67 ページをご覧ください。
- Windows では［ハーフトーン調整名］を登録後、プリンタドライバの［カラー］タブに［ハーフトーン調整］メニューまたはその内容が表示されない場合があります。この場合はコンピュータを再起動してください。
- ハーフトーン調整を使用すると、印刷が遅くなる場合があります。速度を優先したい場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- Adobe PageMaker7.0J/6.5J の場合は、［プリント］ダイアログの［形式］で［プリンタ名］を選択してから［プリンタ特性］をクリックし、［ハーフトーン調整］で「ハーフトーン調整名」を指定してください。
- 「ハーフトーン調整名」を登録する以前から起動されていたアプリケーションは、印刷前に再起動する必要があります。
- アプリケーションによっては、ドットゲインの補正やハーフトーン調整を印刷時に指定したり、または EPS ファイルにその設定を含める機能を持つものがあります。アプリケーション側のこのような機能を利用する場合は、［ハーフトーン調整］で［指定なし］を選択してください。
- PS ハーフトーン調整ユーティリティの「プリンタの選択」リストには機種名が表示されます。［プリンタと FAX］（Windows 2000 では［プリンタ］）フォルダに複数の同一機種プリンタが存在する場合は、登録した「ハーフトーン調整名」はすべての同一機種プリンタに有効となります。

Windows PS プリンタドライバをお使いの方

1 ハーフトーン調整名を登録します。

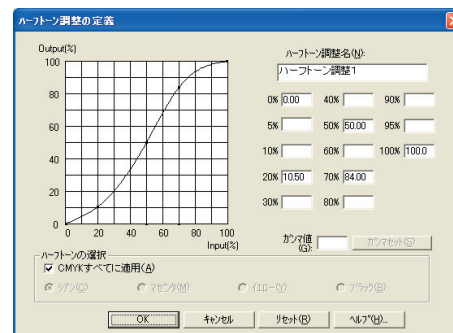
❶［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］を選択します。

❷［プリンタの選択］からプリンタを選択します。

注 アプリケーション（Adobe PageMaker 等）によっては印刷時に独自に用意された PPD ファイルを使用するものがあります。この場合は［AP 用 PPD の選択］を選択し、［参照］をクリックしてアプリケーションの使用する PPD ファイルを選択します。

❸［新規］をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力してから［OK］をクリックします。

各色ごとに調整するときは、［CMYK すべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックをつけます。

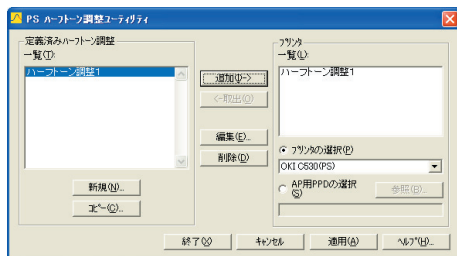
- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

〈調整の目安〉

以下を参考にしてください。
赤を濃くする場合　シアンの値を上げます。
青を濃くする場合　イエローの値を上げます。
緑を濃くする場合　マゼンタの値を上げます。
赤を薄くする場合　シアンの値を下げます。
青を薄くする場合　イエローの値を下げます。
緑を薄くする場合　マゼンタの値を下げます。

❺［追加→］をクリックします。

ハーフトーン調整名が［プリンタ］の［一覧］に表示されます。

❻［適用］をクリックします。

1つのPPDファイルに最大6つまで「ハーフトーン調整名」を登録できます。

❼ PPDへの登録完了画面で［OK］をクリックします。

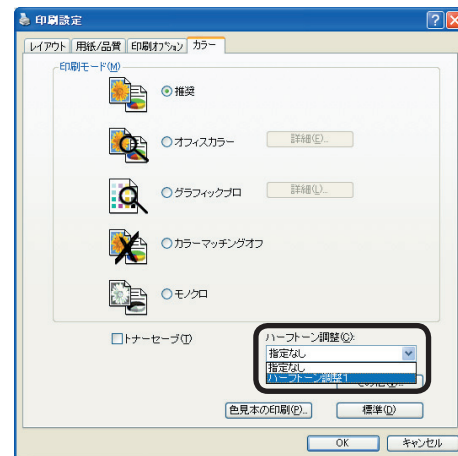
❽［終了］をクリックし、PSハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバでハーフトーン調整名を選択し、印刷します。

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［ハーフトーン調整］で、手順 *1* の❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

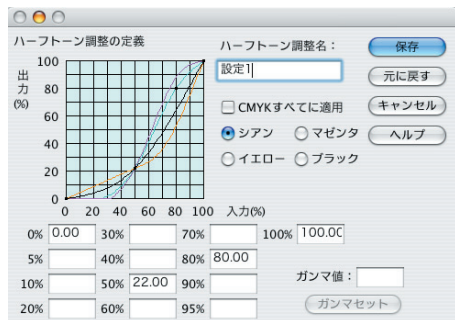
❶ ［アプリケーション］-［OKIDATA］-［Halftone］-［PS ハーフトーン調整ユーティリティ］をダブルクリックします。

PSハーフトーン調整ユーティリティ

❷ ［新規ハーフトーン調整の定義］をクリックします。

❸ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。

各色ごとに調整するときは、［CMYK すべてに適用］のチェックを外し、調整する色にチェックをつけます。

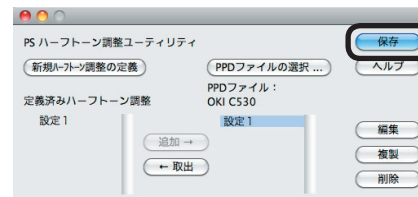
- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、［ガンマセット］をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❹ ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルが選択されているか確認します。

別の PPD ファイルが選択されている場合は［PPD ファイルの選択 ...］をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

❺ ［追加→］をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❻ ［保存］をクリックします。「認証」画面が表示された場合は、管理者権限をもつユーザ名とパスワードを入力します。

登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

❼ PS ハーフトーン調整ユーティリティを終了します。

❽ ［プリンタ設定ユーティリティ］に登録されているハーフトーン調整を行ったプリンタを一旦削除し、プリンタを再登録します。

❾ 印刷したいファイルを開きます。

❿ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

⓫ ［プリンタの機能］パネルの［ジョブオプション］機能セットの［ハーフトーン調整］で、手順❸で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

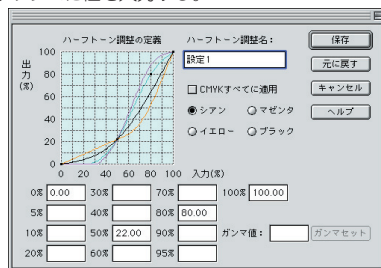
❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから [ハーフトーン調整] を選択します。

❸ [新規ハーフトーン調整の定義] をクリックします。

❹ 次のいずれかの方法でハーフトーンを調整し、「ハーフトーン調整名」に名前を入力し、[保存] をクリックします。

各色ごとに調整するときは、[CMYK すべてに適用] のチェックを外し、調整する色にチェックをつけます。

- グラフ線を直接操作する。
  線をドラッグしたり、線上でクリックします。制御点を移動させて調整を行います。
- ガンマ値を入力する。
  ガンマ値を入力し、[ガンマセット] をクリックします。自動的に 13 の点で滑らかなカーブを生成し中間調を調整します。値は 0.01 から 99.99 まで指定できます。1.0 より大きな値では中間調が薄くなり、小さい値では濃くなります。
- 各濃度テキストボックスに値を入力する。

❺ ハーフトーン調整を登録する PPD ファイルが選択されているか確認します。

別の PPD ファイルが選択されている場合は [PPD ファイルの選択 ...] をクリックし、目的の PPD ファイルを選択します。

❻ [追加→] をクリックします。

新しいハーフトーン調整名が右の登録一覧に表示されます。

❼ [保存] をクリックします。

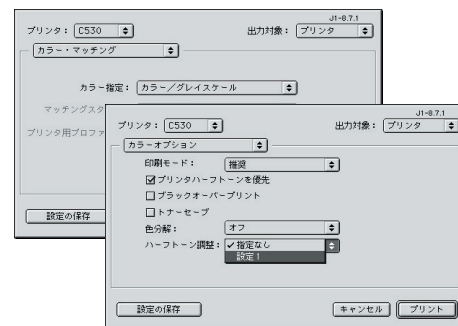
登録一覧に表示しているハーフトーン調整名を、選択されている PPD ファイルに登録します。

❽ MicrolinePS Utility を終了します。

❾ 印刷したいファイルを開きます。

❿ [ファイル] メニューの [プリント] を選択します。

⓫ [カラー・マッチング] パネルの [カラー指定] で「カラー / グレースケール」を選択します。

⓬ [カラーオプション] パネルの [ハーフトーン調整] で、手順❹で作成した「ハーフトーン調整名」を選択し、印刷します。

分版印刷をしたい

この機能が使えるプリンタドライバ

Windows をお使いの方

機種名	C530dn			C510dn		C310dn	
プリンタドライバの種類	PCL	PS	PCL XPS	Hiper-C	XPS	Hiper-C	XPS
○：使えます ×：使えません	×	○	×	×	×	×	×

Macintosh をお使いの方

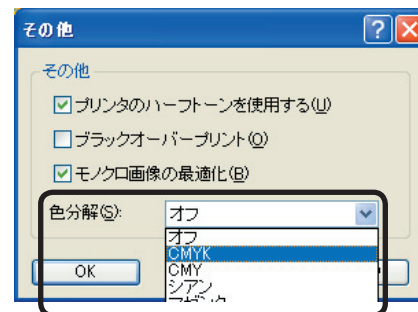
機種名	C530dn	C510dn	C310dn
プリンタドライバの種類	PS	Hiper-C	Hiper-C
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

アプリケーションが分版印刷の機能を持っていなくても、シアン、マゼンタ、イエロー、黒の 4 色に色分解印刷を行うことができます。

Adobe Illustrator を使用する場合は、アプリケーションの分版印刷機能を使用してください。プリンタドライバの設定はカラーマッチングオフにしてください。

色分解の機能は版下作成用です。指定された各原色の版を黒トナーで印刷します。それぞれの原色インクで印刷する機能ではありません。

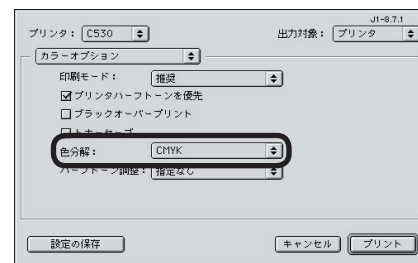
Windows PS プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸［詳細設定］をクリックします。

❹［カラー］タブの［その他］ボタンをクリックします。

❺［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［カラーオプション］パネルの［色分解］で分版印刷したい色を選択します。

Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷したいファイルを開きます。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ [カラー] パネルの [その他] ボタンをクリックして [その他] パネルを開き、[色分解] で分版印刷したい色を選択します。

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

プリンタの色味を好みに合わせて調整する場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。
調整は、各色の淡い（Highlight）・濃い（Dark）・中間（Mid-tone）の 3 か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。

ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

プリントジョブアカウンティング（オプション）で[ローカルプリント]が[印刷不可]、または[カラー印刷不可]に設定されている場合は印刷できません。

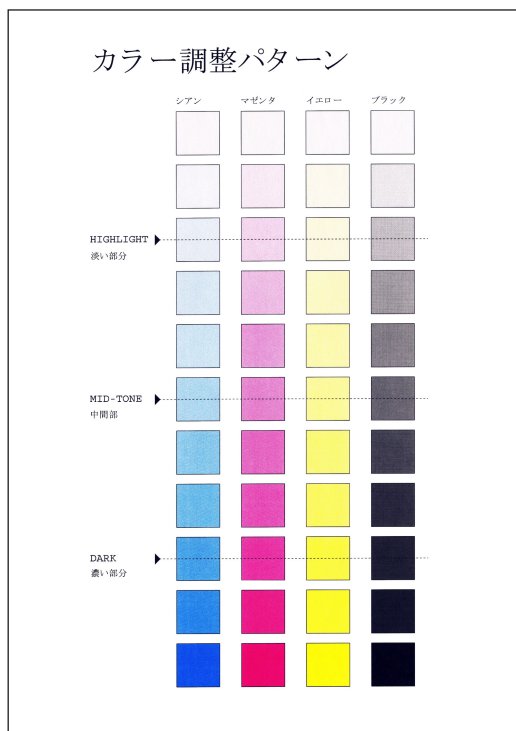
1 カラー調整パターンを印刷します。

❶ ▲ スイッチを数回押して［カラー　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▲ スイッチを数回押して［カラー　チョウセイ］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ OK スイッチを押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

カラー調整パターンには四角が縦 11 行、横 4 列で配置されていて、縦 11 行は色の調子を表しており、[HIGHLIGHT 淡い部分]、[MID-TONE 中間部]、[DARK 濃い部分] とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。
横 4 列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] と印刷されています。

2 シアンの色を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

❶ ▲ スイッチを数回押して［カラー　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▲ スイッチを数回押して［C　HIGHLIGHT］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ ▲ スイッチを数回押して、設定されている値より大きい値を選択します。

メモ　数字を増やすと濃い方向に、減らすと薄い方向に調整されます。

❹ OK スイッチを押し、値の右側に［✱］を付けます。

❺ 「オンライン」スイッチを押します。

3 アプリケーションから印刷します。

好みの調子にならない場合は手順 *1*, *2* を繰り返してください。

6 プリンタメニューの使い方について

省電力モード（パワーセーブ）に入るまでの時間を変更したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

省電力モードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。
設定した時間データを受信しないと省電力モードになります。

C530dn/C510dn では初期値は「30 分」に設定されています。
C310dn では初期値は「5 分」に設定されています。

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶ ▲ スイッチを数回押して［システム　コウセイ　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ［パワーセーブ　イコウジカン］が選択されているので、OK スイッチを押します。

❸ ▼ スイッチまたは ▲ スイッチを数回押して、設定したい時間を選択し、OK スイッチを押します。

❹ ◯ オンラインスイッチを押し、［C M Y K］または［オンライン］を表示します。

メモ ［メンテナンス　メニュー］の［パワーセーブ キノウ］を［ムコウ］にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つために電力を消費します。プリンタを使用しないときには電源を OFF にしてください。

スリープモードに入るまでの時間を変更したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	○	×

機能の説明

スリープモードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モード（パワーセーブ）に入ってから、設定した時間データを受信しないとスリープモードになります。

- 初期値は「10 分」に設定されています。
- プリンタがエラーを表示している状態では、スリープモードに移行しない場合があります。

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶ ▲ スイッチを数回押して［システム　コウセイ　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▼ スイッチを押して［スリープ　イコウジカン］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ ▼ スイッチまたは ▲ スイッチを数回押して、設定したい時間を選択し、OK スイッチを押します。

❹ オンラインスイッチを押し、［C M Y K］または［オンライン］を表示します。

メモ　［メンテナンス　メニュー］の［スリープ］を［ムコウ］にするとスリープモードに入らなくなります。

スリープモードの解除方法

次のいずれかの方法で解除します。

C530dn をお使いの方

- 節電スイッチを押す。
- ネットワークから印刷する。

C510dn をお使いの方

- 節電スイッチを押す。
- ネットワークから印刷する。
- USB から印刷する。

6

スリープモードに入るまでの時間を変更したい

スリープモード時の制限事項（C530dn のみ）

プリンタがスリープモードに移行すると、プリンタドライバ、ユーティリティの機能が以下のように制限されます。
プリンタがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの 節電スイッチを押し、[C M Y K] または「オンライン」が表示されることを確認してください。
[C M Y K] または「オンライン」と表示していれば、以下の制限事項は発生しません。

注 C530dn は、USB 接続時にコンピュータの電源が入っている間はスリープモードへ移行できませんが、C510dn は移行できます。

OS	ソフトウェア名	スリープモード時の制限事項	節電 / 復帰スイッチを押す以外の対処方法
Win	プリンタドライバ	USB インタフェースで接続している場合は、印刷できません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	Network Extention	プリンタに接続できません。	–
	NIC 設定ツール	プリンタの検索や設定ができません	–
	プリントジョブアカウンティング	USB インタフェースで接続している場合は、プリンタの追加や設定、ログの取得ができません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	Print Super Vision	消耗品の監視、印刷枚数の監視などができません	–
	ストレージデバイスマネージャ	USB インタフェースで接続している場合は、プリンタの検索や設定ができません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	カラー調整ユーティリティ	USB インタフェースで接続している場合は、テスト印刷ができません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	Web Driver Installer	• ドライバインストール時、プリンタのオプション情報を自動で取得できません。 • プリンタを WDI サーバに手動で登録できません。	–
	パネル言語セットアップ	USB インタフェースで接続している場合は、設定できません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	Profile Assinstant	USB インタフェースで接続している場合は、プリンタの検索や設定ができません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	PDF Print Direct	USB インタフェースで接続している場合は、印刷できません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	ドライバインストーラ	• ネットワークで接続している場合は、ドライバインストール時、プリンタのオプション情報を自動で取得できません。 • USB インタフェースで接続している場合は、プリンタがスリープモードから復帰するまで、ドライバのインストールが完了しません。	–
Mac	プリンタドライバ	USB または AppleTalk で接続している場合は、印刷できません。	TCP/IP でプリンタに接続します。
	パネル言語セットアップ	USB で接続している場合は、プリンタに接続できません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	NIC 設定ツール	プリンタの検索や設定ができません	–
	Profile Assinstant	USB で接続している場合は、プリンタの設定ができません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	カラー調整ユーティリティ	USB で接続している場合は、テスト印刷ができません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	メニュー設定ユーティリティ	USB で接続している場合は、プリンタに接続できません。	ネットワークでプリンタに接続します。
	MicrolinePS ユーティリティ	USB または AppleTalk で接続している場合は、プリンタに接続できません。	–

スリープモードのネットワーク機能制限事項（C530dn のみ）

スリープモードでは、ネットワークの機能に以下のような制限があります。

スリープモードに移行しない

1）IPSec が有効になっている
2）NetBEUI が有効になっている
3）NetWare が有効になっている
4）EtherTalk が有効になっている
5）TCP のコネクションが確立している

例：telnet, ftp でコネクションを確立している場合など
パワーセーブ状態でスリープ移行時間経過後、コネクションが切断されるとスリープモードに入ります。

※　スリープモードを有効に使用したい場合には、IPSec/NetBEUI/NetWare/EtherTalk を無効にしてください。

印刷できない

スリープモード中は、以下のプロトコルを使用した印刷はできません。

1）NetBEUI
2）NBT
3）NetWare
4）EtherTalk ※ 1
5）Bonjour（Rendezvous） ※ 1

※1 Mac OS X をご使用の場合、「IP プリント」で接続すると、スリープ中の印刷が可能になります。

検索・設定できない

スリープモード中は、以下の機能 / プロトコルを使用した検索 / 設定はできません。

1）PnP-X
2）UPnP
3）Bonjour（Rendezvous）
4）LLTD
5）FLDP
6）ODNSP
7）JCP
8）MIB ※ 2

※2 スリープモード中にサポートする一部の MIB による参照（Get コマンド）は可能です。

クライアント機能を持つプロトコルが動作しない

1）E メールアラート※ 3
2）SNMP トラップ
3）WINS ※ 4
4）SNTP ※ 5

※3 スリープモード中の経過時間は、E メールアラートの定期的な通知時間の間隔には含まれません。
※4 スリープモード中の経過時間は、WINS の更新時間の間隔に含まれません。
スリープモード中は WINS の定期更新を行わないため、WINS サーバに登録された名前が削除されることがあります。
※5 スリープモード中の経過時間は、NTP サーバに対する更新時間の間隔に含まれません。

スリープモードを無効にして使用するプロトコル

以下のプロトコルを使用する場合は、スリープモードを無効にしてください。

1) IPv6
2) NetBEUI
3) NetWare
4) EtherTalk

印刷をキャンセルしたい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

1 プリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

❶ ◯ キャンセルスイッチを２秒以上押します。

プリンタは印刷ジョブの最後まで受け取ってキャンセルします。

- プリンタで印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- ［データ　クリアチュウ］が長く続く場合はコンピュータで印刷ジョブを削除してください。

プリンタの動作モードを変更したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

プリンタの動作モードを変更することができます。

メモ　初期値は「ジドウ」に設定されています。

ここでは操作パネルで動作モードを変更する手順を説明します。

❶ ▲ スイッチを数回押して［システム　コウセイ　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▲ スイッチを数回押して［ドウサモード］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ ▼ スイッチまたは ▲ スイッチを数回押して、設定したい値を選択し、OK スイッチを押します。

❹ ◯ オンラインスイッチを押し、［C M Y K］または［オンライン］を表示します。

コンピュータからプリンタの状態を確認したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	○	○

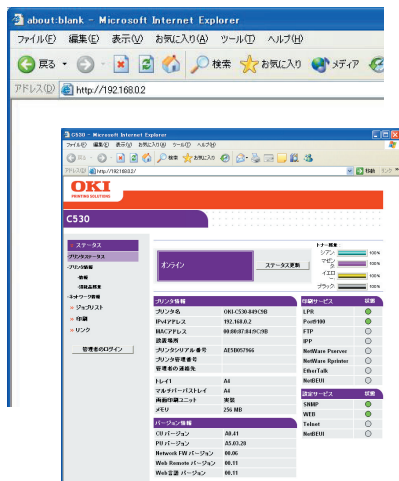
機能の説明

ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態を確認できます。

Windows の場合、PrintSuperVision でも行うことができます。詳しくは「1 章　Windows ソフトウェア」(9 ページ) をご覧ください。

Web ブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

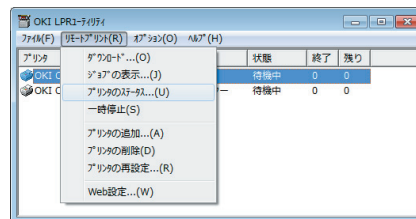
「プリンタステータス」画面で確認する

❶ Web ブラウザを起動し、[アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

「ステータスウインドウ」で確認する

「ステータスウィンドウ」でも、プリンタの状態を確認することができます。詳しくは「ステータスウインドウを使います」(Windows をお使いの方は 57 ページ、Macintosh をお使いの方は 77 ページ) をご覧ください。

OKI LPR ユーティリティ（Windows）を使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ OKI LPR ユーティリティを起動します。

❷ 対象のプリンタを選択します。[リモートプリント] メニューの [プリンタのステータス ...] または [ジョブの表示 ...] を選択します。

プリンタの表示パネルの内容が表示されます。

コンピュータからプリンタの設定を変更したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

プリンタの設定の一部を変更することができます。

Web ブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷［管理者のログイン］をクリックし、［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❸ 左のフレームから設定を変更したい項目をクリックします。

❹ 必要な変更をした後、［OK］をクリックします。

プリンタ内蔵フォントを確認したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

- A4 用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。
- プリントジョブアカウンティング(オプション)で[ローカルプリント]が[印刷不可]または[カラー印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイに A4 用紙をセットします。

❷ ▲ スイッチを数回押して［インフォメーション　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❸ PostScript モードで使用するフォントを印刷するときは、▲ スイッチを数回押して［PSE フォント　インサツ］を選択します。

PCL モードで使用するフォントを印刷するときは、▲ スイッチを数回押して［PCL フォント　インサツ］を選択します。

❹ OK スイッチを押します。

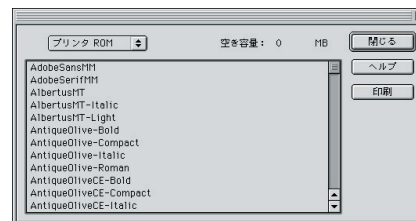
フォント名が印刷されます。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

プリンタに内蔵しているすべてのポストスクリプトフォント名を確認することができます。

Mac OS X では利用できません。

❶ ［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［フォントリスト表示］を選択します。

❸ ［プリンタ　ROM］を選択するとプリンタに標準で内蔵しているフォントが表示されます。

SD メモリーカード（オプション）を初期化したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

SD メモリーカードを初期の状態に戻すことができます。
SD メモリーカードは 3 つのパーティションに分割されています。SD メモリーカードを初期化（イニシャライズ）すると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

SD メモリーカードのパーティションには［PSE］、［PCL］、［COMMON］があります。

［PSE］
PostScript モードのフォームを格納するエリアです。
［PCL］
PCL モードのフォームを格納するエリアです。
［COMMON］
「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」でジョブを登録したり、エラーログを格納するエリアです。

SD メモリーカードを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

- 「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、SD メモリーカードの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタの SD メモリーカードからいったん削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

管理者メニューの［SD-M INITIALIZE］は工場出荷時の設定では表示されません。管理者メニューで［FILE SYS MAINTE2］-［INITIAL LOCK］を［NO］に変更する必要があります。詳しくは 6章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285ページ）をご覧ください。

初期化する

❶［ADMIN MENU］を表示します。

メモ　［ADMIN MENU］を表示する方法は、「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

❷ OK スイッチを押すと、［ENTER PASSWORD］と表示されるので、▲スイッチまたは▼スイッチを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、OK スイッチを押します。
同様の手順で 6 ～ 12 桁のパスワードを入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸▼スイッチを数回押して［FILE SYS MAINTE1］を選択し、OK スイッチを押します。

❹▼スイッチを数回押して［SD-M INITIALIZE］を選択し、OK スイッチを押します。

❺ [ARE YOU SURE ? YES/NO] と表示されるので、▼ スイッチを数回押して [YES] を選択し、OK スイッチを押します。

SD メモリーカードの初期化を開始します。プリンタは自動的に再起動します。操作パネルに [C M Y K] または [オンライン] と表示されたら、初期化は完了です。

特定のパーティションのフォーマット

❶ [ADMIN MENU] を表示します。

メモ [ADMIN MENU] を表示する方法は、「管理者メニュー」(285 ページ) をご覧ください。

❷ パスワード入力画面になるので、▲ スイッチまたは ▼ スイッチで 1 桁目を表示し、OK スイッチを押します。同様の手順で 6 〜 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ▼ スイッチを数回押して [FILE SYS MAINTE1] を選択し、OK スイッチを押します。

❹ ▼ スイッチを数回押して [SD-M FORMATTING] を選択し、OK スイッチを押します。

❺ ▼ スイッチでフォーマットしたいパーティションを選択し、OK スイッチを押します。

❻ [ARE YOU SURE ? YES/NO] と表示されるので、▼ スイッチを数回押して [YES] を選択し、OK スイッチを押します。

パーティションのフォーマットを開始します。プリンタは自動的に再起動します。操作パネルに [C M Y K] または [オンライン] と表示されたら、初期化は完了です。

OKI ストレージデバイスマネージャ (Windows) を使う場合

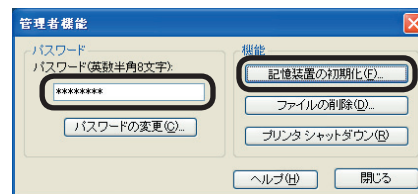
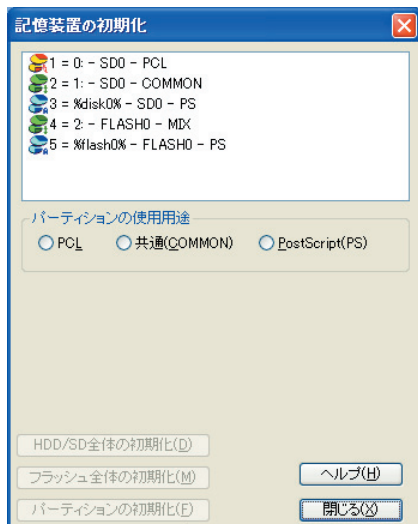
❶ [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] - [OKI ストレージデバイスマネージャ] を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始] をクリックします。

❸ [閉じる] をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [管理者機能] を選択します。

❺ [パスワード] に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ [記憶装置の初期化] をクリックします。

❼ 初期化する場合は［HDD/SD 全体の初期化］をクリックします。

特定のパーティションをフォーマットする場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、［パーティションの初期化］をクリックします。

パーティションの使用目的を変更する場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、［パーティションの使用用途］でパーティション種類を選択して［パーティションの初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［はい］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［はい］をクリックします。

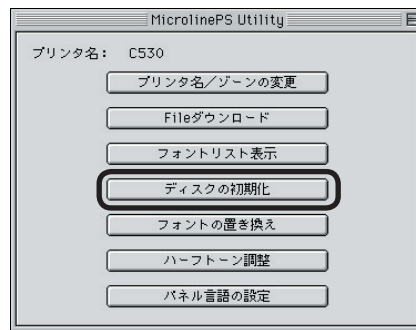
❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

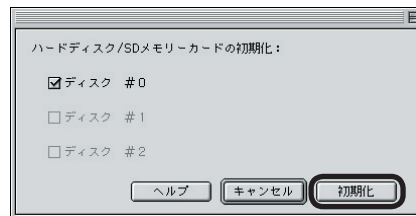
⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

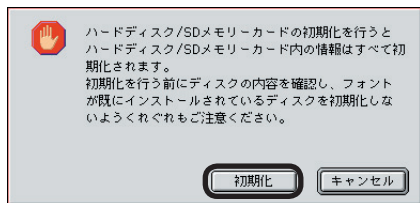
電源の切り方は「電源の切りかた」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

PS パーティションのフォーマットを行います。PCL、共通のパーティションはそのままです。

- Mac OS X では利用できません。
- 管理者メニューの［SECURITY MENU］-［JOB LIMITATION］が［ENCRYPTED JOB］に設定してある場合、本機能は使用できません。［JOB LIMITATION］については、6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［ディスクの初期化］を選択します。

❸ 初期化するハードディスク /SD メモリーカードのディスク番号にチェックをつけ、［初期化］をクリックします。

ディスク番号はパーティション番号ではありません。PS パーティションがディスク＃ 0 となります。
PS パーティションが複数ある場合は、パーティション番号が小さい方からディスク＃ 0、ディスク＃ 1、ディスク＃ 2 となります。

❹ 初期化してもよいか再度確認し、［初期化］をクリックします。

❺ 再起動確認画面で［OK］をクリックします。

❻ プリンタの電源を OFF/ON します。

電源の切り方は「電源の切りかた」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

プリンタの操作パネルから、プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

注：IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IP アドレスを設定してください。

メモ：プリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「NIC 設定ツール」で設定することもできます。「NIC 設定ツール」での設定方法は、「NIC 設定ツール」（23, 78 ページ）をご覧ください。

❶ ▲ スイッチを数回押して［ネットワークメニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷［TCP/IP］が［ムコウ］に設定されている場合は、［ユウコウ］に設定します。

❸ ▼ スイッチを数回押して［IPv4 アドレス］を選択し、OK スイッチを押します。

❹ ▼ スイッチまたは ▲ スイッチを押して、IP アドレスの 1 桁目を設定します。スイッチを 2 秒以上押すと、早送りします。

❺ OK スイッチを押します。

❻ ❹～❺を繰り返して、全ての桁を設定します。

❼ 4 桁目を設定すると、値の右側に［＊］がつきます。

❽ スイッチを押します。

❾［IPv4 アドレス］と同様に、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

❿ オンラインスイッチを押し、［C M Y K］または［オンライン］を表示します。

SDメモリーカード（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確認したい（Windows）

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

SD メモリーカードやフラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

「OKI ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、59 ページをご覧ください。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

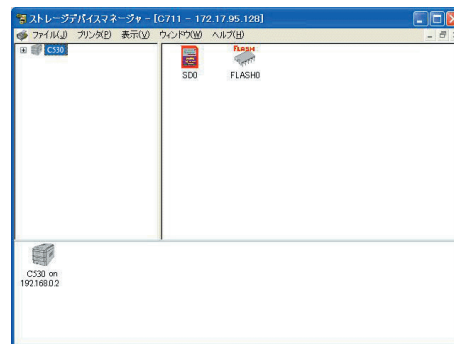
❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［終了］をクリックします。

❹［閉じる］をクリックします。

❺ 下のウィンドウでプリンタを選択し、［プリンタ］メニューから［リソースを表示する］を選択します。

❻ SD メモリーカードの場合は［SD0］を、フラッシュメモリの場合は［FLASH0］を選択します。

SD メモリーカードが搭載されていない場合は、［SD0］は表示されません。

❼［表示］メニューから［詳細］を選択します。

❽ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き容量欄にパーティションごとの空き容量が Byte 単位で表示されます。

フラッシュメモリの場合は、［PS］と［MIX］が別々に表示されますが、同じパーティションを示します。

SDメモリーカード（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確保したい

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	×	×

機能の説明

SD メモリーカードやフラッシュメモリの空き容量を確保するにはいくつかの方法があります。

SD メモリーカードの場合

SD メモリーカードの不要なジョブを削除する

「暗号化認証印刷」、「認証印刷」または「プリンタに保存」指定をした印刷ジョブが、SD メモリーカードの「COMMON」パーティションに残ったままになっていると、SD メモリーカードの容量を圧迫します。これらのジョブを削除することによって、空き容量を確保することができます。「パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）」（122 ページ）、「ジョブを保存して繰り返し印刷したい」（129 ページ）をご覧ください。

「COMMON」パーティションの空き容量が確保されます。「PSE」および「PCL」パーティションの空き容量は変わりません。

SD メモリーカードのパーティションサイズを変更する

使用していないパーティションのサイズを小さくすることにより、目的のパーティションの空き容量を確保することができます。

パーティションのサイズを変更すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

- 「暗号化認証印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

プリントジョブアカウンティング（オプション）にプリンタがすでに追加されている場合は、パーティションのサイズを変更する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタの SD メモリーカードから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

注　管理者メニューの［SD-M INITIALIZE］は工場出荷時の設定では表示されません。ADMIN MENU で［FILE SYS MAINTE2］-［INITIAL LOCK］を［NO］に変更する必要があります。詳しくは 6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

❶［ADMIN MENU］を表示します。

メモ　［ADMIN MENU］を表示する方法は、「管理者メニュー」（285 ページ）をご覧ください。

❷ OK スイッチを押すと、［ENTER PASSWORD］と表示されるので、▲スイッチまたは▼スイッチを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、OK スイッチを押します。
同様の手順で 6 〜 12 桁のパスワードを入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ OK スイッチを押し、▼スイッチを数回押すと［FILE SYS MAINTE1］が表示されます。

❹ OK スイッチを押し、▼スイッチを数回押すと［SD-M INITIALIZE］を選択し、OK スイッチを押します。

❺［ARE YOU SURE ?　YES/NO］と表示されるので、▼スイッチを数回押して［YES］を選択し、OK スイッチを押します。

プリンタは自動的に再起動します。

❻［C M Y K］または［オンライン］の画面になったら、プリンタの電源を切ります。

❼ OK スイッチを押しながら電源を入れ、［ADMIN MENU］と表示されたら、OK スイッチを押します。

❽ パスワード入力画面になるので、▲スイッチまたは▼スイッチで 1 桁目を表示し、OK スイッチを押します。同様の手順で 6 〜 12 桁のパスワードを入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❾ ▼スイッチを数回押して［FILE SYS MAINTE1］を選択し、OK スイッチを押します。

❿ ▼スイッチを数回押して［SD-M FORMATTING］と表示され、PCL パーティションサイズが選択されていますので、変更する場合は▲スイッチまたは▼スイッチを数回押して設定したいサイズを表示し、OK スイッチを押します。

メモ　PCL パーティションサイズを変更すると、COMMON パーティションサイズも変わります。COMMON パーティションサイズ、PSE パーティションサイズの変更も同様です。

⓫［ARE YOU SURE ?　YES/NO］と表示されるので、▼スイッチを数回押して［YES］を選択し、OK スイッチを押します。

プリンタは自動的に再起動します。
操作パネルに［C M Y K］または［オンライン］と表示されたら、初期化は完了です。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

「OKI ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、59 ページをご覧ください。

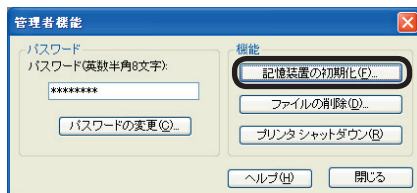
❶ ［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows 2000 では［プログラム］）-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸ ［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺ ［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻ ［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ リストから SD メモリーカードパーティションを選択し、［HDD/SD のパーティションサイズ変更］でサイズを変更し、［HDD/SD 全体の初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［OK］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［はい］をクリックします。

❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

電源の切り方は「電源を切ります」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

SD メモリーカード（オプション）の初期化をします

SD メモリーカードを初期の状態に戻すことができます。
SD メモリーカードの初期化を行う場合は、「SD メモリーカード（オプション）を初期化したい」（253 ページ）をご覧ください。

フラッシュメモリの場合

フラッシュメモリの初期化をします

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・登録したフォーム

操作パネルを使う場合

管理者メニューの［FLASH INITIALIZE］は工場出荷時の設定では表示されません。ADMIN MENU で［FILE SYS MAINTE2］-［INITIAL LOCK］を［NO］に変更する必要があります。詳しくは 6 章「プリンタメニュー一覧」の「管理者メニュー」(285ページ) をご覧ください。

❶［ADMIN MENU］を表示します。

メモ ［ADMIN MENU］を表示する方法は、「管理者メニュー」(285ページ) をご覧ください。

❷ パスワード入力画面になるので、▲ スイッチまたは ▼ スイッチで 1 桁目を表示し、OK スイッチを押します。同様の手順で 6 ～ 12 桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❸ ▼ スイッチを数回押して［FILE SYS MAINTE1］を選択し、OK スイッチを押します。

❹ ▼ スイッチを数回押して［FLASH INITIALIZE］を選択し、OK スイッチを押します。

❺［ARE YOU SURE ？　YES/NO］と表示されるので、▼ スイッチを数回押して［YES］を選択し、OK スイッチを押します。

フラッシュメモリの初期化を開始します。プリンタは自動的に再起動します。操作パネルに［C M Y K］または［オンライン］と表示されたら、初期化は完了です。

OKI ストレージデバイスマネージャ（Windows）を使う場合

- 「OKI ストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、59 ページをご覧ください。
- セキュリティキットが取り付けられている場合、フラッシュメモリの初期化を行うことはできません。

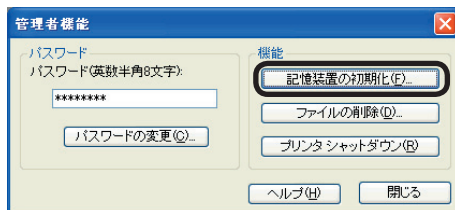
❶［スタート］-［すべてのプログラム］-［沖データ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］-［OKI ストレージデバイスマネージャ］を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、［開始］をクリックします。

❸［閉じる］をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択します。［プリンタ］メニューから［管理者機能］を選択します。

❺［現在のパスワード］に管理者パスワードを入力します。パスワードの初期値は「PASSWORD」です。

❻［記憶装置の初期化］をクリックします。

❼ リストから Flash パーティションを選択し、［フラッシュ全体の初期化］をクリックします。

❽ 初期化確認画面で［はい］をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で［OK］をクリックします。

❿ 完了画面で［OK］をクリックします。

⓫ プリンタの電源を OFF/ON します。

電源の切り方は「電源の切りかた」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

操作パネルの表示言語を変更したい（Windows）

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	○	○

機能の説明

プリンタの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

動作環境

Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 日本語版

以下の説明は、Windows XP Home Edition を例にしています。

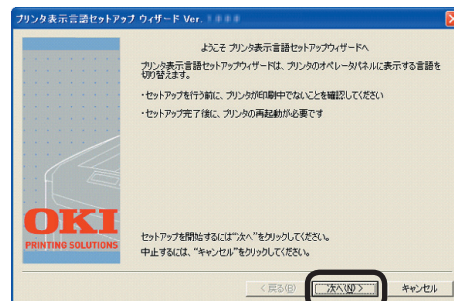
本プログラムは、プリンタドライバを使用します。あらかじめプリンタドライバをインストールしてください。詳しくは、ユーザーズマニュアル（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

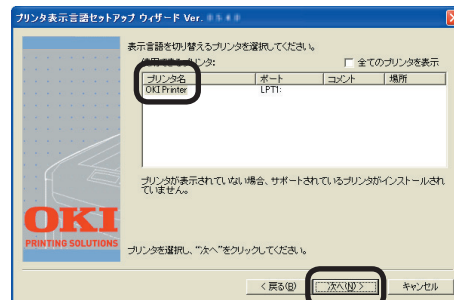
起動します

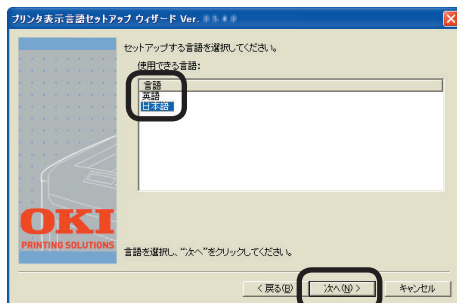
❶ プリンタの電源を ON にします。

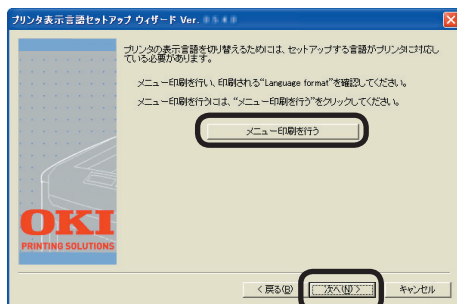
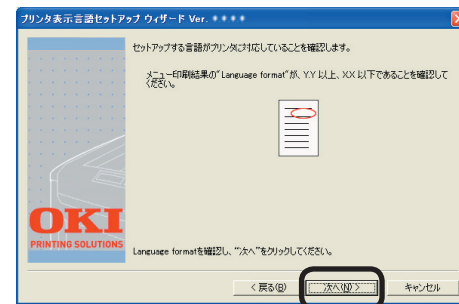
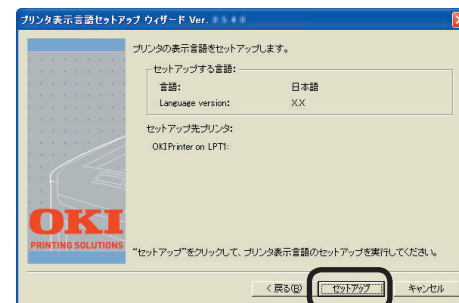
❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。セットアッププログラムが起動します。

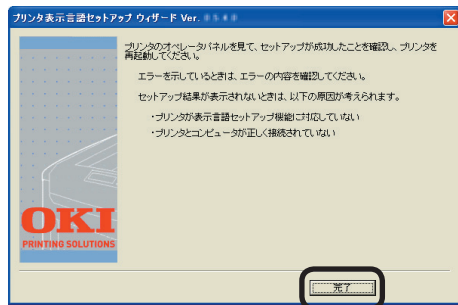
❸ ［その他のソフトウェア］-［プリンタ表示言語セットアップ］をクリックします。

❹ プリンタ表示言語セットアップが起動します。［次へ］をクリックします。

メモ　タイトルバーの「プリンタ表示言語セットアップ ウィザード Ver.」の後に本プログラムのバージョンが表示されます。

❺ 言語を切り替えるプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　［使用できるプリンタ］リストには本プログラムがサポートされているプリンタが表示されます。

❻ セットアップする言語を選択し、［次へ］をクリックします。

❼［メニュー印刷を行う］をクリックし、設定内容印刷を実行します。［次へ］をクリックします。

メモ　印刷された設定内容はこの後の画面で使用します。

❽ 設定内容印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認し、［次へ］をクリックします。

❾ セットアップする内容を確認し、［セットアップ］をクリックします。

メモ　画面の［Language version:］の右の "X.X" は、本プログラムに含まれる言語ファイルの Language version が表示されます。

⑩［完了］をクリックします。

⑪プリンタの操作パネルを見てダウンロードが成功したことを確認し、プリンタを再起動してください。

DOWNLOAD MESSAGE SUCCESS	ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾒｯｾｰｼﾞ ｶｷｺﾐｶﾝﾘｮｳ
英語表示イメージ	日本語表示イメージ

操作パネルの表示言語を変更したい（Macintosh）

この機能が使えるプリンタ

機種名	C530dn	C510dn	C310dn
○：使えます ×：使えません	○	○	○

動作環境

Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6

機能の説明

プリンタの操作パネルに表示される言語を日本語または英語に切り替えることができます。工場出荷時の設定では、日本語になっています。

設定します

❶ プリンタの操作パネルでメニューマップを印刷します。

❷ メニューマップに印刷されている「Language format」の数字を確認します。

❸ TCP/IP 接続する場合、メニューマップに印刷されているプリンタの IP アドレスを確認します。

Mac OS X の場合

❶「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Utility］-［パネルダウンロード］-［パネル言語セットアップ］をダブルクリックします。

パネル言語セットアップ

❸ 接続方法を選択するためのダイアログが表示されます。［USB］もしくは［TCP/IP］を選択してください。TCP/IP 接続を選択した場合は、設定内容で確認したプリンタの IP アドレスを入力します。

❹［OK］ボタンをクリックすると、メインダイアログが表示されます。

❺ ダイアログの右上に表示されている「Language version」の数字(x.y)がメニューマップに印刷されている「Language format」の数字と等しいか大きいことを確認します。

1桁目の数字(x)が異なる場合は使用できません。

メモ ダイアログ右上の Language version は、本ツールが書き込む言語ファイルのバージョンです。
ツールの言語ファイルバージョンはマニュアルに記載のバージョンとは異なる場合があります。

MenuMap C530

プリンタシリアル番号:ALPHA00002 プリンタ管理番号:
CU version:A1.01 [I01.23 U00.16 S3.5.3d B01.01 L01.00 PPC 532MHz 14241C00 000C0001 F50 J0]
PU version:00.03.32 [PI03.20 L000.00.07 T200.00.03] ET:000000305060516 1F18000001000000 KYMC-0000
PCL Program version:05.10 [04.30 X04.05 P F] IM version:02.00
PS Program version:3017, PSE10
両面印刷:installed トレイ1:A4 トレイ2:A4
Total Memory Size:768 MB
Flash Memory:8 MB [F50] SD Memory Card:16.14 GB [F50]
JP1 LCD:T1 PNL:T1 DPR:1.5 64 MC:CP
Network version:01.02 Web Remote:01.00
ENGINE:738 K:33 C:47 T:3:4:4:4, I:0, B:0, F:0

Language format:1.00
Language:JAPANESE

❻ [言語の選択] ポップアップメニューから、使用したい言語を選択します。

❼ [ダウンロード] ボタンをクリックします。言語を設定するためのファイルがプリンタに送信されます。送信が終了すると、終了した旨を知らせるための画面が表示されます。

❽ プリンタを再起動します。

MacOS 9 の場合

❶［MicrolinePS］-［MicrolinePS Utility］-［MicrolinePS Utility］をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［パネル言語の設定］を選択します。

❸ メニューマップ印刷結果の“Language format”が、画面に表示されている数字の範囲内であることを確認します。

メモ ツールの言語ファイルバージョンはマニュアルに記載するバージョンとは異なる場合があります。

MenuMap C530

プリンタシリアル番号:ALPHA00002 プリンタ管理番号:
CU version:A1.01 [I01.23 U00.16 S3.5.3d B01.01 L01.00 PPC 532MHz 14241C00 000C0001 F50 J0]
PU version:00.03.32 [PI03.20 L000.00.07 T200.00.03] ET:0000000305060516IF18000001000000 KYMC-0000
PCL Program version:05.10 [04.30 X04.05 P F] IM version:02.00
PS Program version:3017, PSE10
両面印刷:installed トレイ1:A4 トレイ2:A4
Total Memory Size:768 MB
Flash Memory:8 MB [F50] SD Memory Card:16.14 GB [F50]
JP1 LCD:T1 PNL:T1 DPR:1.5 64 MC:CP
Network version:01.02 Web Remote:01.00
ENGINE:738 K:33 C:47 T:3:4:4:4, I:0, B:0, F:0

Language format:1.00
Language:JAPANESE

❹［言語］ポップアップメニューから、使用したい言語を選択します。

❺［ダウンロード］ボタンをクリックします。言語を設定するためのファイルがプリンタに送信されます。送信が終了すると、終了した旨を知らせるための画面が表示されます。

❻ プリンタを再起動します。

プリンタメニュー一覧

ユーザメニュー

網かけ部は初期値です。
○：表示します。—：表示しません。

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ｲﾝｻﾂ ｼﾞｮﾌﾞ ﾒﾆｭｰ	ｱﾝｺﾞｳ ｼﾞｮﾌﾞ	ｼﾞｮﾌﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	SD メモリーカードに格納された暗号化認証印刷ジョブを印刷します。	○	—	—
		ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ ｻｸｼﾞｮ		○	—	—
	ﾎｿﾞﾝ ｼﾞｮﾌﾞ	ｼﾞｮﾌﾞｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	SD メモリーカードに保存したデータを印刷します。	○	—	—
		ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ ｻｸｼﾞｮ		○	—	—
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ		プリンタ構成情報を印刷します。	○	○	○
	ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼﾞｯｺｳ		ネットワークに関する情報を印刷します。	○	○	○
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ		ファイルリストを印刷します。	○	—	—
	PCL ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ		PCL エミュレーションのフォントリストを印刷します。	○	—	—
	PSE ﾌｫﾝﾄ ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ		PS のフォントリストを印刷します。	○	—	—
	DEMO1 ｼﾞｯｺｳ		デモ印刷を行います。	○	○	○
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ		エラーの履歴を印刷します。	○	—	—
	ｼｭｳｹｲｹｯｶ ｲﾝｻﾂ ｼﾞｯｺｳ		印刷の集計結果を印刷します。	○	○	○
	ｶﾗｰ ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ ﾘｽﾄ ｼﾞｯｺｳ		カラープロファイルリストを印刷します。	○	—	—
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ﾒﾆｭｰ	ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ｽﾀｰﾄ ｼﾞｯｺｳ		電源を切る前に、実行します。	○	○	○
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1 〜 999	コピー枚数を設定します。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ	ｵﾝ ｵﾌ	両面印刷を指定します。	○	—	—
	ﾄｼﾞｶﾀ	ﾖｺﾄｼﾞ ﾀﾃﾄｼﾞ	両面印刷するときの綴じ方を指定します。	○	—	—
	ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ 1 ﾄﾚｲ 2 MP ﾄﾚｲ	用紙を給紙するトレイを指定します。	○	○	○
	ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾝ ｵﾌ	自動トレイ切り替え機能を設定します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ ｳｴ ﾎｳｺｳ ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	自動トレイ切り換え機能を使うとき、給紙するトレイの選択順序を指定します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾉ ﾂｶｲｶﾀ	ﾖｳｼﾁｶﾞｲ ﾉ ﾄｷ ｼﾖｳｼﾅｲ	MP トレイの使い方を設定します。 ヨウシチガイ ノ トキ：用紙違いが発生した場合（トレイの用紙サイズ／メディアタイプが印刷データと不一致のとき）、指定したトレイではなく、MP トレイから給紙します。 シヨウシナイ：自動でトレイを選択するときや、自動トレイ切り替え時に MP トレイを使用しません。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ﾖｳｼ ﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	印刷データの用紙サイズと給紙するトレイの用紙サイズをチェックする / しないを設定します。	○	○	○
	A4/ ﾚﾀｰ ｵｷｶｴ	ｲｲｴ ﾊｲ	A4 またはレターサイズで印刷するとき、プリンタに該当する用紙サイズが入っていなかった場合、A4 をレターサイズで、レターサイズを A4 で印刷する / しないを設定します。	○	○	○
	ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	600DPI 600x1200DPI 600DPI M-LEVEL	解像度を設定します。	○	—	—
	ﾄﾅｰｾｰﾌﾞﾓｰﾄﾞ	ｵﾝ ｵﾌ	トナーを節約して印刷する / しないを設定します。	○	—	—
	ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｶﾗｰ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ ﾌﾂｳ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	モノクロページの印刷速度を設定します。 ジドウ：1 つのデータの中で、カラーページが来るまでは、モノクロ印刷の速度で印刷します。カラーページ印刷後は、カラー印刷の速度で印刷します。 カラー　インサツ　ソクド：常に、カラー印刷の速度で印刷します。 フツウ　インサツ　ソクド：モノクロページはモノクロ印刷速度で、カラーページはカラー印刷速度で印刷します。	○	○	○
	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｺｳ	ﾀﾃ ﾖｺ	印刷方向を設定します。	○	—	—

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	1 ﾍﾟｰｼﾞ ｷﾞｮｳｽｳ	5 ｷﾞｮｳ ～ 64 ｷﾞｮｳ ～ 128 ｷﾞｮｳ	1 ページに印字可能な行数を設定します。	○	—	—
	ﾍﾝｼｭｳ ｻｲｽﾞ	ｶｾｯﾄ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ A4 A5 A6 B5 ﾘｰｶﾞﾙ 14 ﾘｰｶﾞﾙ 13.5 ﾘｰｶﾞﾙ 13 ﾚﾀｰ ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ 16K(184x260mm) 16K(195x270mm) 16K(197x273mm) ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENV DL ENVELOPE C5 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ 1 ﾌｳﾄｳ 2 ﾌｳﾄｳ 3 ﾌｳﾄｳ 4 ｲﾝﾃﾞｯｸｽ ｶｰﾄﾞ	印刷する領域のサイズを設定します。	○	—	—

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ﾖｳｼﾊﾊﾞ ｻｲｽﾞ	64 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 216 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙幅をミリメートル単位で設定します。用紙幅は、用紙走行方向に対して垂直方向の長さです。	○	—	—
		2.5 ｲﾝﾁ ～ 8.3 ｲﾝﾁ ～ 8.5 ｲﾝﾁ	カスタム用紙の用紙幅をインチ単位で設定します。用紙幅は、用紙走行方向に対して垂直方向の長さです。	○	—	—
	ﾖｳｼﾅｶﾞｻ ｻｲｽﾞ	127 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 1321 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙長さをミリメートル単位で設定します。用紙長さは、用紙走行方向と同じ方向の長さです。	○	—	—
		5.0 ｲﾝﾁ ～ 11.7 ｲﾝﾁ ～ 52.0 ｲﾝﾁ	カスタム用紙の用紙長さをインチ単位で設定します。用紙長さは、用紙走行方向と同じ方向の長さです。	○	—	—
	ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 A6 B5 ﾘｰｶﾞﾙ 14 ﾘｰｶﾞﾙ 13.5 ﾘｰｶﾞﾙ 13 ﾚﾀｰ ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ 16K(184x260mm) 16K(195x270mm) 16K(197x273mm) ｶｽﾀﾑ ﾊｶﾞｷ	トレイ 1 の用紙サイズを設定します。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼﾊﾊﾞ	100 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 216 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	トレイ 1 のカスタム用紙の用紙幅をミリメートル単位で設定します。用紙幅は、用紙走行方向と垂直方向の長さです。	○	○	○
		3.9 ｲﾝﾁ ～ 8.3 ｲﾝﾁ ～ 8.5 ｲﾝﾁ	トレイ 1 のカスタム用紙の用紙幅をインチ単位で設定します。用紙幅は、用紙走行方向と垂直方向の長さです。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼﾅｶﾞｻ	148 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 356 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	トレイ 1 のカスタム用紙の用紙長をミリメートル単位で設定します。用紙長は、用紙走行方向と同じ方向の長さです。	○	○	○
		5.8 ｲﾝﾁ ～ 11.7 ｲﾝﾁ ～ 14.0 ｲﾝﾁ	トレイ 1 のカスタム用紙の用紙長をインチ単位で設定します。用紙長は、用紙走行方向と同じ方向の長さです。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ﾄｸｼｭﾖｳｼ USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	トレイ 1 の用紙種別を設定します。 USERTYPE1 ～ 5 は、プリンタドライバからメディアタイプが登録された時のみ表示します。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ 1 ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ 1	トレイ 1 の用紙厚を設定します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 B5 ﾘｰｶﾞﾙ 14 ﾘｰｶﾞﾙ 13.5 ﾘｰｶﾞﾙ 13 ﾚﾀｰ ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ 16K(184x260mm) 16K(195x270mm) 16K(197x273mm) ｶｽﾀﾑ	トレイ 2 の用紙サイズを設定します。トレイ 2 が実装されているときに表示します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼﾊﾊﾞ	148 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ⟆ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ⟆ 216 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	トレイ 2 のカスタム用紙の用紙幅をミリメートル単位で設定します。用紙幅は、用紙走行方向と垂直方向の長さです。	○	○	○
		5.8 ｲﾝﾁ ⟆ 8.3 ｲﾝﾁ ⟆ 8.5 ｲﾝﾁ	トレイ 2 のカスタム用紙の用紙幅をインチ単位で設定します。用紙幅は、用紙走行方向と垂直方向の長さです。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼﾅｶﾞｻ	210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ⟆ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ⟆ 356 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	トレイ 2 のカスタム用紙の用紙長をミリメートル単位で設定します。用紙長は、用紙走行方向と同じ方向の長さです。	○	○	○
		8.3 ｲﾝﾁ ⟆ 11.7 ｲﾝﾁ ⟆ 14.0 ｲﾝﾁ	トレイ 2 のカスタム用紙の用紙長をインチ単位で設定します。用紙長は、用紙走行方向と同じ方向の長さです。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ﾄｸｼｭﾖｳｼ USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	トレイ 2 の用紙種別を設定します。 USERTYPE1 ～ 5 は、プリンタドライバからメディアタイプが登録された時のみ表示します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ 1	トレイ 2 の用紙厚を設定します。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A4 A5 A6 B5 ﾘｰｶﾞﾙ 14 ﾘｰｶﾞﾙ 13.5 ﾘｰｶﾞﾙ 13 ﾚﾀｰ ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ 16K(184x260mm) 16K(195x270mm) 16K(197x273mm) ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENV DL ENVELOPE C5 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ 1 ﾌｳﾄｳ 2 ﾌｳﾄｳ 3 ﾌｳﾄｳ 4 ｲﾝﾃﾞｯｸｽ ｶｰﾄﾞ	MP トレイの用紙サイズを設定します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼﾊﾊﾞ	64 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 216 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	MP トレイのカスタム用紙の用紙幅をミリメートル単位で設定します。用紙幅は、用紙走行方向と垂直方向の長さです。	○	○	○
		2.5 ｲﾝﾁ ～ 8.3 ｲﾝﾁ ～ 8.5 ｲﾝﾁ	MP トレイのカスタム用紙の用紙幅をインチ単位で設定します。用紙幅は、用紙走行方向と垂直方向の長さです。	○	○	○
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼﾅｶﾞｻ	127 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ 1321 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	MP トレイのカスタム用紙の用紙長をミリメートル単位で設定します。用紙長は、用紙走行方向と同じ方向の長さです。	○	○	○
		5.0 ｲﾝﾁ ～ 11.7 ｲﾝﾁ ～ 52.0 ｲﾝﾁ	MP トレイのカスタム用紙の用紙長をインチ単位で設定します。用紙長は、用紙走行方向と同じ方向の長さです。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾗﾍﾞﾙｼ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ﾄｸｼｭﾖｳｼ USERTYPE1 USERTYPE2 USERTYPE3 USERTYPE4 USERTYPE5	MP トレイの用紙種別を設定します。 USERTYPE1 ～ 5 は、プリンタドライバからメディアタイプが登録された時のみ表示します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱ ｳｴｲﾄ	ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ 1 ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ 2	MP トレイの用紙厚を設定します。	○	○	○
	ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	ｲﾝﾁ ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙サイズの単位を設定します。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ ﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	濃度補正と階調補正を自動で行うか手動で行うかを設定します。	○	○	○
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	濃度補正を行います。	○	○	○
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲ	ﾊﾟﾀｰﾝ ｲﾝｻﾂ	階調特性を調整するためのパターンを印刷します。	○	―	―
	C HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアン（青色）のハイライト部（薄い領域）を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―
	C MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアン（青色）の中間部を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―
	C DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアン（青色）のダーク部（濃い領域）を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―
	M HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタ（赤色）のハイライト部（薄い領域）を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	M MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタ（赤色）の中間部を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―
	M DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタ（赤色）のダーク部（濃い領域）を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―
	Y HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエロー（黄色）のハイライト部（薄い領域）を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―
	Y MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエロー（黄色）の中間部を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―
	Y DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエロー（黄色）のダーク部（濃い領域）を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	―	―

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ｶﾗｰﾒﾆｭｰ	K HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック（黒色）のハイライト部（薄い領域）を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	—	—
	K MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック（黒色）の中間部を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	—	—
	K DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック（黒色）のダーク部（濃い領域）を調整します。濃くしたいときは数値を大きく、薄くしたいときは数値を小さく設定します。	○	—	—
	C ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアン（青色）の濃度を調整します。	○	—	—
	M ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタ（赤色）の濃度を調整します。	○	—	—

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ｶﾗｰﾒﾆｭｰ	Y ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエロー（黄色）の濃度を調整します。	○	—	—
	K ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック（黒色）の濃度を調整します。	○	—	—
	ｼﾞﾄﾞｳ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	自動色ずれ補正動作を実行します。	○	○	○
	C ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック（黒色）に対するシアン（青色）の画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	M ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック（黒色）に対するマゼンタ（赤色）の画像位置ズレを微調整します。	○	○	○
	Y ｲﾁｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラック（黒色）に対するイエロー（黄色）の画像位置ズレを微調整します。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ｲﾝｸｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｵﾌ SWOP EUROSCALE JAPAN	標準印刷色をシミュレートします。	○	―	―
	UCR	ｽｸﾅｲ ﾌﾂｳ ｵｵｲ	濃い印刷で用紙のカールなどが発生する場合に、「フツウ」や「オオイ」を設定すると、カール量が軽減されることがあります。	○	―	―
	CMY100% ﾉｳﾄﾞ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	CMY100% 階調値に対する 100% 出力を有効にする / しないを選択します。 この機能は、PostScript の CMYK 色空間での色指定などの特殊用途のための機能です。	○	―	―
	CMYK ﾍﾝｶﾝ	ｵﾝ ｵﾌ	オフの場合、PostScript 印刷で CMYK データの変換処理を簡易に行うことにより、処理時間を短くできます。	○	―	―
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	1 ﾌﾝ 2 ﾌﾝ 3 ﾌﾝ 4 ﾌﾝ 5 ﾌﾝ 10 ﾌﾝ 15 ﾌﾝ 30 ﾌﾝ 60 ﾌﾝ 120 ﾌﾝ 180 ﾌﾝ	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定します。 初期値は、C530dn/C510dn では 30 分、C310dn では 5 分です。 C310dn で設定できる値は以下の通りです。 1 ﾌﾝ 3 ﾌﾝ 5 ﾌﾝ 15 ﾌﾝ 30 ﾌﾝ 60 ﾌﾝ 240 ﾌﾝ	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ｽﾘｰﾌﾟ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	1 ﾌﾝ 2 ﾌﾝ 3 ﾌﾝ 4 ﾌﾝ 5 ﾌﾝ 10 ﾌﾝ 15 ﾌﾝ 30 ﾌﾝ 60 ﾌﾝ 120 ﾌﾝ 180 ﾌﾝ	パワーセーブモードからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。	○	○	―
	ﾄﾞｳｻﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ PCL PS3 ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	プリンタ言語を設定します。 通常は「ジドウ」に設定しておきます。	○	―	―
	USB PS- ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ASCII RAW	USB からのデータの PS 通信プロトコルのモードを指定します。	○	―	―
	NET PS- ﾌﾟﾛﾄｺﾙ	ASCII RAW	ネットワークからのデータの PS 通信プロトコルのモードを設定します。	○	―	―
	ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝﾗｲﾝ ｼﾞｮﾌﾞ	復旧可能なエラーメッセージの表示を消去するタイミングを設定します。	○	○	○
	ｴﾗｰ ｼﾞﾄﾞｳ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｵﾌ	メモリオーバーフローや用紙要求のエラーが発生した時に、自動的にプリンタを復旧させる / させないを設定します。	○	―	―
	ﾏﾆｭｱﾙ ﾀｲﾑｱｳﾄ	ｵﾌ 30 ﾋﾞｮｳ 60 ﾋﾞｮｳ	手差し印刷のとき、用紙がセットされるまでの時間を設定します。 この指定時間内に用紙がセットされない場合は印刷しません。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	ｵﾌ 5 ﾋﾞｮｳ 10 ﾋﾞｮｳ 20 ﾋﾞｮｳ 30 ﾋﾞｮｳ 40 ﾋﾞｮｳ 50 ﾋﾞｮｳ 60 ﾋﾞｮｳ 90 ﾋﾞｮｳ 120 ﾋﾞｮｳ 150 ﾋﾞｮｳ 180 ﾋﾞｮｳ 210 ﾋﾞｮｳ 240 ﾋﾞｮｳ 270 ﾋﾞｮｳ 300 ﾋﾞｮｳ	プリンタがデータを受信しなくなってから強制印刷を行うまでの時間を設定します。	○	○	○
	ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ ﾁｭｳｼ	トナーが少なくなったときのプリンタ動作を設定します。 ケイゾク： オンラインのままで印刷を継続します。 チュウシ：プリンタをオフラインにします。	○	○	○
	ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ ｵﾌ	紙づまりが発生したときに、紙づまりしたページを再度印刷を行う / 行わないを設定します。	○	○	○
	ｴﾗｰ ﾚﾎﾟｰﾄ	ｵﾝ ｵﾌ	内部エラーが発生した時にエラーレポートを印刷する / しないを設定します。	○	○	○
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｼﾖｳ ﾌｫﾝﾄ	ﾅｲｿﾞｳ ﾌｫﾝﾄ ﾅｲｿﾞｳ ﾌｫﾝﾄ 2 ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ﾌｫﾝﾄ	PCL デフォルトフォントのロケーションを設定します。	○	—	—
	ﾌｫﾝﾄ No.	I0 C1 S1	PCL フォント番号を設定します。	○	—	—

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ﾌｫﾝﾄ ﾋﾟｯﾁ	0.44CPI ～ 10.00CPI ～ 99.99CPI	PCL デフォルトフォントの幅を設定します。	○	—	—
	ﾌｫﾝﾄ ｻｲｽﾞ	4.00 ﾎﾟｲﾝﾄ ～ 12.00 ﾎﾟｲﾝﾄ ～ 999.75 ﾎﾟｲﾝﾄ	PCL デフォルトフォントの高さを設定します。	○	—	—
	ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ	PC-8 PC-8 Dan/Nor PC-8 Grk PC-8 TK PC-775 PC-850 PC-851 Grk PC-852 PC-855 PC-857 TK PC-858 PC-862 Heb PC-864 L/A PC-866 PC-866 Ukr PC-869 PC-1004 Pi Font Plska Mazvia PS Math PS Text Roman-8 Roman-9 Roman Ext Serbo Croat1 Serbo Croat2 Spanish Ukrainian VN Int'l VN Math	PCL のシンボルセットを設定します。	○	—	—

6 プリンタメニュー一覧

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ	VN US Win 3.0 Win 3.1 Arb Win 3.1 L/G Win 3.1 Blt Win 3.1 Cyr Win 3.1 Grk Win 3.1 Heb Win 3.1 L1 Win 3.1 L2 Win 3.1 L5 Wingdings Dingbats MS Symbol OCR-A OCR-B OKI-OCRB HP ZIP USPSFIM USPSSTP USPSZIP Arabic-8 Bulgarian CWI Hung DeskTop German Greek-437 Greek-437 Cy Greek-737 Greek-8 Greek-928 Hebrew NC Hebrew OC Hebrew-7 Hebrew-8 IBM-437 IBM-850 IBM-860 IBM-863 IBM-865 ISO Dutch ISO L1	PCL のシンボルセットを設定します。	○	―	―

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ	ISO L2 ISO L4 ISO L5 ISO L6 ISO L9 ISO Swedish1 ISO Swedish2 ISO Swedish3 ISO-2 IRV ISO-4 UK ISO-6 ASC ISO-10 S/F ISO-11 Swe ISO-14 JASC ISO-15 Ita ISO-16 Por ISO-17 Spa ISO-21 Ger ISO-25 Fre ISO-57 Chi ISO-60 Nor ISO-61 Nor ISO-69 Fre ISO-84 Por ISO-85 Spa ISO-Cyr ISO-Grk ISO-Hebrew Kamenicky Legal Math-8 MC Text MS Publish PC Ext D/N PC Ext US PC Set1 PC Set2 D/N PC Set2 US WIN3.1J	PCL のシンボルセットを設定します。	○	―	―

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	A4 ｲﾝｼﾞ ﾊﾊﾞ	78 ｹﾀ 80 ｹﾀ	PCL で A4 用紙の自動改行する桁数設定します。A4 用紙を使用する場合にのみ有効です。	○	—	—
	ﾊｸｼ ﾍﾟｰｼﾞ ｼﾞｮｶﾞｲ	ｵﾝ ｵﾌ	PCL で FF コマンド (0CH) を受信したとき、印刷するデータが無いページ (白紙) を排出する / しないを設定します。 オン：排出しない。 オフ：排出する。	○	—	—
	CR ﾄﾞｳｻ	CR ﾉﾐ CR+LF	PCL で CR コード受信したときの動作を設定します。 CR：復帰 CR+LF：復帰改行	○	—	—
	LF ﾄﾞｳｻ	LF ﾉﾐ LF+CR	PCL で LF コード受信したときの動作を設定します。 LF：改行 LF+CR：改行復帰	○	—	—
	ｲﾝｻﾂ ﾘｮｳｲｷ	ﾉｰﾏﾙ 1/5 ｲﾝﾁ 1/6 ｲﾝﾁ	用紙の印刷不可能領域を設定します。	○	—	—
	ｲﾒｰｼﾞ ｸﾛ ｾﾝﾀｸ	ﾀﾝｼｮｸ ｸﾛ ｺﾝｺﾞｳ ｸﾛ	PCL のイメージデータの黒 (100%) に対して、Composite Black(CMYK 混色) を使用するか Pure Black(K のみ) を使用するかを設定します。 タンショク　クロ：Pure Black を使用するモード コンゴウ　クロ：Composite Black を使用するモード	○	—	—
	ﾍﾟﾝﾊﾊﾞ ﾎｾｲ	ｵﾝ ｵﾌ	ペン幅の補正を行う / 行わないを設定します。 オン：最小線幅を指定されたとき、1dot 以上の線幅に強調します。 オフ：補正を行いません。	○	—	—

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値		内　容	C530dn	C510dn	C310dn
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ﾄﾚｲ ID#	ﾄﾚｲ 2	1 ∫ 5 ∫ 59	PCL5c エミュレーションでの給紙先指定コマンド (ESC & l#H) において、トレイ 2 指定の # を設定します。トレイ 2 を実装時に表示されます。	○	—	—
		MP ﾄﾚｲ	1 ∫ 4 ∫ 59	PCL5c エミュレーションでの給紙先指定コマンド (ESC & l#H) において、マルチパーパストレイ指定の # を設定します。	○	—	—
USB ﾒﾆｭｰ	ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ		ソフトリセットコマンドの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	SPEED	480Mbps 12Mbps		USB インタフェースの最大転送速度を設定します。	○	○	○
	ｵﾌﾗｲﾝ ｼﾞｭｼﾝ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ		アラームが発生したときに、受信するようにする / しないを設定します。	○	—	—
	ｼﾘｱﾙﾅﾝﾊﾞ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ		USB シリアルナンバの有効 / 無効を設定します。USB シリアルナンバは、PC が接続されている USB デバイスを識別するために使用されます。	○	○	○
ﾈｯﾄﾜｰｸﾒﾆｭｰ	TCP/IP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ		TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	IP ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	IP v4 IP v4+v6 IP v6		IP のバージョンを設定します。 IP v4：IPv4 で動作します。 IP v4+v6：IPv4 と IPv6 の両方で動作します。 IP v6：IPv6 で動作します。 このメニューは、[TCP/IP] の設定が [ユウコウ] のときに表示します。	○	—	—
	NETBEUI	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ		NETBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	—	—
	NETBIOS OVER TCP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ		NetBIOS over TCP プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	—	—

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ﾈｯﾄﾜｰｸﾒﾆｭｰ	NETWARE	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	NETWARE プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	—	—
	ETHERTALK	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ETHERTALK プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○	—	—
	ﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ	ｼﾞﾄﾞｳ 802.2 802.3 ETHERNET II SNAP	フレームタイプを設定します。このメニューは、[NETWARE] の設定が［ユウコウ］のときに表示します。	○	—	—
	IP ｱﾄﾞﾚｽｾｯﾃｲ	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	IP アドレスの設定方法を設定します。	○	○	○
	IPV4 ｱﾄﾞﾚｽ	xxx.xxx.xxx.xxx	IP アドレスを設定します。 このメニューは、[TCP/IP] が [ユウコウ] で、[IP バージョン] が [IP v4] または [IP v4+v6] のときに表示します。	○	○	○
	ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	xxx.xxx.xxx.xxx	サブネットマスクを設定します。 このメニューは、[TCP/IP] が [ユウコウ] で、[IP バージョン] が [IP v4] または [IP v4+v6] のときに表示します。	○	○	○
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	xxx.xxx.xxx.xxx	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。[0.0.0.0] はルータが無いことを意味します。 このメニューは、[TCP/IP] が [ユウコウ] で、[IP バージョン] が [IP v4] または [IP v4+v6] のときに表示します。	○	○	○
	WEB	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	WEB の有効 / 無効を設定します。 このメニューは、[TCP/IP] の設定が［ユウコウ］のときに表示します。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ﾈｯﾄﾜｰｸﾒﾆｭｰ	TELNET	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	TELNET の有効 / 無効を設定します。 このメニューは、[TCP/IP] の設定が［ユウコウ］のときに表示します。	○	○	○
	FTP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	FTP の有効 / 無効を設定します。 このメニューは、[TCP/IP] の設定が［ユウコウ］のときに表示します。	○	○	○
	IPSEC	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	このメニューは、[TCP/IP] の設定が［ユウコウ］で IPSEC が［ユウコウ］のときに表示します。 IPSec を［ムコウ］へ変更することができます。 IPSec を有効にするには、Web ブラウザから設定を行います。	○	—	—
	SNMP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	SNMP の有効 / 無効を設定します。 このメニューは、[TCP/IP] または [NETWARE] の設定が [ユウコウ］のときに表示します。	○	○	○
	ﾈｯﾄﾜｰｸﾉｷﾎﾞ	ﾌﾂｳ ｼｮｳｷﾎﾞ	フツウ：スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率良く動作しますが、コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN に接続すると、プリンタの起動時間が長くなります。 ショウキボ：コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応できますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率良く動作できないことがあります。	○	○	○

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ﾈｯﾄﾜｰｸﾒﾆｭｰ	ﾊﾌﾞﾄﾉｾﾂｿﾞｸ	ｼﾞﾄﾞｳ 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	ハブとのリンク方法を設定します。 ジドウ：全てのハブに対して自動的に接続方法を選択して接続を試みます。 ジドウ以外：設定した接続方法でハブへの接続を試みます。	○	○	○
	ｺｳｼﾞｮｳｼｭｯｶｼﾞｾｯﾃｲ	ｼﾞｯｺｳ	ネットワークメニューの初期化を行います。	○	○	○
ﾒﾓﾘﾒﾆｭｰ（注）	ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB 32MB	受信バッファサイズを設定します。	○	○	○
	ﾘｿｰｽｾｰﾌﾞ ｴﾘｱ	ｼﾞﾄﾞｳ ｵﾌ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB 32MB	リソースセービングエリアサイズを設定します。	○	―	―
ｼｽﾃﾑﾎｾｲﾒﾆｭｰ（注）	X ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を 0.25mm 単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○
ｼｽﾃﾑﾎｾｲﾒﾆｭｰ（注）	Y ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を 0.25mm 単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ X ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を 0.25mm 単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ Y ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を 0.25mm 単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○	○	○
	ﾄﾞﾗﾑ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ｵﾝ ｵﾌ	印刷前にイメージドラムのクリーニング動作を行います。 画質改善の効果がある場合があります。	○	○	○
	ﾍｷｻ ﾀﾞﾝﾌﾟ	ｼﾞｯｺｳ	受信したデータを 16 進数の Dump 形式で印刷出力します。 電源をオフすることで、ヘキサダンプモードから通常モードに戻ります。	○	―	―
ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾒﾆｭｰ	ﾒﾆｭｰ ﾘｾｯﾄ	ｼﾞｯｺｳ	ユーザメニューの設定値を工場出荷時の値に戻します。	○	○	○

メモリメニュー、システムホセイメニューは工場出荷時の設定では ユーザメニューに表示されません。管理者メニューで「MEMORY MENU」,「SYS ADJUST MENU」の設定を「ENABLE」に変更するとユーザメニューに表示されます。詳しくは 285 ページをご覧ください。

6 プリンタメニュー一覧

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲｦ ﾎｿﾞﾝ	ｼﾞｯｺｳ	現在のメニュー設定を保存します。その時に前に保存した設定に、上書きします。	○	○	○
	ﾎｿﾞﾝﾒﾆｭｰ ﾆ ﾓﾄﾞｽ	ｼﾞｯｺｳ	保存したメニューの設定値に戻します。	○	○	○
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パワーセーブモードの有効 / 無効を設定します。	○	○	○
	ｽﾘｰﾌﾟ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	スリープモードの有効 / 無効を設定します。	○	○	—
	ﾌﾂｳｼ ｸﾛ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	普通紙にモノクロ印刷したとき、カスレ、チリなどが顕著に発生する場合に、微調整を行います。高密度印刷部で散ったような印刷や雪がふったような印刷が発生した場合は、設定値を小さくします。印刷がかすれるような場合は、設定値を大きくします。	○	○	○
	ﾌﾂｳｼ ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	普通紙にカラー印刷したとき、カスレ、チリなどが顕著に発生する場合に、微調整を行います。高密度印刷部で散ったような印刷や雪がふったような印刷が発生した場合は、設定値を小さくします。印刷がかすれるような場合は、設定値を大きくします。	○	○	○
	SMR ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	温湿度環境や印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。画質にむらがある場合に値を変更します。	○	○	○

注 ［パワーセーブ　キノウ］を［ムコウ］に設定した状態で、長時間ご使用になると、電子部品（ファンなど）の寿命に影響を与える可能性があります。

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	BG ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	-3 -2 -1 0 +1 +2 +3	温湿度環境や印刷濃度 / 印刷頻度の差による印字のばらつきを補正します。下地が濃い場合に値を変更します。	○	○	○
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ 1 ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	トレイ 1 から印刷した総印刷枚数を表示します。	○	○	○
	ﾄﾚｲ 2 ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	トレイ 2 から印刷した総印刷枚数を表示します。トレイ 2 を実装しているときに表示します。	○	○	○
	MP ﾄﾚｲ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	マルチパーパストレイから印刷した総印刷枚数を表示します。	○	○	○
	ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ nnn%	ドラム ユニットの残りの寿命を % 表示します。	○	○	○
	ﾍﾞﾙﾄ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ nnn%	ベルトユニットの残り寿命を % 表示します。	○	○	○
	ﾃｲﾁｬｸｷ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ nnn%	定着器ユニットの残りの寿命を % 表示します。	○	○	○
	K ﾄﾅｰ (n.nK)	ﾉｺﾘ nnn%	トナーの残量を % 表示します。 *: 取り付けているトナーカートリッジの種類によって変わります。 (2.0K) : スタータートナーカートリッジ / トナーカートリッジ（小） (3.0K) : トナーカートリッジ（シアン、マゼンタ、イエロー） (3.5K) : トナーカートリッジ（ブラック） (5.0K) : トナーカートリッジ(大)	○	○	○
	C ﾄﾅｰ (n.nK)	ﾉｺﾘ nnn%				
	M ﾄﾅｰ (n.nK)	ﾉｺﾘ nnn%				
	Y ﾄﾅｰ (n.nK)	ﾉｺﾘ nnn%				

6 プリンタメニュー一覧

印刷集計メニュー

集計結果印刷を行うかどうか、集計結果印刷内のカウンタのクリアを行う時に表示させます。
このメニューは英字で表示します。

このメニューを表示するには、以下の操作を行います。

❶ プリンタの電源を OFF にします。
❷ ▲ スイッチを押しながらプリンタの電源を ON にします。[PRINT STATISTICS] が表示されたら指を離します。

網かけ部は初期値です。
○:表示します。—:表示しません。

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値		内　容	C530dn	C510dn	C310dn
PRINT STA-TIS-TICS	ENTER PASSWORD	****		印刷集計メニューに入るためのパスワードを入力します。パスワードの初期値は、"0000" です。	○	○	○
	USAGE REPORT	ENABLE (初期値) DISABLE		通常の USAGE REPORT 印刷の有効 / 無効を設定します。設定後は、[オンライン] となります。	○	○	○
	GROUP COUNTER	ENABLE DISABLE (初期値)		USAGE REPORT 印刷上のグループカウンタを表示する / しないを設定します。 ENABLE : 表示します DISABLE : 表示しません このメニューは、[PRINT STATISTICS] の [USAGE REPORT] が [ENABLE] に設定されているときに表示します。	○	○	○
	SUPPLIES REPORT	ENABLE DISABLE (初期値)		消耗品交換回数を表示する / しないを設定します。 このメニューは、[PRINT STATISTICS] の [USAGE REPORT] が [ENABLE] に設定されているときに表示します。	○	○	○
	RST MAIN CNT	EXECUTE		メインカウンタをリセットします。 このメニューは、[PRINT STATISTICS] の [USAGE REPORT] が [ENABLE] に設定されているときに表示します。	○	○	○
	RST GROUP CNT	EXECUTE		グループカウンタをリセットします。 このメニューは、["PRINT STATISTICS] の [USAGE REPORT] と [GROUP COUNTER] が [ENABLE] のときに表示します。	○	○	○
	RST SUPPLIES CNT	EXECUTE		消耗品交換回数をリセットします。 このメニューは、[PRINT STATISTICS] の [USAGE REPORT] と [SUPPLIES REPORT] が [ENABLE] に設定されているときに表示します。	○	○	○
	CHANGE PASSWORD	NEW PASS-WORD	****	[PRINT STATISTICS] メニューに入るための新しいパスワードを設定します。パスワードは 4 桁の数字です。	○	○	○
		VERIFY PASS-WORD	****	確認のため、[NEW PASSWORD] を再入力します。	○	○	○

管理者メニュー

このメニューは英字で表示します。

このメニューを表示するには、以下の操作を行います。

❶ プリンタの電源を OFF にします。

メモ 詳しい手順は、セットアップと使いかた編「電源の切りかた」をご覧ください。

❷ プリンタの操作パネルの OK スイッチを押したまま、電源を ON にします。

❸［ADMIN MENU］と表示したら、OK スイッチから指を離します。

網かけ部は初期値です。
○：表示します。―：表示しません。

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
ADMIN MENU	ENTER PASSWORD	*************	管理者用メニューに入るためのパスワードを入力します。パスワードの初期値は、［aaaaaa］です。 パスワードは、6 ～ 12 文字の数字と英小文字で設定します。	○	○	○
OP MENU	ALL CATEGORY	ENABLE DISABLE	ユーザメニューの全カテゴリの有効 / 無効を設定します。 DISABLE: ユーザメニュー（インサツ　ジョブ　メニューを除く）を表示しません。	○	○	○
	PRINT JOBS MENU	ENABLE DISABLE	インサツ　ジョブ　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。 DISABLE：インサツ　ジョブ　メニューを表示しません。	○	―	―
OP MENU	INFORMATION MENU	ENABLE DISABLE	インフォメーション　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。 DISABLE: ユーザメニューのインフォメーション　メニューを表示しません。	○	○	○
	SHUTDOWN MENU	ENABLE DISABLE	シャットダウン　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。 DISABLE:ユーザメニューのシャットダウン　メニューを表示しません。	○	○	○
	PRINT MENU	ENABLE DISABLE	インサツ　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。 DISABLE: ユーザメニューのインサツ　メニューカテゴリを表示しません。	○	○	○
	MEDIA MENU	ENABLE DISABLE	メディア　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。 DISABLE: ユーザメニューのメディア　メニューカテゴリを表示しません。	○	○	○
	COLOR MENU	ENABLE DISABLE	カラー　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。 DISABLE: ユーザメニューのカラー　メニューカテゴリを表示しません。	○	○	○
	SYS CONFIG MENU	ENABLE DISABLE	システム　コウセイ　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。 無効にするとユーザメニューのシステム　コウセイ　メニューカテゴリを表示しません。	○	○	○

カテゴリ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
OP MENU	PCL EMULATION	ENABLE DISABLE	PCL エミュレーション　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。DISABLE: ユーザメニューの PCL エミュレーション　メニューカテゴリを表示しません。	○	—	—
	USB MENU	ENABLE DISABLE	USB メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。DISABLE: ユーザメニューの USB メニューカテゴリを表示します。	○	○	○
	NETWORK MENU	ENABLE DISABLE	ネットワークメニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。DISABLE: ユーザメニューのネットワークメニューカテゴリを表示しません。	○	○	○
	MEMORY MENU	ENABLE DISABLE	メモリ　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。DISABLE: ユーザメニューのメモリ　メニューカテゴリを表示しません。	○	○	○
	SYS ADJUST MENU	ENABLE DISABLE	システム　ホセイ　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。DISABLE: ユーザメニューのシステム　ホセイ　メニューカテゴリを表示しません。	○	○	○
	MAINTENANCE MENU	ENABLE DISABLE	メンテナンス　メニューカテゴリの有効 / 無効を設定します。DISABLE: ユーザメニューのメンテナンス　メニューカテゴリを表示しません。	○	○	○
	USAGE MENU	ENABLE DISABLE	ジュミョウ　メニューカテゴリの有効/無効を設定します。DISABLE: ユーザメニューのジュミョウ　メニューカテゴリを表示しません。	○	○	○
CON-FIG MENU	NEARLIFE STATUS	ENABLE DISABLE	消耗品の寿命が近づいたときの表示の設定を行います。DISABLE: 寿命が近づいてもメッセージを表示しません。	○	○	○
	LIFE WARNING	ENABLE DISABLE	消耗品の寿命の警告を表示する / しないを設定します。ENABLE：表示します。DISABLE：表示しません。	○	○	○
	NEARLIFE LED	ENABLE DISABLE	消耗品の寿命が近づいたときに、点検 LED を点灯する / しないを設定します。ENABLE：点検 LED を点灯します。	○	○	○
	ECO MODE	ON OFF	定着制御を設定します。ON：印刷枚数が少ないとき、早めに印刷を開始します。OFF：印刷枚数が少ないときでも、一定の定着温度になってから印刷を開始します。	○	○	○
	HIGH HUM. MODE	ON OFF	「吸湿した用紙（＊）で印刷したとき、印刷した用紙のカールが大きい場合は、ON に設定してください。ON にすると、印刷前のウォームアップ時間が少し長くなることがあります。」（＊）吸湿した用紙とは、高湿度環境に放置された用紙のこと。	○	○	○
SECU-RITY MENU	JOB LIMITATION	OFF ENCRYPTED JOB	暗号化認証印刷以外のデータを受け付ける / 受け捨てるを設定します。このメッセージは、SD メモリーカードを装着しているときに表示します。	○	—	—

6 プリンタメニュー一覧

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
SECU-RITY MENU	MAKE SECURE SD-M	EXECUTE	SD メモリーカードへ格納するデータの暗号化機能を有効にします。暗号鍵の生成と暗号化機能（セキュリティモード）情報を ON にし、SD メモリーカードの初期化を行います。 このメッセージは、SD メモリーカードを装着し、暗号化 SD カード機能が無効になっているときに表示します。	○	—	—
	MAKE NORMAL SD-M	EXECUTE	SD メモリーカードへ格納するデータの暗号化機能を無効にします。 暗号鍵の削除と暗号化機能（セキュリティモード）情報を OFF にし、SD カードの初期化を行います。 このメッセージは、SD メモリーカードを装着し、暗号化 SD カード機能が有効になっているときに表示します。	○	—	—
	RESET CIPHER KEY	EXECUTE	暗号化機能を有効にして SD メモリーカードを使用している時の暗号鍵を再生成します。この処理を行うと、SD メモリーカードに格納されていたデータはすべて復元不可能になります。 このメッセージは、SD メモリーカードを装着し、暗号化 SD カード機能が有効になっているときに表示します。	○	—	—

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値		内　容	C530 dn	C510 dn	C310 dn
FILE SYS MAIN-TE1	SD-M INITIALIZE	EXECUTE		SD メモリーカードを工場出荷状態に戻します。 このメッセージは、SD メモリーカードを装着しているときに表示します。	○	—	—
	PARTITION SIZE	EXECUTE		この処理を実行すると、SD メモリーカードのパーティションサイズの一覧を表示します。 このメッセージは、SD メモリーカードを装着しているときに表示します。	○	—	—
		PCL COMMON PSE	nnn%/ mmm% lll%	パーティションのサイズを%で設定します。3 つの合計が 100%になるように設定します。	○	—	—
	SD-M FORMATTING	PCL COMMON PSE		指定したパーティションをフォーマットします。この項目は、SD メモリーカードを装着しているときに表示します。	○	—	—
	FLASH INITIALIZE	EXECUTE		フラッシュメモリを初期化します。	○	○	○
FILE SYS MAIN-TE2	CHK FILE SYS	EXECUTE		ファイルシステムの修復を行います。この処理には、数十秒の時間がかかります。 この項目は、SD メモリーカードを装着しているときに表示します。	○	—	—
	CHK ALL SECTORS	EXECUTE		SD メモリーカードとファイルシステムの修復を行います。この処理は、SD メモリーカードの容量が 16GB の場合、約 30 分程度かかります。 この項目は、SD メモリーカードを装着しているときに表示します。	○	—	—

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
FILE SYS MAIN-TE2	SD CARD	ENABLE DISABLE	SD メモリーカードを使用する / しないを設定します。 ENABLE: 使用できます。 DISABLE:SD メモリーカードを装着している場合でも使用できません。 この項目は、SD メモリーカードを装着しているときに表示します。	○	―	―
	SD CARD ERASE	EXECUTE	SD メモリーカードの内容を完全に消去します。廃棄する前などに、この操作を行います。SD メモリーカードの容量が 16GB の場合、約 30 秒かかります。 この項目は、SD メモリーカードを装着しているときに表示します。	○	―	―
	INITIAL LOCK	YES NO	SD メモリーカード、フラッシュメモリの初期化ができる / できないを設定します。 YES：初期化を伴う変更はできません。[FILE SYS MAINTE1] の項目は表示しません。 NO：初期化できます。	○	○	○
LAN-GUAGE MENU	LANG INITIALIZE	EXECUTE	フラッシュメモリ内のメッセージファイルを初期化します。	○	○	○
PS MENU	L1 TRAY	TYPE1 TYPE2	トレイの選択番号のタイプを設定します。	○	―	―

ｶﾃｺﾞﾘ	項　目	設定値	内　容	C530dn	C510dn	C310dn
CHANGE PASS-WORD	NEW PASSWORD	************	管理者用メニューに入るための新しいパスワードを設定します。 パスワードは、6 ～ 12 文字の数字または英小文字で設定します。	○	○	○
	VERIFY PASSWORD	************	確認のために、[NEW PASSWORD] で設定したパスワードを再入力します。	○	○	○

7 ネットワーク機能について

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、設定内容印刷のネットワークの設定情報（Network Information）で確認できます。
設定値を変更するには、TELNET，Web ブラウザ，NIC 設定ツール (Windows)，Configuration Tool (Network Setting Plug-in)，NIC設定ツール(Mac)を使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
TCP/IP	−	−	−	−	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの使用／非使用を設定します。
IP Address Set	IP アドレス設定	DHCP/BOOTP を使用する	DHCP/BOOTP を使用する	DHCP/BOOTP を使用する	AUTO（自動） MANUAL（手動）	DHCP/BOOTP サーバへ IP アドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
IP Address	IP アドレス	IP アドレス	IP アドレス	IP アドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルト ゲートウェイ	デフォルト ゲートウェイ	デフォルト ゲートウェイ	0.0.0.0	ゲートウェイ（デフォルトルータ）アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
DNS Server (Pri.)	DNS サーバアドレス（プライマリ）	−	−	−	0.0.0.0	プライマリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNS サーバアドレス（セカンダリ）	−	−	−	0.0.0.0	セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを設定します。SMTP(E-Mail) プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
Dynamic DNS	ダイナミック DNS	−	−	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IP アドレスなどが、変更されたときに、それらの情報を DNS サーバに登録し直すか、しないかを設定します。
Domain Name	ドメイン名	−	−	−	なし	プリンタが属するドメイン名を設定します。

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
WINS Server (Pri.)	WINS サーバ (プライマリ)	–	–	–	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINS サーバ (セカンダリ)	–	–	–	0.0.0.0	Windows 環境で、ネームサーバ（コンピュータ名から IP アドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバの IP アドレスまたはネームサーバ名を設定します。
Scope ID	スコープ ID	–	–	–	なし	WINS の ScopeID を設定します。1 ～ 223 文字の英数字です。
Windows	Windows	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	Windows の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Macintosh	Macintosh	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	Macintosh の自動検出機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	プリンタ名	–	–	–	「OKI」＋「-」＋「製品名」＋「-」＋「MAC アドレス下 6 桁」	自動検出機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
IP Version	IPv6	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効） （TELNET では「IPv4 Only」「IPv4+v6」「IPv6 Only」となります）	IPv6 の機能の使用／非使用を設定します。（C530dn のみ）
WSD Print	WSD Print	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	WSD Print の使用／非使用を設定します。
LLTD	LLTD	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	LLTD の使用／非使用を設定します。

SNMP（SNMPv3 は C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Contact to Admin	管理者の連絡先	–	–	–	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で 255 文字以内です。
Printer Name	プリンタ名	–	–	–	「OKI」＋「-」＋「製品名」＋「-」＋「MAC アドレス下 6 桁」	プリンタの名前を入力します。半角で 31 文字以内です。
Printer Location	設置場所	–	–	–	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で 255 文字以内です。
Printer Asset Number	プリンタ管理番号	–	–	–	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で 32 文字以内です。
SNMP Version	使用する SNMP 設定	–	–	–	SNMPv1 SNMPv3 SNMPv3+SNMPv1	使用する SNMP バージョンを設定します。
User Name	ユーザ名	–	–	–	root	SNMPv3 におけるユーザ名を設定します。1 ～ 32 文字の英数字です。
Auth Passphrase	認証設定パスフレーズ	–	–	–	なし	SNMPv3 パケット認証に使用する認証キーを生成するためのパスワードを設定します。 8 ～ 32 文字の英数字です。
Auth Key	–	–	–	–	なし	SNMPv3 パケット認証に使用される認証キーを HEX コードで設定します。選択されたアルゴリズムによって入力文字数が変動します。 MD5:16 オクテット（HEX コード 32 文字） SHA:20 オクテット（HEX コード 40 文字）
Auth Algorithm	認証設定アルゴリズム	–	–	–	MD5 SHA	SNMPv3 パケット認証で使用するアルゴリズムを設定します。
Privacy Passphrase	暗号化設定パスフレーズ	–	–	–	なし	SNMPv3 パケット暗号化に使用するプライバシーキーを生成するためのパスワードを設定します。 英数字 8 ～ 32 文字です。
Privacy Key	–	–	–	–	なし	SNMPv3 パケット暗号化に使用されるパスワードを HEX コードで設定します。 DES : 16 オクテット（HEX コード 32 文字）

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Privacy Algorithm	暗号化設定アルゴリズム	−	−	−	DES	SNMPv3 パケット暗号化で使用するアルゴリズムを設定します。設定値は "DES" 固定です。
Read Community	SNMP Read コミュニティの設定	−	−	−	public	SNMPv1 で使用する、Read Community を設定します。15 文字以内の英数字です。
Write Community	SNMP Write コミュニティの設定	−	−	−	public	SNMPv1 で使用する、Write Community を設定します。15 文字以内の英数字です。

NetWare（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
NetWare	NetWare	−	−	−	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWare の使用／非使用を設定します。
TCP or IPX	通信プロトコル	−	−	−	IPX TCP/IP	NetWare を動作させるプロトコルを IPX か TCP/IP に設定します。
Frame Type	フレームタイプ	−	−	−	AUTO（自動） ETHER- Ⅱ（ETHERNET- Ⅱ） 802.2（IEEE802.2） 803.3（IEEE802.3） SNAP（SNAP）	NetWare 上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
Printer-Name	プリンタ名	−	−	−	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」+「-」+「PR」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
−	印刷モード	−	−	−	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。
NetWare Mode	−	−	−	−	NDS NDS+BIN RPINTER	NetWare の優先動作モードを設定します。

プリントサーバ（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
NDS Tree	ツリー	−	−	−	なし	NDS のツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31 文字以内の英数字です。
NDS Context	コンテキスト	−	−	−	なし	NDS のコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77 文字以内の英数字です。
Print Server Name	プリントサーバ名	−	−	−	「OKI」+「-」+「製品名」+「-」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」+「-」+「PR」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31 文字以内の英数字です。
Pass-word	ファイルサーバのログインパスワード	−	−	−	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31 文字以内の英数字です。ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目が必要です。
Job Polling Time (Sec.)	ジョブポーリング間隔	−	−	−	2 秒 4 秒 255 秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。短くするとすぐに印刷が開始されますがネットワーク回線が混みます。
−	バインダリモード	−	−	−	チェックあり チェックなし	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWare のバージョンが、6.0/5.0/4.1 のバインダリネットワーク、または 3.12 へ接続するときには「ENABLE」、6.0/5.0/4.1 の NDS で使用するときには「DISABLE」を設定します。
File Server Name #1-8	ファイルサーバ名	−	−	−	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大 8 台のファイルサーバを指定できます。47 文字以内の英数字です。

リモートサーバ（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Print Server Name #1-8	プリントサーバ名	−	−	−	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大 8 台のプリントサーバを指定できます。47 文字以内の英数字です。
Job Timeout (Sec.)	ジョブタイムアウト	−	−	−	4 秒 10 秒 255 秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルから印刷がなかなか始まらなくなります。

EtherTalk（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Ether-Talk	Ether-Talk	−	−	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	EtherTalk の使用／非使用を設定します。
Printer Name	Ether-Talk プリンタ名	−	−	−	製品名	EtherTalk のプリンタ名を指定します。31 文字以内の英数字です。接続するネットワークで唯一の名称で無い場合には自動的に番号が名称の末尾に追加されます。
Zone Name	Ether-Talk ゾーン名	−	−	−	*	EtherTalk ゾーン名を指定します。32 文字以内の英数字です。

NBT/NetBEUI（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
NetBEUI	NetBEUI	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBEUI の使用／非使用を設定します。
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBIOSoverTCP の使用／非使用を設定します。
Short Printer Name	ショートプリンタ名	–	–	–	「製品名」+「イーサネットアドレス英数字下 6 桁」	コンピュータ名を設定します。この名前で NetBIOSoverTCP/NetBEUI 上で識別されます。Windows であればネットワークコンピュータの中の PrintServer グループに表示されます。15 文字以内の英数字です。
Work group Name	ワークグループ名	–	–	–	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称で Windows のネットワークコンピュータ中に表示されます。15 文字以内の英数字です。
Com-ment	コメント	–	–	–	Ethernet Board OkiLAN 8450e	コメントを設定します。Windows のネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48 文字以内の英数字です。
Master Browser Setting	マスタブラウザ	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	マスターブラウザ機能の使用／非使用を設定します。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Prn-Trap Commu-nity	プリンタ Trap コミュニティ名設定	–	–	–	public	プリンタ Trap のコミュニティ名を設定します。31 文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap 送信許可 #1-5	–	–	–	ENABLE DISABLE	TCP #1-5 でプリンタ Trap を使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	–	–	–	ENABLE DISABLE	プリンタが再起動したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正 Trap 受信 #1-5	–	–	–	ENABLE DISABLE	「プリンタ Trap コミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときに Trap を使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	–	–	–	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	–	–	–	ENABLE DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	–	–	–	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	–	–	–	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	–	–	–	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	−	−	−	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	アドレス #1-5	−	−	−	0.0.0.0	TCP/IP の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は 10 進数「***.***.***.***」形式で入力します。IP アドレスが 0.0.0.0 の場合は、Trap を送信しません。アドレスは 5 か所まで指定できます。
IPX Trap Enable	IPX Trap 送信許可	−	−	−	ENABLE DISABLE	IPX でプリンタ Trap を使用するかどうか設定します。(C530dn のみ)
IPX Online Trap	IPX オンライン	−	−	−	ENABLE DISABLE	プリンタが ON-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。(C530dn のみ)
IPX Offline Trap	IPX オフライン	−	−	−	ENABLE DISABLE	プリンタが OFF-LINE になるたびに SNMP メッセージを送信するかを設定します。(C530dn のみ)
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	−	−	−	ENABLE DISABLE	プリンタが用紙切れ状態になったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。(C530dn のみ)
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	−	−	−	ENABLE DISABLE	プリンタに用紙がつまったときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。(C530dn のみ)
IPX Cover Open Trap	IPX カバーオープン	−	−	−	ENABLE DISABLE	プリンタのカバーが開かれるたびに SNMP メッセージを送信するかを選択します。(C530dn のみ)
IPX Printer Error Trap	IPX プリンタエラー	−	−	−	ENABLE DISABLE	プリンタにエラーが発生したときに SNMP メッセージを送信するかを選択します。(C530dn のみ)
IPX Trap Net/ Address	IPX	−	−	−	00000000: 000000000000	IPX の場合の Trap 送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス (8 桁)+ ノードアドレス (12 桁) で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは 1 か所のみ指定できます。(C530dn のみ)

Email 受信（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
POP or SMTP	使用するプロトコル	−	−	−	POP SMTP DISABLE(無効)	Email 受信機能の使用 / 非使用を指定します。使用する場合、そのプロトコル (POP/SMTP) を指定します。
POP3 Server	POP サーバ名	−	−	−	なし	POP サーバ名を指定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。
POP port number	POP ポート番号	−	−	−	110	POP サーバにアクセスするためのポート番号を設定します。
POP3 Server User ID	POP ユーザ ID	−	−	−	なし	POP サーバにアクセスするためのユーザ ID を指定します。
POP3 Server Pass-word	POP パスワード	−	−	−	なし	POP サーバにアクセスするためのパスワードを指定します。
Use APOP	APOP サポート	−	−	−	NO（無効） YES（有効）	APOP の使用 / 非使用を指定します。
Mail Polling Time (min)	POP 受信間隔	−	−	−	OFF 1 5 10 30 60	受信メールを POP サーバに取得しに行く間隔を指定します。
Domain filter	ドメインフィルタ	−	−	−	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	ドメインフィルタ機能の使用 / 非使用を指定します。
Filter Policy	以下に設定したドメインからの Email を	−	−	−	DENY(拒否) ACCEPT（許可）	指定したドメインからの E メールに対する許可 / 拒否を指定します。
Domain 1-5	ドメイン 1-5	−	−	−	なし	ドメインフィルタ機能の対象となるドメイン名を指定します。

7 ネットワーク設定項目の一覧

SMTP（Email 送信）

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
SMTP Send	SMTP 送信	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	SMTP(Email) 送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP Server Name	SMTP サーバ名	－	－	－	なし	SMTP サーバ名を設定します。ドメイン名または IP アドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec) の設定が必要です。
SMTP Port Number	SMTP ポート番号	－	－	－	25	SMTP のポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
Printer Email Address	プリンタ Email アドレス	－	－	－	なし	プリンタの E メールアドレスを設定します。
Reply-To Address	返信先 Email アドレス	－	－	－	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Email Address 1-5	Email アドレス 1-5	－	－	－	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは 5 ヶ所まで指定できます。
Notify Mode 1-5	障害通知方法	－	－	－	EVENT （障害発生時の通知） PERIOD （定期的な通知）	障害を通知する方法を設定します。
Email Alert Interval (Hours) 1-5	メール通知間隔	－	－	－	1 ～ 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Con-sumable Warning Event 1-5	消耗品警告	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムユニットなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Con-sumable Warning Period 1-5	消耗品警告	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムユニットなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Con-sumable Error Event 1-5	消耗品エラー	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Con-sumable Error Period 1-5	消耗品エラー	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	プリンタの消耗品 (トナーカートリッジ、イメージドラムユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Event 1-5	メンテナンスユニット警告	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 2 H 0 M ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなと) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Period 1-5	メンテナンスユニット警告	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Error Event 1-5	メンテナンスユニットエラー	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Error Period 1-5	メンテナンスユニットエラー	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	メンテナンスユニット (定着器ユニット、ベルトユニットなど) に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Warning Event 1-5	用紙の補充　警告	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) ～ 0 H 15 M ～ 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Paper Supply Warning Period 1-5	用紙の補充　警告	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Event 1-5	用紙の補充　エラー	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Supply Error Period 1-5	用紙の補充　エラー	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Event 1-5	印刷中の用紙　警告	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Warning Period 1-5	印刷中の用紙　警告	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Event 1-5	印刷中の用紙　エラー	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Paper Error Period 1-5	印刷中の用紙　エラー	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Event 1-5	ストレージデバイス	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Storage Device Period 1-5	ストレージデバイス	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	ストレージデバイスに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果　警告	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果　警告	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果　エラー	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果　エラー	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Event 1-5	インターフェースの異常警告	－	－	－	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	インタフェース(ネットワークなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インターフェースの異常警告	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	インタフェース(ネットワークなど)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インターフェースの異常エラー	－	－	－	DISABLE Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE	インタフェース(ネットワークなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インターフェースの異常エラー	－	－	－	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	インタフェース(ネットワークなど)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Security Warning Event 1-5	セキュリティ	–	–	–	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	セキュリティ機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。(C530dn のみ)
Security Warning Period 1-5	セキュリティ	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	セキュリティ機能の中で発生した警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。(C530dn のみ)
Other Error Event 1-5	その他	–	–	–	DISABLE(無効) Immediate(即時) 〜 2 H 0 M 〜 48 H 45 M ENABLE(有効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Attached Info Printer Model	付加情報設定 プリンタモデル	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Network Model	付加情報設定 ネットワークインタフェース	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインタフェース名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Serial Number	付加情報設定 プリンタシリアル番号	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバーを含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Attached Info Printer Asset Number	付加情報設定 プリンタ管理番号	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Name	付加情報設定 プリンタ名	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemName を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer Location	付加情報設定 設置場所	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocation を含めるかどうかを設定します。
Attached Info IP Address	付加情報設定 IP アドレス	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、IP アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info MAC Address	付加情報設定 MAC アドレス	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、MAC アドレスを含めるかどうかを設定します。
Attached Info Short Printer Name	付加情報設定 ショートプリンタ名	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのショートプリンタ名を含めるかどうかを設定します。
Attached Info Printer URL	付加情報設定 プリンタ URL	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの URL を含めるかどうかを設定します。
Comment Line 1-4	コメント	–	–	–	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4 行設定できます。1 行は 63 文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
SMTP Auth	SMTP 認証設定	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP 認証をするかどうかを設定します。
User ID	ユーザ ID	–	–	–	なし	SMTP 認証のユーザ ID を設定します。
User Password	パスワード	–	–	–	なし	SMTP 認証のパスワードを設定します。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
LAN Scale Setting	ネットワークの規模の設定	–	–	–	NORMAL（普通） SMALL（小規模）	Normal(普通)：通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小規模)：コンピュータが 2, 3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つハブに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
HEX Dump Mode	HEX ダンプ	–	–	–	NO YES	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて 16 進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。（C530dn のみ）
HUB Link Setting	HUB との接続の設定	–	–	–	AUTO NEGOTIATION 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	ハブとの通信速度と通信方法を設定することができます。通常は、AUTO NEGOTIATION を設定します。

Security

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
FTP	FTP	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して FTP でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Telnet	Telnet	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して TELNET でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Web (Default Port 80)	Web（ポート番号：80）	Web 設定	Web 設定	Web 設定	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して WEB ブラウザでのアクセスの使用 / 非使用を設定します。
Web (IPP)	Web	–	–	–	1 ≀ 80 ≀ 65535	プリンタの Web ページにアクセスするためのポート番号を設定します。
IPP (Default Port 631)	IPP（ポート番号：631）	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
SNMP	SNMP	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	プリンタに対して SNMP でのアクセスの使用 / 非使用を設定します。通常は ENABLE（使用する）でお使いください。
SMTP (E-mail)	–	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SMTP 送信の使用 / 非使用を設定します。
SMTP	SMTP	–	–	–	1 ≀ 25 ≀ 65535	SMTP プロトコルのポート番号を設定します。
POP (E-mail)	POP	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	POP3 プロトコルの使用 / 非使用を設定します。（C530dn のみ）
POP	POP	–	–	–	1 ≀ 110 ≀ 65535	POP3 プロトコルのポート番号を設定します。（C530dn のみ）
SNTP	SNTP	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	SNTP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
Local Ports	Local Ports	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	独自プロトコルの使用 / 非使用を設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
TCP/IP	–	–	–	–	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	TCP/IP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NetBEUI	NetBEUI	–	–	–	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetBEUI プロトコルの使用 / 非使用を設定します。（C530dn のみ）
NetBIOS over TCP	NetBIOS over TCP	–	–	–	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	NetBIOS over TCP プロトコルの使用／非使用を設定します。（C530dn のみ）
NetWare	NetWare	–	–	–	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	NetWare プロトコルの使用 / 非使用を設定します。（C530dn のみ）
Ether-Talk	Ether-Talk	–	–	–	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	EhterTalk プロトコルの使用 / 非使用を設定します。（C530dn のみ）
Pass-word	ネットワークパスワード設定	パスワード変更	パスワード変更	パスワード変更	MAC アドレス下6 桁	ネットワーク管理者パスワードを変更します。15 文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
IP Filtering	IP フィルタリング	–	–	–	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	IP アドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。ただし、この機能は IP アドレスについて充分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE(使用しない) になるように設定しておいてください。ENABLE(使用する) に設定し、以下の設定をしないと TCP/IP によるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Start Address #1-10	開始アドレス #1-10	–	–	–	0.0.0.0	プリンタへアクセスを許可する IP アドレスを指定します。単一の IP アドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0 を入力すると無効になります。
End Address #1-10	終了アドレス #1-10	–	–	–	0.0.0.0	
IP Address Range #1-10 Printing	印刷 #1-10	–	–	–	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの印刷を許可します。
IP Address Range #1-10 Config-uration	設定 #1-10	–	–	–	ENABLE DISABLE	IP Address Range #1-10 で設定した IP アドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者の IP アドレス	–	–	–	0.0.0.0	管理者の IP アドレスを指定します。このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

MAC Address Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
MAC Address Filtering	MAC アドレスフィルタリング	–	–	–	ENABLE(有効) DISABLE(無効)	MAC アドレス毎のアクセスを制御する機能の使用 / 非使用を設定します。ただし、この機能は MAC アドレスについて十分な知識を必要とします。通常は必ず DISABLE（使用しない）になるように設定しておいてください。ENABLE（使用する）に設定し、以下の設定をしないとネットワークによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
MAC Address Access	MAC アドレスからの通信	–	–	–	ACCEPT(許可) DENY(拒否)	MAC Address Access #1-50 で設定した MAC アドレスからのアクセスを許可するか拒否するかを設定します。
MAC Address #1-50	フィルタする MAC アドレス #1-50	–	–	–	00:00:00:00:00:00	プリンタへアクセスを許可 (拒否) する MAC アドレスを指定します。00:00:00:00:00:00 を入力すると無効になります。
Admin MAC Address	設定される管理者の MAC アドレス	–	–	–	00:00:00:00:00:00	管理者の MAC アドレスを指定します。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されているとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

SSL/TLS（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
Cipher (SSL/TLS)	SSL/TLS	–	–	–	ON（オン） OFF（オフ）	SSL/TLS の使用 / 非使用を設定します。
Ciper Strength	暗号化強度	–	–	–	Weak（弱） Standard（標準） Strong（強）	暗号化の強度を設定します。
–	使用する証明書の作成	–	–	–	自身で署名した証明書を使用する（自己署名証明書） 認証局が発行した証明書を使用する（認証局証明書）	自己署名証明書を作成します。また、認証局へ送付する CSR の作成と認証局が発行する証明書のインストールをします。
–	Common Name	–	–	–	（プリンタ自身の IP アドレス）	自己署名証明書作成時には装置の IP アドレス（固定）となります。
–	Organization	–	–	–	なし	組織名：所属する組織の正式名称を指定します。入力可能文字数は 64 文字。
–	Organizational Unit	–	–	–	なし	組織単位：属する部門や課、その他組織内のサブグループを指定します。入力可能文字数は 64 文字。
–	Locality	–	–	–	なし	都市名：組織がある都市名や地名を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
–	State/Province	–	–	–	なし	州 / 県：組織がある州や県を指定します。入力可能文字数は 128 文字。
–	Country/Region	–	–	–	なし	国コード:2 文字の ISO 国 / 地域コードを入力します。(JP（日本）,US（アメリカ合衆国）等）入力可能文字数は 2 文字
–	鍵タイプ	–	–	–	RSA	暗号通信に使用する鍵の方式を設定します。
–	鍵サイズ	–	–	–	2048 bit 1024 bit 512 bit	暗号通信に使用する鍵のサイズを設定します。

SNTP

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
SNTP	SNTP	－	－	－	ENABLE (有効) DISABLE (無効)	SNTP プロトコルの使用 / 非使用を設定します。
NTP Server (Pri.)	NTP サーバ (プライマリ)	－	－	－	なし	時間取得をする NTP サーバ（プライマリ）の IP アドレスを設定します。
NTP Server (Sec.)	NTP サーバ (セカンダリ)	－	－	－	なし	時間取得をする NTP サーバ（セカンダリ）の IP アドレスを設定します。
Adjust Interval	調整間隔	－	－	－	1 hour（時間） 12 hours（時間） 24 hours（時間）	NTP サーバ（プライマリ）または、NTP サーバ（セカンダリ）に時間取得に行くインターバルを設定します。
Local Time Zone	タイムゾーン	－	－	－	00:00	GMT との時間差を設定します。
Daylight Saving	夏時間	－	－	－	ON（オン） OFF（オフ）	サマータイムの設定をします。

Job List

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
－	ジョブキュー表示項目設定	－	－	－	ドキュメント名 ジョブ状態 ジョブ種類 コンピュータ名 ユーザ名 印刷済み面数 送信時間 送信ポート	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ (印刷データ) の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

Web 印刷（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
－	給紙トレイ	－	－	－	トレイ 1 MP トレイ トレイ 2	印刷に使用する給紙トレイを選択します。 *：トレイ 2 は、オプションのトレイユニット装着時に表示されます。
－	印刷部数	－	－	－	1 〜 999	1 度に印刷する部数を入力します。 1 〜 999 の範囲で設定できます。
－	部単位印刷	－	－	－	チェックあり チェックなし	複数の文書を印刷する場合、文書を部単位で印刷します。
－	用紙サイズに合わせる	－	－	－	チェックあり チェックなし	印刷の際に、印刷する PDF ファイルの用紙サイズと、トレイの用紙サイズが異なる場合、印刷する PDF ファイルの用紙サイズをトレイの用紙サイズに合わせて編集するかどうかを選択します。
－	両面印刷	－	－	－	なし 長辺を綴じる 短辺を綴じる	両面印刷を行う際の、綴じ方を選択します。
－	印刷ページ指定	－	－	－	チェックあり チェックなし	開始ページ、終了ページを指定することで、印刷するページを指定します。
－	PDF パスワード	－	－	－	チェックあり チェックなし	暗号化された PDF ファイルを印刷する場合に、チェックをつけてパスワードを指定します。

IEEE802.1X（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール（Mac）		
802.1X	IEEE 802.1X	—	—	—	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	IEEE802.1X 機能の使用 / 非使用を設定します。
EAP Type	EAP タイプ	—	—	—	EAP-TLS PEAP	EAP 方式を選択します。
EAP User	EAP ユーザ	—	—	—	なし	EAP で使用するユーザ名を指定します。EAP-TLS/PEAP 選択時に有効です。64 文字以内の英数字です。
EAP Pass-word	EAP パスワード	—	—	—	なし	EAP User に対応したパスワードを指定します。PEAP 選択時のみ有効です。64 文字以内の英数字です。
Use SSL Certifi-cate	SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する	—	—	—	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	SSL/TLS 用の証明書を IEEE802.1X 認証に使用するかどうかを選択します。SSL/TLS 用証明書がインストールされていない場合は "ENABLE(有効)" は選択できません。EAP-TLS 選択時のみ有効です。
Authen-ticate Server	サーバを認証する	—	—	—	ENABLE(有効) DISEBLE(無効)	RADIUS サーバから送られてきた証明書を、CA 証明書を使って認証するか否かを選択します。
EAP retry	—	—	—	—	1 〜 3 〜 9	IEEE802.1X 認証動作のリトライ回数を設定します。1 回 -9 回までの範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。
EAP timeout	—	—	—	—	10 〜 60	IEEE802.1X 認証中にサーバレスポンスを待つためのタイムアウト値を設定します。10 秒 -60 秒の範囲で設定できます。通常は変更せずにお使いください。

IPSec（C530dn のみ）

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール（Mac）		
IPSec	IPSec	—	—	—	ENABLE（有効） DISABLE（無効）	IPSec の使用／非使用を設定します。
—	IP アドレス 1 〜 50	—	—	—	0.0.0.0	IPSec で通信を許可するホストを設定します。 * IPv4 アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。 * IPv6 グローバルアドレスは、“:” で区切られた半角の英数字を使用してください。 * IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
—	IKE 暗号化アルゴリズム	—	—	—	3DES-CBC DES-CBC	IKE の暗号化方式を設定します。
—	IKE ハッシュアルゴリズム	—	—	—	SHA-1 MD5	IKE のハッシュ方式を設定します。
—	Diffie-Hellman グループ	—	—	—	Group1 Group2	Phase1 Proposal で使用される Diffe-Helman グループを設定します。
—	ライフタイム	—	—	—	600 86400 28800	ISAKMP SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。
—	事前共有キー	—	—	—	なし	事前共有キーを設定します。
—	Key PFS	—	—	—	KEYPFS NOPFS	Key PFS (Perfect Forward Secrecy) の使用／非使用を設定します。
—	Key PFS 有効時の Diffie-Hellman グループ	—	—	—	Group2 Group1 None	Key PFS を使用する場合に、使用される Diffe-Helman グループを設定します。
—	ESP	—	—	—	有効 無効	ESP (Encapsulating Security Payload) の使用／非使用を設定します。
—	ESP 暗号化アルゴリズム	—	—	—	3DES-CBC DES-CBC	ESP で使用する暗号化アルゴリズムを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目					設定値	機能説明
TELNET	Web ブラウザ	NIC 設定ツール (Windows)	Configuration Tool (Network Setting Plug-in)	NIC 設定ツール (Mac)		
–	ESP 認証アルゴリズム	–	–	–	SHA-1 MD5 OFF	ESP で使用する認証アルゴリズムを設定します。
–	AH	–	–	–	有効 無効	AH (Authentication Header) の使用／非使用を設定します。
–	AH 認証アルゴリズム	–	–	–	SHA-1 MD5	AH で使用する認証アルゴリズムを設定します。
–	ライフタイム	–	–	–	600 3600 86400	IPSec SA のライフタイムを設定します。 通常は初期設定でご使用ください。

ネットワーク機能を初期化します

 初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

❶ ▲ スイッチを数回押し、［ネットワーク　メニュー］を選択し、OK スイッチを押します。

❷ ▼ スイッチを押し、［コウジョウシュッカジセッテイ］を選択し、OK スイッチを押します。

ネットワーク機能が再起動します。
操作パネルに［C M Y K］または［オンライン］と表示されたら完了です。

ネットワークの設定情報（Network Information）を印刷します

❶ 電源スイッチのオン（|）を押します。

❷ トレイに用紙をセットします。

❸ 操作パネルに [C M Y K] または [オンライン] と表示していることを確認します。

❹ ▲ スイッチを数回押し、[インフォメーション　メニュー] を選択し、 スイッチを押します。

❺ ▲ スイッチを押して [ネットワーク / ジッコウ] を選択し、OK スイッチを押します。

ネットワークの設定情報（Network Information 2 枚）の印刷が開始されます。

（例）

DHCP/BOOTP を使います

DHCP サーバまたは BOOTP サーバから IP アドレスを取得できます。

- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- IP アドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCP サーバの設定

DHCP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに動的に IP アドレスを割り当てるためのプロトコルです。IP アドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

プリンタには、固定の IP アドレスが割り当てられるように DHCP サーバを設定してください。ランダムに IP アドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定の IP アドレスを割り当てる方法については、各 DHCP サーバのマニュアルをご覧ください。

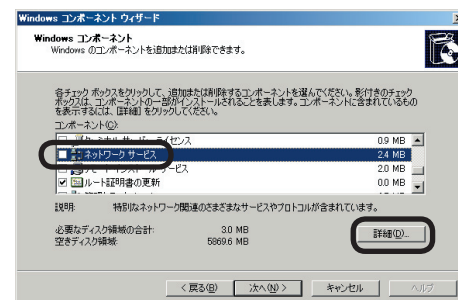
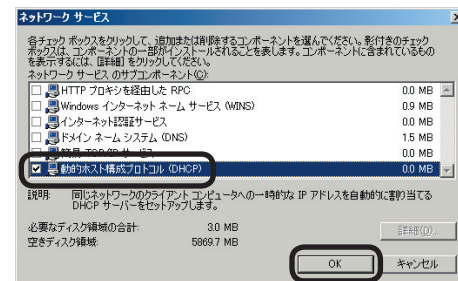
動作確認環境

Windows 2003 Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows 2000 Server 日本語版 DHCP サーバ
Windows 2000 Advanced Server 日本語版 DHCP サーバ
Sun OS 4.1.3+WIDE 版 DHCP バージョン 1.3.6

以下の説明は、Windows Server 2003 Standard Edition 日本語版を例にしています。

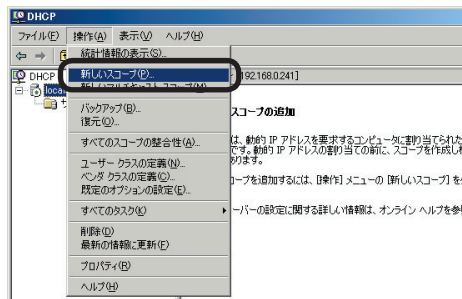
❶ [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] を選択します。

❷ [Windows コンポーネントの追加と削除] を選択します。

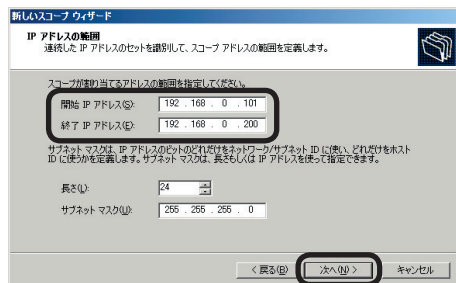
❸ [Windows コンポーネント ウィザード] が開いたら、[コンポーネント] から [ネットワークサービス] を選択して、[詳細] をクリックします。

❹ [動的ホスト構成プロトコル (DHCP)] を選択し、[OK] をクリックします。

❺ [次へ] をクリックして、[コンポーネントの構成] が終了したら [完了] をクリックします。

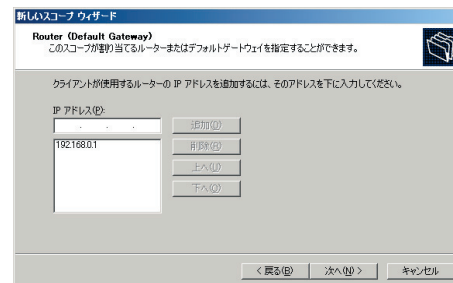
❻［プログラムの追加と削除］を終了します。

❼［スタート］-［管理ツール］-［DHCP］を選択します。

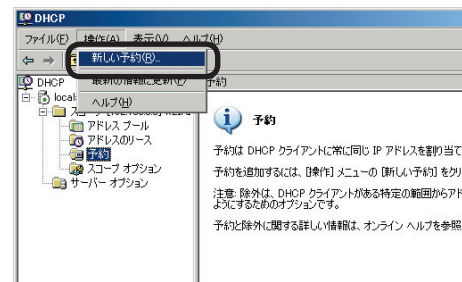
❽設定を行うサーバを選択した状態で、［操作］-［新しいスコープ］を実行します。

❾［新しいスコープウィザード］が開始されたら［次へ］をクリックします。

❿［スコープ名］の設定画面で、［名前］の項目に任意のスコープ名を入力し、［次へ］をクリックします。

⓫［IP アドレスの範囲］の設定画面で、DHCP サーバに管理させる IP アドレスの範囲を入力し、［DHCP オプションの構成］が表示されるまで［次へ］をクリックします。

⓬［DHCP オプションの構成］で、引き続きオプションの構成を行うかを選択します。ここでは、引き続きゲートウェイアドレスの設定を行うので、［今すぐオプションを構成する］を選択して［次へ］をクリックします。

⓭［IP アドレス］の項目にゲートウェイの IP アドレスを入力して［追加］をクリックした後、［スコープのアクティブ化］が表示されるまで［次へ］をクリックします。

⓮［今すぐアクティブにする］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓯［完了］をクリックして、新しいスコープの追加を終了します。

⓰ DHCP の管理画面から、追加したスコープの［予約］を選択し、［操作］-［新しい予約］を実行します。

⑰［新しい予約］の各項目を入力して［追加］をクリックした後、［閉じる］をクリックします。

・予約名　　　：任意の名前を入力します。
・IP アドレス　：プリンタに割り当てる IP アドレスを入力します。
・MAC アドレス ：プリンタの MAC アドレスを入力します。

⑱ DHCP の管理画面を閉じて、設定を終了します。

BOOTP サーバの設定

BOOTP とは、TCP/IP ネットワーク上の各ホストに、BOOTP サーバに登録した IP アドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション：Red Hat Linux の BOOTP サーバ（bootp-2.4.3-7.i386rpm）
IP アドレス　　　：192.168.0.2
MAC Address　　：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名　　　　：C530dn

注 MAC Address は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（306 ページ）

❶ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2    C530dn
```

❷ /etc/bootptab ファイルに次の設定を追加します。

`C530dn:\`	/etc/hosts ファイルに登録したホスト名
`ht=1:\`	ハードウェアタイプを 1 にします。
`ha=008087849C9B:\`	MAC Address
`ip=192.168.0.2:\`	IP アドレス
`sm=255.255.255.0:\`	サブネットマスク
`gw=192.168.0.1:\`	ゲートウェイ
`vm=rfc1048:\`	rfc1048 モードの指定

❸ BOOTP サーバを起動します。

```
# /usr/sbin/bootpd -s
```

❹ プリンタの電源を ON にします。

目次へ　前へ　次へ　戻る　索引へ　検索する

プリンタの設定

以下の説明は、NIC 設定ツール と Windows XP Home Edition を例にしています。

プリンタの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

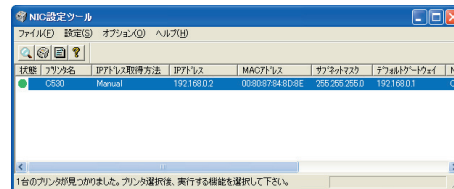
セットアッププログラムが起動します。

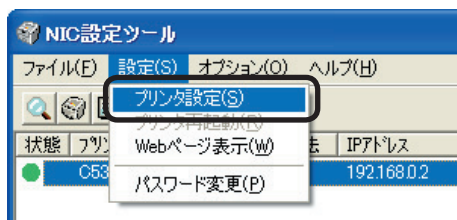
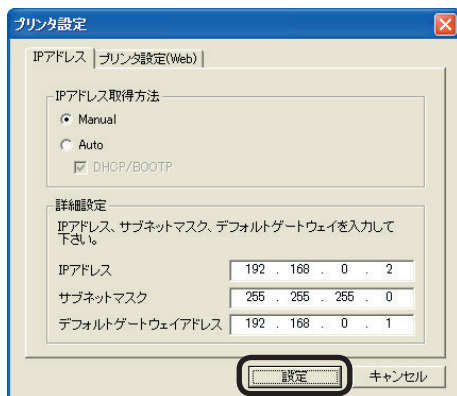
❸ お使いのプリンタを選択し、［次へ］をクリックします。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❺［プリンタのセットアップ］-［NIC 設定ツールの起動］をクリックします。

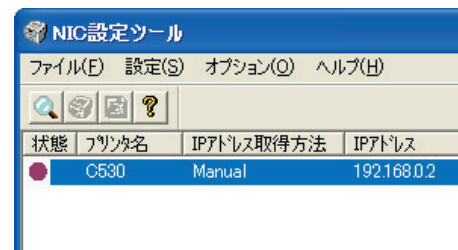
NIC 設定ツールが起動します。

❻ 一覧より MAC アドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。

メモ　MAC アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に MAC Address として、表示されています。（306 ページ）

❼［設定］メニューの［プリンタ設定］を選びます。

❽ IP アドレスを設定して、「設定」をクリックします。

❾［パスワード］にパスワードを入力し、[OK］をクリックします。

注　初期設定では、パスワードは手順❻で参照した「MAC アドレス」の下 6 桁を入力してください。この例の場合は、「848D8E」となります。

- パスワードを入力すると画面上では「＊＊＊＊＊＊」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字 / 小文字を正しく入力してください。

❿［設定完了］の［OK］をクリックすることにより、プリンタの再起動が始まり、設定したプリンタの状態が●(赤色)に変わります（通常は●(緑色)です)。

⓫ プリンタの再起動終了により、設定したプリンタの状態が●(緑色)に戻ります。

⓬ NIC 設定ツールを終了します。

通信を暗号化します（SSL/TLS）（C530dn のみ）

Web ページからの設定及び IPP 印刷時にコンピュータ（クライアント）- プリンタ間の通信を暗号化できます。
（HTTPS による通信の暗号化）

設定方法

1　暗号化設定ツールとしては以下のものがあります。

1）Web ページ
2）TELNET（暗号化強度（弱 / 標準 / 強）、SSL/TLS（暗号化）の ON/OFF（有効・無効）のみ変更可能）

2　設定の流れ

Web を使用してプリンタで証明書を作成する手順を示します。
作成できる証明書の種類は以下の 2 種類があります。
自己署名証明書
認証局証明書（CSR の作成）

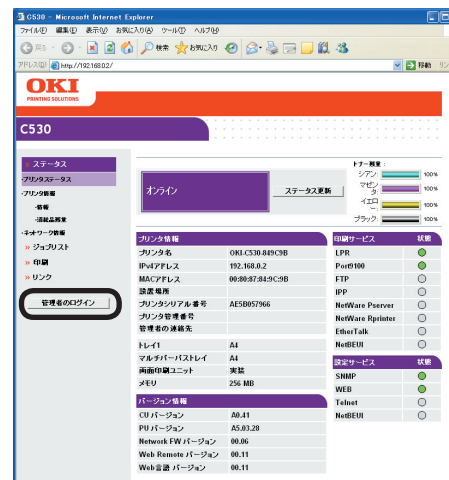
プリンタの IP アドレスが証明書作成時から変更されてしまうと、その証明書は無効になってしまいます。証明書作成後はプリンタの IP アドレスを変更しないでください。

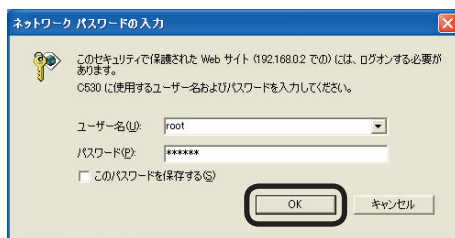
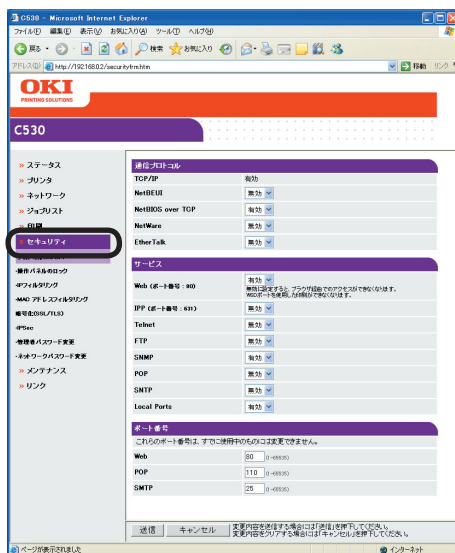
証明書作成手順

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

注 パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［セキュリティ］タブをクリックします。

❻［暗号化（SSL/TLS）］をクリックします。

❼SSL/TLS 設定を有効にします。

暗号化強度を変更したいときは？（通常は［標準］のままご使用ください。）
☞「暗号化強度の変更」をクリックします。

❽ CommonName、Organization、等の項目を入力します。

「認証局が発行した証明書を使用する」を選択した場合、入力内容等証明書発行手続きの詳細は、認証局の手順に従ってください。

鍵交換方式、鍵サイズを変更したいときは？
（初期値は RSA、1024bit です。通常はそのまま変更せずにご使用ください。）
☞「詳細を変更する」をクリックします。

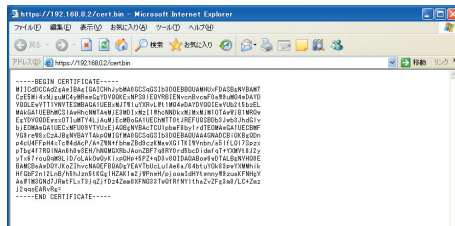
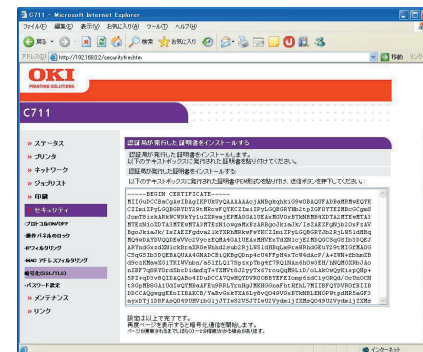
❾［送信］をクリックします。

❿ 入力内容が表示されます。
内容を確認し、［OK］をクリックしてください。証明書を作成します。

以上で自己署名証明書の作成は完了です。

認証局証明書の場合、続いて以下の手順が必要です。

⓫ CSR を取り出し認証局へ送付します。（認証局証明書の場合）

テキストボックス内の「----- BEGIN CERTIFICATE REQUEST -----」から「----- END CERTIFICATE REQUEST -----」をコピーしてください。CSR の送付方法は、認証局によって Web ページへ貼り付ける、ファイルとして送付する、メール本文に添付する等があります。

⓬ 認証局から発行された証明書を（Web を使用して）インストールします。（認証局証明書の場合）

手順❶～❻に従い、暗号化（SSL/TLS）設定画面を表示します。

発行された証明書の「----- BEGIN CERTIFICATE -----」から「----- END CERTIFICATE -----」までをテキストボックスへ貼り付け、「送信」をクリックします。

これで認証局証明書の作成は完了です。

使用方法

Web ページからの設定

❶ Web ブラウザを起動し、アドレスに「https:// プリンタの IP アドレス」と入力し、接続します。

印刷（IPP 印刷）

環境

使用可能な OS　Windows 7, Windows Vista, Windows Server 2008, Windows XP, Windows Server 2003, Windows 2000

❶ コンピュータの電源を ON にし Windows を起動します。

工場出荷時の設定では、IPP は無効になっています。IPP で印刷を行うためには、「Web ブラウザ」（48 ページ）を起動し、ネットワークタブの［IPP］（53 ページ）の設定を行ってください。

❷ プリンタを追加します。

〈Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合〉

［スタート］-［デバイスとプリンター］を選択します。［プリンターの追加］をクリックします。

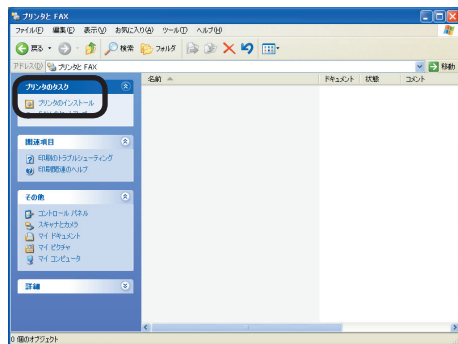
〈Windows Vista/Windows Server 2008 の場合〉

［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］をクリックします。［プリンタのインストール］をクリックします。

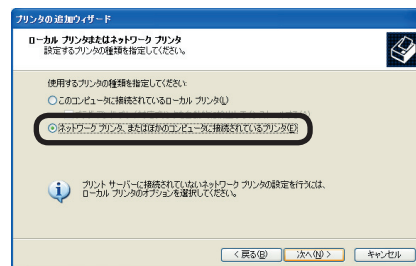
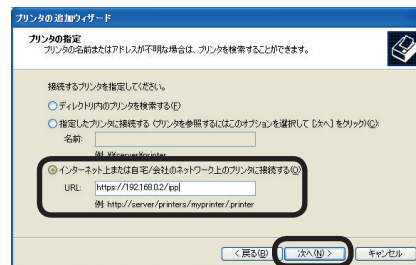
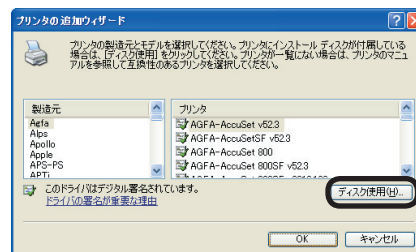
〈Windows XP の場合〉

［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

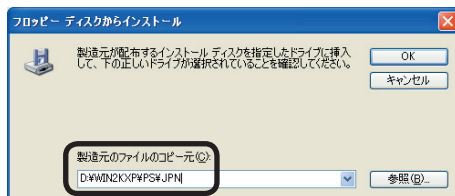
［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタと FAX］をクリックします。

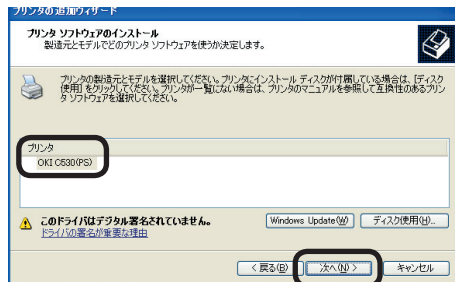
［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

❸「プリンタの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❹［ネットワークプリンタまたは他のコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外してください。

❺［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、URL の設定を https:// プリンタの IP アドレス /ipp または https:// プリンタの IP アドレス /ipp/lp と入力し、［次へ］をクリックします。

❻［ディスク使用］をクリックします。

❼「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

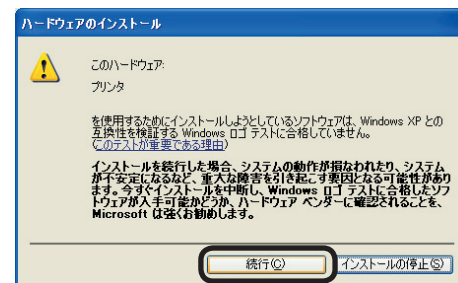
ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。 PS ドライバをインストールする場合 D:¥Drivers¥JPN¥PS PCL ドライバをインストールする場合 D:¥Drivers¥JPN¥PCL PCL XPS ドライバをインストールする場合 D¥Drivers¥JPN¥XPS Hiper-C ドライバをインストールする場合 D:¥Drivers¥JPN¥Hiper-C XPS ドライバをインストールする場合 D¥Drivers¥JPN¥XPS

メモ　ポストスクリプトに対応しているアプリケーション（Adobe Illustrator など）から印刷する場合は PS ドライバを選択します。
その他のアプリケーションから印刷する場合は、どちらでも選択できます。

❾ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬［完了］をクリックします。

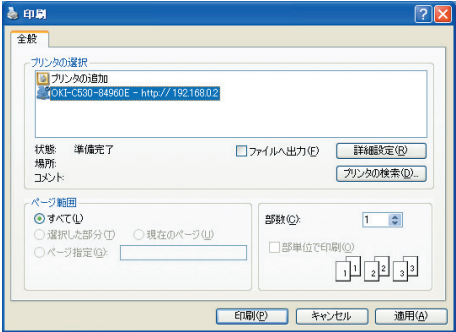
⓭「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓮ プリンタのアイコンを選択し、右クリックでプロパティを開きます。［テストページの印刷］をクリックします。

テストページが印刷されたら、セットアップは完了です。

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

印刷したいファイルを開きます。

⓯ [ファイル] - [印刷] を選択し、作成した IPP プリンタを指定して印刷を行います。

通信を暗号化します（IPSec）（C530dn のみ）

ネットワークレイヤレベルで、コンピュータ - プリンタ間通信の暗号化と改ざん防止が可能になります。

本プリンタでサポートしている IKE プロトコルは「IKEv1」です。
本プリンタがサポートしている通信モードは「トランスポートモード」です。「トンネルモード」では動作しません。
IPSec を有効にしている場合、ネットワークの通信状況によっては装置の応答が遅くなる場合があります。
IPSec を有効にしている場合は、複数のコンピュータからのネットワーク印刷などの多重動作は実行しないことをお勧めします。

設定方法

設定の流れ

プリンタの設定をしてからコンピュータの設定を行います。

装置の設定

Web を使用して IPSec を有効にする手順を示します。

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［セキュリティ］タブをクリックします。

❻［IPSec］タブをクリックします。

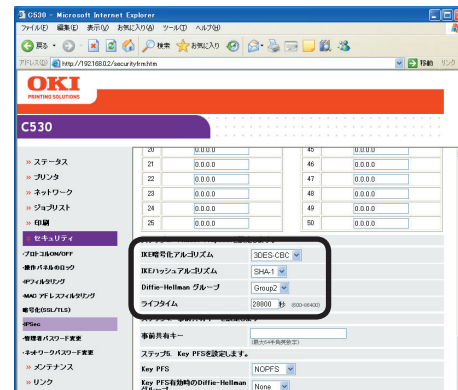
❼「ステップ 1」で、［IPSec］を有効にします。

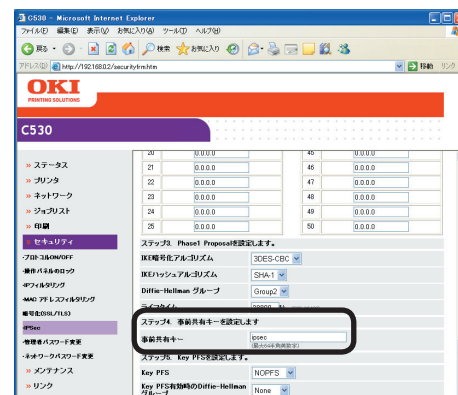
- IPSec を［有効］にすると、「ステップ 2」で設定した IP アドレス以外のコンピュータからのアクセスが一切できなくなります。
- 設定した設定値がコンピュータと一致しない等の理由により IPSec の設定に失敗した場合、Web ページを開くことができなくなります。その場合、操作パネルからネットワーク設定項目の［IPSec］を無効にするか、またはネットワークの初期化を実行して IPSec を無効にします。

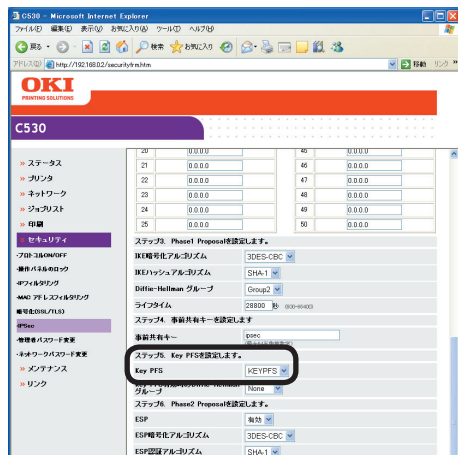
❽「ステップ 2」で、ホストの IP アドレスを入力します。

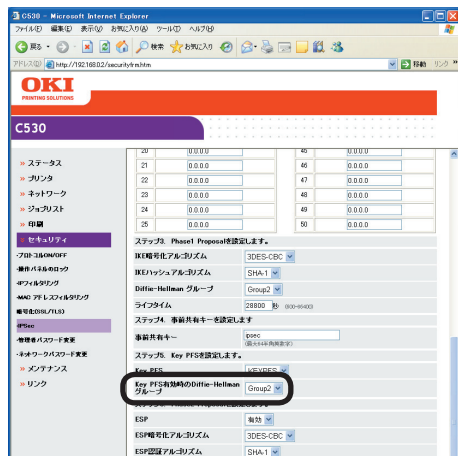
・IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストを指定してください。
・IPv4 アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
・IPv6 グローバルアドレスは、“:” で区切られた半角の英数字を使用してください。
・IPv6 リンクローカルアドレスはサポートしていません。
・IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。

❾「ステップ 3」で、Phase1 Proposal の各パラメータを設定します。

- ［IKE 暗号化アルゴリズム］に、3DES-CBC, DES-CBC から選択して設定します。
- ［IKE ハッシュアルゴリズム］に、SHA-1, MD5 から選択して設定します。
- ［Diffie-Hellman グループ］に、Group2, Group1 から選択して設定します。
- ［ライフタイム］に、600（秒）- 86400（秒）の範囲から入力して設定します。

❿「ステップ 4」で、事前共有キーを設定します。

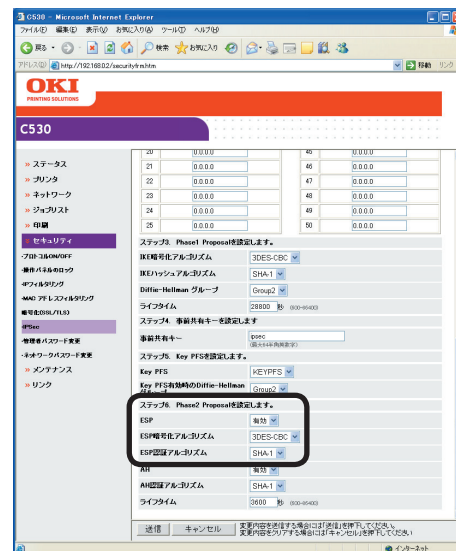
［事前共有キー］に、1 文字以上最大 64 文字、半角英数字で入力して設定します。ここでは、文字列に「ipsec」と入力されている場合を例にしています。

⓫「ステップ 5」で、Key PFS を設定します。

- ［Key PFS］に、KEYPFS, NOPFS から選択して設定します。

［Key PFS］を選択した場合、以下の項目を設定します。

- ［Key PFS 有効時の、Diffie-Hellman グループ］に、Group2, Group1 から選択して設定します。

⓬「ステップ 6」で、Phase2 Proposal を設定します。

- ［ESP］に、有効 , 無効から選択して設定します。

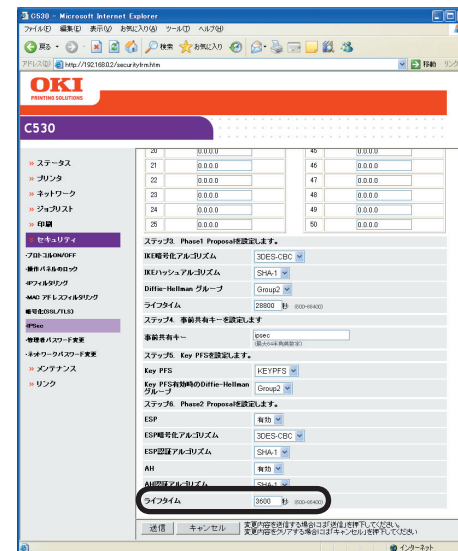
［ESP］に、有効を設定した場合、以下の項目を設定します。

- ［ESP 暗号化アルゴリズム］に、3DES-CBC, DES-CBC から選択して設定します。
- ［ESP 認証アルゴリズム］に、SHA-1, MD5, OFF から選択して設定します。OFF を選択した場合、ESP 認証アルゴリズムは適用されません。

- ［AH］に、有効 , 無効から選択して設定します。

［AH］に、有効を設定した場合、以下の項目を設定します。

• ［AH 認証アルゴリズム］に、SHA-1, MD5 から選択して設定します。

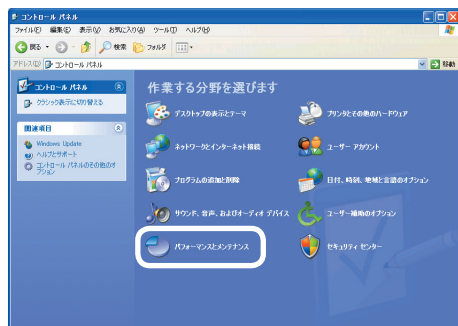
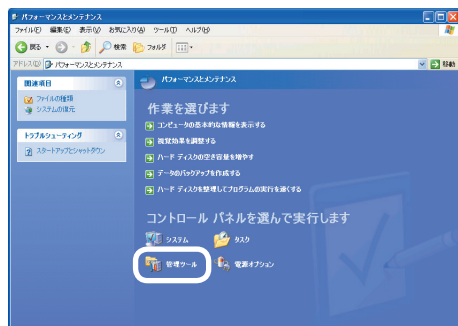
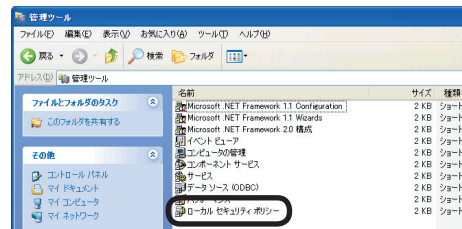
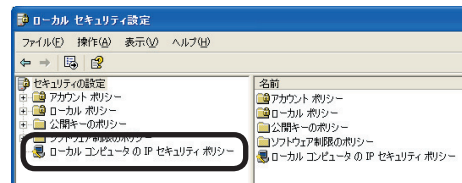
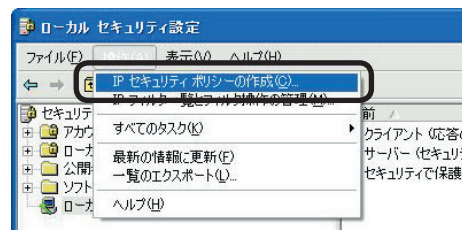
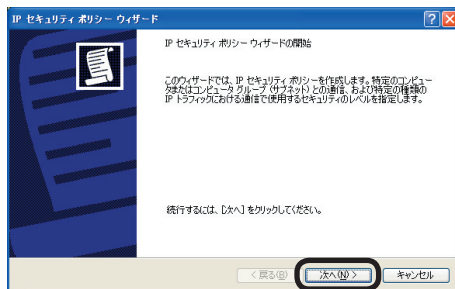
• ［ライフタイム］に、600（秒）- 86400（秒）の範囲から入力して設定します。

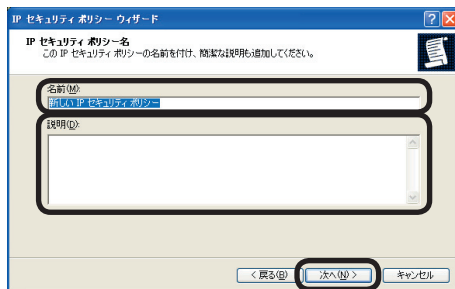
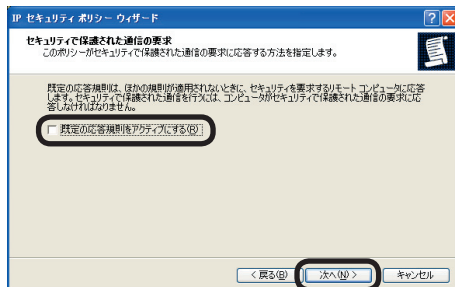
注 ［ESP］,［AH］のどちらか、または両方を有効に設定してください。

⑬［送信］をクリックします。

⑭ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

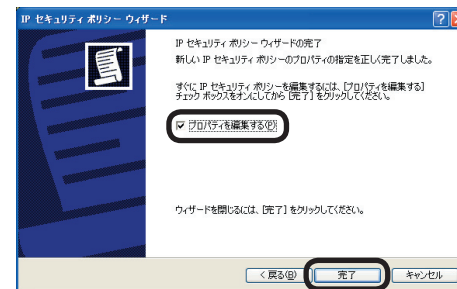
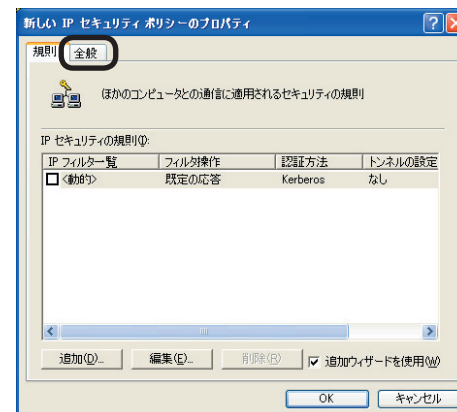
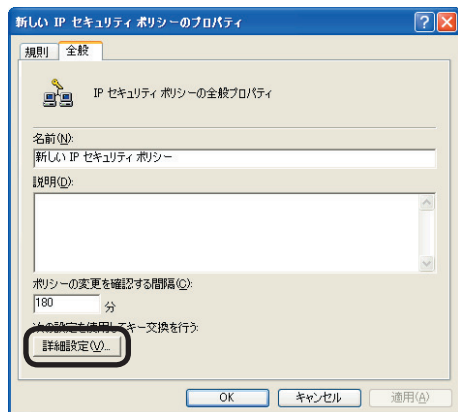
コンピュータの設定

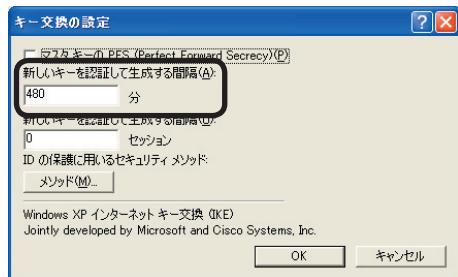
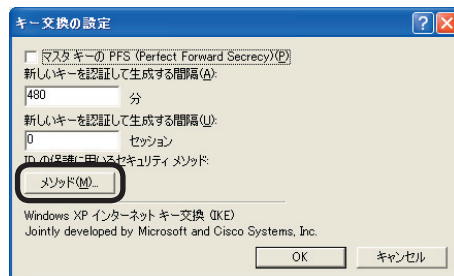
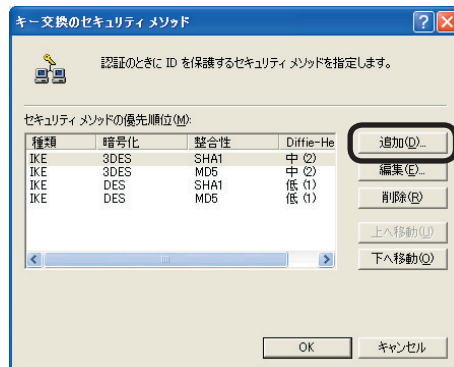
以下の説明は Windows XP Professional SP1 日本語版を例にしています。

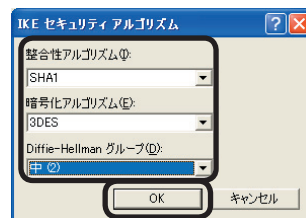
❶［コントロールパネル］の、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。

❷［管理ツール］をクリックします。

❸［ローカルセキュリティ ポリシー］をダブルクリックします。

❹［ローカルコンピュータの IP セキュリティポリシー］をクリックします。

❺［操作］メニューから、［IP セキュリティポリシーの作成］を選択します。

❻［次へ］をクリックします。

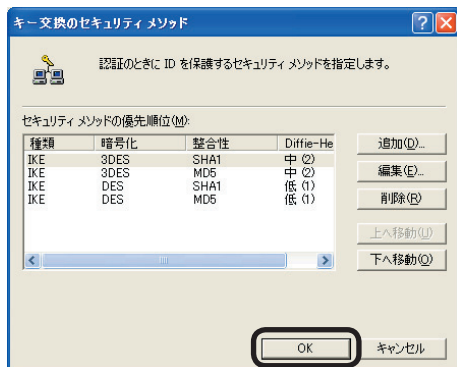
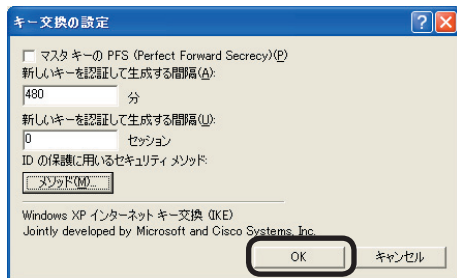
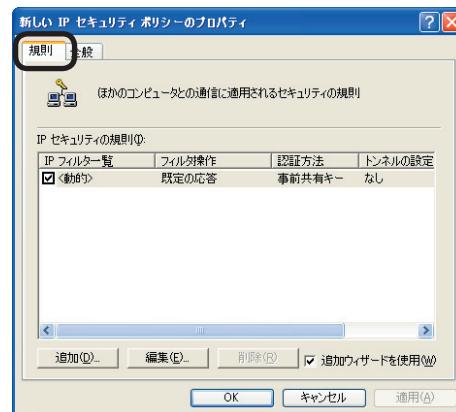
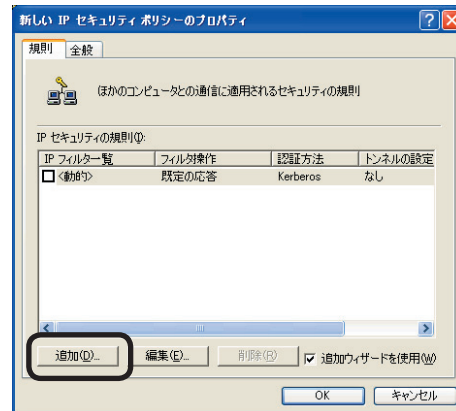
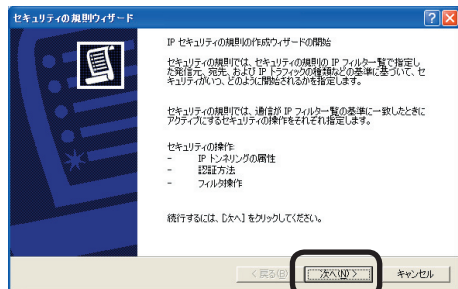
❼［名前］にこれから作成する IP セキュリティポリシーの名前を、［説明］にこれから作成する IP セキュリティポリシーの説明を入力して、［次へ］をクリックします。

❽［規定の応答規則をアクティブにする］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

❾［プロパティを編集する］にチェックし、［完了］をクリックします。

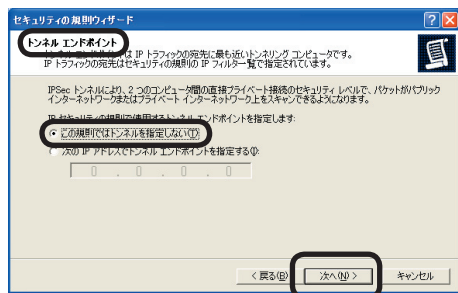
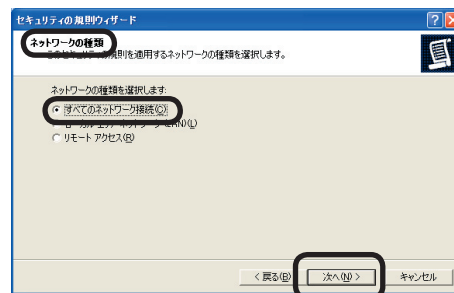
❿［全般］タブをクリックします。

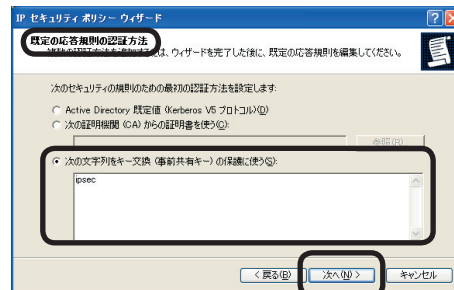
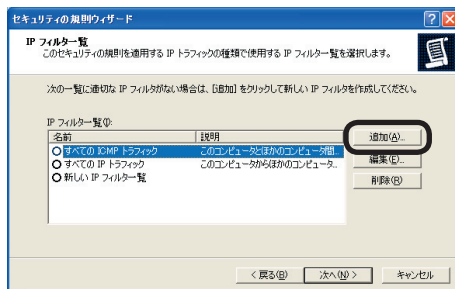
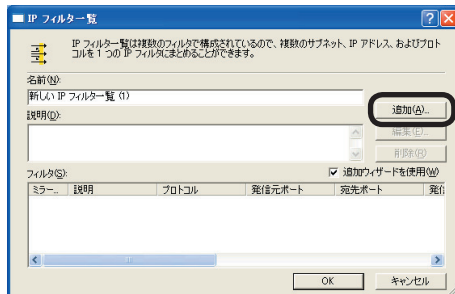
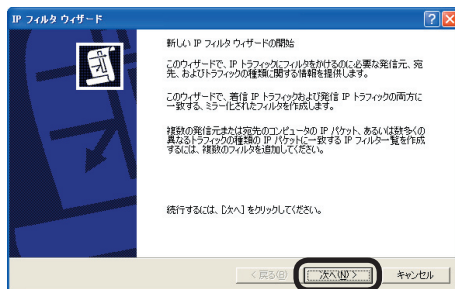
目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

⓫［詳細設定］をクリックします。

⓬［新しいキーーを認証して生成する間隔］（分単位）に、「装置の設定」❾（321 ページ）の Phase1 Proposal のライフタイムと同じ時間を、分単位で入力します。

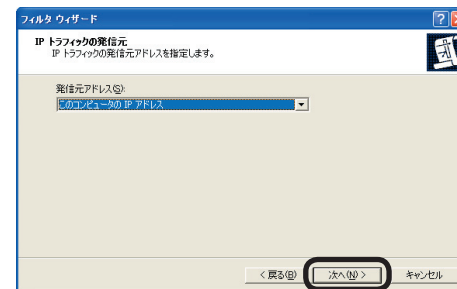
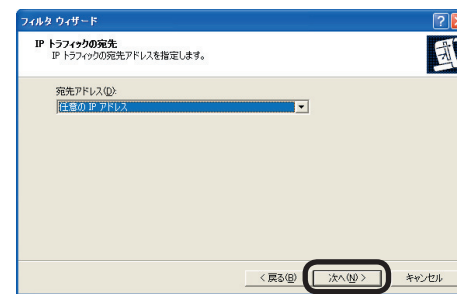
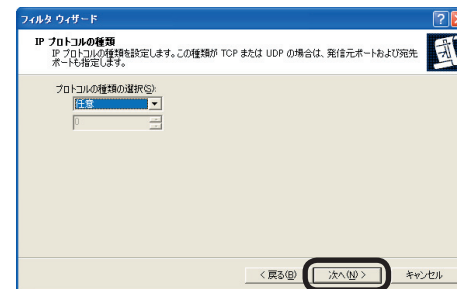
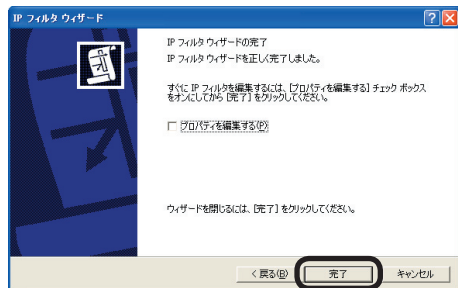
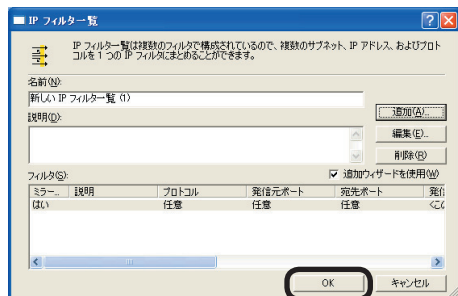
Phase1 Proposal の［ライフタイム］では秒単位の入力ですが、ここでは分単位の入力になります。

⓭［メソッド］をクリックします。

⓮［追加］をクリックします。

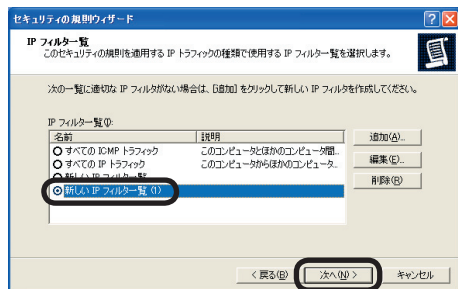
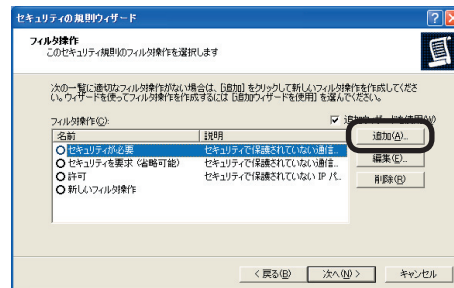
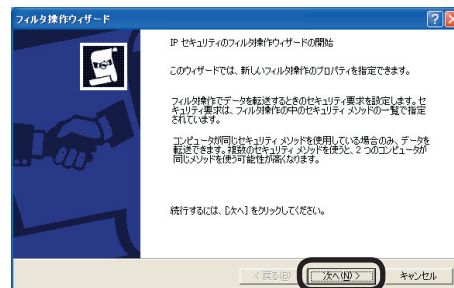
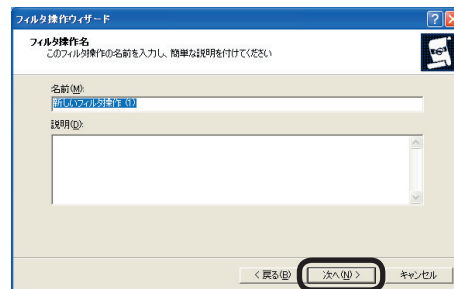
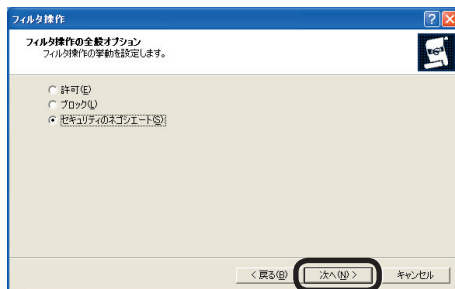
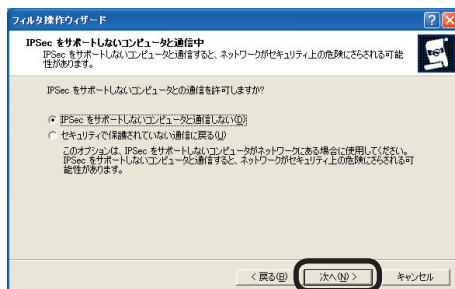
⓯［セキュリティメソッドの優先順位］に、Phase1 Proposal で設定した内容を追加し、［OK］をクリックします。

⑯［キー交換のセキュリティメソッド］画面で、［OK］をクリックします。

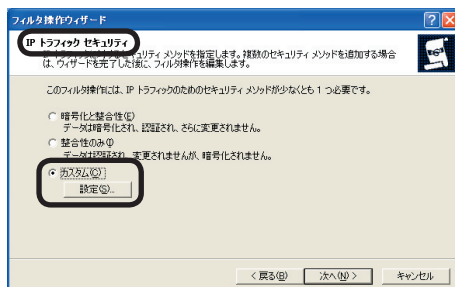
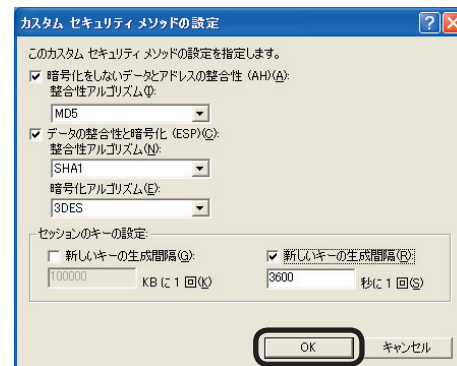
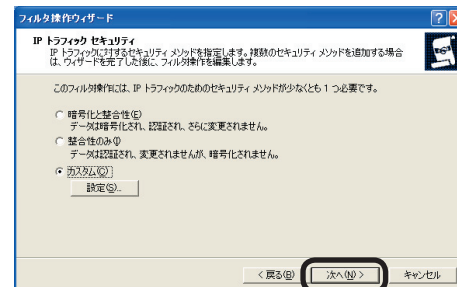
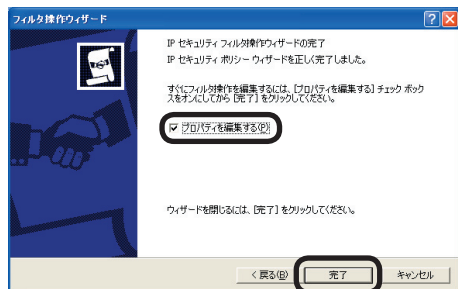
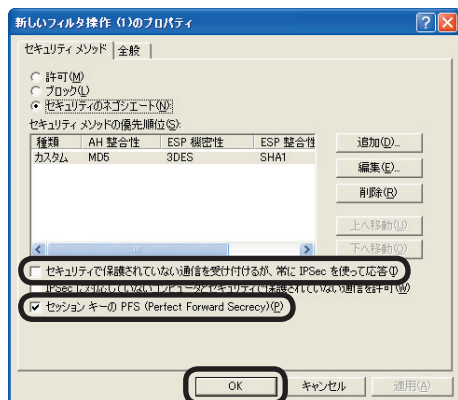
メモ　追加した以外のセキュリティメソッドは、削除しても構いません。

⑰［キー交換の設定］画面で、［OK］をクリックします。

⑱［新しい IP セキュリティポリシーのプロパティ］画面で、［規則］タブをクリックします。

⑲［追加］をクリックします。

⑳［次へ］をクリックします。

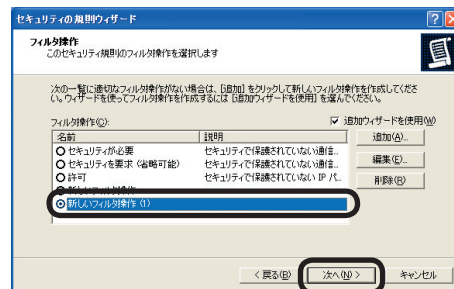
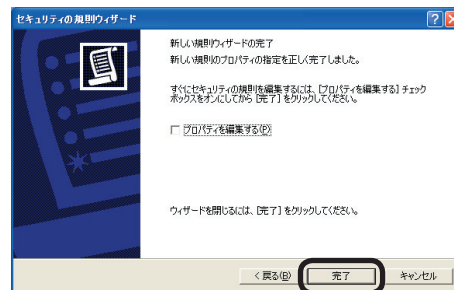
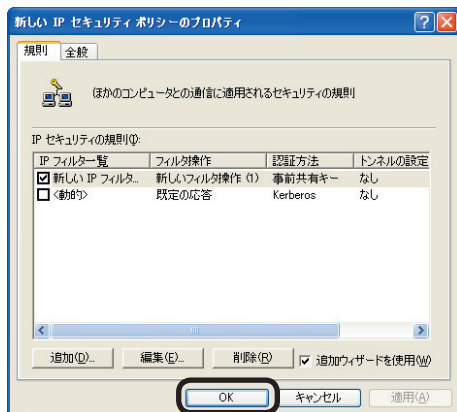
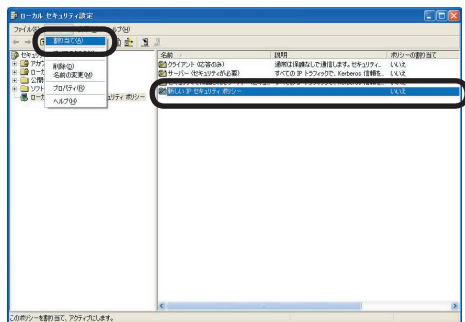
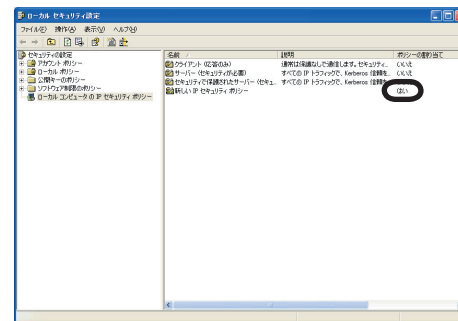
㉑［トンネルエンドポイント］画面で［この規制ではトンネルを指定しない］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

㉒［ネットワークの種類］画面で［すべてのネットワーク接続］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

㉓［既定の応答規制の認証方法］画面で、［次の文字列をキー交換（事前共有キー）の保護に使う］を選択して、文字列を入力し、［次へ］をクリックします。

ここでは文字列に［ipsec］と入力されている場合を例にしています。

㉔［追加］をクリックします。

㉕［追加］をクリックします。

㉖［次へ］をクリックします。

㉗［次へ］をクリックします。

㉘［次へ］をクリックします。

㉙［次へ］をクリックします。

㉚［完了］をクリックします。

㉛［OK］をクリックします。

㉜作成した IP フィルタを選択し、［次へ］をクリックします。

㉝［追加］をクリックします。

㉞［次へ］をクリックします。

㉟［次へ］をクリックします。

㊱［次へ］をクリックします。

㊲［次へ］をクリックします。

㊳［IP　トラフィック　セキュリティ］画面で［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

㊴「装置の設定」⑫（322 ページ）Phase2 Proposal で設定した内容に合わせ、［OK］をクリックします。

㊵［次へ］をクリックします。

㊶［プロパティを編集する］にチェックを入れ、［完了］をクリックします。

㊷Key PFS を有効する場合は、［セッションキーの PFS(Perfect Forward Secrecy)］にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

注 IPv6 グローバルアドレスを使用した IPSec 通信を行う場合は、［セキュリティで保護されていない通信を受け付けるが、常に IPSec を使って応答］にチェックを入れる必要があります。

㊸作成したフィルタ操作を選択し、［次へ］をクリックします。

㊹［完了］をクリックします。

㊺［新しい IP セキュリティポリシーのプロパティ］画面で、［OK］をクリックします。

㊻ 作成した新しい IP セキュリティポリシーを選択し、［操作］メニューから、［割り当て］を選択します。

㊼ 作成した新しい IP セキュリティポリシーの［ポリシーの割り当て］が「はい」になっていることを確認します。

㊽ 画面左上の ☒ をクリックし、画面を閉じます。

IP アドレスでのアクセス制限機能（IP フィルタ）を使います

プリンタへのアクセスを IP アドレスを用いて管理できます。
Web ブラウザ、TELNET で設定ができます。

- プリンタの初期設定では、「IP フィルタ」が「無効」に設定されています。
- IP アドレスの入力を間違えると、IP プロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C530dn
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

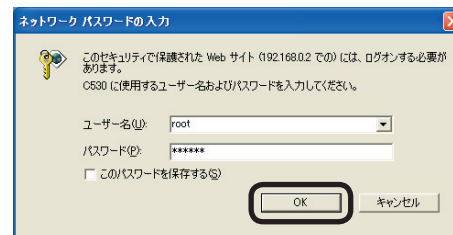
起動と設定方法

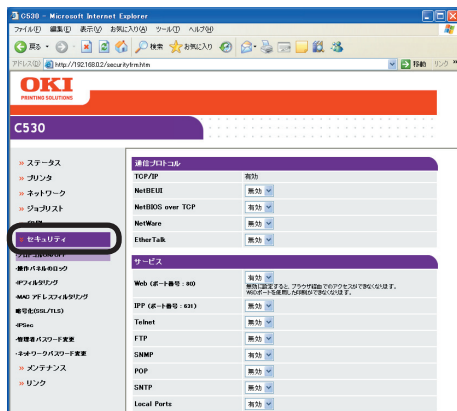
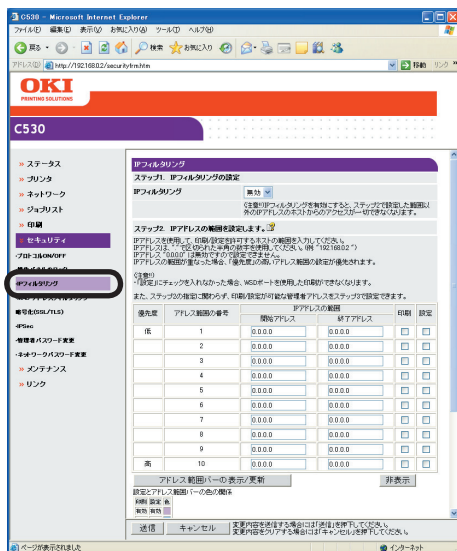
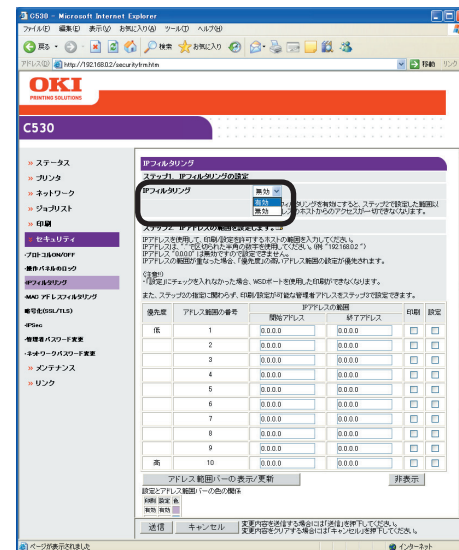
❶ Web ブラウザを起動します。

❷ [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

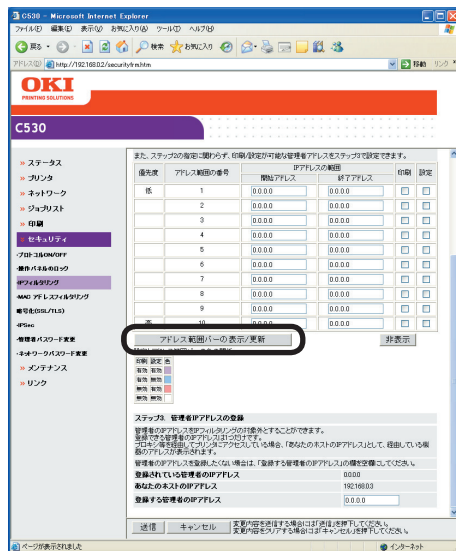
❸ [管理者のログイン] をクリックします。

❹ [ユーザー名] に「root」、[パスワード] に現在のパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［セキュリティ］をクリックします。

❻［IP フィルタリング］をクリックします。

❼「ステップ 1」で、「IP フィルタリングの設定」を［有効］にします。

注　IP フィルタリングを［有効］にすると、「ステップ 2」で設定した範囲以外の IP アドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

❽「ステップ 2」で、IP アドレスの範囲を設定します。

- IP アドレスを使用して、印刷 / 設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IP アドレスは、“.” で区切られた半角の数字を使用してください。
- IP アドレス 0.0.0.0 を入力すると、無効になります。
- IP アドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ 2 の指定に関わらず、印刷 / 設定が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

❾［アドレス範囲バーの表示 / 更新］ボタンをクリックします。

IP アドレスの範囲を、修正したい場合は、該当する IP アドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示 / 更新］をクリックしてください。

❿「ステップ 3」で、［登録する管理者の IP アドレス］の値を設定します。

［登録する管理者の IP アドレス］に管理者の IP アドレスを入力することにより、万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は［登録する管理者の IP アドレス］で設定した IP アドレスのホストから再設定することができます。

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストの IP アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの IP アドレス」が異なる場合があります。
- 「登録する管理者の IP アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の IP アドレスを登録したくない場合は、［登録する管理者の IP アドレス］の欄を空欄にしてください。

⓫［送信］をクリックします 。

⓬ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

MAC アドレスでのアクセス制限機能を使います

プリンタへのアクセスを MAC アドレスを用いて管理できます。
Web ブラウザで設定ができます。

MAC アドレスの入力を間違えると、ネットワークを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C530dn
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

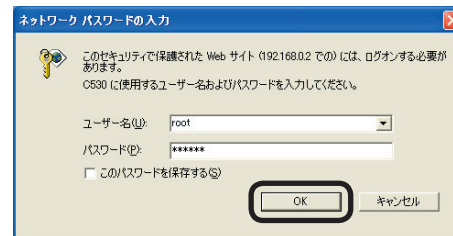
起動と設定方法

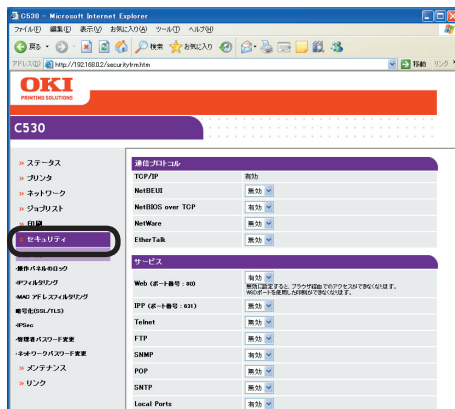
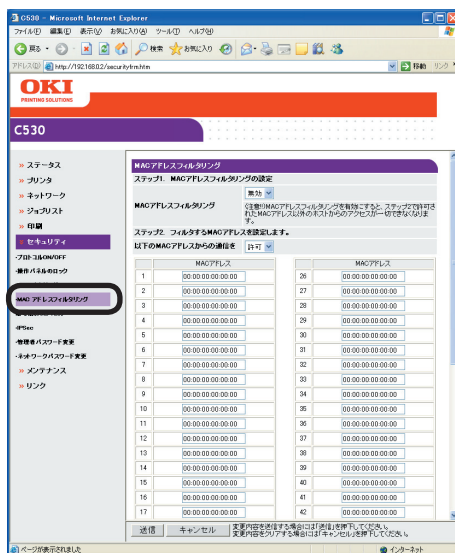
❶ Web ブラウザを起動します。

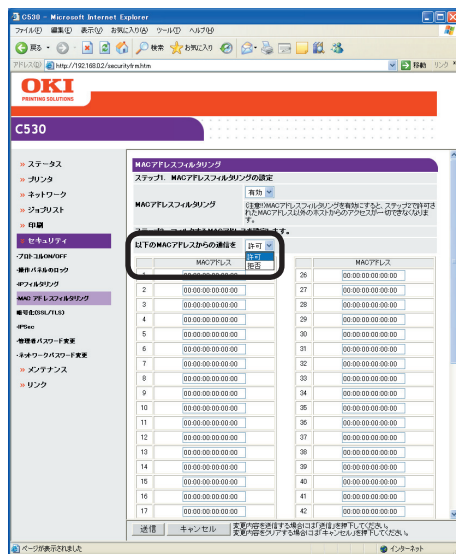
❷ [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

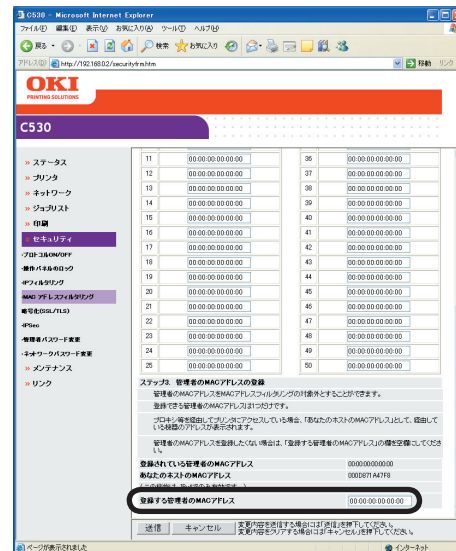
❸ [管理者のログイン] をクリックします。

❹ [ユーザー名] に [root]、[パスワード] に現在のパスワードを入力し [OK] をクリックします。

メモ パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❼［セキュリティ］をクリックします。

❽［MAC アドレスフィルタリング］をクリックします。

❾［ステップ 1］で［MAC アドレスフィルタリングの設定］を［有効］にします。

⑩「ステップ 2」で特定の MAC アドレスからの通信を［許可 (拒否)］するかどうかを選択します。

- MAC アドレスを使用して通信を許可 (拒否) するホストの MAC アドレスを入力してください。
- MAC アドレスは、“:” で区切られた半角の数字を使用してください。
- ステップ 2 の指定に関わらず、通信が可能な管理者アドレスをステップ 3 で設定できます。

⑪「ステップ 3」で、［登録する管理者の MAC アドレス］の値を設定します。

［登録する管理者の MAC アドレス］に管理者の MAC アドレスを入力することにより､万一「ステップ 2」で誤った設定を行ってしまった場合でも､管理者は［登録する管理者の MAC アドレス］で設定した MAC アドレスのホストから再設定することができます。

- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストの MAC アドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストの MAC アドレス」が異なる場合があります。
- 「登録する管理者の MAC アドレス」として何も登録しない場合は、ステップ 2 の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者の MAC アドレスを登録したくない場合は、［登録する管理者の MAC アドレス］の欄を 00:00:00:00:00:00 にしてください。

⓬［送信］をクリックします。

⓭ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メール送信機能（SMTP）を使います

メール送信機能（SMTP）を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。
Web ブラウザ、TELNET で設定ができます。
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C530dn
プリンタの IP アドレス	: 192.168.0.2
Web ブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

電子メール送信の設定をします

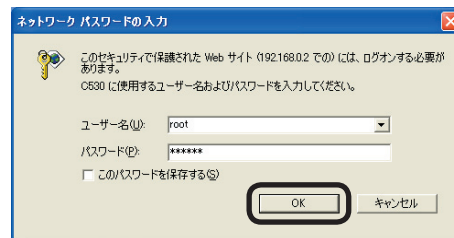
❶ Web ブラウザを起動します。

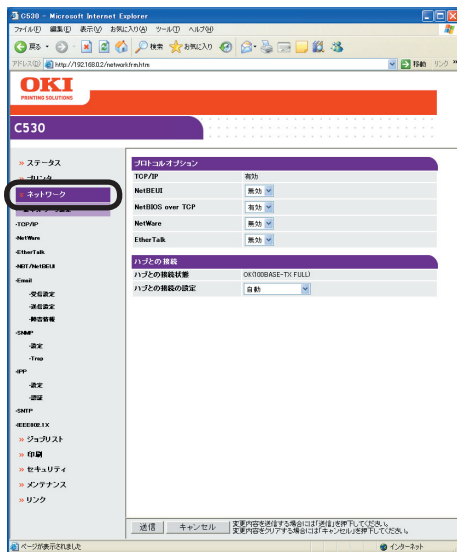
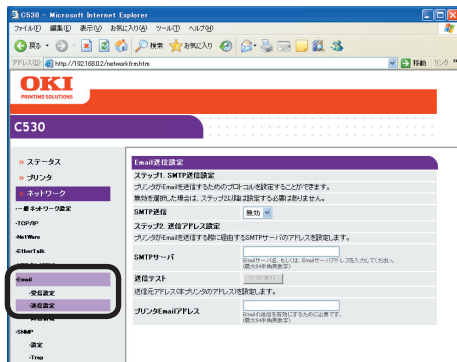
❷ [アドレス] に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

ここでは、プリンタの IP アドレスが 192.168.0.2 の場合を例にしています。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [管理者のログイン] をクリックします。

❹ [ユーザー名] に「root」、[パスワード] に「現在のパスワード」を入力し、[OK] をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［ネットワーク］をクリックします。

❻［Email］-［送信設定］をクリックします。

❼「ステップ 1」で、「SMTP 送信設定」を［有効］にします。

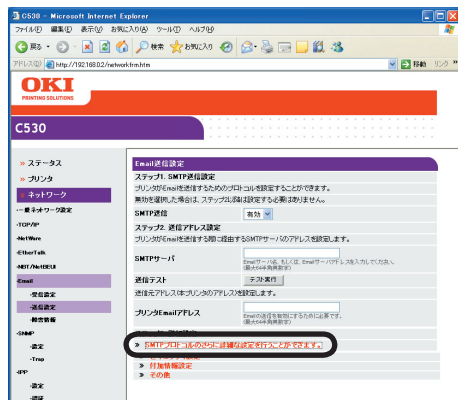
❽「ステップ 2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

①「SMTP サーバ」に、メールサーバのドメイン名または IP アドレスを設定します。

②「プリンタ Email アドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

③「返信先 Email アドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

- 「SMTP サーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNS サーバの設定が必要です。
- メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾ 以後、さらに詳しい設定をしたい場合は、「ステップ 3」で［SMTP プロトコルのさらに詳細な設定を行うことができます。］をクリックします。

それ以外の場合は㉑へ進みます。

❿［セキュリティ設定］をクリックします。

⓫「SMTP 認証」を［有効］にします 。

⓬「ユーザ ID」を入力します。

⓭「パスワード」を入力します。

「ユーザ ID」と「パスワード」を間違えると、メール送信機能が正常に働きません。注意してください。

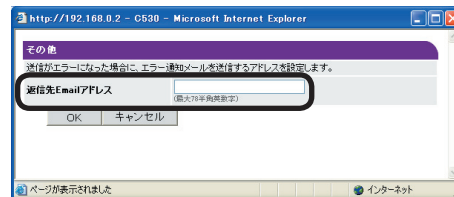
⓮［OK］をクリックします。

⓯［付加情報設定］をクリックします。

⓰ Email 送信メッセージの文末に追加したい情報を選択または入力します。

⓱［OK］をクリックします。

⓲［その他］をクリックします。

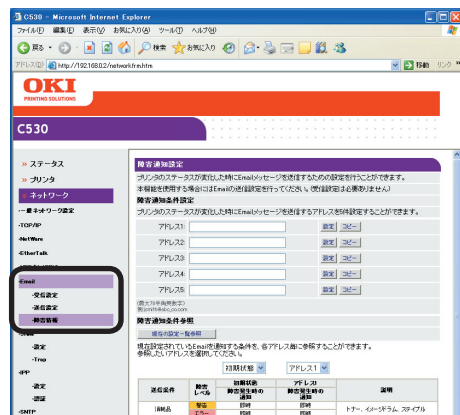
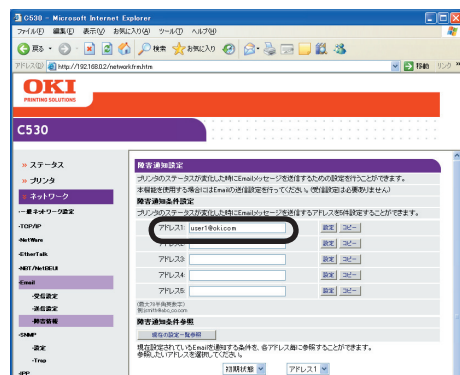
⓳「返信先 Email アドレス」に､プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

⑳［OK］をクリックします。

㉑［送信］をクリックします。

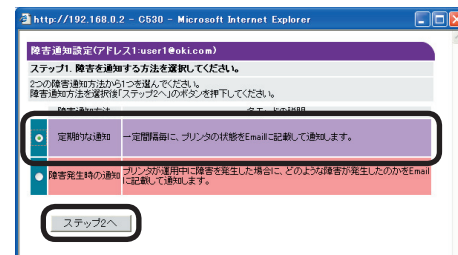
㉒ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

認証方式はメールサーバのサポートしている認証方式の中から自動的に選択されます。

発生した障害を定期的に通知します

❶ [Email] - [障害情報] をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの [設定] ボタンをクリックします。

メモ　[コピー] ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹ [定期的な通知] にチェックをつけ、「ステップ２へ」をクリックします。

❺ [障害通知間隔設定] でメールを送信する間隔を設定します。

メモ　期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックをつけます。

❼［OK］をクリックします。

❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合

a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2 つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

b. 表示された設定内容を確認します。

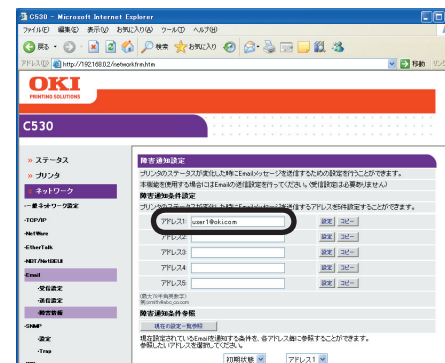
設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾［送信］をクリックします。

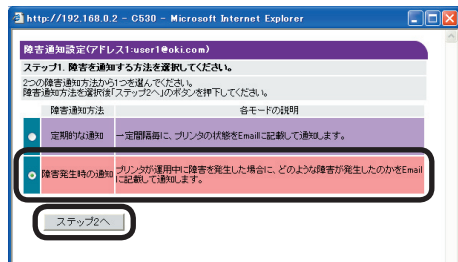
❿ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

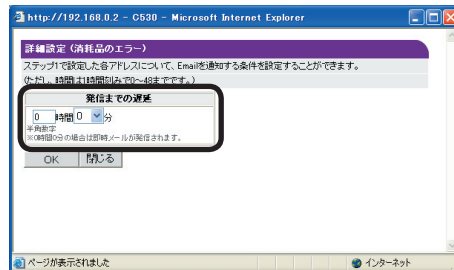
障害が発生したことを通知します

❶［Email］-［障害情報］をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの［設定］ボタンをクリックします。

［コピー］ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹［障害発生時の通知］にチェックをつけ、「ステップ２へ」をクリックします。

❺［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックをつけます。

❻エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0 時間 0 分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼［OK］をクリックします。

❽障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合

a.［現在の設定一覧参照］ボタンをクリックします。

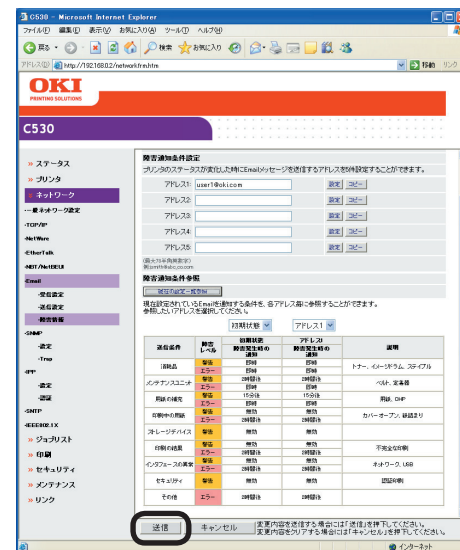
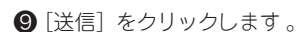
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

②2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾［送信］をクリックします。

❿プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

目次へ 前へ 次へ 戻る 索引へ 検索する

SNMP を使います

SNMP エージェントを実装しています。市販されている SNMP マネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMP マネージャで参照・変更可能な設定項目は MIB と呼ばれ、MIB-II および沖データプライベート MIB に対応しています。沖データプライベート MIB については、プリンタ添付の「ソフトウェア CD-ROM」の［MISC］-［Mib］フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

SNMPv3 を使います（C530dn のみ）

SNMPv3 対応エージェントを実装しています。
SNMPv3 対応 SNMP マネージャを使うと、SNMP によるプリンタの管理を暗号化し安全に行うことができます。

Web ブラウザ、Telnet で設定できます。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：C530dn
プリンタの IPv4 アドレス	：192.168.0.2
Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

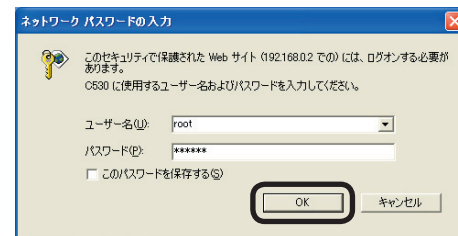
SNMPv3 の設定をします

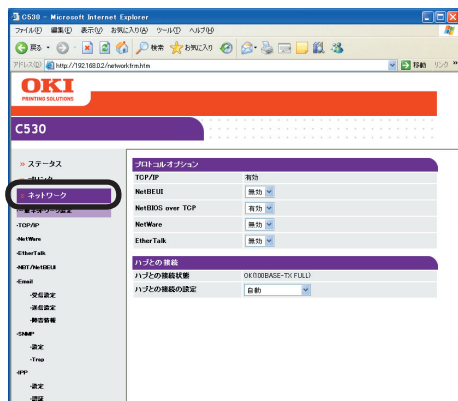
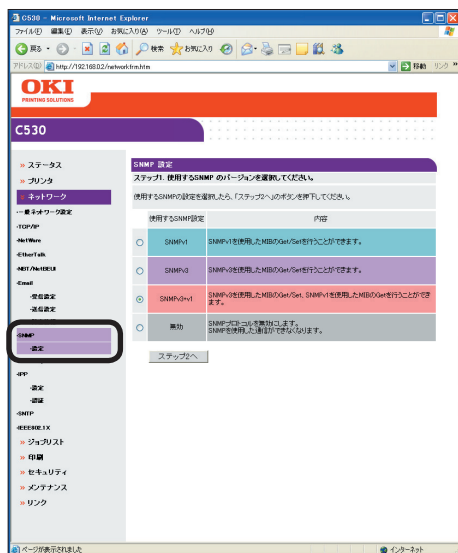
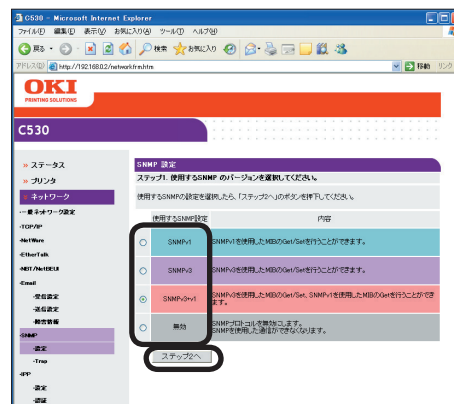
❶ Web ブラウザを起動します。

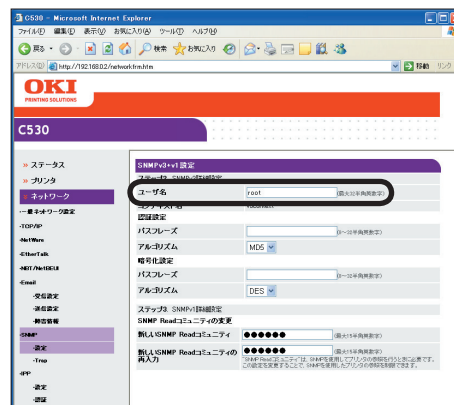
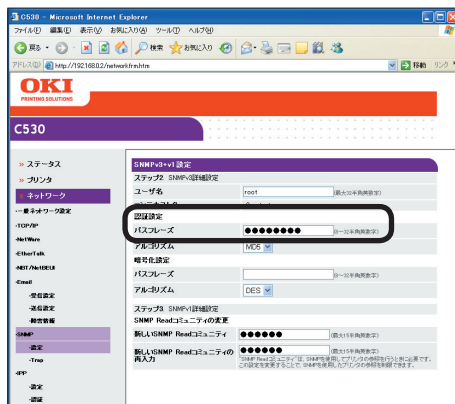
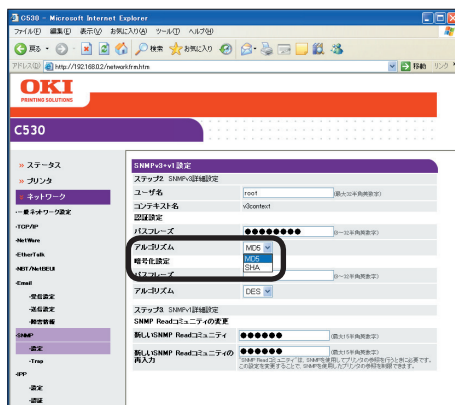
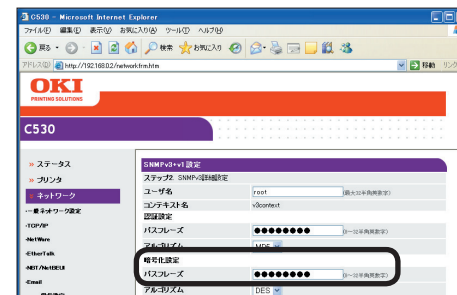
❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

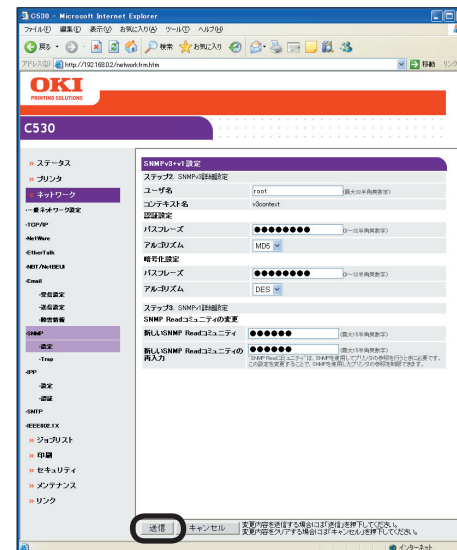
プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に［root］、［パスワード］に［現在のパスワード］を入力し［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［SNMP］-［設定］をクリックします。

❼「ステップ 1」で使用する SNMP のバージョンにチェックをつけ,「ステップ 2 へ」をクリックします。

メモ　［SNMPv3］を選択した場合は、SNMPv1 での参照・設定はできなくなります。［SNMPv3+v1］を選択した場合は、SNMPv1 と SNMPv3 の両方で参照はできますが、設定は SNMPv3 でしかできません。

❽「ステップ 2」で［ユーザ名］に SNMPv3 ユーザ名を入力します。

❾「認証設定」で［パスフレーズ］に認証用パスフレーズを入力します。

❿［アルゴリズム］を選択します。

⓫「暗号化設定」で［パスフレーズ］に暗号化用パスフレーズを入力します。

メモ　暗号化アルゴリズムは［DES］のみ選択できます。

⓬「送信」をクリックします。

⓭プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

メモ　お使いの SNMP マネージャのコンテキスト名には「v3context」を設定してください。

IPv6 を使います（C530dn のみ）

IPv6 機能を実装しています。
IPv6 アドレスは自動的に取得されます。IPv6 アドレスの手動設定はできません。
IPv6 では以下のプロトコルに対応しています。

印刷：LPD、Port9100、IPP、FTP
設定：HTTP、Telnet、SNMPv1/v3

SMTP 送信、IP フィルタリング、WINS 登録、SNMP Trap などは IPv4 にのみ対応しています。

本製品との正常動作を確認済みのアプリケーションは下表の通りです。

Windows XP で IPv6 を使用するには別途 IPv6 のインストールが必要です。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
LPD	Windows 7 Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの LPR	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が"fe80"で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
Port9100	Windows 7 Windows Vista Redhat Linux 9.0 LPRng	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が"fe80"で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
FTP	Windows 7 Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が"fe80"で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの FTP	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が "fe80" で始まるアドレス）を指定して接続することはできません。

プロトコル	アプリケーション	使用条件
HTTP	Windows XP Internet Exploler 6.0	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) またリンクローカルアドレス（先頭が "fe80" で始まるアドレス）を指定して接続することはできません。
	Windows 7 Windows Vista Windows XP Mozilla Firefox(Ver.2.0)	(1) IPv6 アドレスを "[]" で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス（先頭が"fe80"で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X Safari (1.2.3-v125.9)	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由したホスト名での指定のみで接続が可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が "fe80" で始まるアドレス）を指定して接続することはできません。
	Mac OS X Safari (2.0-v412.2)	(1) IPv6 アドレスを "[]" で囲んで入力する必要があります。 (2) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (3) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (4) また、リンクローカルアドレス（先頭が "fe80" で始まるアドレス）を指定して接続することはできません。
Telnet	Windows 7 Windows Vista Windows XP コマンドプロンプトの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が"fe80"で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。
	Mac OS X ターミナルからの Telnet	(1) hosts ファイルの編集、または DNS サーバを経由することで、ホスト名での指定も可能です。 (2) ただし、Telnet から IPv6 のみを有効にするよう設定した場合、DNS サーバを用いたホスト名指定はできなくなります。 (3) また、リンクローカルアドレス（先頭が"fe80"で始まるアドレス）を指定して接続する場合には、ホスト名での指定はできません。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：C530dn
プリンタの IPv4 アドレス	：192.168.0.2
Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

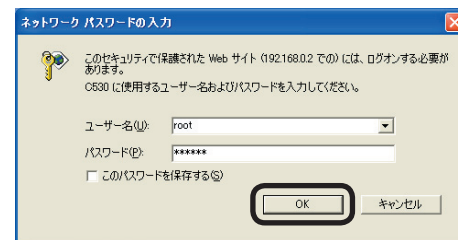
IPv6 の設定をします

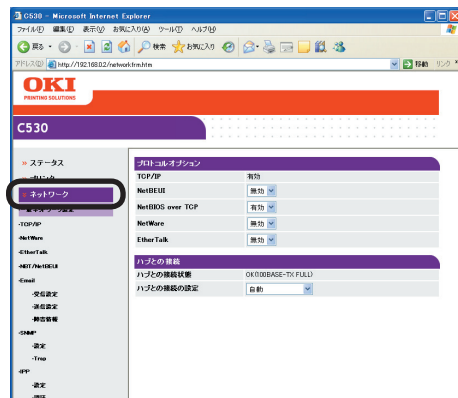
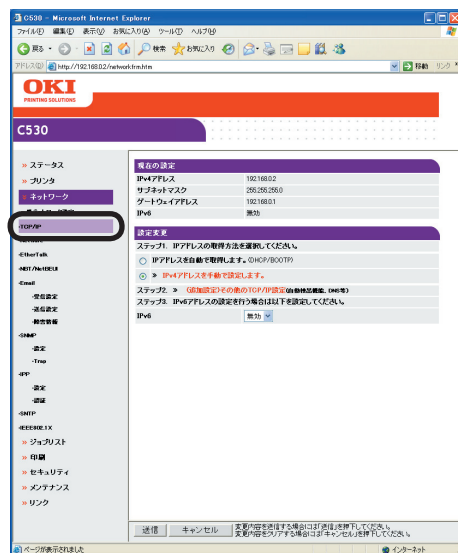
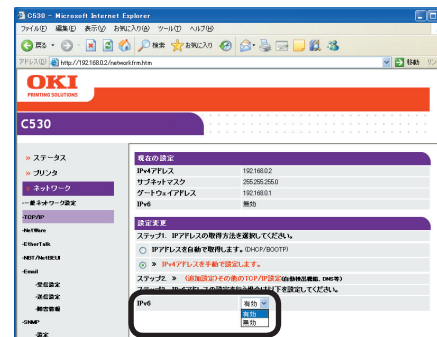
❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IPv4 アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に［root］､［パスワード］に［現在のパスワード］を入力し［OK］をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［TCP/IP］をクリックします。

❼［IPv6］で［有効］を選択します。

❽［送信］をクリックします。

❾プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

Telnet を使うと、IPv4 を無効にし、IPv6 のみ有効に設定することができます。この場合、IPv4 でしか機能しないネットワーク機能は使用できなくなりますので注意してください。

IPv6 アドレスを確認します

IPv6 アドレスは自動的に取得されます。
取得された IPv6 アドレスは、Web ブラウザ、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されます。

❶［ステータス］タブをクリックします。

❷［ネットワーク詳細情報］-［TCP/IP］をクリックします。

リンクローカルアドレスとグローバルアドレスを確認します。図示した環境ではグローバルアドレスは取得されていません。

- グローバルアドレスがすべて“0”で表示されている場合は、ルータからネットワークプレフィックスを取得できていません。お使いのルータが正しく設定されているか確認してください。
- お使いのコンピュータから IPv6 を使ってプリンタに接続するための設定方法は、お使いのコンピュータまたはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

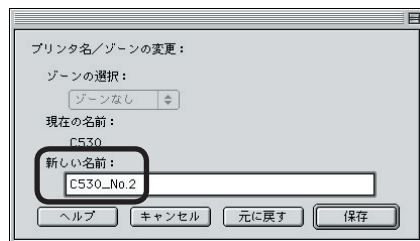
EtherTalk プリンタ名を変更したい（C530dn のみ）

EtherTalk の場合に、プリンタに識別しやすい名前を付けることができます。

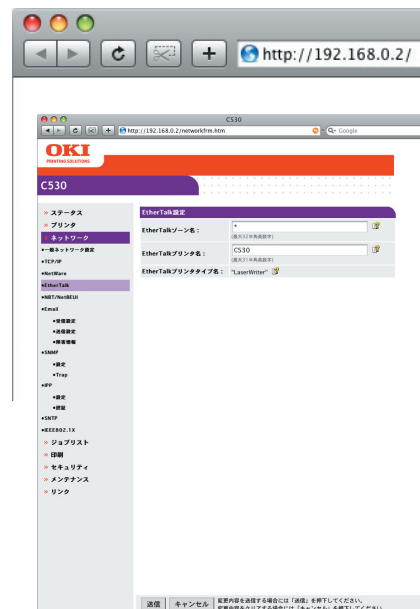
MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［プリンタ名 / ゾーンの変更］を選択します。

❸ 新しい名前を入力し、［保存］をクリックします。

プリンタ名の文字長は最大 31 文字にすることができます。ただしプリンタ名に（＝ : * @ ˜ ≈）などの記号は使用できません。
2 バイトコードの上下どちらかのバイトに（＝ : * @ ˜ ≈）と一致するコードが含まれるような文字、例えば（円、淳、ァ、法）などはプリンタ名として使用することはできません。

Web ブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷［管理者のログイン］をクリックします。

❸［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❹［ネットワーク］タブの［EtherTalk］をクリックします。

❺［EtherTalk プリンタ名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

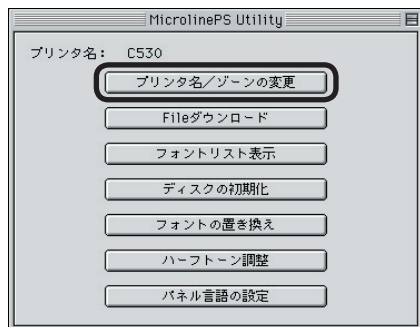
- プリンタ名は 31 文字以内の英数字で設定できます。
- プリンタ名に（＝ : * @ ˜ ≈）などの記号は使用しないでください。

EtherTalk ゾーンを変更したい（C530dn のみ）

複数の論理ゾーンで区切られている EtherTalk で、プリンタを現在のゾーンから他のゾーンに変更できます。

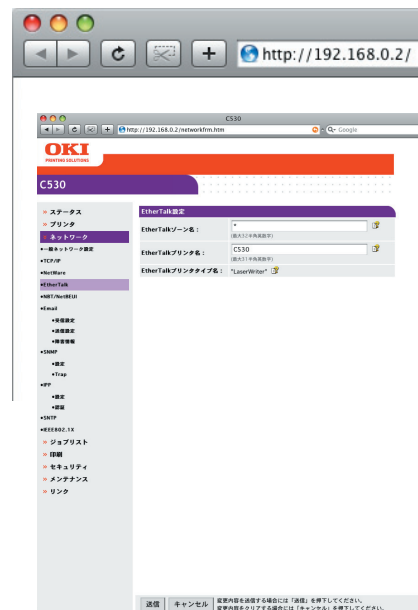
選択できるゾーンは同一セグメント内です。

MicrolinePS Utility（Macintosh）を使う場合

- EtherTalk でネットワークに接続している場合に利用できます。
- Mac OS X では利用できません。

❶ [MicrolinePS] - [MicrolinePS Utility] - [MicrolinePS Utility] をダブルクリックします。

❷ メインダイアログから［プリンタ名 / ゾーンの変更］を選択します。

❸ 変更したいゾーン名を選び、［保存］をクリックします。

Web ブラウザを使う場合

TCP/IP でネットワークに接続している場合に利用できます。

❶ Web ブラウザを起動し、［アドレス］にプリンタの IP アドレスを入力し、Enter キーを押します。

「プリンタステータス」画面が表示されます。

❷ ［管理者のログイン］をクリックします。

❸ ［ユーザ名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❹ ［ネットワーク］タブの［EtherTalk］をクリックします。

❺ ［EtherTalk ゾーン名］に新しい名前を入力し、［送信］をクリックします。

IEEE802.1X を使います（C530dn のみ）

IEEE802.1X による認証機能に対応しています。
Web ブラウザ、TELNET で設定できます。

お使いのネットワーク環境によっては正常に動作しないことがあります。

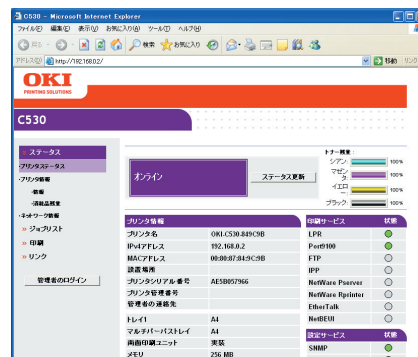
IEEE802.1X セットアップの流れ

プリンタに IEEE802.1X の設定を行うために、まず、プリンタとコンピュータとを通常のハブを経由してセットアップ用の接続をします。IEEE802.1X の設定完了後、認証スイッチにプリンタを接続します。

1. プリンタとコンピュータとを接続します。
2. コンピュータにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
3. プリンタにセットアップ用の IP アドレスを設定します。
   プリンタとコンピュータとの接続およびプリンタとコンピュータ（Windows）の IP アドレス設定方法については、セットアップと使いかた編「ケーブルを接続します」から「セットアップします（3 プリンタに IP アドレス等を設定します。）」までをご覧ください。
4. プリンタに IEEE802.1X の設定をします。
5. プリンタを認証スイッチに接続します。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	：C530dn
IP アドレス	：192.168.0.3（コンピュータのセットアップ用アドレス）
	192.168.0.2（プリンタのセットアップ用アドレス）
サブネットマスク	：255.255.255.0
Web ブラウザ	：Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

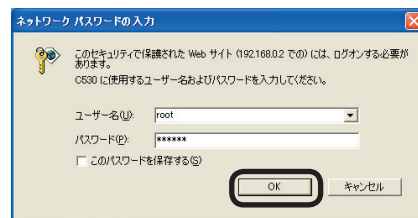
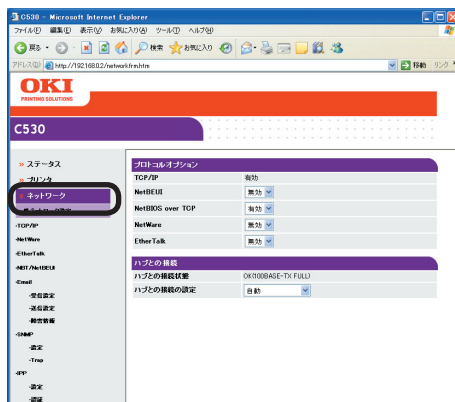
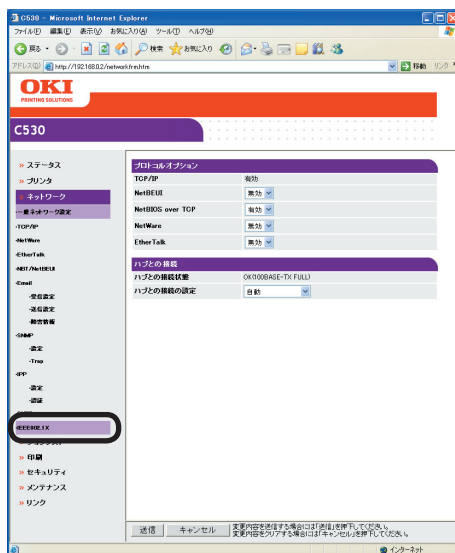
IEEE802.1X の設定をします

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

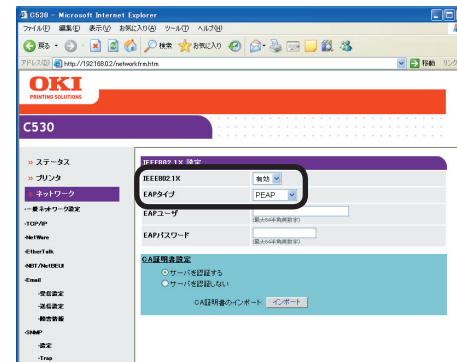
❸［管理者のログイン］をクリックします。

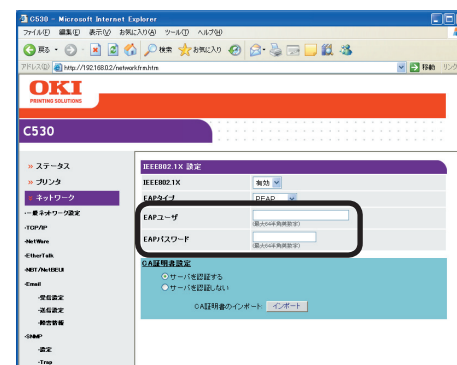
❹［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に「現在のパスワード」を入力し、［OK］をクリックします。

パスワードの初期値は「操作パネルの管理者用メニューのパスワード」と同じ「aaaaaa」です。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［IEEE802.1X］メニューをクリックします。

PEAP を使用する場合

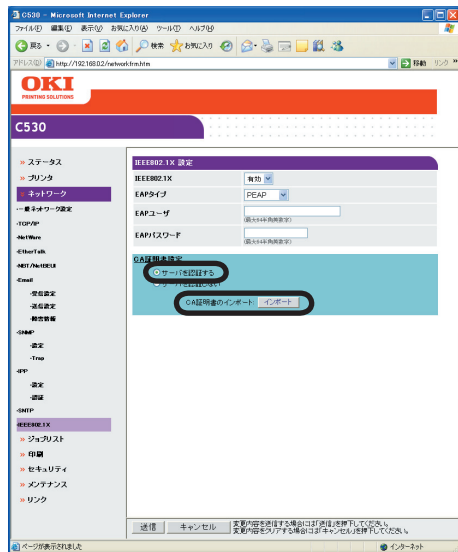
メモ EAP-TLS を使用する場合は、363 ページへ進んでください。

❼［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

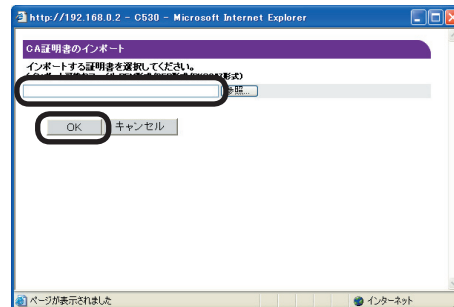
❽［EAP タイプ］で［PEAP］を選択します。

❾［EAP ユーザ］にユーザ名を入力します。

❿［EAP パスワード］にパスワードを入力します。

⓫［サーバを認証する］をチェックします。

⓬［CA 証明書のインポート］の［インポート］をクリックします。

［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

⓭ CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

・インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
・インポートできるファイル形式は PEM、DER、PKCS#7 形式です。

CA 証明書がプリンタにインポートされます。

⓮［送信］をクリックします。

⓯ プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに［C M Y K］または［オンライン］が表示されたら、プリンタの電源を切ります。

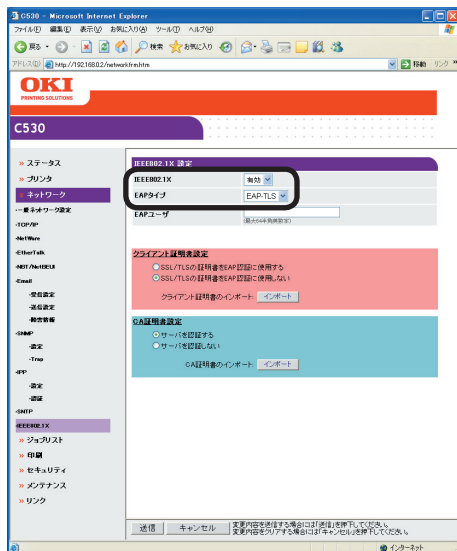
プリンタの電源の切り方はユーザーズマニュアル（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

「プリンタを認証スイッチに接続します」（365 ページ）に進みます。

7
IEEE802.1X を使います（C530dn のみ）

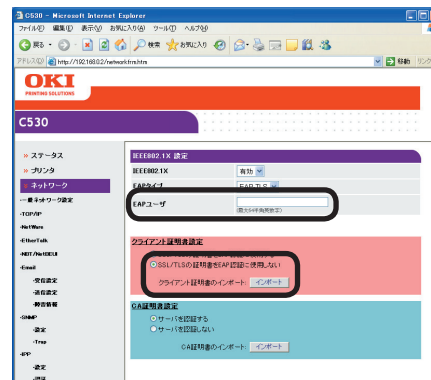
EAP-TLS を使用する場合

⑯［IEEE802.1X］で［有効］を選択します。

⑰［EAP タイプ］で［EAP-TLS］を選択します。

⑱［EAP ユーザ］にユーザ名を入力します。

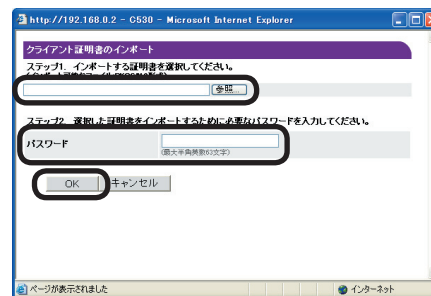
⑲［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用しない］をチェックします。

メモ　通常は［SSL/TLS の証明書を EAP 認証に使用する］にチェックしないでください。

⑳［クライアント証明書のインポート］をクリックします。

「クライアント証明書のインポート」画面が表示されます。

㉑ クライアント証明書のファイル名を入力します。

メモ　インポートできる証明書ファイルの形式は PKCS#12 です。

㉒ クライアント証明書のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

クライアント証明書がプリンタにインポートされます。

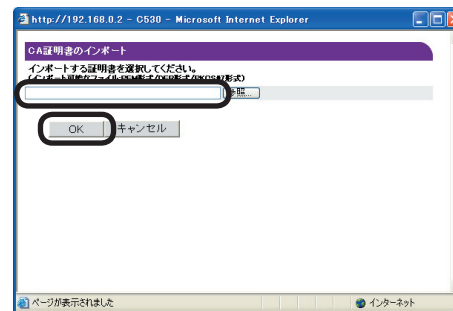
㉓［サーバを認証する］をチェックします。

㉔［CA 証明書のインポート］の［インポート］をクリックします。

［サーバを認証しない］をチェックした場合は、CA 証明書のインポートは必要ありません。
［サーバを認証しない］をチェックした場合、正しい認証サーバに接続されたかどうかをチェックしなくなります。

「CA 証明書のインポート」画面が表示されます。

㉕ CA 証明書のファイル名を入力し、［OK］をクリックします。

- インポートする CA 証明書は、RADIUS サーバのサーバ証明書の発行元認証局の証明書です。
- インポートできるファイル形式は PEM、DER、PKCS#7 形式です。

CA 証明書がプリンタにインポートされます。

㉖［送信］をクリックします。

㉗プリンタに設定値が保存され、ネットワーク機能が再起動します。

操作パネルに［C M Y K］または［オンライン］と表示されたら、プリンタの電源を切ります。

注 プリンタの電源の切り方はユーザーズマニュアル（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

「プリンタを認証スイッチに接続します」に進みます。

プリンタを認証スイッチに接続します

メモ プリンタの電源が切れていることを確認してください。

❶ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ イーサネットケーブルを認証スイッチの認証ポートに差し込みます。

❸ プリンタの電源を ON します。

❹ 操作パネルに［オンライン］と表示したことを確認します。

❺ プリンタの IP アドレス等をお使いの環境に従って設定します。

8 UNIX、Linux で使用する場合（C530dn のみ）

LPD プロトコルを利用します

TCP/IP の LPD プロトコル (lpr, lp コマンド) を使用して印刷する方法を説明します。
lpr, lp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

LPD について

LPD(Line Printer Daemon)はネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本プリンタには 3 つの論理プリンタがあります。

論理プリンタ	機　能
lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
euc	euc 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　: C530dn
IP アドレス　 : 192.168.0.2
MAC アドレス : 00:80:87:84:9C:9B

UNIX を設定し印刷します

Sun Solaris2.6 および 8 の場合

- スーパーユーザの権限が必要です。
- OpenWindows 上より Admintool を使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.x はシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIX に管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# lpadmin -p ML_lp -m netstandard -o protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /dev/
null
```

- 「：」に続く「lp」が論理プリンタになります。
- 印刷するファイル形式によりプリンタタイプやファイル内容形式を設定する必要があります。詳細は OS 付属のマニュアルをご覧ください。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❽ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.X および 10.X の場合

- スーパーユーザの権限が必要です。
- HP-UX9.03 を例にしています。

❶ UNIX に管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hosts ファイルにプリンタの IP アドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ 使用している HP-UX マシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rlpdaemon rlpdaemon -i
```

③ inetd を再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel -ormML -orplp -ocmrcmodel
-osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

注 「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

FTP プロトコルを利用します

TCP/IP の FTP プロトコル（ftp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。ftp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

FTP について

FTP(File Transfer Protocol)はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本プリンタには 3 つの論理ディレクトリがあります。

論理プリンタ	機　能
/lp	PostScript または PCL 形式のファイルを印刷する場合
/sjis	シフト JIS 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合
/euc	euc 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　: C530dn
IP アドレス　 : 192.168.0.2
MAC アドレス : 00:80:87:84:9C:9B

印刷します

❶ プリンタにログインします。

「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は「Password」が必要となります。初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。

```
#ftp 192.168.0.2
Connected to 192.168.0.2
220 EthernetBoard OkiLAN 8450e Ver 01.00 FTP Server.
User (192.168.0.2:none):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
Remote system type is FTP.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには､ファイルの内容をそのまま出力する「BINARY モード」と、LF コードを CR+LF コードに変換する「ASCII モード」の 2 種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は､「BINARY モード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例 1）印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例 2）印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

quote コマンドの「stat」を使って、クライアントの IP アドレス、ログインユーザ名、転送モードの 3 つの状態を確認することができます。また、stat の後に論理ディレクトリ（lp, sjis, euc）を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,3,5,112
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

9 困ったときには

故障かな？と思ったとき

電源を ON にしても［C M Y K］または［オンライン］にならない。		
電源コードが抜けています。	☞	電源を OFF にしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞	コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。		
プリンタがスリープモードになっています。	☞	節電スイッチを押して、スリープモードより復帰させてください。スリープモードが不便な場合はプリンタのメニュー設定でスリープ機能を「ムコウ」にしてください。
エラーが表示されています。	☞	プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は、セットアップと使いかた編「エラーメッセージを表示しているとき」をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞	プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	☞	プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを「ユウコウ」にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	☞	プリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定してください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

印刷処理が中断する。		
プリンタケーブルが断線しています。	☞	プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞	タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞	イメージドラムユニットを外し、プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞	トップカバーの左右を押して閉じてください。

共振音がする。		
プリンタ内部の温度が上昇している状態で、幅狭用紙や厚紙などに印刷をしています。	☞	プリンタの故障ではありません。そのままお使いください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。		
スリープモードあるいは省電力モード時にウォーミングアップを行っています。	☞	プリンタの［メンテナンス　メニュー］で、［パワーセーブ　キノウ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。
イメージドラムユニットのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞	印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞	しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞	印刷処理が中断するまでお待ちください。

印刷の途中で印刷が止まる。		
連続印刷などで定着器の温度が上昇したため、間欠印刷※により温度を調整しています。	☞	適切な温度になると自動的に通常の印刷に戻りますので、電源を切らずにそのままお待ちください。
長時間の連続印刷などでプリンタの内部温度が上昇したため、間欠印刷や印刷一時停止により温度調整をしています。	☞	適切な温度になると自動的に通常の印刷に戻りますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

※ 間欠印刷とは、一定の間隔をおいて印刷することです。

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。		
プリンタが傾いています。	☞	安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な湿度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞	プリンタに適した用紙を使用してください。 反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞	一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。マルチパーパストレイから印刷してください。
用紙がそろっていません。	☞	用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を 1 枚だけセットしています。	☞	用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞	用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞	正しくセットしてください。
連量 190 〜 215kg の用紙、はがき、封筒、ラベル紙を用紙カセットにセットしています。	☞	連量 190 〜 215kg の用紙、はがき、封筒、ラベル紙は用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。詳しくはセットアップと使いかた編をご覧ください。

用紙が送られない。		
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞	用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバで手差しの指定をしています。	☞	マルチパーパストレイに用紙をセットして、「オンライン」スイッチを押してください。または「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］のチェックを外してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。		
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞	トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。		
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を 1 つ薄い紙の値にしてください。

定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。
薄い紙を使用しています。	☞	より厚手の用紙を使用してください。
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞	用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。

原因	対処
LED ヘッドが汚れています。	☞ LED ヘッドを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
異物がつまっています。	☞ イメージドラムユニットを交換してください。
イメージドラムユニットの遮光フィルムが汚れています。	☞ 柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

縦方向にかすれる。

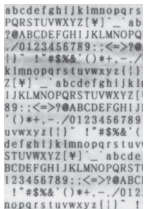
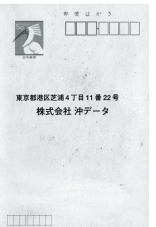
原因	対処
LED ヘッドが汚れています。	☞ LED ヘッドを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。

印刷が薄い

原因	対処
トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞ トナーカートリッジを取り付け直してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
用紙が湿気を含んでいます。	☞ 適切な湿度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。
用紙がプリンタに適していません。用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を 1 つ厚い紙の値にしてください。
再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を 1 つ厚い紙の値にしてください。

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。

原因	対処
用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
［セッティング］の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［フツウシ クロ　セッティング］または［フツウシ　カラー　セッティング］の値を変更してみてください。

縦方向にスジが入る。

原因	対処
イメージドラムユニットに傷がついています。	☞ イメージドラムユニットを交換してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。

原因	対処
約 94mm 周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	☞ 柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムユニットを交換してください。
約 30mm 周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞ トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
約 90mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	☞ 定着器ユニットを交換してください。
イメージドラムユニットが光にさらされました。	☞ イメージドラムユニットをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムユニットを交換してください。

白地の部分が薄く汚れる。		
用紙が静電気を帯びています。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
厚い用紙を使用しています。	☞	より薄手の用紙を使用してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。		
LED ヘッドが汚れています。	☞	LED ヘッドを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。

はがき、封筒またはコート紙を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。		
はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞	プリンタの故障ではありません。
コート紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞	コート紙はなるべく使用しないでください。

擦るとトナーがとれる。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で[メディアウェイト][メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウェイト] を 1 つ厚い紙の値にしてください。
再生紙を使用しています。	☞	プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を 1 つ厚い紙の値にしてください。

光沢にムラが出る。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	プリンタのメニュー設定で[メディアウェイト][メディアタイプ]を適切な値にしてください。または、[メディアウェイト] を 1 つ厚い紙の値にしてください。

思った色合いで印刷されない。		
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
［黒の生成］の設定がアプリケーションに合っていません。	☞	プリンタドライバの［黒の生成］で［CMYK トナーで生成］または、［黒トナーのみで生成］を選択してみてください。詳しくは「黒の部分の仕上りを変更したい」（221 ページ）をご覧ください。
カラー調整を変更しています。	☞	プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは「簡単にカラーマッチングする（オフィスカラー）」（175 ページ）をご覧ください。
カラーバランスがとれていません。	☞	プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
色ずれが起こっています。	☞	トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは「色ずれ補正調整をします」（セットアップと使いかた編）をご覧ください。

CMY 各色 100%のベタが薄い		
［カラー　メニュー］-［CMY100%　ノウド］-［ユウコウ］になっています。	☞	［CMY100%　ノウド］-［ムコウ］にしてください。

Windows から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

印刷できない		
プリンタがスリープモードになっています。	☞	◯ 節電スイッチを押して、スリープモードより復帰させてください。スリープモードが不便な場合はプリンタのメニュー設定でスリープ機能を「ムコウ」にしてください。
プリンタの電源が OFF になっています。	☞	プリンタの電源を ON にしてください。（セットアップと使いかた編）
［オフライン］になっています。	☞	◯ オンラインスイッチを押してオンライン状態にしてください。
プリンタケーブルが外れています。	☞	プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞	予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブル、USB ハブを使用しています。	☞	プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞	プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞	処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞	［通常使うプリンタ］にしてください。
USB で動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞	他のプリンタドライバを削除してみてください。
LCD 表示が「オンライン SW ヲ オシテクダサイ / ムコウ　データ　マタハ　タイムアウト」と表示され印刷しません。	☞	プリンタのメニュー設定で「タイムアウト　インサツ」の設定値を長くしてみてください。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞	プリントジョブアカウンティング（オプション）を使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになってる可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

印刷できない		
USB 接続でプリンタアイコンが［オフライン］になっています。	☞	プリンタアイコンを右クリックして［プリンタをオフラインにする］のチェックを外してください。

メモリ不足になる。		
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞	使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。		
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞	処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷オプション］の［高精細］を選択しています。	☞	プリンタドライバの［印刷オプション］で［きれい］または［ふつう］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞	印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。		
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞	「ネットワーク経由で印刷できない」（380 ページ）をご覧ください。

Macintosh から印刷できない

アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

印刷できない。	
プリンタがスリープモードになっています。（ネットワーク接続で EtherTalk/Bonjour をご使用の場合）	☞ ◯節電スイッチを押して、スリープモードより復帰させてください。EtherTalk/Bonjour でご使用の場合で、スリープモードが不便な場合はプリンタのメニュー設定でスリープ機能を「ムコウ」としてください。（IP プリントをご使用になりますと、スリープモードから復帰して印刷します。）

メモリエラーになる。	
デスクトップ・プリントモニタのメモリサイズが不足しています。	☞ メモリサイズを大きくしてください。

印刷が遅い。	
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞ 処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷オプション］の［きれい］または［高精細］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷品位］で［ふつう］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。

ネットワーク接続でセットアップできない。印刷できない。	
セットアップ、印刷方法などに問題があります。	☞ セットアップと使いかた編の「印刷できないときには」をご覧ください。

PS プリンタドライバで印刷すると、文字の種類が画面と印刷結果で異なる。	
書類中にシステムに存在しないフォントを使用しています。	☞ 書類中で使用しているフォントをシステムにインストールしてください。または、書類中で使用しているフォントをシステムに存在しているものに変更してください。

多くの書体を使用した文書を印刷すると、PostScript エラーになる。	
MacOS の制限です。	☞ ［用紙設定］-［PostScript オプション］で［ダウンロード可能フォントの制限なし］にチェックをつけてください。

プリンタドライバの表示がおかしい。	
プリンタドライバが正しく動作していない可能性があります。	☞ プリンタドライバを一旦削除した後、再インストールを行ってください。（セットアップと使いかた編）

Mac OS X 10.6 でプリンタドライバの機能が一部使用できない。	
64 ビットアプリケーションには対応していません。	☞ 64 ビットアプリケーションから印刷する場合、アプリケーションの［情報を見る］（または［詳しい情報］）-［一般情報］内の［32 ビットモードで開く］をチェックしてアプリケーションを起動してください。

ネットワーク経由で印刷できない

UNIX（C530dn のみ）

- 「etc/hosts ファイル」にプリンタの［IP アドレス］と［ホスト名］が登録されているか確認します。
- lp プロトコルを利用する場合は、「etc/printcap ファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名（例：rp=lp）が登録されているか確認します。論理プリンタ名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。
- ftp プロトコルを利用する場合は、出力先（イーサネットボードの論理ディレクトリ名）が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

NetWare（C530dn のみ）

◆プリントサーバモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- Web ページの「ステータス -> ネットワーク詳細情報 ->NetWare」の「File Server#」が、利用している「ファイルサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）（306 ページ）の「Printer Name」が、ファイルサーバの「プリンタ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）（306 ページ）の「Print Server Name」がファイルサーバの「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- プリンタが複数存在する場合は「Printer Name」が同じにならないようにします。

◆リモートプリンタモードを利用する場合

- ファイルサーバ上にプリントサーバが起動しているか確認します。
- Web ページの「ステータス -> ネットワーク詳細情報 ->NetWare」の「Print Server#」がファイルサーバ上の「プリントサーバ名」と同じか確認します。
- ネットワークの設定情報（Network Information）（306 ページ）の「Printer Name」がファイルサーバのプリントサーバモニタに表示されている「プリンタ名」と一致しているか確認します。

ユーティリティ

- NIC 設定ツール（Windows）でプリンタを検出できるか確認します。
- NIC 設定ツール（Macintosh）でプリンタを検出できるか確認します。
- Web ブラウザでプリンタに接続できるか確認します。（48 , 68 ページ）
- TELNET でプリンタに接続できるか確認します。
- ping でプリンタを検出できるか確認します。Windows のコマンドプロンプト（MS-DOS プロンプト）で「ping xxx.xxx.xxx.xxx」（xxx.xxx.xxx.xxx はプリンタの IP アドレス）と入力し、Enter キーを押します。

Windows に関する制限事項

Windows 7/ Windows Vista/ Windows Server 2008 に関する制限事項

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ	ヘルプが表示されない。	PS プリンタドライバは、ヘルプの表示には対応しておりません。
	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、［続行］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
Network Extension	ヘルプが表示されない。	ヘルプの表示には対応しておりません。
	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリテーィの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、［続行］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
カラー調整ユーティリティ	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、［続行］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。
色見本印刷ユーティリティ	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、［続行］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。
PS ハーフトーン調整ユーティリティ	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、［続行］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。

Windows XP Service Pack2/ Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2/Windows Server 2003 Service Pack1 セキュリティ強化機能搭載では、Windows ファイアウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で［Windows ファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ は問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタ」-「プリンタの追加 / 削除」で、プリンタ名（任意）と IP アドレスを 入力し、OK ボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
Print Job Accounting Lite	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	Windows XP Service Pack1 以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、Windows XP Service Pack2 にアップデートを行うと、左記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、［参照］をクリックします。 以下のファイルを選択し、[OK] ボタンをクリックします。 "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥javaw.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥javaw.exe
	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorer を使用している場合、ポップアップウインドウがブロックされることがあります。 以下のことを確認してください。 Internet Explorer を起動し、［ツール］-［インターネットオプション ...］-［プライバシー］を開き、［ポップアップ ブロック］の［設定］ボタンをクリックします。 ［許可する Web サイトのアドレス］に PrintSuperVision の URL を入力し、［追加］ボタンをクリックします。

項　　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の4 桁目を *（例: 192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	[Windows ファイアウォール] - [例外] - [ポートの追加] を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し、[管理ツール] - [コンポーネント サービス] で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は、[すべてのプログラム] - [沖データ] - [Web Driver Installer] - [お読みください] をご覧ください。

※詳細は沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）の最新対応情報をご覧ください。

付　録

仕様

USB インタフェース仕様

基本仕様

USB（Hi-Speed USB をサポート）

コネクタ

B レセプタクル (メス) アップストリームポート

ケーブル

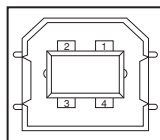
5m 以下の USB2.0 仕様のケーブル（2m 以下を推奨）
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

フルスピード (最大 12Mbps ± 0.25%)
ハイスピード (最大 480Mbps ± 0.05%)

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　　能
1	Vbus	電源（+5V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド
Shell	Shield	

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

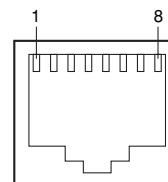
ネットワークプロトコル
TCP/IP 関連
NetWare 関連（C530dn のみ）
EtherTalk 関連（C530dn のみ）
NetBEUI 関連（C530dn のみ）

コネクタ

100 BASE-TX ／ 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピン No.	信号名	方　向	機　　能
1	TxD+	FROM PRINTER	送信データ +
2	TxD-	FROM PRINTER	送信データ -
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ +
4	—	—	使用していません。
5	—	—	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ -
7	—	—	使用していません。
8	—	—	使用していません。

フォントサンプル（C530dn のみ（PostScript3 エミュレーションモード））

日本語 2 書体

Macintosh、Mac OS X では使用できません。

平成角ゴシック体™W5
株式会社　沖データ

平成明朝体™W3
株式会社　沖データ

欧文 80 書体

- OS によって使用できる書体に制限があります。
- Mac OS X では使用できません。

Albertus-ExtraBold
Albertus-Medium
AntiqueOlive
AntiqueOlive-Bold
AntiqueOlive-Italic
Arial
Arial-Bold
Arial-BoldItalic
Arial-Italic
AvantGarde-Book
AvantGarde-BookOblique
AvantGarde-Demi
AvantGarde-DemiOblique
Bookman-Demi
Bookman-DemiItalic
Bookman-Light
Bookman-LightItalic
CGOmega
CGOmega-Bold
CGOmega-BoldItalic
CGOmega-Italic
CGTimes
CGTimes-Bold
CGTimes-BoldItalic
CGTimes-Italic
Clarendon-Condensed-Bold
Coronet
Courier
Courier-Bold
Courier-BoldOblique
Courier-Oblique
CourierHP
CourierHP-Bold
CourierHP-BoldItalic
CourierHP-Italic
Garamond-Antiqua
Garamond-Halbfett
Garamond-Kursiv
Garamond-KursivHalbfett
Helvetica
Helvetica-Bold
Helvetica-BoldOblique
Helvetica-Narrow
Helvetica-Narrow-Bold
Helvetica-Narrow-BoldOblique
Helvetica-Narrow-Oblique
Helvetica-Oblique
LetterGothic
LetterGothic-Bold
LetterGothic-Italic
Marigold
NewCenturySchlbk-Bold
NewCenturySchlbk-BoldItalic
NewCenturySchlbk-Italic
NewCenturySchlbk-Roman
Palatino-Bold
Palatino-BoldItalic
Palatino-Italic
Palatino-Roman
Symbol αβχ
SymbolMT αβχ
Times-Bold
Times-BoldItalic
Times-Italic
Times-Roman
TimesNewRoman
TimesNewRoman-Bold
TimesNewRoman-BoldItalic
TimesNewRoman-Italic
Univers-Bold
Univers-BoldItalic
Univers-Condensed-Bold
Univers-Condensed-BoldItalic
Univers-Condensed-Medium
Univers-Condensed-MediumItalic
Univers-Medium
Univers-MediumItalic
Wingdings-Regular ♋♌♍
ZapfChancery-MediumItalic
ZapfDingbats ❁❂❃

フォントサンプル（C530dn のみ（PCL エミュレーションモード））

- Macintosh 環境では使用できません。
- Windows XPS プリンタドライバでは利用できません。

日本語 4 書体

平成明朝
株式会社　沖データ

平成角ゴシック
株式会社　沖データ

P平成明朝
株式会社　沖データ

P平成角ゴシック
株式会社　沖データ

欧文 91 書体

- OCR-A、OCR-B、USPS POSTNET Bar Codes、Line Printer は Windows 環境では使用できません。
- ビットマップフォントと USPS POSTNET Bar Codes は、固定サイズです。

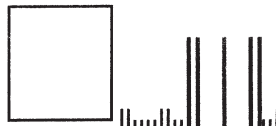
Scalable Font（87 書体）

No.	
000	Courier
001	Courier Bold
002	Courier Italic
003	Courier Bold Italic
004	CG Times
005	CG Times Bold
006	CG Times Italic
007	CG Times Bold Italic
008	CG Omega
009	CG Omega Bold
010	CG Omega Italic
011	CG Omega Bold Italic
012	Coronet
013	Clarendon Condensed
014	Univers Medium
015	Univers Bold
016	Univers Medium Italic
017	Univers Bold Italic
018	Univers Medium Condensed
019	Univers Bold Condensed
020	Univers Medium Condensed Italic
021	Univers Bold Condensed Italic
022	Antique Olive
023	Antique Olive Bold
024	Antique Olive Italic
025	Garamond Antiqua
026	Garamond Halbfett
027	Garamond Kursiv
028	Garamond Kursiv Halbfett
029	Marigold
030	Albertus Medium
031	Albertus Extra Bold
032	Letter Gothic
033	Letter Gothic Bold
034	Letter Gothic Italic
035	Arial
036	Arial Bold
037	Arial Italic
038	Arial Bold Italic
039	Times New
040	Times New Bold
041	Times New Italic
042	Times New Bold Italic
043	ITC Avant Garde Gothic Book
044	ITC Avant Garde Gothic Demi
045	ITC Avant Garde Gothic Book Oblique
046	ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique
047	ITC Bookman Light
048	ITC Bookman Demi
049	ITC Bookman Light Italic
050	ITC Bookman Demi Italic
051	CourierPS
052	CourierPS Bold
053	CourierPS Oblique
054	CourierPS Bold Oblique
055	Helvetica
056	Helvetica Bold
057	Helvetica Oblique
058	Helvetica Bold Oblique
059	Helvetica Narrow
060	Helvetica Narrow Bold
061	Helvetica Narrow Oblique
062	Helvetica Narrow Bold Oblique
063	New Century Schoolbook Roman
064	New Century Schoolbook Bold
065	New Century Schoolbook Italic
066	New Century Schoolbook Bold Italic
067	Palatino Roman
068	Palatino Bold
069	Palatino Italic
070	Palatino Bold Italic
071	Times Roman
072	Times Bold
073	Times Italic
074	Times Bold Italic
075	ITC Zapf Chancery Medium Italic
076	Symbol
077	SymbolPS
078	Wingdings
079	ITC Zapf Dingbats
080	Koufi
081	Koufi Bold
082	Naskh
083	Naskh Bold
084	Ryadh
085	Ryadh Bold
086	OKI-OCRB

ビットマップ フォント（3 書体）

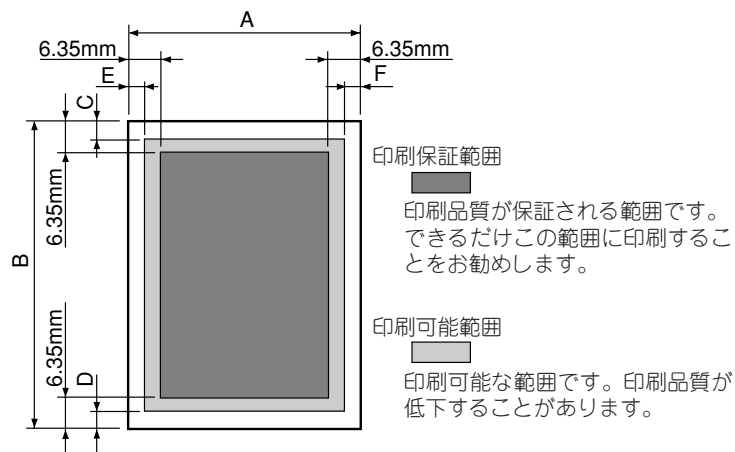
No.	
087	Line Printer ABCDEfghij12345
088	OCR-A ABCDEfghij12345
089	OCR-B ABCDEfghij12345

USPS POSTNET Bar Codes

No.	
090	USPS POSTNET Bar Codes

印刷範囲と印刷精度

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。

実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- 印刷精度は、書き出し位置 ± 2mm、用紙の斜行 ± 1mm/100mm、画像伸縮 ± 1mm/100mm（連量 70kg の場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は± 2.5mm です。

単位 : mm

用紙サイズ	幅	長さ	PS プリンタドライバ				PCL プリンタドライバ Hiper-C プリンタドライバ			
	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F	C	D	E	F
A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13 インチ）	215.9	330.2	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5 インチ）	215.9	342.9	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14 インチ）	215.9	355.6	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	64 ～ 216	127 ～ 1,321	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（長形 3 号）	120	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（長形 4 号）	90	205	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒（洋形 4 号）	105	235	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒 A4	210	297	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
4 × 6in	101.6	152.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
5 × 7in	127	177.8	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
16K	184	260	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
16K	195	270	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
16K	197	273	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23
インデックスカード	76.2	127	4.59	4.59	4.59	4.59	4.23	4.23	4.23	4.23

文字コード表（C530dn のみ（PostScript3 エミュレーションモード））

- ***-83pv-RKSJ-H は、主に Macintosh で使用します。(*** はフォント名)
  -90ms-RKSJ-H、-RKSJ-H および ***-Ext-RKSJ-H は、主に Windows で使用します。(*** はフォント名)
- プリンタの文字コード表にない文字は、出力できなかったり、文字化けするなど、思わぬ結果になることがあります。
- アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションソフトは独自の文字コード表を使用することがあります。
- 漢字コード表は「ソフトウェア CD-ROM」の以下のフォルダに PDF ファイルで入っています。
  ［Windows］...........［OKI］-［MISC］-［KanjiCode］フォルダ
  ［Macintosh］.........［OKI］-［漢字コード表］フォルダ
- 各 PDF ファイルが示すプリンタのフォントは以下のとおりです。

ファイル名（Windows）	ファイル名（Macintosh）	プリンタフォント名
HG-83pv.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-83pv-RKSJ-H
HG-90ms.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-90ms-RKSJ-H
HGExRKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-Ext-RKSJ-H
HG-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ.pdf	HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
HM-83pv.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-83pv-RKSJ-H
HM-90ms.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-90ms-RKSJ-H
HMExRKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-Ext-RKSJ-H
HM-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ.pdf	HeiseiMin-W3-RKSJ-H

欧文標準

Low code（横）／High code（縦）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
6	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
8																
9																
A		¡	¢	£	⁄	¥	ƒ	§	¤	'	“	«	‹	›	ﬁ	ﬂ
B		–	†	‡	·		¶	•	‚	„	”	»	…	‰		¿
C		`	´	ˆ	˜	¯	˘	˙	¨		˚	¸		˝	˛	ˇ
D	—															
E		Æ		ª					Ł	Ø	Œ	º				
F		æ				ı			ł	ø	œ	ß				

Symbol

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		!	∀	#	∃	%	&	∋	(	)	∗	+	,	−	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	≅	Α	Β	Χ	Δ	Ε	Φ	Γ	Η	Ι	ϑ	Κ	Λ	Μ	Ν	Ο
5	Π	Θ	Ρ	Σ	Τ	Υ	ς	Ω	Ξ	Ψ	Ζ	[	∴	]	⊥	_
6	‾	α	β	χ	δ	ε	φ	γ	η	ι	ϕ	κ	λ	μ	ν	ο
7	π	θ	ρ	σ	τ	υ	ϖ	ω	ξ	ψ	ζ	{	|	}	∼	
8																
9																
A	€	ϒ	′	≤	⁄	∞	ƒ	♣	♦	♥	♠	↔	←	↑	→	↓
B	°	±	″	≥	×	∝	∂	•	÷	≠	≡	≈	…	⏐	⎯	↵
C	ℵ	ℑ	ℜ	℘	⊗	⊕	∅	∩	∪	⊃	⊇	⊄	⊂	⊆	∈	∉
D	∠	∇	®	©	™	∏	√	⋅	¬	∧	∨	⇔	⇐	⇑	⇒	⇓
E	◊	〈	®	©	™	∑	⎛	⎜	⎝	⎡	⎢	⎣	⎧	⎨	⎩	⎪
F		〉	∫	⌠	⎮	⌡	⎞	⎟	⎠	⎤	⎥	⎦	⎫	⎬	⎭	

Wingdings-Regular

Low code (columns) / High code (rows)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		🖉	✂	✁	👓	🕭	🕮	🕯	🕿	✆	🖂	🖃	📪	📫	📬	📭
3	📁	📂	📄	🗏	🗐	🗄	⌛	🖮	🖰	🖲	🖳	🖴	🖫	🖬	✇	✍
4	🖎	✌	👌	👍	👎	☜	☞	☝	☟	✋	☺	😐	☹	💣	☠	🏳
5	🏱	✈	☼	💧	❄	🕆	✞	🕈	✠	✡	☪	☯	ॐ	☸	♈	♉
6	♊	♋	♌	♍	♎	♏	♐	♑	♒	♓	🙰	🙵	●	🔾	■	□
7	🞐	❑	❒	⬧	⧫	◆	❖	⬥	⌧	⮹	⌘	🏵	🏶	🙶	🙷	
8	⓪	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⓿	❶	❷	❸	❹
9	❺	❻	❼	❽	❾	❿	🙢	🙠	🙡	🙣	🙞	🙜	🙝	🙟	·	•
A	·	⚪	🞆	🞈	◉	◎	🔿	▪	◻	🟂	✦	★	✶	✴	✹	✵
B	⯐	⌖	⟡	⌑	⯑	✪	✰	🕐	🕑	🕒	🕓	🕔	🕕	🕖	🕗	🕘
C	🕙	🕚	🕛	⮰	⮱	⮲	⮳	⮴	⮵	⮶	⮷	🙪	🙫	🙕	🙔	🙗
D	🙖	🙐	🙑	🙒	🙓	⌫	⌦	⮘	⮚	⮙	⮛	⮈	⮊	⮉	⮋	🡨
E	🡪	🡩	🡫	🡬	🡭	🡯	🡮	🡸	🡺	🡹	🡻	🡼	🡽	🡿	🡾	⇦
F	⇨	⇧	⇩	⬄	⇳	⬁	⬀	⬃	⬂	▫	▫	🗶	✓	🗷	🗹	⊞

ZapfDingbats

Low code

High code	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0																
1																
2		✁	✂	✃	✄	☎	✆	✇	✈	✉	☛	☞	✌	✍	✎	✏
3	✐	✑	✒	✓	✔	✕	✖	✗	✘	✙	✚	✛	✜	✝	✞	✟
4	✠	✡	✢	✣	✤	✥	✦	✧	★	✩	✪	✫	✬	✭	✮	✯
5	✰	✱	✲	✳	✴	✵	✶	✷	✸	✹	✺	✻	✼	✽	✾	✿
6	❀	❁	❂	❃	❄	❅	❆	❇	❈	❉	❊	❋	●	❍	■	❏
7	❐	❑	❒	▲	▼	◆	❖	◗	❘	❙	❚	❛	❜	❝	❞	
8	❨	❩	❪	❫	❬	❭	❮	❯	❰	❱	❲	❳	❴	❵		
9																
A		❡	❢	❣	❤	❥	❦	❧	♣	♦	♥	♠	①	②	③	④
B	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	❶	❷	❸	❹	❺	❻	❼	❽	❾	❿
C	➀	➁	➂	➃	➄	➅	➆	➇	➈	➉	➊	➋	➌	➍	➎	➏
D	➐	➑	➒	➓	➔	→	↔	↕	➘	➙	➚	➛	➜	➝	➞	➟
E	➠	➡	➢	➣	➤	➥	➦	➧	➨	➩	➪	➫	➬	➭	➮	➯
F		➱	➲	➳	➴	➵	➶	➷	➸	➹	➺	➻	➼	➽	➾	

文字コード表（C530dn のみ（PCL エミュレーションモード））

アプリケーションソフトを使用して印刷する場合、アプリケーションは独自の文字コード表を使用することがあります。

シンボルセット

PC-8	VN Int'l	Greek-437	ISO-11 Swe
PC-8 Dan/Nor	VN Math	Greek-437 Cy	ISO-14 JASC
PC-8 Grk	VN US	Greek-737	ISO-15 Ita
PC-8 TK	Win 3.0	Greek-8	ISO-16 Por
PC-775	Win 3.1 Arb	Greek-928	ISO-17 Spa
PC-850	Win 3.1 L/G	Hebrew NC	ISO-21 Ger
PC-851 Grk	Win 3.1 Blt	Hebrew OC	ISO-25 Fre
PC-852	Win 3.1 Cyr	Hebrew-7	ISO-57 Chi
PC-855	Win 3.1 Grk	Hebrew-8	ISO-60 Nor
PC-857 TK	Win 3.1 Heb	IBM-437	ISO-61 Nor
PC-858	Win 3.1 L1	IBM-850	ISO-69 Fre
PC-862 Heb	Win 3.1 L2	IBM-860	ISO-84 Por
PC-864 L/A	Win 3.1 L5	IBM-863	ISO-85 Spa
PC-866	Wingdings	IBM-865	ISO-Cyr
PC-866 Ukr	Dingbats MS	ISO Dutch	ISO-Grk
PC-869	Symbol	ISO L1	ISO-Hebrew
PC-1004	OCR-A	ISO L2	Kamenicky
Pi Font	OCR-B	ISO L4	Legal
Plska Mazvia	OKI-OCRB	ISO L5	Math-8
PS Math	HP ZIP	ISO L6	MC Text
PS Text	USPSFIM	ISO L9	MS Publish
Roman-8	USPSSTP	ISO Swedish1	PC Ext D/N
Roman-9	USPSZIP	ISO Swedish2	PC Ext US
Roman Ext	Arabic-8	ISO Swedish3	PC Set1
Serbo Croat1	Bulgarian	ISO-2 IRV	PC Set2 D/N
Serbo Croat2	CWI Hung	ISO-4 UK	PC Set2 US
Spanish	DeskTop	ISO-6 ASC	WIN3.1J
Ukrainian	German	ISO-10 S/F	

PCL 平成半角（WIN3.1J）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	@	P	`	p				ｰ	ﾀ	ﾐ		
1			!	1	A	Q	a	q			｡	ｱ	ﾁ	ﾑ		
2			“	2	B	R	b	r			｢	ｲ	ﾂ	ﾒ		
3			#	3	C	S	c	s			｣	ｳ	ﾃ	ﾓ		
4			$	4	D	T	d	t			､	ｴ	ﾄ	ﾔ		
5			%	5	E	U	e	u			･	ｵ	ﾅ	ﾕ		
6			&	6	F	V	f	v			ｦ	ｶ	ﾆ	ﾖ		
7			‘	7	G	W	g	w			ｧ	ｷ	ﾇ	ﾗ		
8			(	8	H	X	h	x			ｨ	ｸ	ﾈ	ﾘ		
9			)	9	I	Y	i	y			ｩ	ｹ	ﾉ	ﾙ		
A			*	:	J	Z	j	z			ｪ	ｺ	ﾊ	ﾚ		
B			+	;	K	[	k	{			ｫ	ｻ	ﾋ	ﾛ		
C			,	<	L	¥	l	|			ｬ	ｼ	ﾌ	ﾜ		
D			-	=	M	]	m	}			ｭ	ｽ	ﾍ	ﾝ		
E			.	>	N	^	n	~			ｮ	ｾ	ﾎ	ﾞ		
F			/	?	O	_	o				ｯ	ｿ	ﾏ	ﾟ		

Symbol

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0	≅	Π	‾	π				°	ℵ	∠	◊	
1			!	1	Α	Θ	α	θ			ϒ	±	ℑ	∇	〈	〉
2			∀	2	Β	Ρ	β	ρ			′	″	ℜ	®	®	∫
3			#	3	Χ	Σ	χ	σ			≤	≥	℘	©	©	⌠
4			∃	4	Δ	Τ	δ	τ			⁄	×	⊗	™	™	⎮
5			%	5	Ε	Υ	ε	υ			∞	∝	⊕	∏	∑	⌡
6			&	6	Φ	ς	φ	ϖ			ƒ	∂	∅	√	⎛	⎞
7			∍	7	Γ	Ω	γ	ω			♣	•	∩	⋅	⎜	⎟
8			(	8	Η	Ξ	η	ξ			♦	÷	∪	¬	⎝	⎠
9			)	9	Ι	Ψ	ι	ψ			♥	≠	⊃	∧	⎡	⎤
A			∗	:	ϑ	Ζ	ϕ	ζ			♠	≡	⊇	∨	⎢	⎥
B			+	;	Κ	[	κ	{			↔	≈	⊄	⇔	⎣	⎦
C			,	<	Λ	∴	λ					←	…	⊂	⇐	⎧	⎫
D			−	=	Μ	]	μ	}			↑	⏐	⊆	⇑	⎨	⎬
E			.	>	Ν	⊥	ν	~			→	⎯	∈	⇒	⎩	⎭
F			/	?	Ο	_	ο				↓	↵	∉	⇓	⎪	

Wingdings

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				🗀	🖎	🏱	♊	🞐	⓪	❺	·	⌖	🕙	🙖	🡪	⇨
1			🖉	🗁	✌	✈	♋	❑	①	❻	○	⌖	🕚	🙐	🡩	⇧
2			✂	🗎	👌	☼	♌	❒	②	❼	⭕	✧	🕛	🙑	🡫	⇩
3			✁	🗏	👍	💧	♍	⬧	③	❽	🞅	⌑	⮰	🙒	🡬	⬄
4			👓	🗐	👎	❄	♎	⧫	④	❾	⊙	◈	⮱	🙓	🡭	⇳
5			🕭	🗄	☜	🕆	♏	◆	⑤	❿	◎	✪	⮲	⌫	🡯	⬁
6			🕮	⌛	☞	✞	♐	❖	⑥	🙢	❍	✰	⮳	⌦	🡮	⬀
7			🕯	🖮	☝	🕈	♑	⬥	⑦	🙠	▪	🕐	⮴	⮘	🡸	⬃
8			☎	🖰	☟	✠	♒	⌧	⑧	🙡	◻	🕑	⮵	⮚	🡺	⬂
9			✆	🖲	✋	✡	♓	⍓	⑨	🙣	🟂	🕒	⮶	⮙	🡹	🢬
A			🖂	🖳	☺	☪	🙰	⌘	⑩	🙞	✦	🕓	⮷	⮛	🡻	🢭
B			🖃	🖴	😐	☯	🙵	❀	⓿	🙜	★	🕔	🙪	⮈	🡼	🗶
C			📪	🖫	☹	ॐ	●	✿	❶	🙝	✶	🕕	🙫	⮊	🡽	✔
D			📫	🖬	💣	☸	🔾	❝	❷	🙟	✴	🕖	🙕	⮉	🡿	🗷
E			📬	✇	☠	♈	■	❞	❸	·	✹	🕗	🙔	⮋	🡾	🗹
F			📭	✍	🏳	♉	□		❹	•	✵	🕘	🙗	🡨	⇦	⊞

消耗品・オプション一覧

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品 名	型 名	内 容
トナーカートリッジ ブラック（大）	TNR-C4HK2	C530dn/C510dn 用 大容量トナーカートリッジ
トナーカートリッジ イエロー（大）	TNR-C4HY2	
トナーカートリッジ マゼンタ（大）	TNR-C4HM2	
トナーカートリッジ シアン（大）	TNR-C4HC2	
トナーカートリッジ ブラック	TNR-C4HK1	C530dn/C510dn/C310dn 用 トナーカートリッジ
トナーカートリッジ イエロー	TNR-C4HY1	
トナーカートリッジ マゼンタ	TNR-C4HM1	
トナーカートリッジ シアン	TNR-C4HC1	
トナーカートリッジ ブラック（小）	TNR-C4HK3	C530dn/C510dn/C310dn 用 小容量トナーカートリッジ
トナーカートリッジ イエロー（小）	TNR-C4HY3	
トナーカートリッジ マゼンタ（小）	TNR-C4HM3	
トナーカートリッジ シアン（小）	TNR-C4HC3	
イメージドラムユニット	ID-C4KA	イメージドラムトナーカートリッジ 4 色一体型ユニット
ベルトユニット	BLT-C4H	ベルトユニット
定着器ユニット	FUS-C4J	定着器ユニット
セカンドトレイユニット	TRY-C4G1	セカンドトレイユニット
256MB 増設メモリ	MEM256G	C530dn 用増設メモリ（256MB）
512MB 増設メモリ	MEM512D	C530dn 用増設メモリ（512MB）
SD メモリーカード	SDC-A1	SD メモリーカード（16GB）
給紙ローラセット	RS-C4D	給紙ローラ（トレイ 1 用）
給紙ローラセット	RS-C4B	給紙ローラ（トレイ 2 用）
給紙ローラセット（MPT 用）	RS-C4E	給紙ローラ（MP トレイ用）
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティング ソフトウェア

品 名		型 名	内 容
エクセレントホワイト	A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンタ用紙
	A4（厚口）	PPR-CA4DA	
	A4 長尺	PPR-CT4DA	
エクセレントペーパー	A4	PPR-DA4TDB	

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。
  （純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 ～ 35℃、湿度：20 ～ 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

プリントジョブアカウンティングの使用について

- オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。
- プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、設定内容印刷で「JobAccounting : ON」と印刷されます。

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID 数、および保存可能ログ数

工場出荷時の状態で登録可能なユーザ ID の数と保存可能なログの数は以下の通りです。ログの内容によっては、少なくなる場合があります。

C530 の場合

SD メモリーカード	登録可能ユーザ ID 数	保存可能ログ数
無	5000ID	200 ログ
有	5000ID	5000 ログ

C510/C310 の場合

登録可能ユーザ ID 数	保存可能ログ数
500ID	200 ログ

- SD メモリーカード , フラッシュメモリの使用状況によっては、上記の値まで保存できない場合があります。
- プリントジョブアカウンティングで「ログを格納するのに十分な領域がありません。」とエラーが表示された場合は、SD メモリーカードの「COMMON」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量を確保してください。空き容量を確保する方法は、「SD メモリーカード（オプション）やフラッシュメモリの空き容量を確保したい」（258 ページ）をご覧ください。

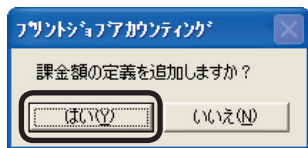
課金額の定義の追加

本プリンタの各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。

「ソフトウェア CD-ROM」には格納されていません。沖データホームページからダウンロードしてください。

❶ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

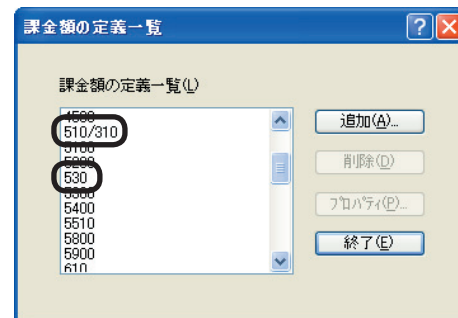
❷ 沖データホームページよりファイルをダウンロードし、解凍します。

❸ CPADD.EXE ファイルをダブルクリックします。

❹ 確認画面で［はい］をクリックします。

❺ 完了画面で［はい］をクリックします。

❻ プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

❼［プリンタ］メニューから［課金額の定義］を選択します。

❽ 課金額の定義一覧に「510/310」または「530」が追加されていることを確認します。

課金額の設定方法は「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

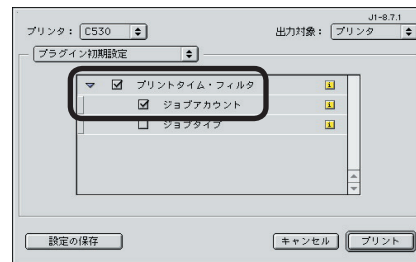
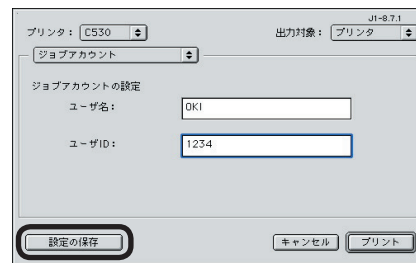
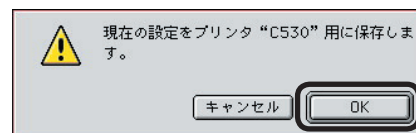
Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法

Macintosh プリンタドライバでのユーザ名、ユーザ ID の設定方法です。
Mac OS X および Windows プリンタドライバでの設定方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

- C530dn、C510dn、C310dn では、Macintosh でのユーザ名、ユーザ ID の設定方法が「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」に記述された方法と異なります。
- 設定しないで印刷した場合、ユーザ名は Macintosh User、ユーザ ID は 0 でログに残ります。
- プリントジョブアカウンティングソフトウェアのバージョンアップなどにより、本項の記述と異なる場合があります。

Macintosh プリンタドライバをお使いの方

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント］を選択します。

❷［プラグイン初期設定］パネルで［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブアカウント］にチェックをつけます。

❸［ジョブアカウント］パネルでユーザ名、ユーザ ID を設定し、［設定の保存］をクリックします。

❹［OK］をクリックし、ダイアログを閉じます。

SD メモリーカードのセキュリティ機能の使用方法（C530dn のみ）

SD メモリーカードのセキュリティ機能は、SD メモリーカードに保存されるデータを暗号化し、特定の暗号鍵がないと読み出せないように保護します。

セキュリティモードを設定するには、[ADMIN MENU] - [FILE SYS MAINTE2] - [INITIAL LOCK] を、[NO] に設定する必要があります。

セキュリティモード設定方法

❶ SD メモリーカードを取り付けます。取り付け方法は、ユーザーズマニュアル（セットアップと使いかた編）1 章の「SD メモリーカード」をご覧ください。

❷ プリンタの操作パネルに [ADMIN MENU] を表示します。

メモ　[ADMIN MENU] を表示する方法は、管理者メニュー（285 ページ）をご覧ください。

❸ OK スイッチを押すと [ENTER PASSWORD] と表示されるので、▲ スイッチまたは ▼ スイッチを数回押してパスワードの 1 桁目を表示し、OK スイッチを押します。
同様の手順で 6 ～ 12 桁のパスワードを入力します。

メモ　パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

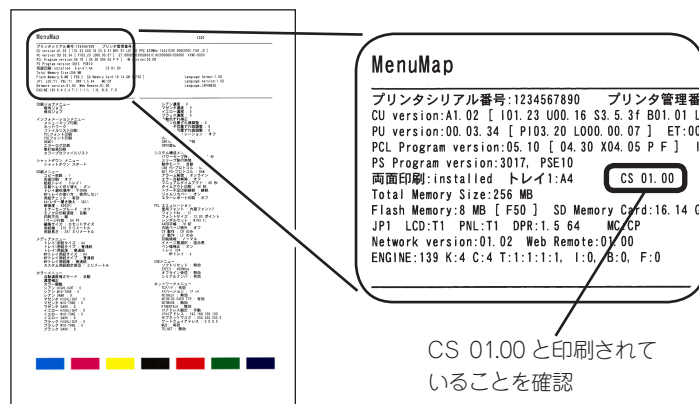
❹ OK スイッチを押し、▼ スイッチを数回押すと、[SECURITY MENU] が表示され、OK スイッチを押し、▼ スイッチを押すと、[MAKE SECURE SD-M] が表示されるので、その状態で OK スイッチを押します。

❺ [ARE YOU SURE?　YES ／ NO] が表示されるので、[YES] を選択します。
自動的に SD メモリーカードの初期化が開始され、プリンタが再起動されてセキュリティモードになります。

SD メモリーカードは初期化されるので、それまでに SD メモリーカードに格納されていたデータは失われます。他の装置の SD メモリーカードを取り付けた場合も、取り付けた SD メモリーカードは初期化されますので、それまでに SD メモリーカードに格納されていたデータは失われます。

確認方法

設定内容印刷を行い、セキュリティモジュールのバージョンが CS 01.00 と印刷されることを確認します。

（サンプル）

セキュリティモジュール以外のバージョンは、図に記載された値と異なる場合があります。

暗号鍵再生成方法

❶ SDメモリーカードが取り付けられていることを確認します。

❷ プリンタの操作パネルに［ADMIN MENU］を表示します。

メモ ［ADMIN MENU］を表示する方法は、管理者メニュー（285ページ）をご覧ください。

❸ OK スイッチを押すと［ENTER PASSWORD］と表示されるので、▲ スイッチまたは ▼ スイッチを数回押してパスワードの1桁目を表示し、OK スイッチを押します。

同様の手順で6～12桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❹ OK スイッチを押し、▼ スイッチを数回押すと、［SECURITY MENU］が表示され、▼ スイッチを数回押すと、［RESET CIPHER KEY］が表示されるので、その状態で OK スイッチを押します。

❺ ［ARE YOU SURE?　YES／NO］が表示されるので、［YES］を選択します。
自動的に暗号鍵を再生成し、プリンタは再起動されます。

メモ SDメモリーカードは初期化されるので、それまでにSDメモリーカードに格納されていたデータは失われます。

セキュリティモード解除方法

❶ SDメモリーカードが取り付けられていることを確認します。

❷ プリンタの操作パネルに［ADMIN MENU］を表示します。

メモ ［ADMIN MENU］を表示する方法は、管理者メニュー（285ページ）をご覧ください。

❸ OK スイッチを押すと［ENTER PASSWORD］と表示されるので、▲ スイッチまたは ▼ スイッチを数回押してパスワードの1桁目を表示し、OK スイッチを押します。

同様の手順で6～12桁のパスワードを入力します。

メモ パスワードの初期値は「aaaaaa」です。

❹ OK スイッチを押し、▼ スイッチを数回押すと、［SECURITY MENU］が表示され、▼ スイッチを数回押すと、［MAKE NORMAL SD-M］が表示されるので、その状態で OK スイッチを押します。

❺ ［ARE YOU SURE?　YES／NO］が表示されるので、［YES］を選択します。
自動的にセキュリティモードを解除し、SDメモリーカードの初期化が開始され、プリンタは再起動されます。

メモ SDメモリーカードは初期化されますので、それまでにSDメモリーカードに格納されていたデータは失われます。他の装置でセキュリティモードで使用していたSDメモリーカードを取り付けた場合、取り付けたSDメモリーカードは、非セキュリティモードのSDメモリーカードとして初期化されますので、それまでにSDメモリーカードに格納されていたデータは失われます。

確認方法

設定内容印刷を行い、セキュリティモジュールのバージョンが CS 01.00 と印刷されていないことを確認します。

（サンプル）

注 セキュリティモジュール以外のバージョンは、図に記載された値と異なる場合があります。

索 引

［マ行］

［ヤ行］

［ラ行］

カラーページプリンタ
C310dn/C510dn/C530dn

ユーザーズマニュアル（応用編）

発行日　2010年 7月　第２版
発行者　株式会社 沖データ

44605401EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）